2021年度

学生要覧

帝塚山学院大学

Tezukayama Gakuin University

帝塚山学院大学校歌
若き空

喜多條　忠　作詞
南こうせつ　作曲

1　若きいのちの　輝きが
集(つど)いし自由の　学舎(まなびや)は
美(うるわ)しの丘　帝塚山
ときめきの　窓開けて　歩いてゆく
人を愛して　愛される
こころ　気高き　人になる

2　夢の行方(ゆくえ)は　違っても
明日を見つめる　まなざしで
友と語らう　帝塚山
ぬくもりを　携(たずさ)えて　旅に出る
夢を信じて　追いかけて
夢を　捨てない　人になる

3　守り育った　伝統は
理想の世界を　目指すため
古(いにしえ)の丘　帝塚山
言の葉を　ひもといて　道拓(ひら)く
常に学んで　新しい
強い　やさしい　人になる

目　次

建学の精神と教育の基本理念

帝塚山学院の沿革
帝塚山学院の沿革…… 3

帝塚山学院大学の教育方針
3つのポリシー（21・20年度入学生）…… 5
10のちから（21・20年度入学生）…… 14

3つのポリシー（19・18年度入学生）……18

履修の手引き
履修の手引き……30
留学について……42
GPA制度について……43
卒業延期制度について ……45

21・20年度入学生教育課程
基盤教育科目
基盤教育科目　21・20年度入学生 ……50

リベラルアーツ学部
リベラルアーツ学科
21・20年度入学生 ……54
メジャーコース・マイナーコースについて ……61

人間科学部
心理学科
21・20年度入学生 ……68

食物栄養学科
管理栄養士課程
21・20年度入学生 ……76

健康実践栄養士課程
21・20年度入学生 ……82

資格専門科目
資格専門科目……90

19・18年度入学生教育課程
共通科目
共通科目　19・18年度入学生 ……94

リベラルアーツ学部
リベラルアーツ学科
19・18年度入学生 ……98

人間科学部
キャリア英語学科
19・18年度入学生 ……104

情報メディア学科
19年度入学生……110
18年度入学生…… 114

心理学科
19・18年度入学生 ……120

食物栄養学科
管理栄養士課程
19・18年度入学生 ……126

健康実践栄養士課程
19・18年度入学生 …… 130

資格専門科目
資格専門科目…… 136

交換留学生科目
交換留学生科目……140

資格取得について
資格取得について …… 143
教職課程 …… 148
学校図書館司書教諭課程 …… 181
図書館司書課程…… 183
博物館学芸員課程…… 185
日本語教員養成コース …… 188
社会教育主事任用資格 …… 191
社会福祉主事任用資格 …… 194
児童指導員任用資格／
　児童福祉司任用資格 …… 196
認定心理士／認定心理士（心理調査）
　・応用心理士資格 …… 197
公認心理師国家試験
　受験資格（大学指定科目）…… 202
レクリエーション・インストラクター資格 …… 206
スポーツリーダー資格 …… 208
健康運動実践指導者受験資格…… 210
フードスペシャリスト受験資格…… 214
食品衛生管理者および
　食品衛生監視員任用資格課程…… 217
管理栄養士国家試験受験資格…… 220
栄養士資格 …… 223

図　書　館
図書館 …… 230

諸　規　程
帝塚山学院大学学則 …… 234
帝塚山学院大学履修規程 …… 240

試験における不正行為の処分に関する規程 …… 245
帝塚山学院大学科目等履修生規程
帝塚山学院大学特別聴講学生規程
帝塚山学院大学聴講生規程
帝塚山学院大学における学生個人情報保護のガイドライン

建学の精神と教育の基本理念

本学の学則第２条は、本学の目的を次のように規定しています。

> 本学は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、「力の教育」、すなわち意志の力、情の力、知の力、躯幹の力を含む全人教育を以って有為な人材を社会に送り出すという帝塚山学院建学の精神を継承しながら、豊かな教養を身につけ自学自習の教育によって求知心を育み、社会に貢献し得る品性高い人材を育成することを目的とする。

この規定の中に、本学の建学の精神と教育の基本理念が端的に表現されています。前段が建学の精神、後段が教育の基本理念です。この二つは、本学院の初代学院長庄野貞一が大正６（1917）年の帝塚山学院小学校開設に際して発表した「帝塚山学院小学部設立趣意書」を典拠としています。

そこでは「力の教育」とは、「意志の力、情の力、知の力、躯幹の力」を備えた人物の輩出であると説明されており、現代的には、全人教育を以って有為な人材を社会に送り出すことを意味します。これを建学の精神とし、教育の基本理念については、同じく「設立趣意書」にある「自学主義教育」を柱に据えています。学則にいう「自学自習の教育」とは、求知的態度をもって自ら問題を発見し、解決しようとする人材の育成を目指す教育のことです。

平成 21（2009）年度から、本学は文学部をリベラルアーツ学部に改組し、一般教養科目を幅広く自由に学んで総合的教養力を身につけるための学部として発足させました。また、人間文化学部を人間科学部に名称変更しました。人間科学部は情報メディア学科、心理学科、食物栄養学科（管理栄養士課程、健康実践栄養士課程）を有するサイエンス学部であり、平成 27（2015）年度にはキャリア英語学科を設置しました。

令和 2（2020）年度、 リベラルアーツ学科の教育課程を見直し、社会に新しい価値を生み出す人間育成のため、専門的かつ積極的な教育の充実を図ります。キャリア英語学科と情報メディア学科の学問領域を組み込み、メジャー＆マイナー制度を新たに導入することで、特色ある学びを強化し、多様な専攻を横断的に学ぶことをさらに可能とします。また、これからの社会に必要な人間力を育むための「基盤教育機構」を立ち上げ、確かな教養教育をより充実させます。

令和 3（2021）年４月には、すべての学部・学科を泉ヶ丘キャンパスに集約。教育理念である「自学自習」を受け継ぎ、学生が自ら学びを深める環境をワンキャンパスによって実現します。

本学は《リベラルアーツ＆サイエンス大学》（人文科学と自然科学を横断する総合的教養教育の大学）として新たな学びと研究の世界を築き、建学の精神と教育の基本理念を現代に生かしてゆきます。

TEZUKAYAMAGAKUIN UNIV
www.tezuka-gu.ac.jp

帝塚山学院の沿革

大正　5年　12月　財団法人帝塚山学院設立認可
　　6年　4月　小学校開校
　　7年　4月　幼稚園開園
　　15年　4月　高等女学校開校
昭和　16年　4月　奈良市に帝塚山学園を設置
　　22年　4月　学制改革により中学校設置
　　23年　4月　学制改革により高等学校設置
　　25年　4月　短期大学開学
　　26年　3月　財団法人帝塚山学院を
　　学校法人帝塚山学院に改組
　　41年　4月　大学開学　文学部
　　（日本文学科、英文学科、
　　美学美術史学科）
　　初代学長　　森　礒吉　就任
　　11月　学院創立50周年記念式典挙行
　　42年　4月　二代学長　　西本　三十二　就任
　　6月　体育館竣工
　　47年　4月　大学食堂棟２、３階に教室増築
　　50年　4月　三代学長　　庄野　英二　就任
　　51年　4月　大学開学10周年
　　6月　大学図書館竣工
　　11月　学院創立60周年記念式典挙行
　　53年　9月　大学図書館２階に AV センター開設
　　54年　6月　四代学長　　原　龍之助　就任
　　56年　4月　五代学長　　庄野　英二　就任
　　58年　4月　泉ヶ丘中・高等学校開校
　　60年　4月　六代学長　　原　龍之助　就任
　　61年　4月　短期大学を堺市晴美台に移転
　　5月　学院創立70周年記念式典挙行
　　63年　3月　大学図書館棟に新館増築
　　4月　大学文学部に国際文化学科を開設
平成　元年　4月　七代学長　　山田　博光　就任
　　4年　4月　大学教室棟増築
　　8年　11月　学院創立80周年記念式典挙行
　　9年　4月　八代学長　　大谷　晃一　就任
　　10年　3月　住吉学舎第１期工事竣工
　　4月　大学に人間文化学部を開設
　　（文化学科、人間学科）
　　大学狭山キャンパスに教室棟増築
　　11年　3月　住吉学舎第２期工事竣工
　　4月　大学泉ヶ丘キャンパスに別館増築
　　9月　短期大学廃止
　　13年　4月　九代学長　　皆川　基　就任
　　14年　4月　大学文学部　２学科を名称変更
　　（英文学科を英語コミュニケーション学科、
　　美学美術史学科を芸術学科に変更）
　　12月　心理教育相談センター　開室
　　15年　4月　大学院開学
　　初代研究科長　　加納　武　就任
　　（人間科学研究科　人間科学専攻）
　　大学文学部を２学科に改組
　　（コミュニケーション学科、
　　国際文化学科）
　　大学人間文化学部　男女共学になる
　　幼稚園　３年保育開始
　　17年　4月　十代学長　　加納　武　就任
　　二代研究科長　大塚　義孝　就任
平成　18年　4月　大学人間文化学部に
　　食物栄養学科を開設
　　（文化学科、人間学科、食物栄養学科）
　　大学泉ヶ丘キャンパス別館を増改築
　　19年　4月　大学文学部を１学科に改組
　　（現代コミュニケーション学科）
　　大学文学部　男女共学になる
　　（両学部とも男女共学になる）
　　大学院人間科学研究科に臨床心理学
　　専攻（専門職学位課程）を開設
　　十一代学長　　酒井　信雄　就任
　　20年　12月　教育開発・支援センター　開設
　　21年　4月　大学にリベラルアーツ学部を開設
　　（リベラルアーツ学科）
　　大学に人間科学部を開設
　　（情報メディア学科、心理学科、
　　食物栄養学科）
　　25年　4月　教職支援室　開設
　　ICT センター　開設
　　6月　同窓生顕彰記念ホール　開館（住吉校）
　　26年　4月　大学人間科学部食物栄養学科に
　　健康実践栄養士課程を開設
　　（情報メディア学科、心理学科、
　　食物栄養学科　管理栄養士課程、
　　健康実践栄養士課程）
　　十二代学長　　津田　謹輔　就任
　　27年　3月　教職実践研究センター　開設
　　4月　大学人間科学部に
　　キャリア英語学科を開設
　　（キャリア英語学科、
　　情報メディア学科、心理学科、
　　食物栄養学科　管理栄養士課程、
　　健康実践栄養士課程）
　　28年　4月　大学開学50周年
　　5月　学院創立100周年記念式典挙行
令和　2年　4月　大学リベラルアーツ学部を再編
　　（リベラルアーツ学科）
　　大学人間科学部を再編
　　（心理学科、
　　食物栄養学科　管理栄養士課程、
　　健康実践栄養士課程）
　　基盤教育機構を設置
令和　3年　4月　大学泉ヶ丘キャンパス改修工事竣工
　　２つのキャンパスをワンキャンパスに統合

帝塚山学院大学の教育方針

3つのポリシー

帝塚山学院大学の教育方針（３つのポリシー）（21・20年度入学生）

本学では、建学の精神と教育の基本理念に基づき、目指すべき人材像と３つのポリシーを定めています。

教育理念

本学は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、『力の教育』、すなわち意志の力、情の力、知の力、躯幹の力を含む全人教育を以て有為な人材を社会に送り出すという帝塚山学院建学の精神を継承しながら、豊かな教養を身につけ自学自習の教育によって求知心を育み、社会に貢献し得る品性高い人材を養成することを目的とする。

目指すべき人材像

建学の精神「力の教育」「自学主義」に基づき鍛えられた「社会貢献への意思と力」、そしてレジリエンスと気品をそなえた人物。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

ディプロマ・ポリシーとは、教育理念に基づき、どのような力を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるものです。

本学では、全学のディプロマ・ポリシー、各学科・課程のディプロマ・ポリシーを定めています。

全学

本学は、各学位プログラムの課程を修め、卒業に必要な単位数を修得した学生に対し、下記に掲げる能力や知識・技能を獲得したと認定し、学士の学位を授与する。

Ⅰ　市民としての教養と多様性への理解を身につけていること
Ⅱ　専門的素養を身につけていること
Ⅲ　論理的に考え、的確に表現する力を身につけていること
Ⅳ　他者と協働し、課題を解決する力を身につけていること
Ⅴ　自らを理解し、目標を立て、実現に向けて、持続的に取り組むことができること
Ⅵ　公共性と倫理性を持ち、社会・地域に貢献する意欲があること

リベラルアーツ学部
リベラルアーツ学科

本学は、リベラルアーツ学科の教育課程を修め、卒業に必要な単位数を修得した学生に対し、下記に掲げる能力や知識・技能を獲得したと認定し、学士（リベラルアーツ）の学位を授与する。

Ⅰ　幅広い一般的知識・教養を身につけ、かつ社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解できること
Ⅱ　リベラルアーツの総合的、学際的学修分野より複数の分野にわたる専門知識と技能を有すること。その知識を元に課題解決のための企画力、実践力を身につけていること
Ⅲ　学際的教養に基づく広い視点に立った、的確な状況判断力、柔軟で客観的な論理的思考、そして自らの考えを的確かつ豊かに表現する力を身につけていること
Ⅳ　多様な人々や文化背景を理解し、違いを尊重しながら意見を交わし、他者と協働して課題を解決する力を身につけていること
Ⅴ　目標実現に向けて、自分自身を冷静・客観的に理解し、主体的に問題や課題に取り組み、解決に向けて、自主的に行動できる力を持っていること

Ⅵ　急速な変化をみせる社会や多様な価値観を持つ人々のために責任ある行動をとることができ、学際的教養に基づく広い視点に立って社会や地域に貢献する意欲があること

人間科学部

心理学科

本学は、心理学科の教育課程を修め、卒業に必要な単位数を修得した学生に対し、下記に掲げる能力や知識・技能を獲得したと認定し、学士（心理学）の学位を授与する。

Ⅰ　幅広い一般的知識・教養を身につけ、かつ社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解できること
Ⅱ　人間・文化・社会の諸現象を心理学的素養をもとに理解し、分析するための科学的・統計的知識、技能を有すること
Ⅲ　心理学的観点から人間や社会に関する情報を収集し、それらを論理的に分析・考察して、その成果を適切な方法で表現し、実際場面に役立てる力を身につけていること
Ⅳ　心理学の知見に基づき、多様な価値観を受け入れ、相手の立場に立って考え、親しみやすい雰囲気を醸成し、他者と信頼関係を築けること。他者と協働して問題に取り組み、解決する力を身につけていること
Ⅴ　目標実現に向けて、自分自身を冷静・客観的に理解し、主体的に問題や課題に取り組み、解決に向けて、自主的に行動できる力を持っていること
Ⅵ　学内での実習やグループワーク、あるいは学外組織での他者との関わりを通して、広く社会で活躍できるための倫理性と自律力を身につけていること。社会を広い視野から理解し、社会・地域に貢献する意欲と行動力を備えていること

食物栄養学科

本学は、食物栄養学科の教育課程を修め、卒業に必要な単位数を修得した学生に対し、下記に掲げる能力や知識・技能を獲得したと認定し、学士（食物栄養）の学位を授与する。

Ⅰ　幅広い一般的知識・教養を身につけ、かつ社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解できること
Ⅱ　食や健康に関する専門的知識・技能を身につけていること
Ⅲ　食や健康に関する情報収集を行うことができ、それを分析して論理的に考え、表現する力を身につけていること
Ⅳ　ヒトの健康に関わる問題に深い関心を持つこと。問題解決に向けて、コミュニケーション力を持ち、意欲的、積極的に学習ができ、継続性が伴うこと。課題を解決する力を身につけていること
Ⅴ　目標実現に向けて、自分自身を冷静・客観的に理解し、主体的に問題や課題に取り組み、解決に向けて、自主的に行動できる力を持っていること
Ⅵ　社会的規範やルールを身につけ、自らを律して、行動できる力を身につけていること。食や健康の視点から社会・地域の現状や課題を理解し、貢献する意欲があること

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

カリキュラム・ポリシーとは、本学の教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や教育内容および教育方法について基本的な考え方を示したものです。

本学では各学科・課程のカリキュラム・ポリシーを定めています。

リベラルアーツ学部
リベラルアーツ学科

本学科では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる目標を達成させるために、基盤教育科目、専門科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講する。

教育内容、教育方法について以下のように定める。

1. 教育内容

- 社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解して自分自身のデザインにつながる、幅広い教養を身につけることを目的として、先人たちがたどった知の道のり、築いてきたものを理解するためのＡ群、我々が生きる世界と今を読み解くためのＢ群、未来を見通し、自分自身をデザインするためのＣ群を置く
- グローバル社会、高度情報化社会を生きていくうえで必要な基本的技能を身につけるため外国語科目、情報処理科目を置く
- 学びの基礎的技能、自立に向けて必要な知識・技能を身につけるとともに、地域社会とのかかわり等から社会や人間のもつ課題を理解し、専門の学びを経て社会的・職業的自立へと向かう準備を行うため導入学修科目、キャリア形成科目を置く
- 学校教育・社会教育等の資格の基礎となる知識を身につけるとともに、社会の課題を理解するため資格基礎科目を置く
- 複数分野をベースに自身の課題を設定することができ、その課題を論理的思考を持って解決にあたる力と、その過程や結果を他者に論理的かつ明確に説明できる表現力を身につけるための科目群を置く
- 日本の社会と文化をより深く理解するための、幅広い専門的知識を身につけられるよう日本学専攻科目を置く
- 韓国語を一定程度駆使しながら、韓国社会・文化をより深く理解するための、幅広い専門的知識を身につけられるよう韓国語韓国文化専攻科目を置く
- 実践的な英語コミュニケーション力を有し、グローバル化する社会について理解を深め、その課題解決のための企画力と実践力を身につけられるようグローバル英語専攻科目を置く
- 表現に関する知識と技能を有し、課題解決のために表現に関する企画とその実践のための能力を身につけられるよう情報クリエイティブ専攻科目を置く

2. 教育方法

- 「論理的思考･表現力」、「コミュニケーション力」、「問題解決力」、「自己理解力」、「主体的行動力」、「倫理性と自律力」、「地域貢献力」などの汎用的能力を育成するため、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を基盤教育科目および専門科目で実施する
- ディプロマ・ポリシーの達成度を測るため、卒業時達成目標として「帝塚山学院大学生の 10 のちから」を設定し、その達成度について、各学期末に学生が自己評価を行い、アドバイザー教員との面談を通して振り返りと改善を行う
- 目標設定、学修成果の記録と評価を行うため e- ポートフォリオ「テヅカポートフォリオ」を入学から卒業まで作成・維持し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理し、「ふりかえり」を行う

人間科学部
心理学科

本学科では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる目標を達成させるために、基盤教育科目、専門科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講する。

教育内容、教育方法について以下のように定める。

1. 教育内容
- 社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解して自分自身のデザインにつながる、幅広い教養を身につけることを目的として、先人たちがたどった知の道のり、築いてきたものを理解するためのＡ群、我々が生きる世界と今を読み解くためのＢ群、未来を見通し、自分自身をデザインするためのＣ群を置く
- グローバル社会、高度情報化社会を生きていくうえで必要な基本的技能を身につけるため外国語科目、情報処理科目を置く
- 学びの基礎的技能、自立に向けて必要な知識・技能を身につけるとともに、地域社会とのかかわり等から社会や人間のもつ課題を理解し、専門の学びを経て社会的・職業的自立へと向かう準備を行うため導入学修科目、キャリア形成科目を置く
- 学校教育・社会教育等の資格の基礎となる知識を身につけるとともに、社会の課題を理解するため資格基礎科目を置く
- 心理学の方法論や考え方を基盤として、実践的に学ぶことを目的として、心理学の先行研究を踏まえて、自らの研究や進路を探求し、それを表現する力を身につけるための科目群、実験・調査をもとにデータを統計的に分析する力を身につけるための科目群、心理支援・対人援助における専門的な技術と倫理観を身につけるための科目群を置く
- 心理学とその関連分野の理論と知識を学ぶことを目的として、発達・人格を学び、心理的な成長や変化を専門的に理解する力を身につけるための科目群、臨床・異常を学び、心理的な苦悩や精神疾患を専門的に理解する力を身につけるための科目群、認知・行動を学び、心の基本的な仕組みを専門的に理解する力を身につけるための科目群、福祉・社会・文化を学び、心理的な問題を幅広い文脈から考察する力を身につけるための科目群、心と身体の関係を学び、心身の健康について専門的に理解する力を身につけるための科目群を置く

2. 教育方法
- 「論理的思考･表現力」、「コミュニケーション力」、「問題解決力」、「自己理解力」、「主体的行動力」、「倫理性と自律力」、「地域貢献力」などの汎用的能力を育成するため、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を基盤教育科目および専門科目で実施する
- ディプロマ・ポリシーの達成度を測るため、卒業時達成目標として「帝塚山学院大学生の 10 のちから」を設定し、その達成度について、各学期末に学生が自己評価を行い、アドバイザー教員との面談を通して振り返りと改善を行う
- 目標設定、学修成果の記録と評価を行うため e- ポートフォリオ「テヅカポートフォリオ」を入学から卒業まで作成・維持し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理し、「ふりかえり」を行う

食物栄養学科　管理栄養士課程

本学科では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる目標を達成させるために、基盤教育科目、専門科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講する。

教育内容、教育方法について以下のように定める。

1. 教育内容
- 社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解して自分自身のデザインにつながる、幅広い教養を身につけることを目的として、先人たちがたどった知の道のり、築いてきたものを理解するためのＡ群、我々が生きる世界と今を読み解くためのＢ群、未来を見通し、自分自身をデザインするためのＣ群を置く
- グローバル社会、高度情報化社会を生きていくうえで必要な基本的技能を身につけるため外国語科目、情報処理科目を置く
- 学びの基礎的技能、自立に向けて必要な知識・技能を身につけるとともに、地域社会とのかかわり等から社会や人間のもつ課題を理解し、専門の学びを経て社会的・職業的自立へと向かう準備を行うため導入学修科目、キャリア形成科目を置く

- 学校教育・社会教育等の資格の基礎となる知識を身につけるとともに、社会の課題を理解するため資格基礎科目を置く
- 食物栄養学科専攻科目を学ぶための基礎を理解するための科目群を置く
- 健康のとらえ方、社会的背景や制度、疫学の基本を理解することを目的として、健康増進、疾病予防の重要性を理解し、取り組み、課題、今後の展望について考察できるようになるための科目群を置く
- 栄養管理の実践のための基礎科学を身につけることを目的として、栄養と健康の関わりを理解するための科目群、人体の構造と機能及び疾病の成り立ちを理解するための科目群を置く
- 食べ物をベースとした栄養管理の実践ができるようになることを目的として、食環境整備による利用者への栄養介入としての給食を理解するための科目群、健康を支える食事の実践の基本や食べ物と健康の関連、食事と調理の科学について理解するための科目群を置く
- ライフステージと栄養管理の実践ができるようになることを目的として、地域・職域の栄養課題に適切に対応する知識を身につけるための科目群、栄養教育の意義や目的を理解し、行動変容モデルを用いた栄養教育を展開する力を身につけるための科目群、栄養管理を遂行するための基本的事項やライフステージ別の栄養管理について理解できるようになるための科目群を置く
- 疾病と栄養管理の実践ができることを目的として、疾病の原因、病態、症状、症候について人体の構造と機能に関連づけて理解し、病態に応じた栄養管理を実践する力を身につけるための科目群を置く
- 学修内容を統合して活用できる力（応用力）を身につけることを目的として、各分野で学習した知識・技術を統合し、総合的な判断ができるようになるための科目群、栄養管理を行うために必要とされる知識および技術を身につけるための科目群、栄養管理の実践を想定し、対象の栄養状態とその生活背景を総合的に評価できる力を身につけるための科目群を置く

2. 教育方法

- 「論理的思考･表現力」、「コミュニケーション力」、「問題解決力」、「自己理解力」、「主体的行動力」、「倫理性と自律力」、「地域貢献力」などの汎用的能力を育成するため、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を基盤教育科目および専門科目で実施する
- ディプロマ・ポリシーの達成度を測るため、卒業時達成目標として「帝塚山学院大学生の 10 のちから」を設定し、その達成度について、各学期末に学生が自己評価を行い、アドバイザー教員との面談を通して振り返りと改善を行う
- 目標設定、学修成果の記録と評価を行うため e- ポートフォリオ「テヅカポートフォリオ」を入学から卒業まで作成・維持し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理し、「ふりかえり」を行う

食物栄養学科　健康実践栄養士課程

本学科では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる目標を達成させるために、基盤教育科目、専門科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講する。

教育内容、教育方法について以下のように定める。

1. 教育内容

- 社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解して自分自身のデザインにつながる、幅広い教養を身につけることを目的として、先人たちがたどった知の道のり、築いてきたものを理解するためのＡ群、我々が生きる世界と今を読み解くためのＢ群、未来を見通し、自分自身をデザインするためのＣ群を置く
- グローバル社会、高度情報化社会を生きていくうえで必要な基本的技能を身につけるため外国語科目、情報処理科目を置く
- 学びの基礎的技能、自立に向けて必要な知識・技能を身につけるとともに、地域社会とのかかわり等から社会や人間のもつ課題を理解し、専門の学びを経て社会的・職業的自立へと向かう準備を行うため導入学修科目、キャリア形成科目を置く
- 学校教育・社会教育等の資格の基礎となる知識を身につけるとともに、社会の課題を理解するため資格基礎科目を置く
- 食物栄養学科専攻科目を学ぶための基礎を理解するための科目群を置く

- 健康のとらえ方、社会的背景や制度および疫学の基本的事項を理解することを目的として、栄養と食の観点から健康増進・疾病予防の重要性について理解するための科目群を置く
- 食事の管理を中心とした栄養管理の実践のための基礎科学について理解することを目的として、適切な食事を提供するための実践的な調理の知識や技術を身につけ、給食運営に必要な実践的な知識や技術を学ぶための科目群、栄養指導が実践できるための知識・技術を身につけ、公衆栄養学の意義・役割、および健康づくり対策について理解できるようになるための科目群、ライフステージや病態に応じた食事の管理を中心とした栄養管理を実践するための知識や技術を身につけられるようになるための科目群、食べ物と健康の関連について理解するための科目群、栄養と健康との関連性を理解するために必要となる基本的な知識を身につけられるようになるための科目群を置く
- 食と関わる分野について理解することを目的として、各分野で学習した知識・技術を統合し、総合的な判断ができるようになるための科目群、栄養管理を行うために必要とされる知識および技術を身につけられるようになるための科目群、食に関わる様々なビジネスの現場とマーケティングについて理解するための科目群、運動に対する人の諸機能の変化から、運動の意義と健康づくりに対する重要性を理解し、実践できるようになるための科目群を置く

2. 教育方法

- 「論理的思考･表現力」、「コミュニケーション力」、「問題解決力」、「自己理解力」、「主体的行動力」、「倫理性と自律力」、「地域貢献力」などの汎用的能力を育成するため、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を基盤教育科目および専門科目で実施する
- ディプロマ・ポリシーの達成度を測るため、卒業時達成目標として「帝塚山学院大学生の 10 のちから」を設定し、その達成度について、各学期末に学生が自己評価を行い、アドバイザー教員との面談を通して振り返りと改善を行う
- 目標設定、学修成果の記録と評価を行うため e- ポートフォリオ「テヅカポートフォリオ」を入学から卒業まで作成・維持し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理し、「ふりかえり」を行う

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

アドミッション・ポリシーとは、本学の特色や教育理念などに基づき、能力や適性を含めた大学が求める学生像および入学者選抜の実施のための基本的な考え方を示したものです。

本学では、全学のアドミッション・ポリシーおよび、各学科・課程のアドミッション・ポリシーを定めています。

全学

帝塚山学院大学では、本学の教育理念を十分に理解しているとともに、幅広く深い教養と豊かな人間性を育むうえでの基礎的な学力ならびに、各学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく専門教育へのレディネスを備えていることを入学者選抜の基準とする。そのために、選抜の方法として、さまざまな形式の入学試験により、多面的・総合的に評価・判定する。

リベラルアーツ学部
リベラルアーツ学科

リベラルアーツ学科では、総合的、学際的学修分野より複数の分野の専門知識や技能と幅広い教養を身につけ、論理的思考と自己表現力を獲得することで、自身を知り、他者や多様な文化背景に理解を示し、他者との交流・協働による社会貢献に主体的に取り組むことができる人物の育成を目標とする。この教育目標を達成するために、リベラルアーツ学科では、以下の事項に該当していることを入学者選抜の基準とする。

＜教養力・専門力養成のためのレディネス＞

高等学校等での教育課程を修得し、本学科での多様な学びに必要な基礎学力を有していること。また自身が関わる多様な社会と文化に関心を持ち、さまざまな視点から現実社会の課題を考え、その解決に取り組むための知識や技能の獲得に意欲を持っていること

＜論理的思考・表現への意欲＞

自分の考え、思いを適切にまとめ、説明したり、表現する力を育む素養があること

＜他者と協働し、課題を解決する意思・意欲＞

多様な人々や文化を理解し、その違いを尊重しながら、他者と協働して課題を解決する態度や意欲を持っていること

＜公共性と倫理性、社会貢献への意欲＞

社会的規範やルールを身につけ、社会や地域に貢献する意欲があること

「求める学生像」を次のとおり定める。

- 幅広く深い教養と豊かな人間性を育み、言語力及び情報リテラシー力を身につけたいという意欲を持っている学生
- 自文化を深く理解し、自身の意思と行動力をもって活動できる学生
- さまざまな現地研修（含、海外研修、留学、フィールドワーク、インターンシップ）を体験し、他者や多様な文化について実践的に理解したいという意欲を持っている学生
- 未知の事柄に対する好奇心をもっている学生

人間科学部
心理学科

心理学科では、幅広い一般的知識・教養を身につけること、社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解できること、人間・文化・社会の諸現象を心理学的素養をもとに理解し、分析するための科学的・統計的知識や技能を有することを教育目標としている。さらに論理的思考力と表現力、他者との協働を通じた課題解決力、主体性・公共性や倫理性を高める事をめざす。これらの教育目標を達成するために、心理学科では、以下の事項に該当していることを入学者選抜の基準とする。

＜教養力・専門力養成のためのレディネス＞

高等学校等での教育課程を修得し、各学科での学びに必要な基礎学力を有していること。具体的には英語科目、

国語科目、情報処理関係の科目を得意としていること。また社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解し、分析するための知識や技能を持とうとする意欲を持っていること

＜論理的思考・表現への意欲＞

自分の考え、思いを適切にまとめ、説明したり、表現する力を育む素養があること

＜他者と協働し、課題を解決する意思・意欲＞

多様な人々や文化を理解し、その違いを尊重しながら、他者と協働して課題を解決する態度や意欲を持っていること

＜公共性と倫理性、社会貢献への意欲＞

社会的規範やルールを身につけ、社会や地域に貢献する意欲があること

「求める学生像」を次のとおり定める。

人の心や行動、人間関係に対する興味と探求心を持ち、主体的に挑戦する行動力を持つ人物を求める。将来、以下の場面での活躍を志す人物を求める。

- 心理学を活かした企業活動や対人援助など、産業の場面で活躍する
- 子どもの心を理解する養護教諭として、発達支援や学校教育の場面で活躍する
- 公認心理師・臨床心理士を目指して大学院へ進学し、心理支援の場面で活躍する

食物栄養学科

食物栄養学科では、「食」で人を健康にすることを命題とし、栄養士・管理栄養士としての専門知識の修得に加え、他にはない付加価値をもった即戦力として社会に貢献しうる栄養士・管理栄養士を育成することを教育目標としている。さらに、管理栄養士課程では、実践的な教育により高い専門性をもつ「食と栄養のスペシャリスト」の育成を、健康実践栄養士課程では、複数の資格取得（ダブルライセンス）や地域と連携した活動により広い視野をもつ「食と健康のゼネラリスト」の育成を目標としている。この教育目標を達成するために、食物栄養学科では、以下の事項に該当していることを入学者選抜の基準とする。

＜教養力・専門力養成のためのレディネス＞

高等学校等での教育課程を修得し、食物栄養学科での学びに必要な基礎学力を有していること。また、社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解し、分析するための知識や技能を持とうとする意思と意欲を持っていること。基礎学力として、管理栄養士課程では、生物および化学の知識修得が望ましく、健康実践栄養士課程では、生物基礎および化学基礎の知識修得が望ましい

＜論理的思考・表現への意欲＞

自分の考え、思いを適切にまとめ、説明したり、表現する力を育む素養があること

＜他者と協働し、課題を解決する意思・意欲＞

多様な人々や文化を理解し、その違いを尊重しながら、他者と協働して課題を解決する態度や意欲を持っていること

＜公共性と倫理性、社会貢献への意欲＞

社会的規範やルールを身につけ、社会や地域に貢献する意欲があること

「求める学生像」を次のとおり定める。

管理栄養士課程

- 上記４項目に加え、管理栄養士になって社会に貢献するという強い目的意識をもち、その目標に向かって継続的に努力できる
- 「食で人を健康に」という学科の命題に共感し、自他の健康の維持・増進ならびに疾病の予防・改善に強い関心がある

健康実践栄養士課程

- 上記４項目に加え、栄養士とのダブルライセンスを活用して社会に貢献するという強い目的意識をもち、その目標に向かって継続的に努力できる
- 「食で人を健康に」という学科の命題に共感し、自他の健康の維持・増進ならびに食生活の改善・発展に強い関心がある

帝塚山学院大学生の10のちから
（21・20年度入学生）

本学では、学部生を対象に、卒業時達成目標として「帝塚山学院大学生の 10 のちから」を定めています。これは、ディプロマ・ポリシーに基づいて、卒業までにどのような力が身についたのかを多面的に評価するために定義しています。

帝塚山学院大学生の10のちから

「帝塚山学院大学生の 10 のちから」は、下表のとおりです。これらのちからは、授業や課外活動など大学生活全般を通して身につけることを目標としています。どの授業でどのちからを特に身につけられるかは、シラバスや学位プログラム（各学科・課程の教育課程）ごとのカリキュラム・マップで示されています。

ディプロマ・ポリシー	10 のちから	ちからの説明
Ⅰ 市民としての教養と多様性への理解を身につけていること。	教養力	現代を生きる社会人としての教養と知識・技能を修得し、活用できる
Ⅱ 専門的素養を身につけていること。	専門力	学位プログラム（各学科・課程の教育課程）の専門知識・技能を修得し、活用できる
Ⅲ 論理的に考え、的確に表現する力を身につけていること。	情報収集・分析力	多様な情報源から、確かな情報を集めて、分析し活用できる
	論理的思考・表現力	論理的に考え、結論を導いたり、あるいは、複雑な事柄を分かりやすく説明したりできる
Ⅳ 他者と協働し、課題を解決する力を身につけていること。	コミュニケーション力	他者に自分の意見を適切に伝えることができ、互いに理解しあって、信頼関係を築いて協働できる
	問題解決力	問題解決において、その方法を主体的に考え、工夫しながら解決に導ける
Ⅴ 自らを理解し、目標を立て、実現に向けて、持続的に取り組むことができること。	自己理解力	自分自身を客観的･冷静にとらえて、自分の特徴、強みや弱みを理解し、成長目標を立てられる
	主体的行動力	学修場面、あるいは日常生活において、主体的に目標・目的をたて、挑戦・実行し、最後までやり抜ける
Ⅵ 公共性と倫理性を持ち、社会・地域に貢献する意欲があること。	倫理性と自律力	社会人として必要な倫理性を備えながら、自律した一人の人間として社会に参画できる
	地域貢献力	社会・地域の課題や状況を理解し、その解決と発展のために積極的に関与できる

ディプロマ・ポリシールーブリック

1．ディプロマ・ポリシールーブリック

ディプロマ・ポリシールーブリックは、「帝塚山学院大学生の 10 のちから」の達成度を測り、４年間の学修到達目標の水準を表すものです。このルーブリックは、学修の目標として、また自分の学びの進行状況を把握し、不足しているちからを強化したり、得意なちからを伸ばしたりするためのツールとして活用してください。

ちから	レベル４	レベル３（学位授与の基準）	レベル２	レベル１
教養力	学位プログラムに基づく基盤教育科目を体系的に履修し、卒業に必要な単位数を修得するとともに、学修内容に対して自分の知見や考えを持ち、社会人としての教養と知識・技能を活用できる。	学位プログラムに基づく基盤教育科目を体系的に履修し、卒業に必要な単位数を修得するとともに、社会人としての教養と知識・技能を身につけている。	学位プログラムに基づく基盤教育科目について、必修科目を修得し、基本的な一般的知識・技能を身につけている。	学位プログラムに基づく基盤教育科目について、初年次に配当された基礎的科目を修得している。
専門力	学位プログラムに基づく専門科目を体系的に履修し、卒業に必要な単位数を修得するとともに、学修した専門知識・技能を活用した研究を発表できる。	学位プログラムに基づく専門科目について体系的に履修し、卒業に必要な単位数を修得するとともに、社会人として生かしていける専門知識・技能を身につけている。	学位プログラムに基づく専門科目について、興味のある科目や属する学年の必修科目を修得し、基本的な知識・技能を身につけている。	学位プログラムに基づく専門科目について、初年次に配当された基礎的科目を修得している。
情報収集・分析力	Ⅰ 幅広い情報源から、最適で確かな情報を集め、情報を整理・統合・分析して論理的思考につなげられる。 Ⅱ 情報を整理・統合・分析するために各種ソフトを効果的に活用できる。	Ⅰ 複数の手法で情報を収集し、整理・統合できる。 Ⅱ 情報を整理・統合するために、各種ソフトを活用できる。	Ⅰ 複数の手法で情報を収集し、要点を整理できる。 Ⅱ ICT 機器や主要ソフトを用いて、文書やプレゼンファイルとして情報収集・整理結果を示せる。	Ⅰ 具体的な指示に従って、情報を収集できる。 Ⅱ ICT 機器や主要ソフトの基本的操作ができる。
論理的思考・表現力	Ⅰ 複雑な事象に対して、根拠を重ねて論理的に考え、一定の説得力をもった自らの結論を導ける。 Ⅱ 複雑な事柄について、問題の詳細と自分の知見や考えを、論理的かつわかりやすく表現できる。	Ⅰ やや複雑な事象に対して、根拠に基づいた論理的な意見や判断を導ける。 Ⅱ やや複雑な事柄について、問題の概要と自分の知見や考えを、わかりやすく表現できる。	Ⅰ 事実や他者の意見を根拠として示しつつ、意見や判断を示せる。 Ⅱ 文章表現・口頭表現のルールに従って、身近な事柄について、問題の概要と自分の知見や考えを整理して表現できる。	Ⅰ ものごとを客観的に捉え、事実と意見を区別できる。 Ⅱ 文章表現・口頭表現のルールに従って、身近な事柄について自分の知見や考えを表現できる。
コミュニケーション力	今後の社会生活で直面する諸場面で、異なる文化や価値観の人々と、互いに理解しあって、信頼関係を築き協働していく素地ができている。	他者に自分の意見を適切に伝えることができ、互いに理解しあって、信頼関係を築いて協働できる。	他者と意見を交わしながら、一定の目的に向かって協働できる。	他者の発言を聞いた上で、自分の意見を伝えられる。
問題解決力	今後の社会生活で直面する諸場面で、課題解決の方法を主体的に考えて実行し、自己評価をもとに改善していく素地ができている。	学修場面、あるいは日常生活での課題に対して、その解決方法を主体的に考えて実行し、結果を自己評価できる。	学修場面、あるいは日常生活での課題に対して、その解決方法を考え、実行できる。	学修場面、あるいは日常生活での課題に対して、その解決方法を考え、提案できる。
自己理解力	今後の社会生活で直面する諸場面で、自分自身を常に客観的・冷静にとらえ、自己理解のもとに成長目標を見直していく素地ができている。	経験をもとに自分自身を客観的・冷静にとらえて、自分の特徴、強みや弱みを理解し、これからの成長目標を立てられる。	自分の特徴、強みや弱み、自身の成長を実際の経験を基に他者に説明できる。	授業や学内外の活動を通じて、自らの興味関心や特徴、長所や短所について自分なりに把握している。
主体的行動力	今後の社会生活で直面する諸場面で、主体的に目標・目的をたて、挑戦・実行し、最後までやり抜いていく素地ができている。	学修場面、あるいは日常生活で、主体的に目標・目的をたて、挑戦・実行し、最後までやり抜ける。	学修場面、あるいは日常生活で、やらなければならないことを、自主的に計画を立て、実行できる。	学修場面、あるいは日常生活で、やらなければならないことを、自主的に実行できる。
倫理性と自律力	今後の社会生活において、社会のルールを理解した上で、自身の倫理的視点を常に意識し、自律した一人の人間として、様々な場面における判断・行動に反映していく素地ができている。	社会のルールを理解した上で、自身の倫理的視点を常に意識し、自律的に個々の場面における判断・行動に反映できる。	自身が取るべき行動規範について考え、倫理的視点と結びつけて説明できる。社会のルールを理解し、自分を律して、様々な場面において TPO に合わせた言葉遣いや態度を取れる。	現在自身が持っている倫理的視点について説明できる。自分を律して、大学生活や受講のマナーを理解し守れる。
地域貢献力	今後の社会生活において、社会・地域の課題や状況を理解し、その解決と発展のために積極的に関与する意欲と行動力を備えている。	社会・地域の諸問題について、他者と協力しながら、その解決と発展のために積極的に関与できる。	身近な範囲の問題や課題を解決するために、他者と関わって行動できる。	身近な範囲の問題や課題に気づき、その解決策を考える意欲がある。

テヅカポートフォリオの作成と活用

1．テヅカポートフォリオとは（自分自身を知ることによる学びの振り返り）

「テヅカポートフォリオ」は、学生のみなさんが入学から卒業までの大学生活を振り返り、各種の成果を収集・記録するための Web システムです。

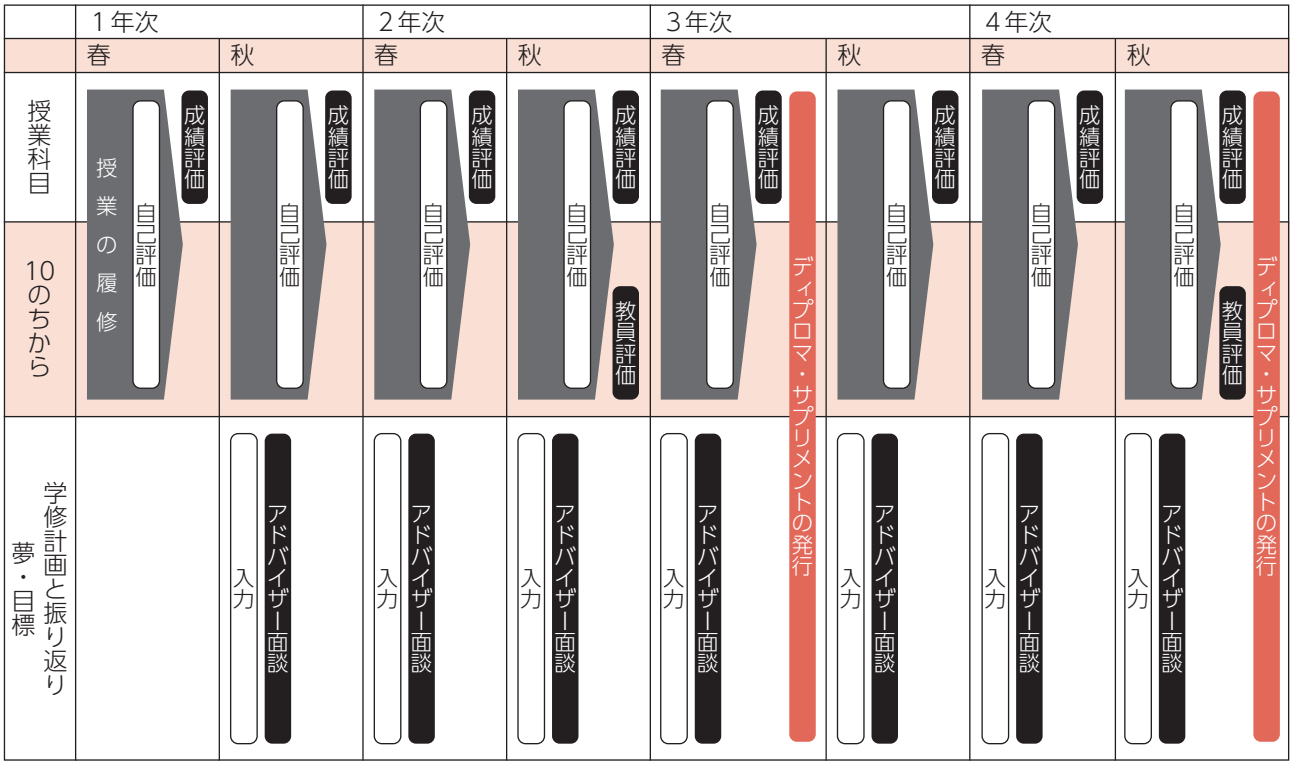
「テヅカポートフォリオ」に学修成果を蓄積することで、大学生活を通じてどの程度成長したかを見える化し、効果的に振り返ることができます。

テヅカポートフォリオに自身で入力し、蓄積するもの
- 自らが設定する目標、設定した目標の振り返り
- インターンシップ、実習、ボランティアやクラブ活動など、大学生活で自身が成長したと感じる活動
- ディプロマ・ポリシールーブリックに基づく「帝塚山学院大学生の 10 のちから」達成度
- 履修登録した授業の到達目標に対する自己評価

テヅカポートフォリオに履修登録や単位修得などによって、蓄積されるもの
- これまでに自分が修得した科目によって身についたちからの状況
- 入学年度、学科が同じ学生の成績分布と自分の成績位置
- 大学で受験した資格合格状況や模擬試験などの成績推移

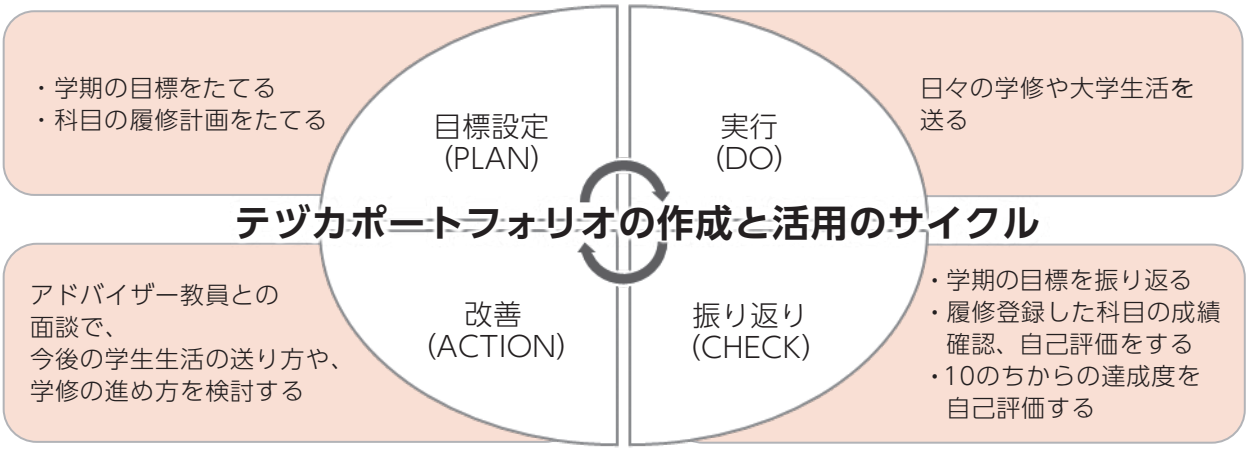
2．テヅカポートフォリオの作成スケジュール

「テヅカポートフォリオ」は、大学生活において自律的に学修することを目的に、4年間を通じて作成します。半期に一度、履修した科目の到達目標に対する達成度を自己評価し科目毎に振り返りを行うとともに、帝塚山学院大学生の 10 のちからの到達度についてルーブリックを用いて自己評価します。各学期の初めには、自身の目標の確認や、学修計画と前学期の学修についての振り返りを行います。



3. テヅカポートフォリオを活用したPDCAサイクル（面談や発表による学びの振り返りと改善）

「テヅカポートフォリオ」の入力情報などを踏まえて、学生とアドバイザー教員が面談します。面談を通して、これまでの学修過程の振り返りと、次の学びに向けて、学生一人ひとりの目標達成のための学生生活の送り方や勉強の進め方をアドバイザー教員と一緒に検討します。



PDCAサイクルとは（ピーディシーエー）

Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の４つのステップで、循環して物事を行うことを、それぞれの頭文字を取ってPDCAサイクルと呼んでいます。PDCAサイクルに基づいて行動することで、効果的に目標達成を目指すことができます。

①PLAN　目標を立て、その目標を達成するための計画を作る。
②DO　立てた目標に基づき実行する。
③CHECK　良かった点や悪かった点など結果を振り返り、その理由を分析する。
④ACTION　「より良くするにはどこを強化すれば良いのか」「何をどのように変えれば良いのか」を具体化・明確化し、次の計画につなげる

4. ディプロマ・サプリメントの発行

「テヅカポートフォリオ」に蓄積された学修成果を元に、３・４年次に「ディプロマ・サプリメント」を発行します。ディプロマ・サプリメントは、大学生活を通じた学修の成果について成績証明書とは異なる形式で補助的に説明することを目的としています。ディプロマ・ポリシーの到達度や学位プログラム（各学科の教育課程）で目標とする力とその達成度（GPA・GPT）、学修内容と成果について記載しており、学生一人ひとりの学修の成果を学生自身や社会に対してわかりやすく可視化します。

帝塚山学院大学の教育方針（3つのポリシー）（19・18年度入学生）

教育理念

本学は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、『力の教育』、すなわち意志の力、情の力、知の力、躯幹の力を含む全人教育を以て有為な人材を社会に送り出すという帝塚山学院建学の精神を継承しながら、豊かな教養を身につけ自学自習の教育によって求知心を育み、社会に貢献し得る品性高い人材を養成することを目的とする。

目指すべき人材像

建学の精神「力の教育」「自学主義」に基づき鍛えられた「社会貢献への意思と力」、そしてレジリエンスと気品をそなえた人物

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

リベラルアーツ学部
リベラルアーツ学科

リベラルアーツ学科は、以下の能力や知識・技能を有していることを学位授与の基準とする。

（関心・意欲・態度）

1. 社会を広い視野から理解し、社会に貢献する意欲と行動力を備えていること。（社会貢献力）
2. 目標実現に向けて、自分自身を冷静・客観的に理解する力を持っていること。（自己理解力）
3. 心身両面の健康性、ストレス・マネージメントの知識と実践力を持っていること。（健康管理力）
4. 組織の中で、自らの役割を認識し、仲間と協調できる力を持っていること。（協調性）
5. 主体的に問題や課題に取り組み、解決に向けて、自主的に行動できる力を持っていること。（主体的行動力）
6. 社会で活躍できるための基本的なマナーを身につけていること。（社会的マナー）
7. 日本と世界の文化、歴史への関心を持ち、それらを学ぶことへの意欲があること。
8. 外国語を学ぶことへの意欲があること。
9. ことばや造形手段を用いて表現する意欲があること。

（思考・判断・表現）

1. 論理的で明瞭な思考と冷静な判断ができる力を持っていること。（論理的思考力）
2. 自分の考えや思いを表現する力を持っていること。（自己表現力）
3. 社会の問題に対して、PDCA サイクルで行動できる力を持っていること。（問題解決力）
4. 資料を批判的に検証し、事実を解き明かしていけること。

（技能（表現））

1. 日本語で、自分の考えを口頭や文章でわかりやすく表現、討論できる力を持っていること。（日本語力）
2. 英語を用いて、コミュニケートする力を持っていること。（英語力）
3. 情報機器などに対する操作スキルを有し、諸問題に ICT を活用できる力を持っていること。（情報リテラシー）
4. 外国語を使って自分を表現し、日本語非母語話者とコミュニケーションができること。
5. さまざまな手法を使って造形作品を創作できること。
6. 日本語を使って文学作品を創作できること。
7. 外国語や古語で書かれた文章を翻訳・解釈できること。

（知識・理解）

1. 人文・社会・自然分野などでの一般的知識、教養を持っていること。（一般教養力）
2. 社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会や課題を理解する力を持っていること。（社会理解力）
3. 人間、文化、社会の諸問題を科学的に捉える力を備えていること。（科学的理解力）

4. 日本の文化、歴史について深い知識と理解を有していること。
5. 文学作品や芸術作品を読み解き、深く理解できること。
6. 外国の文化と歴史について知識を持ち、それに基づいて公正な理解ができること。
7. 現代の文化への広い知識を持ち、それらを柔軟に理解できること。
8. 子どものための文学、絵本、マンガ、アニメーションの歴史と現状についての知識を持ち、それらの特質を理解していること。

人間科学部

キャリア英語学科

キャリア英語学科は、実践的な英語力を身につけ、「仕事」に活かすことのできる人材の養成を目的としている。そのため、以下の能力や知識・技能を有していることを学位授与の基準とする。

（関心・意欲・態度）

1. 社会を広い視野から理解し、社会に貢献する意欲と行動力を備えていること。（社会貢献力）
2. 目標実現に向けて、自分自身を冷静・客観的に理解する力を持っていること。（自己理解力）
3. 心身両面の健康性、ストレス・マネージメントの知識と実践力を持っていること。（健康管理力）
4. 組織の中で、自らの役割を認識し、仲間と協調できる力を持っていること。（協調性）
5. 主体的に問題や課題に取り組み、解決に向けて、自主的に行動できる力を持っていること。（主体的行動力）
6. 社会で活躍できるための基本的なマナーを身につけていること。（社会的マナー）
7. 異文化に関心を持ち、英語の能力を生かして世界で活躍しようとする意欲があること。

（思考・判断・表現）

1. 論理的で明瞭な思考と冷静な判断ができる力を持っていること。（論理的思考力）
2. 自分の考えや思いを表現する力を持っていること。（自己表現力）
3. 社会の問題に対して、PDCA サイクルで行動できる力を持っていること。（問題解決力）
4. ビジネスキャリアや教育キャリアの領域において、問題解決する方法やプロセスを理解していること。

（技能（表現））

1. 日本語で、自分の考えを口頭や文章でわかりやすく表現、討論できる力を持っていること。（日本語力）
2. 英語を用いて、コミュニケートする力を持っていること。（英語力）
3. 情報機器などに対する操作スキルを有し、諸問題に ICT を活用できる力を持っていること。（情報リテラシー）
4. 国際化が進む社会や英語教育の場で活躍するための英語運用能力が身についていること。
5. 社会で必要となる職務遂行能力と業務処理能力、及び各種技能が身についていること。

（知識・理解）

1. 人文・社会・自然分野などでの一般的知識、教養を持っていること。（一般教養力）
2. 社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会や課題を理解する力を持っていること。（社会理解力）
3. 人間、文化、社会の諸問題を科学的に捉える力を備えていること。（科学的理解力）
4. 英語教育に関する専門知識を身につけていること。
5. 国際ビジネス、サービスビジネスに関する専門知識を身につけていること。

情報メディア学科

情報メディア学科は、以下の能力や知識・技能を有していることを学位授与の基準とする。

（関心・意欲・態度）

1. 社会を広い視野から理解し、社会に貢献する意欲と行動力を備えていること。（社会貢献力）
2. 目標実現に向けて、自分自身を冷静・客観的に理解する力を持っていること。（自己理解力）

3. 心身両面の健康性、ストレス・マネージメントの知識と実践力を持っていること。（健康管理力）
4. 組織の中で、自らの役割を認識し、仲間と協調できる力を持っていること。（協調性）
5. 主体的に問題や課題に取り組み、解決に向けて、自主的に行動できる力を持っていること。（主体的行動力）
6. 社会で活躍できるための基本的なマナーを身につけていること。（社会的マナー）
7. 情報機器、マルチメディア、コンテンツ作成などに関心を持っていること。
8. ソーシャルメディアなど情報社会の問題に関して関心を持っていること。

（思考・判断・表現）
1. 論理的で明瞭な思考と冷静な判断ができる力を持っていること。（論理的思考力）
2. 自分の考えや思いを表現する力を持っていること。（自己表現力）
3. 社会の問題に対して、PDCA サイクルで行動できる力を持っていること。（問題解決力）
4. 情報収集・整理・分析し、自らの考えを情報発信できること。

（技能（表現））
1. 日本語で、自分の考えを口頭や文章でわかりやすく表現、討論できる力を持っていること。（日本語力）
2. 英語を用いて、コミュニケートする力を持っていること。（英語力）
3. 情報機器などに対する操作スキルを有し、諸問題に ICT を活用できる力を持っていること。（情報リテラシー）
4. 情報システムや情報通信ネットワークの構築のための技能を有すること。
5. Web デザイン、映像などのコンテンツ制作のための技能を有すること。

（知識・理解）
1. 人文・社会・自然分野などでの一般的知識、教養を持っていること。（一般教養力）
2. 社会や文化に関心を持ち、多角的視点からと現実社会や課題を理解する力を持っていること。（社会理解力）
3. 人間、文化、社会の諸問題を科学的に捉える力を備えていること。（科学的理解力）
4. 情報機器及び情報処理のしくみに対する知識を有すること。
5. 情報システムや情報通信ネットワークに対する知識を有すること。
6. 画像、デザイン、サウンド、映像などのコンテンツ制作の知識を有すること。
7. 情報やメディアの特徴を理解し、表現法に対する知識を有していること。

心理学科

心理学科は、以下の能力や知識・技能を有していることを学位授与の基準とする。

（関心・意欲・態度）
1. 社会を広い視野から理解し、社会に貢献する意欲と行動力を備えていること。（社会貢献力）
2. 目標実現に向けて、自分自身を冷静・客観的に理解する力を持っていること。（自己理解力）
3. 心身両面の健康性、ストレス・マネージメントの知識と実践力を持っていること。（健康管理力）
4. 組織の中で、自らの役割を認識し、仲間と協調できる力を持っていること。（協調性）
5. 主体的に問題や課題に取り組み、解決に向けて、自主的に行動できる力を持っていること。（主体的行動力）
6. 社会で活躍できるための基本的なマナーを身につけていること。（社会的マナー）
7. 人間の心や行動、社会的現象に関して強い関心を持ち、それらについて主体的に理解しようとする態度を身につけていること。
8. 他者に共感し思いやりや配慮ができること。
9. 人間福祉・健康の増進への意思と倫理観をもっていること。

（思考・判断・表現）
1. 論理的で明瞭な思考と冷静な判断ができる力を持っていること。（論理的思考力）
2. 自分の考えや思いを表現する力を持っていること。（自己表現力）
3. 社会の問題に対して、PDCA サイクルで行動できる力を持っていること（問題解決力）

4. 人間の心や行動・社会の諸現象を心理学の立場から分析・判断し、それらを文書で表現し、発表できること。
5. 心理学的な仮説を立て、それを検証するための研究計画を立案・実行し、データを分析し考察できること。

（技能（表現））

1. 日本語で、自分の考えを口頭や文章でわかりやすく表現、討論できる力を持っていること。（日本語力）
2. 英語を用いて、コミュニケートする力を持っていること。（英語力）
3. 情報機器などに対する操作スキルを有し、諸問題に ICT を活用できる力を持っていること。（情報リテラシー）
4. 心理・行動分析のための情報処理リテラシーを身につけていること。
5. 他者との共同の中で、自分の考えや研究・活動成果を論理的に説明し表現する力、スキルを身につけていること。
6. 心理学の知見に基づいたコミュニケーション能力や人間関係を形成する能力を身につけていること。

（知識・理解）

1. 人文・社会・自然分野などでの一般的知識、教養を持っていること。（一般教養力）
2. 社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会や課題を理解する力を持っていること。（社会理解力）
3. 人間、文化、社会の諸問題を科学的に捉える力を備えていること。（科学的理解力）
4. 人間の心理・行動・社会の諸現象を心理学的に理解するための知識を十分に習得していること。
5. 人間の心理・行動を分析するための科学的・統計的知識を有していること。
6. 自らの進路に即した知識を見極め、社会で活躍するための素地を身につけていること。

食物栄養学科　管理栄養士課程

食物栄養学科管理栄養士課程は、以下の能力や知識・技能を有していることを学位授与の基準とする。

（関心・意欲・態度）

1. 社会を広い視野から理解し、社会に貢献する意欲と行動力を備えていること。（社会貢献力）
2. 目標実現に向けて、自分自身を冷静・客観的に理解する力を持っていること。（自己理解力）
3. 心身両面の健康性、ストレス・マネージメントの知識と実践力を持っていること。（健康管理力）
4. 組織の中で、自らの役割を認識し、仲間と協調できる力を持っていること。（協調性）
5. 主体的に問題や課題に取り組み、解決に向けて、自主的に行動できる力を持っていること。（主体的行動力）
6. 社会で活躍できるための基本的なマナーを身につけていること。（社会的マナー）
7. 意欲的、積極的に学修ができ、継続性が伴うこと。
8. ヒトの健康に関わる問題に深い関心を持ち、強い意欲を持って食物や栄養の観点からその問題解決を積極的に進めることができること。
9. 医療･保健福祉施設などの現場では、相手の立場に配慮し、深い思慮を持って物事を進めることができること。

（思考・判断・表現）

1. 論理的で明瞭な思考と冷静な判断ができる力を持っていること。（論理的思考力）
2. 自分の考えや思いを表現する力を持っていること。（自己表現力）
3. 社会の問題に対して、PDCA サイクルで行動できる力を持っていること。（問題解決力）
4. 医学を含めた科学的知識を通して、問題解決にあたることが出来る思考・判断力を有していること。
5. NST などの医療チームの中で､各自の役割を把握し､協調性をもってその場に適した思考･判断ができること。
6. 栄養管理などにおいては、的確・確実な指導が出来る思考・判断力を有すること。
7. 給食大量調理などにおいては、栄養ならびに経済に関わる緻密な思考・判断力を有すること。
8. 食品の生育・生産から、加工・調理を経て、人に摂取されるまでの過程について、人体に対しての栄養面や安全面などへの影響を考え、評価をすることができること。

（技能（表現））
1. 日本語で、自分の考えを口頭や文章でわかりやすく表現、討論できる力を持っていること。（日本語力）
2. 英語を用いて、コミュニケートする力を持っていること。（英語力）
3. 情報機器などに対する操作スキルを有し、諸問題に ICT を活用できる力を持っていること。（情報リテラシー）
4. 問題解決にあたり、科学的な知識・技術を駆使し、相手に説明できる表現力を有すること。

（知識・理解）
1. 人文・社会・自然分野などでの一般的知識、教養を持っていること。（一般教養力）
2. 社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会や課題を理解する力を持っていること。（社会理解力）
3. 人間、文化、社会の諸問題を科学的に捉える力を備えていること。（科学的理解力）
4. 食物と栄養に関わる十分な知識を有し、それらを応用・適用することができること。
5. 身の回りにある食物や栄養に関する諸事を把握し、その内容を理解することにより情報の真偽を判断することができること。

食物栄養学科　健康実践栄養士課程

食物栄養学科健康実践栄養士課程は、以下の能力や知識・技能を有していることを学位授与の基準とする。

（関心・意欲・態度）
1. 社会を広い視野から理解し、社会に貢献する意欲と行動力を備えていること。（社会貢献力）
2. 目標実現に向けて、自分自身を冷静・客観的に理解する力を持っていること。（自己理解力）
3. 心身両面の健康性、ストレス・マネージメントの知識と実践力を持っていること。（健康管理力）
4. 組織の中で、自らの役割を認識し、仲間と協調できる力を持っていること。（協調性）
5. 主体的に問題や課題に取り組み、解決に向けて、自主的に行動できる力を持っていること。（主体的行動力）
6. 社会で活躍できるための基本的なマナーを身につけていること。（社会的マナー）
7. 食品・食文化に関する基礎的な知識を身につけていること。

（思考・判断・表現）
1. 論理的で明瞭な思考と冷静な判断ができる力を持っていること。（論理的思考力）
2. 自分の考えや思いを表現する力を持っていること。（自己表現力）
3. 社会の問題に対して、PDCA サイクルで行動できる力を持っていること。（問題解決力）
4. 栄養士を基盤とした専門家として、人々の健康の保持増進に幅広く貢献するために、社会で直面する課題を深く考えぬき、論理的思考に基づいて適切な対策を立案できること。
5. 医学を含めた科学的な知識を通して、問題解決にあたることができる思考・判断力を持っていること。
6. 栄養管理などにおいて、的確・確実な指導ができる思考・判断力を持っていること。
7. 食品の生育・生産から、加工・調理を経て、人に摂取されるまでの過程について、人体に対しての栄養面や安全面などへの影響を考え、評価をすることができること。

（技能（表現））
1. 日本語で、自分の考えを口頭や文章でわかりやすく表現、討論できる力を持っていること。（日本語力）
2. 英語を用いて、コミュニケートする力を持っていること。（英語力）
3. 情報機器などに対する操作スキルを有し、諸問題に ICT を活用できる力を持っていること。（情報リテラシー）
4. 栄養士を基盤とした専門家として、自己管理能力、問題解決能力、指導力を発揮できること。
5. 栄養学の正しい知見、ならびに専門家として必要な調理理論と実践的調理技術を修得していること。
6. 商品・メニュー開発、飲食店の企画・運営をする理論や方法論・技術を修得していること。
7. 問題解決に向けて、科学的および栄養学的な知識･技術を駆使し、相手に説明できる表現力を持っていること。

（知識・理解）

1. 人文・社会・自然分野などでの一般的知識、教養を持っていること。（一般教養力）
2. 社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会や課題を理解する力を持っていること。（社会理解力）
3. 人間、文化、社会の諸問題を科学的に捉える力を備えていること。（科学的理解力）
4. 栄養士を基盤とした専門家に必要な専門的知識を持っていること。
5. 身の回りにある食物や栄養、運動に関する諸事を把握し、その内容を理解することにより情報の真偽を判断することができること。
6. 国際的な視点に立って、食生活や地域社会の課題を抽出し、解決方法を構想・提案できる能力を持っていること。
7. 食の専門家としての倫理観を持っていること。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

全学共通

帝塚山学院大学は、教育理念に従い、下記の方針の共通科目カリキュラムを提供している。

- 日本語力を養成するため、導入学習分野に必修科目を設置する。
- 情報化社会で必要な情報リテラシーを養成するため、情報処理分野に必修科目を設置する。
- グローバル社会の中で必要な英語力を養成するため、外国語分野で英語を必修科目とする。
- 自己表現力、主体的行動力、社会的マナーなどを養成するため、「基礎演習」を設置する。
- 社会貢献力、自己理解力、協調性、自己表現力などを養成するため、キャリア形成分野に必修科目を設置する。
- 一般教養力、科学的理解力などを養成するため、人文・社会・自然分野の科目を設置する。
- 健康管理力を養成するため、健康管理分野の科目を設置する。

リベラルアーツ学部

リベラルアーツ学科

リベラルアーツ学科は、下記の方針のカリキュラムを提供している。

- 総合教養教育としての「リベラルアーツ」とは何かを知り、本学科で学べることのあらましと意義などを理解できるよう「リベラルアーツ入門」を設置する。
- より専門的な内容でディスカッションやプレゼンテーションを行う能力を養うこと、論理的に思考して適切な判断を下すことや資料を批判的に検証して事実を解き明かすことなど、研究に必要な基本的態度を学ぶため、専攻ごとに「専門基礎演習」「専門応用演習」「卒業演習」などを必修科目として設置する。また、学んできたことの集大成を論文や作品の形にする「卒業研究」を置く。
- 現代日本語や古語で書かれた文学作品を読んでより深く理解できるように、概論の授業に加えて、「日本文学特講」「近代文学講読」「古典文学講読」「漢文学講読」「近代文学作品研究」「物語の心理学」などを設置する。
- ことばで表現する意欲を高め、日本語を使って文学作品を創作するスキルを身につけるため、「創作研究（ライトノベル／小説）」など専門家から指導が受けられる科目を設置する。
- 中学校・高等学校の国語科教員や図書館司書、日本語教員養成課程のため、日本文学に関する科目の他、「書道及び書道史」「日本事情」「社会と言語」「日本語と外国語」などを設置する。
- 日本の文化、歴史を学ぶ意欲を高め、史実と虚構の区別ができ、幅広い知識をもって柔軟で公正な理解ができるようになるため、概論や事例研究の科目に加え、「日本文化史」「日本伝統文化」「日本史特講」「近現代史」などを設置する。
- 外国語を学ぶ意欲を高め、外国語を使って自分を表現し、外国人とコミュニケーションができるように、共通科目の外国語分野に加え、「インテンシブ中国語／韓国語」「中国語／韓国語研究」などを設置し、さらに「留学準備講座」を経て、カリキュラム内で半年留学ができるようにする。
- 外国の文化と歴史についての知識を持ち、それに基づいて公正な理解ができるように、「現代中国事情」「中国の社会と文化」「現代韓国事情」「韓国の社会と文化」「現代日韓文化交流論」「日中韓異文化理解研究」「東アジア関係史」などを設置する。

・芸術作品について幅広い知識を身につけるため、美学や日本、東洋、西洋の美術史に関する概論に加え、「比較芸術論」「芸術情報論」「芸術文化論」「現代アート論」「映画論」などを設置する。
・さまざまな手法を使って造形作品を創作できるよう、グラフィックデザインの科目、「アート表現技法」「造形表現」「ワークショップ（造形基礎）」などを設置する。
・子どものための文学、絵本、マンガ、アニメーションの歴史と現状についての知識を持ち、それらの特質を理解するため、児童文学の概論、歴史、作品研究、講読などの科目に加え、「絵本論」「アニメーション論」「マンガ論」「児童信頼学」「創作研究（児童文学／絵本をつくる）」などを設置する。
・教室で学んだことを、実際に現地を訪れて観察・体験することで深く学べるよう、「フィールドスタディーズ」を設置し、専攻ごとに国内外で実施する。

人間科学部

キャリア英語学科

キャリア英語学科は、実践的な英語力を「仕事」に活かし、社会に貢献できる人材の養成を目的としている。そのため、下記の方針のカリキュラムを提供している。

・実践的な英語力を身につけて、英語運用能力を高めるため、プラクティカル・イングリッシュ・プログラムを基礎科目に設置する。
・TOEIC®TEST などの英語資格試験の攻略方法を実践的に学ぶため、プロフェッショナル・イングリッシュ・プログラムを基礎科目に設置する。
・学科の特色である英語圏での研修・留学を通してコミュニケーション力と異文化理解力を高めるため、グローバル・イングリッシュ・プログラムを基礎科目に設置する。
・キャリアを形成するために必要な基本知識とマナー、およびビジネスやサービスビジネスの基礎知識を学ぶため、基幹科目を設置する。
・国際ビジネスやサービスビジネスに必要な専門知識について学ぶとともに、英語で自分の考えを論理的に伝え、英語でのプレゼンテーションを学ぶためのビジネスキャリア系科目を展開科目に設置する。
・英語教育方法や教育技術を学ぶとともに、TOEIC®TEST などの英語資格試験の目標スコアを獲得するため、教育キャリア系科目を展開科目の中に設置する。
・少人数の教育環境で現状分析力、情報調査力、課題解決力、マネジメント力を身につけ、卒業研究を行うための演習科目を設置する。

情報メディア学科

情報メディア学科は、自分のめざす方向性にあわせて、以下の 3 つの系を横断的に学べるカリキュラムを提供している。

（情報ツール系）
・スマホやパソコンのソフト制作に対する知識やスキルを習得する。
・コンピュータや情報処理のしくみに対する知識を習得する。
・情報システムや情報通信ネットワークの構築に関する知識やスキルを習得する。

（情報コンテンツ系）
・画像、デザイン、サウンド、映像などの知識を習得する。
・Web デザイン、映像コンテンツなどの制作に必要な機器やソフトの操作を習得する。

（メディア・コミュニケーション系）
・ソーシャルメディアやマスコミに対する知識や新聞・放送・広告の特質を習得する。
・広告表現に対する知識と企画表現力を習得する。

心理学科

心理学科は、心理学の知識と技能、および健康科学・社会福祉の知識を習得し、現代社会における心の問題を全体的かつ多角的に把握するとともに、豊かな人間性をもって取り組むことのできる人材の養成を目的としている。そのために体系的・段階的かつ多様性をもったカリキュラムを提供している。

- カリキュラムの体系は、１回生必修の「心理学概論」で幅広い心理学領域に触れることから始まる。科学的な心理学の思考と方法を理解するために「心理学基礎実験」「心理調査概論」「心理学統計法Ⅰ」といった実験・調査・統計に関する科目を１回生時から設置する。
- ２回生以降の科目群を（１）認知・行動科学、（２）発達・健康科学、（３）臨床心理・犯罪心理という３つの大きな学びの分野で構築する。それぞれの分野では、順次、基礎から専門・発展的な科目へと段階を追って学べるように科目を編成する。
  （１）認知・行動科学分野では、「神経・生理心理学／知覚・認知心理学」「学習・言語心理学／行動心理学」を始めとして、人間の基本的な心的過程およびそれによって生じる行動について理解するための知識と、それを科学的に分析するための技法を学ぶ。
  （２）発達・健康科学分野では、「発達心理学」「健康・医療心理学」を始めとして、発達段階を追って人間を理解するとともに、心身の健康およびその形成プロセスを学ぶ。
  （３）臨床･犯罪心理学分野では、「臨床心理学概論」「感情･人格心理学」「心理的アセスメント」を始めとして、心の悩みや問題を理解し、専門的に対応するための知識と技法を習得するとともに、社会への不適応や問題行動、異常心理や精神病理の仕組みまでを学ぶ。
- ３回生以降の「専門演習」「卒業演習」（演習科目）において、それぞれの分野における専門的な知識を自らの興味関心に沿って深めるとともに、心理学的な研究と分析の方法を自主的・主体的に学ぶ。
- 理論的学習における一貫性を保つとともに学びの幅や多様性を確保するため、「文化人類学」「比較行動学」「地域援助論」および社会福祉分野の専門科目、健康スポーツの実践科目など、心理学近接領域の科目を２回生以降に配置する。
- 教職課程（養護教諭一種､中高一種＜保健＞）では､心と身体の両面にアプローチできる教員を育成するために、心理学科専門科目のうち、「教育・学校心理学」「臨床心理学概論」「心理演習」「精神医学」「心理学的支援法」などの科目の履修を強く勧めるとともに、以下のことが必須のカリキュラムである。
  - 学校保健・養護教育の基礎を学ぶ。
  - 看護学の基礎及び看護技術を身につける。
  - 基礎医学（解剖生理学、薬理学、微生物学など）について学ぶ。
  - 救急処置について理解し、救急対応を学ぶ。
  - 医療現場での実習で看護技術を身につける。

食物栄養学科　管理栄養士課程

食物栄養学科管理栄養士課程は、食と栄養を通して人々の健康の維持・増進、また疾病の予防・改善に貢献できる専門知識を体系的に学習するための専門基礎分野群と、さらに専門性を高めるための専門分野群を設けて専門教育の充実を図るカリキュラムを提供している。加えて、人間栄養学の基本に則って高度な対人栄養指導ができ、医療チームにおいては栄養管理ができる管理栄養士を育てるためのカリキュラムを提供している。さらに、研究能力や実践力を高めるためのカリキュラムを提供している。

また、「栄養」と「心理」・「情報」を学ぶことができるように、隣接分野の科目を選択科目として学習できるカリキュラムも提供している。

- 管理栄養士の基礎力となる人体の構造と機能を理解するため「解剖生理学」「生化学」「病理学」「運動生理学」などを、さらには社会・環境と健康との関わりを理解するため「公衆衛生学」「社会福祉論」などを専門基礎分野に設置する。
- 近隣の医学部付属病院の施設で「解剖学実習」を実施する。
- 管理栄養士の実践力となる「基礎栄養学」「応用栄養学」「臨床栄養学」「給食経営管理論」さらには「栄養教育論」「公衆栄養学」などを専門分野に設置する。
- 研究能力、自学自習や高度なプレゼンテーション能力を身につけるため、「卒業研究」「臨地実習」を必修科目として設置する。

・管理栄養士国家試験合格や卒業後の社会適応力を養成するため、「管理栄養士特別演習」を必修科目として設置する。
・栄養教諭、健康運動実践指導者、フードスペシャリストなどの資格、そして食品衛生管理者、食品衛生監視員などの任用資格も取得できるように、関連科目を設置する。
・各種現場における心の状況を把握するため、「健康心理学」「カウンセリング論」を専門分野に設置する。

食物栄養学科　健康実践栄養士課程

食物栄養学科健康実践栄養士課程は、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力や資質をのばすとともに、学生一人ひとりの能力を最大限に引き出し、それぞれの興味や関心に従って自己の進路を切り開く力をつけることができるようカリキュラムを提供している。

・栄養士としての基盤となる能力を培う専門分野科目では、生物学的な観点から人体の構造や生理を理解し、食品成分とその有効性を中心に学ぶ。
・実習科目や学外実習を配置して、栄養士としての能力を身につけて社会で活躍できる実践力を養う。
・健康運動、フードビジネスの領域科目を展開し、健康を多面的にとらえ、社会的、文化的生活の質の向上に貢献する能力を養う。
・目標として設定したキャリアの実現に向けて、種々の資格取得のためのカリキュラムや研究活動の基礎を学ぶ講座を配置する。
・演習科目は３年次の「専門演習」と４年次の「卒業演習」と「卒業研究」とを連続した科目とし､各自が研究テーマを設定して専門的な研究をすすめ、ディプロマ・ポリシーに示した能力や知識・技能を身につけることができるように導く。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

全学共通

帝塚山学院大学では、本学の教育理念を十分に理解しているとともに、幅広く深い教養と豊かな人間性を育むうえでの基礎的な学力ならびに、各学科のディプロマ･ポリシー、カリキュラム･ポリシーに基づく専門教育へのレディネスを備えていることを入学者選抜の基準とする。

リベラルアーツ学部
リベラルアーツ学科

リベラルアーツ学科では、本学科の教育目標・内容を理解し、それにふさわしい基礎学力を有することを入学者選抜の基準とする。

「求める学生像」を次のとおり定める。

・幅広く深い教養と豊かな人間性を育み、言語力及び情報リテラシー力を身につけ、地域社会及び国際社会に貢献したいという意欲を持っていること。

人間科学部
キャリア英語学科

キャリア英語学科では、グローバル化、情報化する現代社会において、実践的な英語力を「仕事」に活かし、社会に貢献できる人材の養成を目的としている。そのため、英語力を中心とする基礎学力を有することを入学者選抜の基準とする。

「求める学生像」を次のとおり定める。

・英語に興味を持ち、英語を伸ばしたい学生。
・「英語」を活用した職業をめざしグローバル社会で活躍したい学生。
・中学校・高等学校の英語科教員志望の学生。
・海外研修・留学・インターンシップを体験し、国際感覚を身につけたい学生。

情報メディア学科

情報メディア学科では、情報メディアの特徴や特性を理解し、そのさまざまな活用法を通して、新しい情報社会を創造していく人材の養成を目的としている。そのため、それにふさわしい基礎学力を有することを入学者選抜の基準とする。

「求める学生像」を次のとおり定める。

- スマホ、パソコン、ネットを道具として活用することに興味があること。
- 画像、サウンド、デザイン、映像などのコンテンツ制作や Web を活用した情報発信に興味があること。
- ソーシャルメディアと放送・報道・広告の融合や将来の情報メディアのあり方に関心があること。

心理学科

心理学科では、高等学校までの教育課程を修得し、心理学を学び始めるための基礎学力を有することを入学者選抜の基準とする。

「求める学生像」を次のとおり定める。

- 客観的に物事を考えられること。
- 相手の立場に立って、自らの考えを伝えられること。
- 体験的に学ぶ姿勢を持ち、自ら進んで挑戦することができること。
- 人のこころに対する関心と探究心を持っていること。

食物栄養学科　管理栄養士課程

食物栄養学科管理栄養士課程では、「食」、「栄養」に関する高度な専門的知識と総合的なマネジメント力を有し、医療施設、介護保健・福祉施設、保育園・学校・企業などの給食施設、保健所・保健センターなどで管理栄養士として活躍できる人材の養成を目的としている。そのために、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに定める本課程の教育内容を十分に理解し、配置されている専門基礎科目ならびに専門科目を学び、活用していくうえでの基礎学力を有することを入学者選抜の基準とする。

「求める学生像」を次のとおり定める。

- 知的好奇心に満ち、常に向上心をもって知識の吸収に積極的であること。
- 管理栄養士の資格取得というしっかりとした目的意識を持っていること。
- 食と健康、社会・環境と健康との関わりに興味があり、健康の維持・増進ならびに疾病予防・改善に強い関心があること。
- 管理栄養士の職を通して、食・栄養・健康・医療・福祉などの分野で社会に貢献しようという意欲と熱意を持っていること。
- 栄養教諭の職を通して、児童生徒の発育・成長に関する食育に貢献しようという意欲と熱意を持っていること。
- 食品衛生監視員や食品衛生管理者の資格を持って、各種施設・現場での食品衛生・管理に貢献しようという意欲と熱意を持っていること。

食物栄養学科　健康実践栄養士課程

食物栄養学科健康実践栄養士課程では、本課程の教育目標・内容を理解し、それにふさわしい基礎学力を有することを入学者選抜の基準とする。

「求める学生像」を次のとおり定める。

- 知的好奇心に満ち、常に向上心をもって知識の吸収に積極的であること。
- 栄養士およびその他の資格取得というしっかりとした目的意識を持っていること。
- 栄養教諭の職を通して、子ども達の発育・成長に関する食育に貢献しようという意欲と熱意を持っていること。
- 栄養、調理、料理など、食べることや作ることに興味を持ち、食文化の世界に魅力を感じていること。
- 食生活と食文化のスペシャリストとしてフードビジネスや食のメディアの世界で実力を持って活躍しようという意欲と熱意を持っていること。
- 運動（スポーツ）に詳しい栄養士として、健康支援活動の場で活躍したいという意欲と熱意を持っていること。
- 食品の開発や安全管理に興味を持ち、企業活動の場で活躍したいという意欲と熱意を持っていること。

履 修 の 手 引 き

履修の手引き

1．授業科目

1．授業科目

教育課程は､大きくは「基盤教育科目（21・20 年度入学生)」または「共通科目（19・18 年度入学生)」と「学科専門科目」に区分されています。さらに、自由科目として「資格専門科目」が加わります。

2．必修・選択の別

必　修　科　目：必ず履修し、単位を修得しなければならない科目
選択必修科目：指定された範囲から所定の科目を履修し、単位を修得しなければならない科目
選　択　科　目：指定された範囲から自由に選択し、所定単位を修得する科目
自　由　科　目：合格すれば単位が修得できるが、卒業要件単位数には算入されない科目
（資格専門科目）

2．単位と学修時間（単位の考え方）

単位とは、科目を修得するために必要な学修量（時間）を数値で表したものです。授業時間だけではなく、授業時間外の学習も含みます。本学では、45 時間の学修時間をもって 1 単位と定めています。

1 単位	＝	授業時間	＋	授業時間外の学習	＝	45 時間

準備学習や復習など、授業時間外の自主的な学習が必要であることを意識して授業に臨んでください。

【単位の考え方の例】

授業形態	授業時間	授業時間外の学習	学修時間
2 単位の 講義科目、演習科目	30 時間	60 時間	90 時間
1 単位の 演習科目、実験・実習科目	30 時間	15 時間	45 時間

※授業時間は 100 分× 14 週をもって 30 時間とみなします。
※連続授業科目や通年科目については、上記を倍にして考えてください。

3．卒業に必要な単位数と年間に履修できる単位数

1．卒業に必要な単位数

大学を卒業するためには、各学部・学科ごとに定める教育課程に従って授業科目を履修し、以下に示す所定の単位以上を修得しなければなりません。詳細は、所属学科の「教育課程（カリキュラム)」を参照してください。

【卒業に必要な総単位数】

学部・学科		21・20 年度入学生
リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科	124 単位
人間科学部	心理学科	124 単位
	食物栄養学科	128 単位

学部・学科		19・18 年度入学生
リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科	124 単位
人間科学部	キャリア英語学科	124 単位
	情報メディア学科	124 単位
	心理学科	124 単位
	食物栄養学科	128 単位

2．年間に履修できる単位数（キャップ（CAP）制）

本学では、履修登録単位数の上限（CAP 制）を設けています。CAP 制とは、授業科目の単位修得に必要な学修時間を確保する観点から、1 年間に履修登録できる単位数の上限を設ける制度です。

【年間に履修できる単位数】

学部・学科		21・20 年度入学生
リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科	48 単位　※
人間科学部	心理学科	48 単位　※
	食物栄養学科	50 単位
備考		卒業年次生も含めた全回生が対象

学部・学科		19・18 年度入学生
リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科	48 単位　※
人間科学部	キャリア英語学科	48 単位　※
	情報メディア学科	48 単位　※
	心理学科	48 単位　※
	食物栄養学科	50 単位
備考		卒業年次生も含めた全回生が対象

※前年度末または前学期末までの累計 GPA が 3.50 以上の場合は、年間に履修できる単位数の上限を緩和し、50 単位以内とします。

履修登録上限単位数に含まれない科目
- 自由科目（資格専門科目）
- 「カレッジコミュニティ」（21・20 年度入学生）
- 「現地講義」「短期韓国語研修」「短期英語研修」（21・20 年度リベラルアーツ学部入学生）
- 「インターンシップ」
- 「学校インターンシップ」
- 「Off-Campus Studies」（19・18 年度入学生）
- 「フィールドスタディーズ」（リベラルアーツ学部）
- 「短期英語研修」「キャリア英語フィールドワーク」（人間科学部キャリア英語学科）
- 単位互換制度による他大学開設科目

3．必修演習科目の履修条件

3 回生、4 回生配当の必修演習科目の履修には、以下の条件を満たす必要があります。

なお、4 回生配当の必修演習科目の履修は、原則として 3 回生配当の必修演習科目を修得済みであることが前提条件です。（※）

学部・学科		21・20 年度入学生	
		3 回生配当必修演習科目 履修条件	4 回生配当必修演習科目 履修条件（※）
リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科	48 単位以上を 修得していること、および 原則として「リベラルアーツ入門」「日本語表現法」 を修得していること。	設定せず
人間科学部	心理学科	48 単位以上を 修得していること	設定せず
	食物栄養学科 管理栄養士課程	70 単位以上を 修得していること	90 単位以上を 修得していること
	食物栄養学科 健康実践栄養士課程	70 単位以上を 修得していること	90 単位以上を 修得していること

学部・学科		19・18 年度入学生	
		3 回生配当必修演習科目 履修条件	4 回生配当必修演習科目 履修条件（※）
リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科	「リベラルアーツ入門Ⅰ」 「日本語表現法」を修得していること	学科専門科目 / 専攻学習科目の 3 専攻より、各自が選択した 1 専攻から 26 単位以上を修得見込みであり、「専門基礎演習」および原則として「専門応用演習Ⅰ・Ⅱ」 を修得していること
人間科学部	キャリア英語学科	50 単位以上を 修得していること	設定せず
	情報メディア学科	60 単位以上を 修得していること	90 単位以上を 修得していること
	心理学科	48 単位以上を 修得していること	設定せず
	食物栄養学科 管理栄養士課程	70 単位以上を 修得していること	90 単位以上を 修得していること
	食物栄養学科 健康実践栄養士課程	70 単位以上を 修得していること	90 単位以上を 修得していること

4．履修登録

1．履修とは

「履修」とは、「大学で決められた科目を修めること」を意味します。つまり、学科ごとに定められた教育課程の中から、受講を希望する授業科目を登録して学修することを「履修」といいます。

「履修登録」とは、学生自身が学年・学期初めの指定された期間に、その年度において履修する授業科目を届け出る手続きのことです。この手続きを怠った場合や登録を誤った場合は、授業科目の受講が認められず、単位修得ができません。履修登録にあたっては、慎重に科目を選択し、正確に手続きを行ってください。

2．履修登録・確認

履修登録は、Web を用いた「帝塚山学院大学ポータル」において行います。学内からはもちろん、自宅からもアクセス可能です。

履修登録は、オリエンテーションやガイダンスに必ず出席するとともに、「学生要覧」等の配布書類や「シラバス」（帝塚山学院大学ポータルで公開）を十分確認し、本人が責任を持って行ってください。

また、履修登録完了後は、必ず履修登録の結果（時間割確認表）を印刷し、登録した内容に不備がないかを確認し、保管しておくようにしてください。

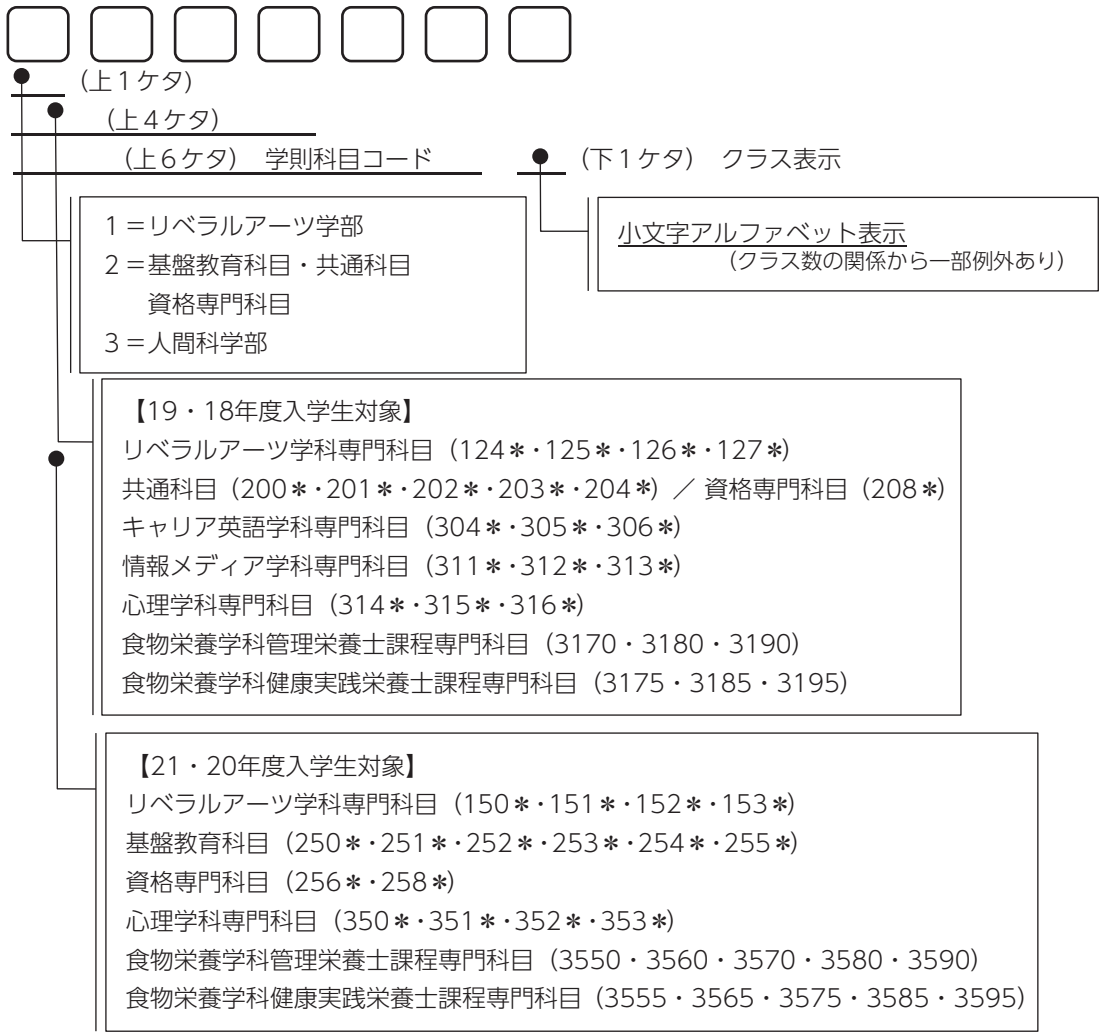
3．シラバス

シラバスとは、授業を担当する教員が、その授業科目の目的、到達目標、概要、成績評価方法、準備学習、授業計画、テキスト、履修上の注意などについて記載したものです。履修する科目を選択したり、学修計画を立てる上でよりどころとなるものです。大学での学びを有意義なものとするため、シラバスを活用し、各回の授業内容の確認や予習復習など、事前準備をして授業に臨んでください。

4．科目コード

科目コードは、以下のように構成されています。

【科目コード構成（7ケタ）】



【ナンバリングについて】

ナンバリングとは、授業科目に科目分類や特定の番号を付番することで、学修の段階や順序等を示しカリキュラムの体系性を表すものです。2019 年度より、シラバスにナンバリングコードを記載しています。

5．クラス指定表示

履修すべきクラスを表すため、以下の通り、対象となる学科・課程を示す大文字アルファベットと、所属クラスを示す小文字アルファベットを組み合わせた記号を用いることがあります。クラス指定表示のある科目は、必ず指定されたクラスを履修してください。

学部・学科		記号
リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科	L
人間科学部	キャリア英語学科（19・18 年度入学生）	S
	情報メディア学科（19・18 年度入学生）	C
	心理学科	H
	食物栄養学科 管理栄養士課程	N
	食物栄養学科 健康実践栄養士課程	NP

6．履修資格

① 各学年次において履修することができる授業科目は、当該学年次および下位の学年次に配当されている科目です。配当年次が上の年次の科目は履修できません。

② シラバスの「履修上の注意」欄に履修上の留意事項が付されている場合があるため、履修する科目については、必ずシラバスを確認の上、その指示に従ってください。

③「クラス指定科目」など、授業科目においてクラス分けがある場合は、その指示に従わなければなりません。（特に指定がない場合は、自由にクラスを選択することができます。）

④「事前登録科目」や人数調整を要する科目など、履修登録の前にあらかじめ手続きが必要な科目については、所定の手続きを行っていない場合、当該科目の履修が認められません。

⑤「履修条件」が設定されている科目は、その条件を満たしていない場合、当該科目の履修が認められません。

7．履修できない科目

① 単位を「修得済み」または「認定済み」の科目は履修できません。

② 複数のクラスが開講されており、曜日・時限が異なっている場合でも、同一科目（科目名、学則科目コードが同じ科目）は 1 つのクラスしか履修できません。

③ 各学期内の同一曜日・時限には、2 つ以上の科目を同時に履修できません（オンデマンド授業科目は除く）。
学期内で前半と後半に分割されている科目については、履修可能です。

8．科目の閉講

履修登録者数が「5 名以下」となった授業科目については、原則として開講しません。ただし、修学上必要と認められる科目や資格科目である場合は、この限りではありません。

9．履修辞退（GPA 制度に基づいた履修取り下げ）

登録した科目の変更や取消は原則として認められません。ただし、指定された期間内のみ、登録した科目の「履修辞退」が認められます。

「履修辞退」とは、各期開講後一定期間を経過した時点で、自分自身の判断により、既に登録している科目を辞退することができる制度です。受講を開始したものの、やむを得ない理由により、履修計画を変更する場合に行います。履修辞退した科目の評価は行われませんので、GPA 算出の対象とせず、成績証明書にも記載されません。

「履修辞退」した科目の単位数は年間に履修できる単位数（キャップ（CAP）制度）から除外されます。

履修辞退を希望する場合は、期間内に所定の手続きを行ってください。

なお、この制度では履修辞退のみが可能で、追加登録は認められませんので、卒業に必要な単位等を十分確認し、慎重に履修計画を立てた上で手続きを行ってください。

10．秋学期修正登録

秋学期修正登録は、秋学期科目の履修登録の修正が認められる制度です。春学期科目の成績等を踏まえ、履修計画の修正が必要な場合、秋学期修正登録期間内に限り、ポータルにて登録修正ができます。

秋学期修正登録では、年間に履修できる単位数の範囲内において、「新たに秋学期科目を追加する」、「4 月に登録した秋学期科目を変更または削除する」ことが可能ですが、春学期科目や通年科目（集中講義を含む）の変更はできません。

11．Off-Campus Studies 単位認定制度（19・18 年度入学生対象）

本学では、キャンパス外での学習活動をさまざまな形態で実施していますが、共通科目として「Off-Campus Studies A・B・C・D」を開設しています。

地域社会をフィールドとして他者に貢献する活動を行い、地域における問題解決の一助となるとともに、活動参加を通して、学生が社会の一員としての自覚と社会人基礎力を育み、身に付けることを目的としています。さらに大学での学びと地域課題を結びつける視点を持ち、大学で学ぶ専門知識の応用的理解を深めること、社

会問題の認識を深めること、シチズンシップの向上を図ることが到達目標となります。

① 単位認定対象とする活動は以下のとおりとします。無報酬の活動のみを対象としますが、交通費・食事代等、実費に相当するものの受給は認めます。

a 本学が主催する活動

b 本学と自治体・企業・NPO・地域団体等と共催または連携して実施する活動

c 本学教員や学生生活課等の学内組織が斡旋・紹介する活動

② Off-Campus Studies の単位認定対象とする活動は、ポータルにて案内します。

③ 合計活動時間が 40 時間に達したとき、1 単位として認定します。

④ Off-Campus Studies 単位認定活動に参加して単位取得を希望する学生は、活動に参加する前に「Off-Campus Studies 事前申請書」を事務局に提出してください。

⑤ Off-Campus Studies 単位認定活動に参加して単位取得を希望する学生は、活動終了後 1 ヶ月以内（休暇期間を除く）に「Off-Campus Studies 報告書」を事務局に提出してください。報告書には活動受入機関から活動期間およびその内容について認定（コメントと承認印）が必要です。

⑥ 単年度の同一活動に限らず、在学期間中において複数年にわたるものや、複数の異なる活動に参加した場合も単位認定の対象とします。ただし、申請および報告手続は、それぞれの活動ごとに行う必要があります。

⑦ 一つの活動について最低活動累計時間を 5 時間以上とします。

⑧ 単位認定年度は、「Off-Campus Studies 報告書」の提出を受け、単位認定審査が終了した年度となります。なお、4 回生（卒業年度）については、1 月末までに報告手続を完了してください。

⑨ Off-Campus Studies として承認を受けた活動への参加については、「公欠」等の扱いにはなりません。

12. 卒業研究

演習科目「卒業研究」において卒業論文等を提出しようとする者は、各学科の指示に従い、所定の期間内に各学科所定の場所に提出しなければなりません。卒業論文等の審査は、各学科で行われます。

（本人が提出できない場合は、事前に事務局で相談し、指示を受けてください。）

5．授業

1．授業時間帯

授業時間帯は、次のとおりです。

1 時限	9：20 ～ 11：00	4 時限	15：30 ～ 17：10
2 時限（前半）	11：10 ～ 12：50（昼休み 12：50 ～ 13：40）	5 時限	17：20 ～ 19：00
2 時限（後半）	11：50 ～ 13：30（昼休み 11：00 ～ 11：50）	6 時限	19：10 ～ 20：50
3 時限	13：40 ～ 15：20		

2．履修方法

教室等での履修の他に、多様なメディアを利用して教室以外の場所で履修する場合があります。

ただし、後者の履修方法で修得する単位数は、60 単位を超えないものとします。

※メディアを通して行うオンデマンド形態の授業は、インターネットその他の方法により、双方向の通信手段を用いて行います。オンデマンド形態の授業を実施する授業科目については、シラバスに明示します。

3．授業調整期間

学年暦において、授業期間外に「授業調整期間」が定められており、授業回数や進行状況に応じて、補講や試験等が実施されます。

① 授業回数の確保のため、休講に対しては原則として授業調整期間に補講が実施されます。

② 授業の進行状況等により、授業調整期間に試験が実施されることがあります。

4．休講

以下に該当する場合は、休講とします。休講は「帝塚山学院大学ポータル」にて通知します。

（休講についての電話照会には応じられません。）

① 授業科目担当教員にやむを得ない理由が生じた場合

② 授業開始時間から 20 分を経過しても授業科目担当教員が来室せず、授業を開始できない場合（自然休講）

③ 大学行事が行われる場合

④ 自然災害や交通ストライキ等、不測の事態が生じた場合

警報発令時における授業・試験の取り扱い（集合授業）

大阪府の「泉州地域」に区分される市町※に「特別警報」（種類を問わない）または「暴風警報」が発令された場合、下表のとおり取り扱います。

午前　7 時現在発令されている場合	午前休講
午前　7 時以降に発令された場合	その時点以降の午前休講
午前 11 時現在発令されている場合	午後休講
午前 11 時以降に発令された場合	その時点以降および午後休講

※ 泉州地域：

堺市、和泉市、高石市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町

○ 行わなかった授業の補講、試験は、あらためて指示します。
○ 上記以外の居住者の居住区域に「特別警報」（種類を問わない）または「暴風警報」が発令された場合、欠席した授業または試験について申し出により公欠として取り扱うため、事務局にて手続きをしてください。（授業、試験は実施されます。）
○ 授業・試験開始後に「特別警報」（種類を問わない）または「暴風警報」が発令された場合、原則としてその時限の授業・試験は直ちに中止します。状況により当該時限終了まで実施する場合があります。大学の指示に従って行動してください。
○ 特別警報ではない大雨警報、大雪警報、波浪警報、高潮警報、および、注意報のいずれかが発令された場合は休講になりません。
○ 遠隔授業の場合は、科目担当教員の指示に従ってください。

交通機関が運行休止または運行停止（運転見合わせ）となった場合の授業・試験の取り扱い（集合授業）

災害や事故等突発的な事由により、通学経路上の交通機関が運行停止（運転見合わせ）をしている場合、原則として授業、試験は実施されます。但し、欠席した授業または試験について申し出により公欠として取り扱います。延着証明等持参の上、事務局にて手続きをしてください。

南海電鉄高野線、泉北高速鉄道のいずれか一つの交通機関において事前に運行休止が予告されている場合下表のとおり取り扱います。また、以下の（1）（2）（3）のいずれかの運行休止が予告されている場合も同様の措置として取り扱います。

午前　7 時現在運行休止が継続している場合	午前中休講
午前 11 時現在運行休止が継続している場合	全日休講

（1）JR 大阪環状線および大阪メトロ
（2）JR 阪和線および南海電鉄本線
（3）南海電鉄金剛駅および泉北高速鉄道泉ヶ丘駅よりキャンパス間の南海バス

○ 行わなかった授業の補講、試験は、あらためて指示します。
○ 通学経路において、上記以外の交通機関の運行休止が事前に予告されている場合、欠席した授業または試験について申し出により公欠として取り扱うため、事務局にて手続きをしてください。（授業、試験は実施されます。）
○ 遠隔授業の場合は、科目担当教員の指示に従ってください。

5．補講

休講となった授業については、原則として補講を実施します。また、担当教員の判断により、別途補講が行われる場合もあります。補講は、原則として「帝塚山学院大学ポータル」にて通知します。

6．授業欠席

各授業時間においては、原則として出席をとることになっています。

通常の授業欠席に関しては、大学から授業担当者に伝達するなどの処置は行いません。ただし、以下の事情により欠席する場合は出校後 2 週間以内に事務局に申し出の上、所定の手続きを行ってください。

① 傷病などの理由により、2 週間以上続けて長期欠席する場合

引き続き 2 週間以上にわたって欠席する場合は、出校後 2 週間以内に所定の「長期欠席届」に欠席理由を証

明する書類を添えて、事務局に提出し手続きをとること。

② 伝染病その他学校保健法施行規則に定められた病気による欠席の場合（公欠）
法に定められた伝染病により欠席した場合は、出校後 2 週間以内に所定の「欠席届」に診断書または学校指定の証明書を添えて、事務局に提出し手続きをとること。

③ 忌引きにより欠席する場合（公欠）
忌引きによる欠席の場合は、出校後 2 週間以内に所定の「欠席届」に忌引きであることを証明する書類を添えて、事務局に提出し手続きをとること。

【忌引きで認められる欠席日数】

父 母	7 日
同居の祖父母	5 日
兄弟姉妹	5 日
別居の祖父母	3 日
同居の三親等以下の親族	3 日
別居の三親等以下の親族	2 日
その他の親族	1 日

※ 親族：六親等内の血族及び配偶者と三親等内の姻族
※ 遠隔地の場合は旅程を考慮する場合がある。
※ 日数には、土日祝祭日を含む。

④ 正課の学外実習により欠席する場合（公欠）
正課の学外実習により授業を欠席する場合は、実習期間が決定次第、所定の「欠席届」を事務局に提出し手続きをとること。公欠として認められる欠席日数は、当該実習の日数とする。

⑤ 就職活動により欠席する場合
就職活動による欠席は公欠としない。なお、就職活動による欠席であることを報告する場合は、事前にキャリアセンターにて手続きの上、出校後 2 週間以内に該当科目の担当教員に所定用紙を提出すること。
ただし、資格科目および実験・実習を伴う科目については受け付けない。

7．テキストの購入について
履修する授業科目のシラバスを確認し、各自必要なテキストを購入してください。購入方法・販売期間等の詳細は新学期ガイダンス時にお知らせします。

8．帝塚山学院大学ポータル
本学では、教員と学生のコミュニケーションを円滑にし、きめ細やかな授業を展開していくための支援ツールとして、「帝塚山学院大学ポータル」および授業支援システム「WebClass」を導入しています。
「帝塚山学院大学ポータル」とは、お知らせ等を含む重要な情報を個人ごとに表示し、学生生活を支援するためのWebサイトです。大学や講義に関連するお知らせ、履修登録、単位修得状況などの情報を各個人専用のページから確認することができます。また、授業支援システム「WebClass」、就職支援NAVI等のWebサービスを利用するための入口となります。「WebClass」の各授業での利用については、担当教員の指示に従ってください。
事務局からの連絡は「帝塚山学院大学ポータル」、授業での使用や教員からの連絡は「WebClass」を通して行います。定期的に確認をしてください。どちらも自身のメールアドレスへの転送設定が可能です。メールアドレスを変更した場合は、帝塚山学院大学ポータルよりすみやかに変更を行ってください。メールが届かない場合は、迷惑メール設定をしていることが考えられます。「tezuka-gu.ac.jp」のドメインを受信可能に設定してください。

9．授業アンケートの実施
本学では、授業改善を目的として、「学生による授業アンケート」を実施し、結果を公表しています。「帝塚山学院大学ポータル」を使用してアンケートを実施します。
回答は事務局において統計的に処理されます。担当教員に回答者の学籍番号・氏名は開示されず、成績評価にも一切関係しませんので、皆さんの率直なご意見とご協力をお願いします。

6．試験

1．試験の種類
試験には、次の種類があります。ただし、科目によってはレポート、作品、実技等をもって試験にかえることもあります。

① 学期末試験
規定の授業回数終了後に実施される試験です。学期末試験の時間割は授業時間割と異なることもあるため、必ず試験時間割で確認してください。

② 授業内試験（到達度の確認）
学期末試験以外に平常の授業内に行う試験です。この場合担当教員が実施日、その他を決定して学生に指示します。
③ 追試験
病気、事故その他やむを得ない理由で学期末試験を欠席した者に対して行う試験です。
なお、レポートによる評価を行う科目については、病気、事故その他やむを得ない理由により、期日までに提出できなかったレポートを受け付けることを指します。

2．学期末試験の受験資格
次の者には、学期末試験を受験する資格が与えられません。
① 指定された期日までに履修登録を完了していない者。（履修登録していない科目は受験できない。）
② 学費未納の者。（学費の延納を認められている者は除く。）
③ 教授会において受験することが不適当と認められた者。

3．追試験
「追試験」に関する取り扱いは以下の通りです。
① 追試験を受けようとする者は、病気、事故その他正当な理由を明記した「試験欠席届・追試験願」を指定された期日までに事務局に提出し、追試験を願い出なければならない。この場合、必ず欠席理由を証明する書類等を添付しなければならない。（当該試験を欠席した証明書類がない場合や、当該試験日の日付と異なる日付の書類、通学区間外の延着証明書など無効な書類で、追試験を申し込むことはできない。）
追試験を受験希望の者は、手数料（1科目につき 1,000 円。ただし、公欠扱いとなる欠席の場合は無料）を納入すること。
② 追試験の成績は 2 割減点される。
ただし、公欠扱いとなる欠席の場合は、2 割の減点をしない。
③ 追試験を欠席した場合は、理由のいかんにかかわらず再度受験することはできない。この場合、手数料も返還しない。
④ 学期末試験の受験資格がない科目については追試験を受験することができない。
⑤ 追試験の手続は、本人もしくは保護者に限る。

4．不正行為
試験において不正行為をした者は「試験における不正行為の処分に関する規程」に従って処分されます。不正行為の態様によっては別途処置を受けるとともに、学則第 45 条によって懲戒することがあります。
各自、厳粛な態度で臨むとともに、不正と紛らわしい行為も厳に慎んでください。

5．試験についての注意
① 試験開始時間に 20 分以上遅刻した者はその試験の受験資格を失う。
② 試験開始後 20 分間は試験場を退出することができない。
③ 試験において不正行為をした者は「試験における不正行為の処分に関する規程」に従って処分される。
不正行為の態様によっては別途処置を受けるとともに、学則第 45 条によって懲戒することがある。
なお、指定されたもの以外のものを持ち込んだ場合は、試験問題との関連があるなしにかかわらず、不正行為とみなす。
④ 受験上の注意事項
（ア）試験場ではすべて監督者の指示に従うこと。
（イ）試験は指定された座席で受験すること。
（ウ）学生証は机上の指定された場所に提示し、監督者が視認できるようにしておくこと。
（エ）机上には、筆記用具、学生証、持込が許可されている以外のものは置かないこと。
（オ）持ち物はすべて指定された場所に置き、机の中、横、下には何も置かないこと。
（カ）携帯電話の電源は切っておくこと。時計代わりに使用することも不可。
（キ）持込が許可された以外の「書物」「プリント」「メモ」等を所持しないこと。
（ク）試験終了の合図と同時に筆記用具を置き、速やかに退出すること。
なお、上記各事項に反する行為は、たとえ本人の不注意であっても不正行為とみなされる。

6．レポート

学期末試験に代わるレポートについては、レポート題目、提出期限、提出先、分量、形式等を掲示にて通知します。レポート提出時の注意は以下のとおりです。

① レポートは定められた期間内に指定された提出先に提出しなければならない。ただし、病気、事故その他やむを得ない理由で遅れた場合は、追試験扱いとして受け付ける。（追試験の項参照）
② レポートの冒頭部分または表紙に、科目名、担当教員名、題目、学籍番号、氏名を記入すること。
③ 原則としてレポートはペン書きすること。
④ レポート用紙は特に指示のない限り、大学指定用紙を使用すること。
⑤ レポートの提出は必ず本人の責任において行うこと。
⑥ レポートボックスへの提出に際しては、投函間違い等がないように十分留意すること。いったん投函したレポートは、その理由のいかんにかかわらず、取り出すことはできない。
（提出するレポートは必ず控え（コピー）をとり、各自保管すること。）

7．成績評価および単位の認定

1．成績評価

学習の評価は 100 点法により行い、60 点以上を合格とします。学業成績証明書には、上位より秀（100 ～ 90 点）、優（89 ～ 80 点）、良（79 ～ 70 点）、可（69 ～ 60 点）をもって記載し、単位認定科目は認定と記載します。

なお、不可（59 点以下）、失格科目については不合格とし、学業成績証明書には科目の記載をしません。同様に、履修辞退を行った科目についても学業成績証明書には記載しません。

2．GPA（Grade Point Average）制度

前項の成績評価による学業結果を総合的に判断する指標として、総合平均点（Grade Point Average に相当するもの、以下「GPA」という）を用いています。

GPA は、評点のうち、100 ～ 90 点につき 4.0、89 ～ 80 点につき 3.0、79 ～ 70 点につき 2.0、69 ～ 60 点につき 1.0、不可および失格につき 0 をそれぞれ評価点（Grade Point、以下「GP」という）として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、登録科目（資格専門科目等の卒業単位に算入されない科目、履修辞退科目、認定科目を除く）の総単位数で除して算出します。詳細は「GPA 制度について」の頁を参照してください。

3．失格制度

授業時間数の 1/3 以上を欠席した場合は、原則として当該科目の単位修得が認められず、試験受験やレポート提出に関わらず、担当教員において失格と評価されます。

4．成績の通知

① 成績通知書

春学期終了時の成績通知書は、9 月上旬に学生・保護者の連名宛に送付します。ただし、集中講義科目、単位互換科目の成績は記載されていないことがあります。（後日配付します。）
秋学期終了時の成績通知書は、1 ～ 3 年次生は 3 月中旬に学生・保護者の連名宛に送付、卒業年次生については卒業式当日に配付します。

② 成績評価の Web 参照

成績評価は、学生本人が「帝塚山学院大学ポータル」上でも参照できるものとします。ただし、利用に際しては、学生個別の ID とパスワード認証を必要とします。
各学期の成績評価は、成績通知書の送付時期に合わせて開示します。ただし、卒業年次生の秋学期終了時の成績評価については、3 月上旬の卒業判定教授会終了後、直ちに開示することとします。（卒業の可否については、学生・保護者の連名宛に郵送にて通知します。）

本学では、保護者と連携した就学支援を行うことが教育上有効な取り組みであると考え、春学期末および学年末の成績確定時に本人・保護者の連名宛に「成績通知書」を送付し、学業に関する問い合わせや相談に応じています。

なお、個人情報の保護に関する法律においては本人の同意を得ずに個人情報を第三者に提供することが禁じられていますが、本学では保護者に学業成績を通知する責任があると考えており、今後も学生本人との関係を確認した上で通知する予定です。

以上の趣旨をご理解願い、ご了承ください。

5．成績に関する問い合わせ

成績に疑義がある場合は、事務局を通して担当者に問い合わせることができます。所定の「成績に関する問い合わせ」用紙に記入し、以下の期限までに事務局へ提出してください。

［春学期科目］
当該年度の 9 月 20 日まで
［通年・秋学期科目］
当該年度の 3 月 20 日まで
［その他（集中講義等）］
成績通知後 1 週間以内

6．成績分布の公表

本学では、教育の質を保証する取り組みの一環として、学生・教職員に向けて成績分布の学内公表を実施しています。各科目の成績について、到達目標に対する絶対評価とは別に、相対的な位置も知ることができます。

詳細は「帝塚山学院大学ポータル」にてお知らせします。

［対象科目］原則として、履修者 11 名以上の全科目
［公表時期］春学期成績：10 月
秋学期成績：翌年度 4 月
［公表項目］履修者の秀・優・良・可・不可の各割合（%）（失格者を除く）
GP 平均（失格者を除く）、素点平均（失格者を除く）、履修者数、失格者の割合

8．他学科開講科目

所属学科以外の学科専門科目を「他学科開講科目」として履修することができます。

他学科開講科目として履修が認められる科目は開講学科の「教育課程（カリキュラム）」の開講科目表に記載されています。また、他学科開講科目の修得単位の卒業単位への算入方法については、各学科の卒業要件を参照してください。

9．単位互換制度

本学は、「南大阪地域大学コンソーシアム」に加盟しており、同組織に参加している大学・短大の科目を以下の要領により受講でき、修得単位は本学の単位として認定されます。

① 単位互換の対象科目は、南大阪地域大学コンソーシアムの単位互換制度に参加する大学の提供科目とする。
② 単位互換制度に出願できる学生は、本学の学部学生かつ本学で許可を得た者に限る。
出願等については当該年度用に発行される案内、要項等を熟読のうえ、指定期日までに所定の手続きを行うこと。
③ 単位互換制度による修得単位は、8 単位を上限として卒業単位に算入する。
④ 単位互換制度への出願資格は原則として 3 回生以上とする。
⑤ 単位互換制度に関する質問等があれば、科目提供大学に直接問い合わせず、本学事務局に申し出ること。

10．退学、休学

1．退学

病気その他やむを得ない理由によって退学しようとする場合は、保証人が連署した「退学願」を事務局に提出して、許可を得なければなりません。

なお、「退学願」を提出する前に、アドバイザー教員またはゼミ担当教員等に相談してください。

2．休学

病気その他やむを得ない理由によって、就学できない場合は、休学を願い出ることができます。休学しようとする場合は、保証人が連署した「休学願」を事務局に提出して、許可を得なければなりません。

その場合、休学理由を証明する書類（病気、ケガの場合は診断書等）の添付が必要です。

なお、「休学願」を提出する前に、アドバイザー教員またはゼミ担当教員等に相談してください。

① 休学しようとする者は、原則として次の願出期限までに「休学願」を事務局に提出しなければならない。
［春学期 または 通年（春学期および秋学期）］当該年度の 4 月 30 日まで
［秋学期］当該年度の 10 月 31 日まで
② 休学期間は原則として年度・学期を単位とし、年度を越えることはできない。休学の継続を希望する者は、

改めて願い出るものとする。
③ 休学の期間は、原則として 2 年をこえることができない。
④ 休学の期間は、在学年数に算入しない。
⑤ 休学期間中は、在籍料を納付するものとし、この期間の授業料および教育充実費は全額を免除する。

11. 転学部、転学科、転課程

転学部、転学科、転課程を希望する者は、原則として次の期間に「転学部・転学科・転課程願」を事務局に提出してください。

転学部、転学科共に、受入学部、学科での審査および選考が行われますので、希望者全てが転学部または転学科を許可されるわけではありません。また、一度許可された学生の再度の転学部、転学科は認められません。

なお、人間科学部食物栄養学科への他学部、他学科からの転学部、転学科は認められません。

食物栄養学科における転課程の詳細については、学科内で通知されます。

1．転学部、転学科

転学部、転学科の時期は学年または学期のはじめとし、原則として 3 回生進級時までとする。

① 春学期からの場合
申込期間 12 月 1 日から 12 月年内授業最終日まで

② 秋学期からの場合
申込期間 6 月 1 日から 6 月末日まで

2．転課程（食物栄養学科 管理栄養士課程、健康実践栄養士課程）

食物栄養学科 健康実践栄養士課程から管理栄養士課程への転課程は、原則として 2 回生進級時とする。

① 1 回生（2 回生進級時）
申込期間　　1 月 15 日から 1 月末日まで
転課程の時期　　2 回生 4 月

食物栄養学科 管理栄養士課程から健康実践栄養士課程への転課程は、特に学年を定めないが、転課程の時期は学年または学期の始めとする。

転出した者は、転入先の学科（課程）及び年次の在学者に係る教育課程を履修することとなり、修得単位が全て転入先で認められるとは限りませんので、事務局で事前によく相談してください。

12. その他

1．アドバイザー教員による学生指導

本学では、学業をはじめ学生生活全般を支援するため、学生一人ごとに「アドバイザー教員」を置いています。学生は、在学中全期間を通じて、継続的にアドバイザー教員に指導、助言をあおぐことができます。

2．オフィスアワーについて

本学では、専任教員がそれぞれ「オフィスアワー」を設けており、学生の皆さんの学業や学生生活全般にわたる相談に応じるため、教員研究室に在室しています。この時間を積極的に活用し、学業や学生生活上の諸問題を解決してください。

オフィスアワーの時間帯は、各教員の研究室前などに掲示しています。なお、オフィスアワーに設定している時間帯であっても，会議や出張などで在室できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3．学生証の携帯

学生証は常に携帯し、教職員から請求のあった時には、いつでも提示しなければなりません。必ず学生証を携帯してください。

留学について

1. 留学の種類について

①派遣留学

派遣留学には、国際交流センターが運営する「交換留学制度」と「国際交流基金派遣留学制度」の２つの留学があります。派遣留学を希望する学生は、国際交流センターが実施する事前説明会に必ず参加の上、所定の期日までに必要書類を提出してください。派遣学生は学内選考（書類審査・面接）により決定します。派遣留学の場合、在学留学または休学留学のいずれかを選択することが可能です。

《交換留学制度》

本学が交換協定を結んでいる海外の教育機関との間で、学生の派遣・受入を相互に行います。派遣学生は留学先での授業料納付が免除され、さらに本学より奨学金が支給されます。

《国際交流基金派遣留学制度》

本学が交流協定を結んでいる海外の教育機関へ学生を派遣します。派遣学生には本学より奨学金が支給されます。また、本制度には留学先の選択から留学の企画・申請等のすべてを自分で行う「学生企画」があり、本学の協定校はもちろん、協定校以外への留学も可能です。「学生企画」の場合も、派遣学生には本学より奨学金が支給されます。

②カリキュラム内半年留学

リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科、人間科学部キャリア英語学科が運営する、カリキュラム内の在学留学制度です。

③カリキュラム内海外研修

リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科、人間科学部キャリア英語学科がカリキュラムに沿って運営する、在学の短期海外研修です。

④私費留学

留学先の学校や留学を企画する会社等に個人で申し込み実施する留学です。留学先や留学期間の決定から留学に係る手続きの全てを自分で行います。本学からの奨学金支援はありません。基本は休学留学となりますが、留学先が本学の海外協定校でかつ所定の要件を満たす場合に限り、在学留学が認められます。在学留学を希望する場合は、現地プログラム開始日の３か月前までに本学への申請をすませなければなりませんので、注意が必要です。

上記①・④に関する詳細は国際交流センターへ、②・③についてはリベラルアーツ学科、キャリア英語学科へ問い合わせてください。

2. 留学期間中の本学学費について

在学留学の場合、留学期間中の本学学費を納入する必要があります。上記①の派遣留学で休学留学を選択した場合は休学期間中の授業料・在籍料が免除されますが、私費留学で休学留学を選択した場合は休学期間中の在籍料を納入する必要があります。

3. 留学期間の単位認定について

在学留学の場合、留学先の教育機関で修得した科目を本学大学教授会においてその学習内容が本学の開講科目に相当すると認められ、かつ所定の授業時間を満たしている場合に限り、本学の単位として認定されます（但し、認定単位数に上限あり。所属学科によっては、その特性上認定ができない場合が多いので注意してください。）。留学期間は在学期間に算入されますので、卒業に必要な単位を修得することができれば、４年での卒業が可能です。

休学留学の場合、留学先の教育機関で修得した科目は本学の単位として認定されません。また休学期間は在学期間に算入されませんので、卒業が延期されます。

いずれの留学の場合も、演習（必修科目）の履修や卒業単位等について、事務局およびゼミ担当教員と事前に十分に相談してください。

GPA制度について
(Grade Point Average)

学生が自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく真剣な学習に役立つように、在学生全員を対象として履修した卒業要件科目の成績の平均を数値で表した Grade Point Average（以下「GPA」という）を算出しています。

この GPA は、学習の質を評価する成績評価の国際標準となっており、「合格」した科目だけではなく「不合格」となった科目も成績算出対象となるのが大きな特徴のひとつです。したがって、学生には自分の履修（履修登録を含む）に対して、より真剣に取り組むことが求められます。

在学中の皆さんにとっては、履修登録した科目が GPA 算出対象となり、GPA が「成績通知書」に記載されています。学期ごとに算出される GPA を参考に、今後の学習計画に役立ててください。

なお、「成績証明書」には、GPA および「不合格となった科目」を記載しません。

【GPA の概要】

GPA は、学生が履修した卒業要件科目の成績の平均を数値で表したもので、学期ごとの GPA と入学時から通算の累積 GPA の 2 つの GPA が算出されます。

本学が導入する GPA の算出式は下記に示すとおりです。

1．試験得点に応じて 5 段階（4.0、3.0、2.0、1.0、0）の評価点（Grade Point､以下「GP」という）を設定します。なお、「不合格」となった科目や「失格」となった科目は GP が 0 点となります。(ただし､「他大学等で修得した科目」や「所定の学外活動を本学単位として認定した認定科目」「所定の手続により履修辞退が認められた科目」は GP のカウント対象外となります。)

2．各履修科目の GP に科目の単位数をかけた値を全履修科目で合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で割った値が GPA となります。

【成績評価基準と Grade Point】

評　価	得　点	GP
合　格		
秀	100 点 ～ 90 点	4.0
優	89 点 ～ 80 点	3.0
良	79 点 ～ 70 点	2.0
可	69 点 ～ 60 点	1.0
認 定	他大学等で修得した科目、所定の学外活動を本学単位として認定した科目 等	対象外
不 合 格		
不 可	59 点 ～ 0 点	0
失 格	授業時間数の 3 分の 1 以上を欠席し、担当教員より失格と評価された科目	

＊不合格科目を再履修した場合にも、GPA には再履修前と再履修後の成績がそれぞれ算入されます。

【GPA の算出式】

$$GPA = \frac{\text{（履修科目（注）GP} \times \text{単位数）の総和}}{\text{履修科目（注）単位数の総和}}$$

注：履修科目には、不合格科目を含む

【GPA に関する Q&A】

Q 1．GPA とは何ですか？

A 1．GPA は、学生が履修した卒業要件科目の成績の平均を数値で表したもので、学期ごとの GPA と入学時から通算の累積 GPA の 2 つの GPA が算出されます。

Q 2．Grade Point（GP）とは何ですか？

A 2．GP とは、各科目の成績を、その得点に応じて 5 段階（4.0、3.0、2.0、1.0、0）にわけて数値化したものです。その GP に科目の単位数を加味し、平均値を算出したものが GPA です。

Q 3．各科目の成績の GP はどのように設定されるのですか？

A 3．各科目の得点に応じて次のようにグレード・ポイントを設定します。
100 ～ 90 点は GP 4.0､89 ～ 80 点を GP 3.0､79 ～ 70 点を GP 2.0､69 ～ 60 点を GP 1.0､59 点以下「不可」および「失格」を GP 0 とします。

Q 4．GPA の目的は何ですか？なぜ GPA を算出するのですか？

A 4．GPA 導入は、より厳格な成績評価を実現することを目的としています。「合格科目」だけではなく「不合格科目」も成績評価の対象とする GPA を取り入れることにより、今まで以上に真剣な履修登録、授業への取り組みが期待されます。また、明確で客観的な「総合的成績評価」を GPA として示すことにより、学生が自分自身の学習成果を把握しやすくすることも狙いとしています。

Q 5．GPA は本学独自の制度ですか？

A 5．GPA は本学独自の制度ではありません。GPA は厳格な成績評価方法として、米国の大学における成績評価制度に基づいています。

いま日本の大学には、国際競争力を強化した世界レベルの質の高い高等教育機関としての整備が求められています。GPA は教育の国際化に対応するとともに、「海外から見ても分かりやすい成績評価」システムとして導入されます。

Q６．GPA は何の役に立つのですか？
A６．学業結果を総合的に判断する指標として役立ちます。学生は学期ごとに記載される自分の GPA を確認することで、学修の状況を客観的に把握することができます。

Q７．GPA はどのように利用されるのですか？
A７．学生が自らの学業成績の状況を的確に把握し、適切な履修計画とそれに基づく真剣な学習に役立てるために使用されます。各教員は学生の履修指導等にこの GPA を使用します。
　GPA の活用例としては、履修上限単位数の緩和、学科による履修指導、留学、修学支援制度や奨学金の選考における参考資料等があります。

Q８．GPA の算出はどのように行われるのですか？
A８．GPA は次のように算出します。
① 履修登録科目の成績に応じて与えられた各科目の GP に、各科目の単位数をかけて合計します。
② ①で得られた値を履修登録科目の総単位数で割ります。
③ ②で得られた値を小数点第３位で四捨五入します。
　なお、「他大学等で修得した科目」や「所定の学外活動を本学単位として認定した認定科目」「所定の手続により履修辞退が認められた辞退科目」は計算式に含まれません。

Q９．学生への GPA 通知は、どのように行われるのですか？
A９．全学生について、「成績通知書」には学期ごとの GPA および通算の累積 GPA を記載します。「成績証明書」へは GPA および「不合格となった科目」は記載しません。学生に通知する GPA は、小数点第２位（小数点第３位を四捨五入）までの値とします。

Q 10．不合格の取り扱いはどうなりますか？
A 10．「不可」（59 ～ 0 点）、「失格」は、すべて GP を 0（ゼロ）として GPA の算出対象とします。

Q 11．再履修した科目の GP はどうなりますか？
A 11．以前に不合格となった科目成績や再履修科目についても累積 GPA 算出対象とします。（「他大学等で修得した科目」や「所定の学外活動を本学単位として認定した認定科目」「所定の手続により履修辞退が認められた辞退科目」を除く。）

Q 12．資格課程科目は GPA の算出対象となりますか？
A 12．卒業要件科目のみを GPA の算出対象とします。資格専門科目等、卒業単位に算入されない科目は GPA の算出対象としません。

Q 13．累積 GPA とは何ですか？
A 13．GPA は、１学期（春学期または秋学期・通年）の履修登録科目の成績だけを対象とした「学期ごとの GPA」と、成績評価の確定した入学時からの履修登録科目の全成績を対象とする「累積 GPA」の２種類が算出されます。

卒業延期制度について

卒業年次生で、卒業に必要な要件を満たすものの、就職活動など正当な理由により、卒業を延期し、引き続き在学を希望する場合は、「卒業延期制度」を利用することができます。本制度を利用して卒業延期を希望する学生は所定の期日までに事務局まで申し出てください。卒業延期制度の申請手続き等の日程は、1月中旬頃に「帝塚山学院大学ポータル」にてお知らせします。

【申請条件】

・卒業に必要な要件を満たす卒業年次生であること。
・授業料等納付金を完納していること。
・引き続き在学することにより在学期間が8年を超えないこと。
※　以上の条件を満たしている場合、「卒業延期願」を提出することができ、その申請に基づき教授会が審査し、学長がこれを許可します。したがって、上記申請条件を満たしていても、卒業延期が認められない場合があります。

【期 間】

・卒業に必要な要件を満たした学年の翌年度1年間。ただし、1回に限り再延長ができます。（最長2年間）

【卒業時期】

・卒業の時期は延長後の在学期間が終了する年度の最終日とします。ただし、卒業延期による在学期間中に事情の変更により春学期で卒業を希望する場合は、卒業延期の許可を取り消し、9月卒業をすることが出来ますので、「卒業延期願の取り下げ願」を提出してください。再延長した場合も同様です。

【身 分】

・4年次在学生として扱われます。
・卒業延期を許可された学生は、在学生として扱われます。よって、情報施設や図書館などの諸施設・設備利用、学生証の発行、及び学則に基づく懲戒処分についてもその対象となります。

【授業科目の履修】

・授業科目の履修を希望する場合は、半期10単位まで（通年20単位まで）の履修が認められます。ただし、授業科目の履修については別途受講料（1単位につき5,000円）が必要です。なお、資格取得課程専門科目を履修する場合は、事前に事務局で相談してください。
・履修した授業科目は、成績証明書に記載されます。

【納付金】

・授業料等の納付金については在籍料として、春学期6万円、秋学期6万円を各納付期限までに納入してください。

【手続き】

・卒業延期を希望する学生は、所定の提出期間内に「卒業延期願」を事務局に提出し、その後、ゼミ担当教員の承認印を得てください。
　教授会審査の結果、卒業延期を許可された学生には、在籍料等納付書を送付しますので、期限までに全額（半期分ずつ）を納付してください。
※　期限までに納付されなかった場合は、卒業延期の許可を取り消します。この場合、授業料または在籍料等納付金を完納している期間の終期をもって卒業とします。
・事情の変更により、卒業に必要な要件を満たした年度末で卒業を希望する場合は、所定の提出期間内に「卒業延期願の取り下げ願」を事務局に提出し、その後、ゼミ担当教員の承認印を得てください。卒業延期の願い出を取り消し、卒業に必要な要件を満たした年度末での卒業を認めます。
・卒業延期期間中の春学期末で卒業を希望する場合は、所定の提出期間内に「卒業延期願の取り下げ願」を事務局に提出し、その後、ゼミ担当教員の承認印を得てください。卒業延期の許可を取り消し、9月卒業を認めます。この場合、既納の在籍料（秋学期分）は返還します。
・9月卒業生についても申請条件を満たしていれば、この制度の利用を申請することができます。
・卒業に必要な要件を満たさなかった場合は留年となり、この制度の適用を受けることはできません。

帝塚山学院大学卒業延期制度に関する規程

(目 的)

第 1 条　帝塚山学院大学に、卒業の要件を満たす者が引き続き在学することを希望する場合に、卒業を延期し、引き続き在学することを認める制度（以下「卒業延期制度」という。）を設ける。

(対象者)

第 2 条　卒業延期制度の対象となる学生は、次の要件をすべて満たす者とする。

（1）帝塚山学院大学学則（以下「学則」という。）第 39 条に規定する卒業の要件を満たすこと。

（2）引き続き在学することにより、在学期間が、学則第 37 条第 2 項に規定する年数を超えないこと。

（3）授業料等の納付金が完了していること。

(在学の延長)

第 3 条　学生が、卒業延期制度の適用を希望するときは、教授会の意見を聴いて、学長が在学の延長を許可することができる。

2　前項の在学を延長することのできる期間は、 1 年とする。但し、卒業延期制度の適用を受けた者が引き続き当該制度の適用を希望する場合は、 1 回を限度に、再度、在学の延長を申請することができる。

(手 続)

第 4 条　卒業延期制度の適用を希望する者は、本来卒業すべき年度（既に卒業延期制度の適用を受けている者にあっては、延長後の在学期間が終了する年度。(以下同じ。)）の所定の期限までに「卒業延期願」を学部長に提出し、教授会の意見を聴いて学長の許可を受けなければならない。

2　前項により卒業の延期を許可された者（以下「卒業延期者」という。）に対しては、卒業延期許可通知を交付する。

3　卒業延期者が、事情変更により本来卒業すべき年度の終了日の卒業を希望する場合は、所定の期限までに「卒業延期願の取り下げ願」を提出した場合に限り、当該終了日での卒業を認めるものとする。

4　卒業延期者が、延長期間に係る授業料等の納付金を所定の期限までに納入しなかった場合は、卒業延期の許可を取り消し、本来卒業すべき年度の終了日の卒業とする。

(授業科目の履修)

第 5 条　卒業延期者は、教授会の意見を聴いて学長が許可した授業科目を半期 10 単位以内（通年 20 単位以内）で履修することができる。なお、受講料は 1 単位につき、5,000 円とする。

ただし、資格取得課程専門科目の履修については別途定める。

(卒業の時期)

第 6 条　卒業延期者の卒業の時期は、延長後の在学期間が終了する年度の終了日とする。但し、春学期の終了日での卒業を希望する者に対しては、所定の手続きによりこれを認めることができる。

(休学の取扱い)

第 7 条　卒業延期期間中は、休学を認めない。

(納付金)

第 8 条　卒業延期者の授業料等の納付金については、別表第 1 に定める。

(規則の改廃)

第 9 条　この規程の改廃は、大学評議会の意見を聴いて、学長が決定する。

(施行期日)

1　この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から改訂施行する。

2　「帝塚山学院大学卒業延期に関する規則」は、令和 3 年 3 月 31 日限りで廃止する。

別表第 1（第 8 条関係）　卒業延期制度による卒業延期者の在籍料は次の通りとする。

	在　籍　料
春学期	60,000 円
秋学期	60,000 円
合　計	120,000 円

21・20年度入学生

教育課程（カリキュラム）

教育課程（カリキュラム）
（21・20年度入学生）

1．教育課程表 / カリキュラム・マップ

1．教育課程

教育課程は次の分類により構成されています。

① 基盤教育科目　② 学科専門科目　③ 資格専門科目

2．卒業に必要な総単位数

大学を卒業するためには、各学部・学科ごとに定める教育課程に従って授業科目を履修し、所定の単位以上を修得しなければなりません。詳細は、所属学科の「教育課程（カリキュラム）」を参照してください。

3．配当年次別科目一覧

配当年次別科目一覧は、配当年次、科目の分類・分野ごとに科目を掲載した表です。

4．教育課程表 / カリキュラム・マップの見方

配当年次 ①	学則科目コード ②	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから ③									ナンバリング ④	他履修 ⑤	備考
					教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力			

教育課程表　　カリキュラム･マップ　　学位プログラムツリーと対応

① 配当年次	当該科目を履修することができる年次（学年）を示しています。 配当年次が上の年次の科目は履修できません。 下位の学年次に配当されている科目を履修することができます。
② 学則科目コード	学則科目コードは、科目ごとに割り振られている６ケタの番号で、入学から卒業まで変わることはありません。学則科目コードが同一の場合は、原則として重複履修できません。 なお、履修登録する場合は、下１ケタに「クラス」を表示した科目コード（７ケタ）を利用します。科目コードの説明は、「履修の手引き」項を参照してください。
③ 帝塚山学院大学生の10のちから	当該科目を通して修得できる「帝塚山学院大学生の 10 のちから」との対応を示しています。 詳細は「帝塚山学院大学の教育方針（３つのポリシー）」項を参照してください。
④ ナンバリング	学修の段階や順序等を示し、カリキュラムの体系性を表した番号です。 左から１つめのアルファベットは科目分類、２つめのアルファベットは「学位プログラムツリー」の中の位置づけ、下３ケタの数字は、レベルと科目番号を表します。 (100 番台：１回生配当、200 番台：２回生配当、300 番台：３回生配当、400 番台：４回生配当)
⑤ 他履修	「○」がついている科目は、開講学科以外の学生でも履修できます。 「△」がついている科目は、開講学科の他課程の学生でも履修できます。

2．学位プログラムツリー

学位プログラム全体を通した到達目標として、「帝塚山学院大学生の 10 のちから」のうち、「教養力」と「専門力」について、科目を修得することで「何ができるようになるか」を２段階で具体的に示しています。卒業までにどのような知識・技能を身につけるのか、それを実現するためにはそれぞれの科目をどのような順番で履修する必要があるのかを、わかりやすく示しています。教育課程表においては、ナンバリングと対応しています。

21・20年度入学生

教育課程（カリキュラム）

基盤教育科目

21・20年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから 教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力	ナンバリング	備考
基盤教育科目																
導入学習																
1	250010	基礎演習Ⅰ　①	1	選択	●								●		BC101	
1	250020	基礎演習Ⅱ　②	1	選択	●								●		BC102	
2	250030	基礎演習Ⅲ　③	1	選択	●			●							BC203	
2	250040	基礎演習Ⅳ　④	1	選択	●			●							BC204	
1	250050	日本語表現法	2	必修	●				●						BC105	日必
1	250051	カレッジコミュニティⅠ	2	選択	●									●	BC106	
2	250052	カレッジコミュニティⅡ	2	選択	●									●	BC207	
2	250053	読書演習	2	選択	●				●						BC208	
A群（先人の知を受けつぐ）																
1	251000	思想の世界	2	選択	●			●							BA101	社教選
1	251001	日本の歴史	2	選択	●					●					BA102	日選
1	251002	民族と文化	2	選択	●		●								BA103	学選
1	251003	ことばの世界	2	選択	●			●							BA104	日必
1	251004	日本語を知る	2	選択	●			●							BA105	日必
1	251005	教養としての日本文化	2	選択	●			●							BA106	学選/日必
1	251006	西洋の文化を考える	2	選択	●			●							BA107	学選
1	251007	子どもの文化	2	選択	●			●							BA108	
1	251008	芸術を鑑賞する	2	選択	●			●							BA109	学選
2	251009	伝統文化演習	1	選択	●								●		BA232	
B群（世界と今を読み解く）																
1	251200	日本の憲法	2	選択	●								●		BA110	教必
1	251201	くらしと法律	2	選択	●								●		BA111	
1	251202	現代社会を考える	2	選択	●							●			BA112	社教選
1	251203	東アジアを知る	2	選択	●			●							BA113	学選/日選
1	251204	人権を考える	2	選択	●					●					BA114	社教選
1	251205	平和を考える	2	選択	●					●					BA115	
1	251206	メディアを考える	2	選択	●					●					BA116	日選
1	251207	情報リテラシー	2	選択	●		●								BA117	
1	251208	心理学	2	選択	●		●								BA118	日選/社福選
1	251209	くらしと化学	2	選択	●			●							BA119	
1	251210	生物を知る	2	選択	●			●							BA120	
2	251211	データリテラシー	2	選択	●		●								BA221	
C群（未来をひらく）																
1	251400	科学と倫理	2	選択	●					●					BA122	
1	251401	ソーシャルメディア論	2	選択	●		●								BA123	
1	251402	先端技術と文化	2	選択	●			●							BA124	
1	251403	健康を管理する	2	選択	●						●				BA125	
1	251404	書いて学ぶ文芸	2	選択	●			●							BA126	
1	251405	描いて学ぶアート	2	選択	●			●							BA127	
1	251406	健康とスポーツA	1	選択	●							●			BA128	教必/健運必
1	251407	健康とスポーツB	1	選択	●							●			BA129	教必/健運必
2	251408	生涯スポーツ実習A	1	選択	●						●				BA230	レク必
2	251409	生涯スポーツ実習B	1	選択	●						●				BA231	レク必
キャリア形成																
1	254000	キャリアデザインⅠ	2	必修	●						●				BC109	
1	254001	キャリアデザインⅡ	2	必修	●						●				BC110	
1	254002	ホスピタリティ入門	2	選択	●								●		BC111	
2	254003	数理リテラシー	2	選択	●			●							BC212	
2	254004	キャリアデザインⅢ	2	選択	●									●	BC213	
2	254005	キャリアデザインⅣ	2	選択	●									●	BC214	
2	254006	インターンシップA　⑤	2	選択	●								●		BC215	
3	254007	インターンシップB　⑤	1	選択	●								●		BC316	
3	254008	プロジェクト型インターンシップ	2	選択	●					●					BC317	

・ 基盤教育科目の取得要件については、各学科の「卒業に必要な総単位数」の頁を参照のこと。
・ ①「基礎演習Ⅰ」の学則科目コードを、Lは「250011」、Hは「250012」、N・NPは「250013」とする。
・ ②「基礎演習Ⅱ」の学則科目コードを、Lは「250021」、Hは「250022」、N・NPは「250023」とする。
・ ③「基礎演習Ⅲ」の学則科目コードを、Lは「250031」、Hは「250032」、N・NPは「250033」とする。
・ ④「基礎演習Ⅳ」の学則科目コードを、Lは「250041」、Hは「250042」、N・NPは「250043」とする。
・ ⑤「インターンシップA」「インターンシップB」は所定の要件を満たす就労型インターンシップを行う科目であり、オリエンテーション・事後報告会における事前・事後指導が含まれる。

21・20年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから 教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力	ナンバリング	備考	
外国語																	
1	252000	総合英語Ⅰ1	1	選択	●				●						BS101	教選必	L(選必)H・N・NP(必修)
1	252001	総合英語Ⅰ2	1	選択	●				●						BS102	教選必	L(選必)H・N・NP(必修)
2	252002	総合英語Ⅱ1	1	選択	●				●						BS203	教選必	L(選必)H・N・NP(必修)
2	252003	総合英語Ⅱ2	1	選択	●				●						BS204	教選必	L(選必)H・N・NP(必修)
1	252004	実践コミュニケーション英語Ⅰ1	1	選択	●				●						BS105	教選必	L(選必)H・N・NP(必修)
1	252005	実践コミュニケーション英語Ⅰ2	1	選択	●				●						BS106	教選必	L(選必)H・N・NP(必修)
2	252006	実践コミュニケーション英語Ⅱ1	1	選択	●				●						BS207	教選必	L(選必)H・N・NP(必修)
2	252007	実践コミュニケーション英語Ⅱ2	1	選択	●				●						BS208	教選必	L(選必)H・N・NP(必修)
1	252008	資格英語Ⅰ	1	選択	●				●						BS109		
1	252009	資格英語Ⅱ	1	選択	●				●						BS110		
1	252200	フランス語ⅠA1	1	選択	●				●						BS111		L(選必)
1	252201	フランス語ⅠA2	1	選択	●				●						BS112		L(選必)
1	252202	フランス語ⅠB1	1	選択	●				●						BS113		L(選必)
1	252203	フランス語ⅠB2	1	選択	●				●						BS114		L(選必)
2	252204	フランス語ⅡA1	1	選択	●				●						BS215		L(選必)
2	252205	フランス語ⅡA2	1	選択	●				●						BS216		L(選必)
2	252206	フランス語ⅡB1	1	選択	●				●						BS217		L(選必)
2	252207	フランス語ⅡB2	1	選択	●				●						BS218		L(選必)
1	252400	中国語ⅠA1	1	選択	●				●						BS119		L(選必)
1	252401	中国語ⅠA2	1	選択	●				●						BS120		L(選必)
1	252402	中国語ⅠB1	1	選択	●				●						BS121		L(選必)
1	252403	中国語ⅠB2	1	選択	●				●						BS122		L(選必)
2	252404	中国語ⅡA1	1	選択	●				●						BS223		L(選必)
2	252405	中国語ⅡA2	1	選択	●				●						BS224		L(選必)
2	252406	中国語ⅡB1	1	選択	●				●						BS225		L(選必)
2	252407	中国語ⅡB2	1	選択	●				●						BS226		L(選必)
2	252408	資格中国語Ⅰ	1	選択	●				●						BS227		
2	252409	資格中国語Ⅱ	1	選択	●				●						BS228		
1	252600	韓国語ⅠA1	1	選択	●				●						BS129		L(選必)
1	252601	韓国語ⅠA2	1	選択	●				●						BS130		L(選必)
1	252602	韓国語ⅠB1	1	選択	●				●						BS131		L(選必)
1	252603	韓国語ⅠB2	1	選択	●				●						BS132		L(選必)
2	252604	韓国語ⅡA1	1	選択	●				●						BS233		L(選必)
2	252605	韓国語ⅡA2	1	選択	●				●						BS234		L(選必)
2	252606	韓国語ⅡB1	1	選択	●				●						BS235		L(選必)
2	252607	韓国語ⅡB2	1	選択	●				●						BS236		L(選必)
3	252608	韓国語Ⅲ(研究)	2	選択	●				●						BS337		
3	252609	韓国語Ⅳ(研究)	2	選択	●				●						BS338		
2	252610	資格韓国語Ⅰ	1	選択	●				●						BS239		
2	252611	資格韓国語Ⅱ	1	選択	●				●						BS240		
情報処理																	
1	253000	情報活用基礎A	1	選択	●		●								BS141	日選必	L(必修)H・N・NP(選必)
1	253001	情報機器の操作A	1	選択	●		●								BS142	教必/日選必	H・N・NP(選必)
1	253002	情報活用基礎B	1	選択	●		●								BS143	日選必	L(必修)H・N・NP(選必)
1	253003	情報機器の操作B	1	選択	●		●								BS144	教必/日選必	H・N・NP(選必)
1	253004	情報活用A	1	選択	●		●								BS145		
1	253005	情報活用B	1	選択	●		●								BS146		
1	253006	プログラミング言語Ⅰ	2	選択	●			●							BS147		L(選必) 週2
1	253007	プログラミング言語Ⅱ	2	選択	●			●							BS148		L(選必) 週2
現地研修																	
1	255000	現地研修A	2	選択	●							●			BS149	単位認定科目	
1	255001	現地研修B	2	選択	●							●			BS150	単位認定科目	
1	255002	現地研修C	2	選択	●							●			BS151	単位認定科目	
1	255003	現地研修D	2	選択	●							●			BS152	単位認定科目	
1	255004	現地研修E	2	選択	●							●			BS153	単位認定科目	
1	255005	現地研修F	1	選択	●							●			BS154	単位認定科目	
1	255006	現地研修G	1	選択	●							●			BS155	単位認定科目	

・ 基盤教育科目の取得要件については、各学科の「卒業に必要な総単位数」の頁を参照のこと。
・ 原則として、外国語は同一クラスの1(春学期)・2(秋学期)を連続履修すること。
・ 「フランス語」「中国語」「韓国語」において、「ⅡA、B」の履修は、原則として1回生配当の「ⅠA、B」の履修が条件である。
・ 「韓国語」において、「Ⅲ、Ⅳ(研究)」の履修は、原則として「ⅠA、B」および「ⅡA、B」の履修が条件である。
・ 「資格中国語Ⅰ、Ⅱ」の履修は、原則として1回生配当の「中国語ⅠA、B」の履修が条件である。
・ 「資格韓国語Ⅰ、Ⅱ」の履修は、原則として1回生配当の「韓国語ⅠA、B」の履修が条件である。

21・20年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから 教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力	ナンバリング	備考
資格基礎																
1	256000	教職入門	2	選択	●								●		CZ101	教必
1	256001	教育学概論	2	選択	●			●							CZ102	教必/社教選
2	256002	教職基礎演習Ａ	1	選択	●							●			CZ203	
3	256003	教職基礎演習Ｂ	1	選択	●							●			CZ304	
3	256004	教職特別演習Ａ	1	選択	●							●			CZ305	
4	256005	教職特別演習Ｂ	1	選択	●							●			CZ406	
2	256006	学校インターンシップ　①	2	選択	●								●		CZ207	教選(保・養)
1	256100	図書館概論	2	選択	●									●	CZ108	司書必/社教選
1	256101	図書館情報資源概論	2	選択	●									●	CZ109	司書必/社教選
2	256200	博物館概論	2	選択	●									●	CZ210	学必/社教選
2	256201	博物館経営論	2	選択	●									●	CZ211	学必/社教選
2	256400	社会と言語	2	選択	●			●							CZ212	日必
2	256300	生涯学習概論Ⅰ	2	選択	●									●	CZ213	社教必
2	256301	生涯学習概論Ⅱ	2	選択	●									●	CZ214	司書必/学必/社教必
2	256500	レクリエーション概論	2	選択	●			●							CZ215	社教選/レク必
2	256501	レクリエーション実技	1	選択	●							●			CZ216	レク必
3	256502	レクリエーション現場実習	1	選択	●							●			CZ317	レク必

・ 基盤教育科目の取得要件については、各学科の「卒業に必要な総単位数」の頁を参照のこと。
・ ①「学校インターンシップ」は所定の要件を満たす学校インターンシップを行う科目であり、事前学習会・事後報告会における事前・事後指導が含まれる。
・ 資格の取得要件・注意事項については、資格の頁を参照のこと。

21・20年度入学生

教育課程（カリキュラム）

リベラルアーツ学部
リベラルアーツ学科

卒業に必要な総単位数　（21・20年度入学生）

		リベラルアーツ学科		備　　考
基盤教育科目	導入学習	2単位　必修	38単位	※①「日本語表現法」必修
	A群（先人の知を受けつぐ）	2単位　選択必修		
	B群（世界と今を読み解く）	2単位　選択必修		
	C群（未来をひらく）	2単位　選択必修		
	キャリア形成	4単位　必修		※②「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」必修
	外国語	8単位　選択必修		
				※③ 英語4単位選択必修
	情報処理			
		2単位　必修		「情報活用基礎A・B」必修
	現地研修	選択		
	資格基礎	選択		
	小　　計		38単位	
学科専門科目	基礎科目	2単位　必修	48単位	「リベラルアーツ入門」必修
		6単位　選択必修		
	基幹科目	28単位　選択必修		※④　自身の専攻より16単位以上、かつ自身の専攻以外の3専攻から各4単位以上の合計28単位以上を修得すること
	展開科目			
	演習科目	8単位　必修		
	小　　計		48単位	
合　　計			86単位	
関連科目	上記基盤教育科目・学科専門科目の余剰修得単位	選択	38単位	
	他学科開講科目			※⑤
	単位互換制度による修得単位			
総　　計			124単位	

資格専門（関連）科目	図書館司書専門科目	資格取得を希望する場合は各資格取得に必要な科目を履修すること	資格専門科目は卒業単位には算入されない
	博物館学芸員専門科目		
	日本語教員養成コース専門科目		
	社会教育主事任用資格専門科目		
	社会福祉主事任用資格関連科目		
	レクリエーション・インストラクター関連科目		

■　履修についての注意

※① 導入学習科目（選択）のうち、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」の2科目2単位は1回生時に、「基礎演習Ⅲ・Ⅳ」の2科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※② キャリア形成科目（選択）のうち、「数理リテラシー」の1科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※③ 以下1）～3）のいずれかの方法で修得すること。

1）外国語（英語）4科目4単位と、外国語（仏語・韓国語・中国語のうち1言語）から4科目4単位の計8単位を修得

2）外国語（英語）4科目4単位と、情報処理科目（プログラミング言語Ⅰ・Ⅱ）から2科目4単位の計8単位を修得

3）外国語（英語）の8科目8単位を修得

［選択必修　対象科目］

・英語は、「総合英語Ⅰ1・2、Ⅱ1・2」「実践コミュニケーション英語Ⅰ1・2、Ⅱ1・2」から4科目4単位、または全8科目8単位

・フランス語・中国語・韓国語は、いずれか1言語科目について、「ⅠA1・2」「ⅠB1・2」「ⅡA1・2」「ⅡB1・2」から4科目4単位

・情報処理科目は、「プログラミング言語Ⅰ・Ⅱ」の2科目4単位

※④ リベラルアーツ学科では「メジャー・マイナーコース制度」を導入している。
メジャー・マイナーコース制度の詳細は、別頁「メジャーコース・マイナーコースについて」を必ず確認すること。

※⑤ 他学科開講科目の修得単位は、単位互換制度での修得単位分を含め、30単位を上限として卒業単位に算入する。
また、単位互換制度による修得単位は、8単位を上限として卒業単位に算入する。

● 資格取得を希望する学生は、「資格取得について」の項を熟読し、資格取得に必要な科目を履修すること。

● 他学科開講科目として履修可能な科目は、開講科目表において、以下の記号により示す。
○……他学科履修可能科目

〔配当年次別科目一覧〕 21・20年度入学生カリキュラム

カッコ内は単位数。記載がない科目の単位数は２単位

		1年次	2年次	3年次	4年次
基盤教育科目	《導入学習》	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 日本語表現法 カレッジコミュニティⅠ	基礎演習Ⅲ(1) 基礎演習Ⅳ(1) カレッジコミュニティⅡ 読書演習		
	《A群(先人の知を受けつぐ)》	思想の世界 日本の歴史 民族と文化 ことばの世界 日本語を知る 教養としての日本文化 西洋の文化を考える 子どもの文化 芸術を鑑賞する	伝統文化演習(1)		
	《B群(世界と今を読み解く)》	日本の憲法 くらしと法律 現代社会を考える 東アジアを知る 人権を考える 平和を考える メディアを考える 情報リテラシー 心理学 くらしと化学 生物を知る	データリテラシー		
	《C群(未来をひらく)》	科学と倫理 ソーシャルメディア論 先端技術と文化 健康を管理する 書いて学ぶ文芸 描いて学ぶアート 健康とスポーツA(1) 健康とスポーツB(1)	生涯スポーツ実習A(1) 生涯スポーツ実習B(1)		
	《キャリア形成》	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ ホスピタリティ入門	数理リテラシー キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ インターンシップA	インターンシップB(1) プロジェクト型インターンシップ	
	《外国語》	総合英語Ⅰ1・2 実践コミュニケーション英語Ⅰ1・2 資格英語Ⅰ(1) 資格英語Ⅱ(1) フランス語ⅠA1・2 フランス語ⅠB1・2 中国語IA1・2 中国語IB1・2 韓国語ⅠA1・2 韓国語ⅠB1・2	総合英語Ⅱ1・2 実践コミュニケーション英語Ⅱ1・2 フランス語ⅡA1・2 フランス語ⅡB1・2 中国語ⅡA1・2 中国語ⅡB1・2 資格中国語Ⅰ(1) 資格中国語Ⅱ(1) 韓国語ⅡA1・2 韓国語ⅡB1・2 資格韓国語Ⅰ(1) 資格韓国語Ⅱ(1)	韓国語Ⅲ(研究) 韓国語Ⅳ(研究)	
	《情報処理》	情報活用基礎A(1) 情報機器の操作A(1) 情報活用基礎B(1) 情報機器の操作B(1) 情報活用A(1) 情報活用B(1) プログラミング言語Ⅰ プログラミング言語Ⅱ			
	《現地研修》	現地研修A 現地研修B 現地研修C	現地研修D 現地研修E 現地研修F(1)	現地研修G(1)	
	《資格基礎》	教職入門 教育学概論 図書館概論 図書館情報資源概論	教職基礎演習A(1) 学校インターンシップ 博物館概論 博物館経営論 社会と言語 生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ レクリエーション概論 レクリエーション実技(1)	教職基礎演習B(1) 教職特別演習A(1) レクリエーション現場実習(1)	教職特別演習B(1)

	専攻	1年次	2年次	3年次	4年次
リベラルアーツ学科専門科目	《基礎科目》	リベラルアーツ入門 コンテンツ制作基礎 デジタルデザイン基礎 現代文化論 言語ストラテジー 異文化理解論 日本語と外国語 隣国を知ろう(韓国)			
	《基幹科目/展開科目》 日本学専攻	日本神話・古典文学概論 近現代文学概論 児童文学概論 現地講義(日本学) 絵本ワークショップ 絵本論 日本文化史	日本伝統文化 日本神話・古典文学講読 近現代文学講読 児童文学講読 近・現代史 児童文学史 近現代文学史 古典文学史 マンガ論 創作研究	日本史研究 日本神話・古典文学作品研究 近現代文学作品研究 児童文学作品研究 日本史特講 日本神話・古典文学特講 近現代文学特講 児童文学特講	
	《基幹科目/展開科目》 韓国語韓国文化専攻	韓国語コミュニケーションⅠA1・2 韓国語コミュニケーションⅠB1・2 短期韓国語研修 韓国語研究A 韓国語研究B	韓国語コミュニケーションⅡA1・2 韓国語コミュニケーションⅡB1・2 現地講義(韓国) 韓国の社会と文化 留学準備講座(韓国) 韓国語研究C 韓国語研究D 日韓異文化理解論	韓国語コミュニケーションⅢA1・2 韓国語コミュニケーションⅢB1・2 日韓文化交流論 韓国・朝鮮事情 韓国語特殊研究A 韓国語特殊研究B 韓国語特殊研究C 韓国語特殊研究D 韓国・朝鮮特殊研究	
	《基幹科目/展開科目》 グローバル英語専攻	Practical English Communication A Practical English Communication B 短期英語研修	グローバル英語入門 Business Communication A Business Communication B 英語資格講座A(1) 英語資格講座B(1) 留学準備講座(英語圏) 子どもの英語とICT 国際ビジネス入門 ビジネスマナー入門 エアラインサービスビジネス論	上級英語資格講座A 上級英語資格講座B English for Specific Purposes 英語文学と映画 Global Issues Advanced Writing Presentation Skills Discussion Topics	
	《基幹科目/展開科目》 情報クリエイティブ専攻	プレゼンテーション技法	UIデザイン実習 音楽・サウンド基礎 クリエイティブプログラミング実習 造形研究 デジタル映像実習 映像制作基礎 広告デザイン演習 現代アート論 アニメーション論 映像メディア概論 ソフトウエアデザイン手法 イメージ創造論	サウンドデザイン実習 音楽制作実習 インターネット論 クラウドシステム実習 先端表現研究 アートプロデュース アート構想研究 3DCG実習 メディア表現技法A メディア表現技法B DTP実習	
	《演習科目》			専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

関連科目	上記基盤教育科目、学科専門科目の余剰修得単位 他学科開講科目・単位互換制度による修得単位

自由科目	資格専門科目 図書館司書	図書館サービス概論 図書・図書館史	図書館制度・経営論 図書館情報技術論 情報サービス論 児童サービス論 図書館基礎特論 図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書館施設論	情報サービス演習Ⅰ(1) 情報サービス演習Ⅱ(1)	情報資源組織論 図書館総合演習(1)	情報資源組織論演習Ⅰ(1) 情報資源組織論演習Ⅱ(1) 図書館実習(1)
	博物館学芸員		博物館資料論	博物館資料保存論 博物館展示論	博物館教育論 博物館情報・メディア論	博物館実習Ⅰ(1) 博物館実習Ⅱ
	日本語教員養成コース	教育心理学		日本語教育教材研究	日本語教育法ⅠA 日本語教育法ⅠB	日本語教育法ⅡA 日本語教育法ⅡB 日本語教育実習(1)
	社会教育主事任用資格		社会教育経営論Ⅰ 社会教育経営論Ⅱ	生涯学習支援論Ⅰ 生涯学習支援論Ⅱ	社会教育課題研究	社会教育演習(1) 社会教育実習(1)

21・20年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから 教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力	ナンバリング	他履修	備考
リベラルアーツ学科専門科目																	
基礎科目																	
1	150000	リベラルアーツ入門	2	必修		●		●							LL101		
1	150001	コンテンツ制作基礎	2	選択		●	●								LL102		
1	150002	デジタルデザイン基礎	2	選択		●						●			LL103		
1	150003	現代文化論	2	選択		●		●							LL104	○	学選
1	150004	言語ストラテジー	2	選択		●						●			LL105	○	日選
1	150005	異文化理解論	2	選択		●			●						LL106	○	日選/社教選
1	150006	日本語と外国語	2	選択		●	●								LL107	○	日必
1	150007	隣国を知ろう(韓国)	2	選択		●		●							LL108		
基幹科目																	
日本学専攻																	
1	151000	日本神話・古典文学概論	2	選択		●		●							LJ101	○	日選
1	151001	近現代文学概論	2	選択		●		●							LJ102	○	日選
1	151002	児童文学概論	2	選択		●		●							LJ103	○	
1	151003	現地講義(日本学)	2	選択		●						●			LJ104		
1	151004	絵本ワークショップ	2	選択		●						●			LJ105		
1	151005	絵本論	2	選択		●		●							LJ106	○	
1	151006	日本文化史	2	選択		●		●							LJ107	○	学選/日選
2	151007	日本伝統文化	2	選択		●		●							LJ208	○	学選/日選
2	151008	日本神話・古典文学講読	2	選択		●		●							LJ209	○	
2	151009	近現代文学講読	2	選択		●		●							LJ210	○	
2	151010	児童文学講読	2	選択		●		●							LJ211	○	
2	151011	近・現代史	2	選択		●		●							LJ212	○	日選
2	151012	児童文学史	2	選択		●		●							LJ213	○	
2	151013	近現代文学史	2	選択		●		●							LJ214	○	
2	151014	古典文学史	2	選択		●		●							LJ215	○	
2	151015	マンガ論	2	選択		●		●							LJ216	○	
2	151016	創作研究	2	選択		●		●							LJ217		
韓国語・韓国文化専攻																	
1	151200	韓国語コミュニケーションⅠA1　①	1	選択		●			●						LK101		
1	151201	韓国語コミュニケーションⅠA2　①	1	選択		●			●						LK102		
1	151202	韓国語コミュニケーションⅠB1　①	1	選択		●			●						LK103		
1	151203	韓国語コミュニケーションⅠB2　①	1	選択		●			●						LK104		
1	151204	短期韓国語研修	2	選択		●			●						LK105		
1	151205	韓国語研究A	2	選択		●						●			LK106		
1	151206	韓国語研究B	2	選択		●			●						LK107		
2	151207	韓国語コミュニケーションⅡA1　②	1	選択		●			●						LK208		
2	151208	韓国語コミュニケーションⅡA2　②	1	選択		●			●						LK209		
2	151209	韓国語コミュニケーションⅡB1　②	1	選択		●			●						LK210		
2	151210	韓国語コミュニケーションⅡB2　②	1	選択		●			●						LK211		
2	151211	現地講義(韓国)	2	選択		●						●			LK212		
2	151212	韓国の社会と文化	2	選択		●		●							LK213	○	
2	151213	留学準備講座(韓国)	2	選択		●	●								LK214		
2	151214	韓国語研究C	2	選択		●			●						LK215		
2	151215	韓国語研究D	2	選択		●			●						LK216		
2	151216	日韓異文化理解論	2	選択		●		●							LK217	○	日選
グローバル英語専攻																	
1	151400	Practical English Communication A	2	選択		●			●						LG101	○	週2
1	151401	Practical English Communication B	2	選択		●			●						LG102	○	週2
1	151402	短期英語研修	2	選択		●								●	LG103	○	
2	151403	グローバル英語入門	2	選択		●				●					LG204	○	
2	151404	Business Communication A	2	選択		●			●						LG205	○	週2
2	151405	Business Communication B	2	選択		●			●						LG206	○	週2
2	151406	英語資格講座A	1	選択		●					●				LG207	○	
2	151407	英語資格講座B	1	選択		●					●				LG208	○	
2	151408	留学準備講座(英語圏)	2	選択		●						●			LG209	○	
2	151409	子どもの英語とICT	2	選択		●			●						LG210	○	
2	151410	国際ビジネス入門	2	選択		●		●							LG211	○	
2	151411	ビジネスマナー入門	2	選択		●							●		LG212	○	
2	151412	エアラインサービスビジネス論	2	選択		●				●					LG213	○	
情報クリエイティブ専攻																	
1	151600	プレゼンテーション技法	2	選択		●			●						LI101	○	日選
2	151601	UIデザイン実習	2	選択		●				●					LI202		
2	151602	音楽・サウンド基礎	2	選択		●		●							LI203		
2	151603	クリエイティブプログラミング実習	2	選択		●		●							LI204		

・①「韓国語コミュニケーションⅠA、ⅠB」の履修希望者は、「韓国語ⅠA、ⅠB」を同時履修すること。
・②「韓国語コミュニケーションⅡA、ⅡB」の履修希望者は、「韓国語ⅡA、ⅡB」を同時履修すること。

21・20年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから 教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力	ナンバリング	他履修	備考
2	151604	造形研究	2	選択		●						●			LI205	○	
2	151605	デジタル映像実習	2	選択		●				●					LI206		
2	151606	映像制作基礎	2	選択		●			●						LI207		
2	151607	広告デザイン演習	2	選択		●			●						LI208	○	
2	151608	現代アート論	2	選択		●		●							LI209	○	学選
2	151609	アニメーション論	2	選択		●	●								LI210	○	
2	151610	映像メディア概論	2	選択		●		●							LI211	○	
2	151611	ソフトウエアデザイン手法	2	選択		●		●							LI212		
2	151612	イメージ創造論	2	選択		●	●								LI213	○	学選
展開科目																	
日本学専攻																	
3	152000	日本史研究	2	選択		●		●							LJ318		
3	152001	日本神話･古典文学作品研究	2	選択		●		●							LJ319		
3	152002	近現代文学作品研究	2	選択		●		●							LJ320		
3	152003	児童文学作品研究	2	選択		●		●							LJ321		
3	152004	日本史特講	2	選択		●		●							LJ322		
3	152005	日本神話･古典文学特講	2	選択		●		●							LJ323		
3	152006	近現代文学特講	2	選択		●		●							LJ324		
3	152007	児童文学特講	2	選択		●		●							LJ325		
韓国語・韓国文化専攻																	
3	152200	韓国語コミュニケーションⅢA1	1	選択		●			●						LK318		
3	152201	韓国語コミュニケーションⅢA2	1	選択		●			●						LK319		
3	152202	韓国語コミュニケーションⅢB1	1	選択		●			●						LK320		
3	152203	韓国語コミュニケーションⅢB2	1	選択		●			●						LK321		
3	152204	日韓文化交流論	2	選択		●		●							LK322	○	日選
3	152205	韓国･朝鮮事情	2	選択		●		●							LK323	○	
3	152206	韓国語特殊研究A	2	選択		●			●						LK324		
3	152207	韓国語特殊研究B	2	選択		●			●						LK325		
3	152208	韓国語特殊研究C	2	選択		●			●						LK326		
3	152209	韓国語特殊研究D	2	選択		●			●						LK327		
3	152210	韓国･朝鮮特殊研究	2	選択		●		●							LK328	○	
グローバル英語専攻																	
3	152400	上級英語資格講座A	2	選択		●						●			LG314	○	
3	152401	上級英語資格講座B	2	選択		●						●			LG315	○	
3	152402	English for Specific Purposes	2	選択		●			●						LG316	○	
3	152403	英語文学と映画	2	選択		●		●							LG317	○	
3	152404	Global Issues	2	選択		●								●	LG318	○	週2
3	152405	Advanced Writing	2	選択		●		●							LG319	○	週2
3	152406	Presentation Skills	2	選択		●			●						LG320	○	週2
3	152407	Discussion Topics	2	選択		●		●							LG321	○	週2
情報クリエイティブ専攻																	
3	152600	サウンドデザイン実習	2	選択		●				●					LI314		
3	152601	音楽制作実習	2	選択		●				●					LI315		
3	152602	インターネット論	2	選択		●	●								LI316		
3	152603	クラウドシステム実習	2	選択		●				●					LI317		
3	152604	先端表現研究	2	選択		●								●	LI318		
3	152605	アートプロデュース	2	選択		●							●		LI319	○	
3	152606	アート構想研究	2	選択		●				●					LI320		
3	152607	3DCG実習	2	選択		●				●					LI321		
3	152608	メディア表現技法A	2	選択		●		●							LI322		
3	152609	メディア表現技法B	2	選択		●		●							LI323		
3	152610	DTP実習	2	選択		●				●					LI324		
演習科目																	
3	153000	専門演習Ⅰ　①	2	必修		●	●								LL309		
3	153001	専門演習Ⅱ　①	2	必修		●	●								LL310		
4	153002	卒業研究Ⅰ	2	必修		●	●								LL411		
4	153003	卒業研究Ⅱ	2	必修		●	●								LL412		

・① 3回生「専門演習」のクラスは、2回生で開催される説明会を経て、事前登録により決定する。

〔リベラルアーツ学科　学位プログラムツリー〕　21・20年度入学生カリキュラム

ディプロマ・ポリシー		幅広い一般的知識・教養を身につけ、かつ社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解できること。									リベラルアーツの総合的、学際的学		
		基盤教育科目（教養力：現代を生きる社会人としての教養と知識、スキルを修得し、活用することができる）									リベラルアーツ学科専門科目（専門		
ディプロマ・ポリシーの具体化（第1階層）		社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解して自分自身のデザインにつながる、幅広い教養を身につける			グローバル社会、高度情報化社会を生きていくうえで必要な基本的技能を身につける		学びの基礎的技能、自立に向けて必要な知識・技能を身につけるとともに、地域社会とのかかわり等から社会や人間のもつ課題を理解し、専門の学びを経て社会的・職業的自立へと向かう準備を行う			学校教育・社会教育等の資格の基礎となる知識を身につけるとともに、社会の課題を理解する	複数分野をベースに自身の課題を設定することができ、その課題を論理的思考を持って解決にあたる力と、その過程や結果を他者に論理的かつ明確に説明できる表現力を身につける	日本の社会と文化をより幅広い専門的知識が身	
ディプロマ・ポリシーの具体化（第2階層）		先人たちがたどった知の道のり、築いてきたものを理解する	我々が生きる世界と今を読み解く	未来を見通し、自分自身をデザインする	英語など母語以外の言語で基本的なコミュニケーションを行う技能を身につけるとともに、社会や文化の多様性を理解する	情報機器を操作し、諸問題にICTを活用できる基本的な技能を身につける	大学における学びに必要な基礎的技能を身につけるとともに、専門の学びへの準備を行う	地域社会とのかかわりや知と向き合う読書活動から、社会や人間のもつ課題を理解する	社会的・職業的自立を果たすために必要な知識・技能の基礎を身につける			日本の歴史を理解し史実の虚構の区別ができる力が身についている	日本神話や古典文学を読み解き、深く理解する力が身についている
4年次	秋学期										卒業研究Ⅱ		
	春学期									教職特別演習B	卒業研究Ⅰ		
3年次	秋学期				韓国語Ⅳ（研究）				インターンシップB	教職特別演習A	専門演習Ⅱ	日本史特講	日本神話・古典文学特講
	春学期				韓国語Ⅲ（研究）				インターンシップB プロジェクト型インターンシップ	教職基礎演習B レクリエーション現場実習	専門演習Ⅰ	日本史研究	日本神話・古典文学作品研究
2年次	秋学期			生涯スポーツ実習B	総合英語Ⅱ2 実践コミュニケーション英語Ⅱ2 フランス語ⅡA2 フランス語ⅡB2 中国語ⅡA2 中国語ⅡB2 資格中国語Ⅱ 韓国語ⅡA2 韓国語ⅡB2 資格韓国語Ⅱ		基礎演習Ⅳ		キャリアデザインⅣ インターンシップA	教職基礎演習A 学校インターンシップ 博物館経営論 生涯学習概論Ⅱ レクリエーション実技		日本伝統文化	日本神話・古典文学講読
	春学期	伝統文化演習	データリテラシー	生涯スポーツ実習A	総合英語Ⅱ1 実践コミュニケーション英語Ⅱ1 フランス語ⅡA1 フランス語ⅡB1 中国語ⅡA1 中国語ⅡB1 資格中国語Ⅰ 韓国語ⅡA1 韓国語ⅡB1 資格韓国語Ⅰ	情報活用B	基礎演習Ⅲ	カレッジコミュニティⅡ 読書演習	数理リテラシー キャリアデザインⅢ インターンシップA	学校インターンシップ 博物館概論 社会と言語 生涯学習概論Ⅰ レクリエーション概論		近・現代史	近現代 古典
1年次	秋学期	民族と文化 ことばの世界 日本語を知る 西洋の文化を考える 芸術を鑑賞する	日本の憲法 くらしと法律 現代社会を考える 人権を考える メディアを考える くらしと化学	科学と倫理 ソーシャルメディア論 健康を管理する 書いて学ぶ文芸 健康とスポーツB	総合英語I2 実践コミュニケーション英語I2 資格英語Ⅱ フランス語IA2 フランス語IB2 中国語IA2 中国語IB2 韓国語IA2 韓国語IB2	情報活用基礎B 情報機器の操作B 情報活用A プログラミング言語Ⅱ	基礎演習Ⅱ		キャリアデザインⅡ ホスピタリティ入門	図書館情報資源概論	デジタルデザイン基礎 異文化理解論 隣国を知ろう（韓国）		日本神話・古典文学概論 現地講義 日本
	春学期	思想の世界 日本の歴史 教養としての日本文化 子どもの文化	東アジアを知る 平和を考える 心理学 生物を知る 情報リテラシー	描いて学ぶアート 健康とスポーツA 先端技術と文化	総合英語I1 実践コミュニケーション英語I1 資格英語I フランス語IA1 フランス語IB1 中国語IA1 中国語IB1 韓国語IA1 韓国語IB1 現地研修A～G	情報活用基礎A 情報機器の操作A プログラミング言語I	基礎演習I 日本語表現法	カレッジコミュニティI	キャリアデザインI	教職入門 教育学概論 図書館概論	リベラルアーツ入門 コンテンツ制作基礎 現代文化論 言語ストラテジー 日本語と外国語		現地講義
ナンバリングとの対応		BA			BS		BC			BZ	LL	LJ	

学位プログラムツリーはカリキュラムの体系性を示すためのモデルです。年度によって開講時期が変わる場合があります。

修分野より複数の分野にわたる専門知識と技能を有すること。その知識を元に課題解決のための企画力、実践力を身につけていること。

力：学位プログラムの専門知識・技能を修得し、活用できる）

関連科目

深く理解するための、についている		韓国語を一定程度駆使しながら、韓国社会・文化をより深く理解するための、幅広い専門的知識が身についている		実践的な英語コミュニケーション力を有し、グローバル化する社会について理解を深め、その課題解決のための企画力と実践力が身についている		表現に関する知識と技能を有し、課題解決のために表現に関する企画とその実践ができる					心理学、あるいは健康学（栄養、運動、健康）に関する基礎的な知識をある程度有し、課題解決のためにそれらの知識を活かした企画とその実践ができる。	
近現代の文学作品を読み解き、深く理解する力が身についている	子どものための文学や絵本を読み解き、深く理解する力が身についている	韓国社会や文化に対する一定の理解を持ちながら、韓国語を一定程度駆使する力を持っている	韓国語を一定程度駆使しながら、韓国社会・文化について深く理解する力が身についている	ビジネスコミュニケーション力及びグローバルビジネスに関する知識をある程度有し、ビジネス課題を解決するための企画と実践ができる	英語文化や社会に関する知識をある程度有し、国際問題について理解を深め、その解決のための企画と実践ができる	映像表現に関する知識と技能を有し、課題解決のための映像に関する企画とその実践ができる	サウンド表現に関する知識と技能を有し、課題解決のためのサウンドに関する企画とその実践ができる	現代アートに関する知識と技能を有し、課題解決のための現代アートに関する企画とその実践ができる	デザインに関する知識と技能を有し、課題解決のためのデザインに関する企画とその実践ができる	プログラミングに関する知識と技能を有し、課題解決のためのプログラミングに関する企画とその実践ができる	心理学に関する基礎的な知識をある程度有し、課題解決のためにそれらの知識を活かした企画とその実践ができる	健康学（栄養、運動、健康）に関する基礎的な知識をある程度有し、課題解決のためにそれらの知識を活かした企画とその実践ができる
近現代文学特講	児童文学特講	韓国語コミュニケーションIIA2	韓国・朝鮮特殊研究	上級英語資格講座B			サウンドデザイン実習	アート構想研究		インターネット論	思春期青年期心理学	運動療法B
		韓国語コミュニケーションIIB2		Advanced Writing	英語文学と映画	メディア表現技法B					家族心理学II	
		韓国語特殊研究B			Discussion Topics						異常心理学	
		韓国語特殊研究D									障害者・障害児心理学II	
近現代文学作品研究	児童文学作品研究	韓国語コミュニケーションIIA1	日韓文化交流論	上級英語資格講座A		3DCG実習	音楽制作実習	先端表現研究	DTP実習	クラウドシステム実習	産業・組織心理学	食文化論
		韓国語コミュニケーションIIB1	韓国・朝鮮事情	English for Specific Purposes		メディア表現技法A		アートプロデュース			家族心理学I	運動療法A
		韓国語特殊研究A		Presentation Skills	Global Issues						障害者・障害児心理学I	
		韓国語特殊研究C										
近現代文学講読	児童文学講読	韓国語コミュニケーションIIA2		Business Communication B		デジタル映像実習			UIデザイン実習		産業心理学概論	衛生学
マンガ論		韓国語コミュニケーションIIB2		英語資格講座B						クリエイティブプログラミング実習		
		韓国語研究D	現地講義（韓国）	国際ビジネス入門			イメージ創造論					
						アニメーション論						
児童文学史		韓国語コミュニケーションIIA1		グローバル英語入門		映像制作基礎		造形研究	広告デザイン演習		（データリテラシー）	栄養学
文学史		韓国語コミュニケーションIIB1		Business Communication A		現代アート論					行動心理学	食品学
文学史			現地講義（韓国）	英語資格講座A		映像メディア概論					健康・医療心理学I	
創作研究			韓国の社会と文化	留学準備講座（英語圏）		ソフトウエアデザイン手法						
		留学準備講座（韓国）		ビジネスマナー入門	子どもの英語とICT		音楽・サウンド基礎					
		韓国語研究C	日韓異文化理解論	エアラインサービスビジネス論								
近現代文学概論	児童文学概論	韓国語コミュニケーションIA2		Practical English Communication B								
（日本学）		韓国語コミュニケーションIB2		短期英語研修								
文化史		短期韓国語研修										
		韓国語研究B										
		韓国語コミュニケーションIA1		Practical English Communication A		プレゼンテーション技法					（心理学）	（くらしと化学）
（日本学）		韓国語コミュニケーションIB1									心理調査概論	（生物を知る）
	絵本ワークショップ	韓国語研究A										
	絵本論											
		LK		LG		LI					—	—

メジャーコース・マイナーコースについて

リベラルアーツ学科には、４つの専攻「日本学専攻」「韓国語韓国文化専攻」「グローバル英語専攻」「情報クリエイティブ専攻」があり、**卒業要件として「自身の専攻より 16 単位以上、かつ自身の専攻以外の３専攻から各４単位以上の合計 28 単位以上を修得する」ことが必要ですが、加えて体系的な学びを実現するために「メジャーコース・マイナーコース制度」を設けています。**

メジャーコース・マイナーコース制度とは、「①深く学びたいメジャーコースを選び②メジャーコースの他にも興味のある分野を学生のみなさんが見つけ出し、マイナーコースとして体系だった学びを実現する」ための制度です。メジャーコース・マイナーコースを組み合わせ、自分らしいゴールをめざしてください。

【メジャーコース・マイナーコース】

メジャーコース

自身が希望するコースのある専攻から 16 単位以上を修得し、コース担当教員の演習科目（3 回生「専門演習Ⅰ・Ⅱ」、4 回生「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」）を修得します。

マイナーコース

① 自身が希望するメジャーコースのある専攻以外から、マイナーコースを選択し、定められた科目を 4 回生春学期までに修得します。※ 1

※ 1　多くの組み合わせがある為、時間割が重複する可能性があります。希望する全てのコース科目を履修できるわけではありません。

② ①に加えて、4 回生春学期末までの所定の期間（別途指示）にマイナーコースでの学びのレポートもしくは大学在学中に取得した資格取得証明書（外国語資格コースの場合）を提出します。
レポートの提出はマイナーコースで定められた条件を満たしていることが必要です。
レポートは教員による審査が行われ、審査を合格したマイナーコース修了者には、卒業時に卒業証書に加えてマイナーコース修了証が発行されます。※ 2

※ 2　マイナーコースの申請にかかわらず、修得した科目は卒業要件単位として算入されます。

【希望調査について】

メジャーコース

毎年希望調査を実施しますが、2 回生秋学期に最終確認し、3 回生の演習科目「専門演習Ⅰ・Ⅱ」のクラスが確定することで、メジャーコースが決定します。※ 3

※ 3　希望者が多い場合は人数制限を行います。

マイナーコース

メジャーコース決定後に希望調査を行います。

メジャーコース（４専攻 13 コース）

日本学専攻 ・歴史学コース ・日本神話・古典文学コース ・近現代文学コース ・児童文学コース
韓国語韓国文化専攻 ・韓国語コース ・韓国文化コース
グローバル英語専攻 ・ビジネスコミュニケーションコース ・多文化コミュニケーションコース
情報クリエイティブ専攻 ・映像表現コース ・サウンド表現コース ・現代アート表現コース ・デザイン表現コース ・プログラミング表現コース

マイナーコース（17 コース）

日本学 ・歴史学マイナーコース ・日本神話・古典文学マイナーコース ・近現代文学マイナーコース ・児童文学マイナーコース
グローバル英語 ・ビジネスコミュニケーションマイナーコース ・多文化コミュニケーションマイナーコース
情報クリエイティブ ・映像表現マイナーコース ・サウンド表現マイナーコース ・現代アート表現マイナーコース ・デザイン表現マイナーコース ・プログラミング表現マイナーコース
外国語資格　※ ・英語資格マイナーコース 注意：メジャーコースが「グローバル英語専攻」の場合選択できません。 ・韓国語資格マイナーコース 注意：メジャーコースが「韓国語韓国文化専攻」の場合選択できません。 ※マイナーコースとして、英語資格・韓国語資格の両方を選択することは可能です。
心理学 ・産業統計心理学マイナーコース ・健康発達心理学マイナーコース
健康学 ・栄養・健康マイナーコース ・運動・健康マイナーコース

メジャーコース科目一覧

カッコ内は単位数。記載がない科目の単位数は 2 単位

専攻	日本学専攻			
コース	歴史学	日本神話・古典文学	近現代文学	児童文学
3・4 年次 演習科目	専門演習Ⅰ・専門演習Ⅱ			
	卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ			
3 年次 展開科目	日本史研究	日本神話・古典文学作品研究	近現代文学作品研究	児童文学作品研究
	日本史特講	日本神話・古典文学特講	近現代文学特講	児童文学特講
2 年次 基幹科目	日本伝統文化	日本神話・古典文学講読	近現代文学講読	児童文学講読
	近・現代史		児童文学史	
	近現代文学史			
	古典文学史			
			マンガ論	
		創作研究		
1 年次 基幹科目		日本神話・古典文学概論	近現代文学概論	児童文学概論
	現地講義（日本学）			
				絵本ワークショップ
				絵本論
	日本文化史			

専攻	韓国語韓国文化専攻	
コース	韓国語	韓国文化
3・4 年次 演習科目	専門演習Ⅰ・専門演習Ⅱ	
	卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ	
3 年次 展開科目	韓国語特殊研究Ａ	日韓文化交流論
	韓国語特殊研究Ｂ	韓国・朝鮮事情
	韓国語特殊研究Ｃ	韓国・朝鮮特殊研究
	韓国語特殊研究Ｄ	
	韓国語コミュニケーションⅢＡ１（1）／Ｂ１（1）	
	韓国語コミュニケーションⅢＡ２（1）／Ｂ２（1）	
2 年次 基幹科目	韓国語コミュニケーションⅡＡ１（1）／Ｂ１（1）	現地講義（韓国）
	韓国語コミュニケーションⅡＡ２（1）／Ｂ２（1）	韓国の社会と文化
	留学準備講座（韓国）	
	韓国語研究Ｃ	日韓異文化理解論
	韓国語研究Ｄ	
1 年次 基幹科目	韓国語コミュニケーションⅠＡ１（1）／Ｂ１（1）	
	韓国語コミュニケーションⅠＡ２（1）／Ｂ２（1）	
	短期韓国語研修	
	韓国語研究Ａ	
	韓国語研究Ｂ	

メジャーコース科目一覧

専攻	グローバル英語専攻	
コース	ビジネスコミュニケーション	多文化コミュニケーション
3・4年次 演習科目	専門演習Ⅰ・専門演習Ⅱ	
	卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ	
3年次 展開科目	Presentation Skills	Global Issues
	Advanced Writing	Discussion Topics
	上級英語資格講座A	
	上級英語資格講座B	
		英語文学と映画
	English for Specific Purposes	
2年次 基幹科目	グローバル英語入門	
	英語資格講座A（1）	
	英語資格講座B（1）	
	Business Communication A	
	Business Communication B	
	留学準備講座（英語圏）	
	国際ビジネス入門	子どもの英語とICT
	ビジネスマナー入門	
	エアラインサービスビジネス論	
1年次 基幹科目	Practical English Communication A	
	Practical English Communication B	
	短期英語研修	

専攻	情報クリエイティブ専攻				
コース	映像表現	サウンド表現	現代アート表現	デザイン表現	プログラミング表現
3・4年次 演習科目	専門演習Ⅰ・専門演習Ⅱ				
	卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ				
3年次 展開科目	3DCG実習	音楽制作実習	アートプロデュース	DTP実習	インターネット論
	メディア表現技法B		アート構想研究		クラウドシステム実習
	メディア表現技法A	サウンドデザイン実習	先端表現研究		
2年次 基幹科目	イメージ創造論				
	ソフトウエアデザイン手法				
	映像メディア概論				
	アニメーション論				
	現代アート論				
	映像制作基礎	音楽・サウンド基礎	造形研究	広告デザイン演習	クリエイティブプログラミング実習
	デジタル映像実習			UIデザイン実習	
1年次 基幹科目	プレゼンテーション技法				

マイナーコース科目一覧

コース		配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	科目種別	備考
日本学 自身が希望するコースから8単位以上を修得すること	歴史学マイナーコース	1	251001	日本の歴史	2	選択	基盤	
		1	151006	日本文化史	2	選択	L 基幹	
		2	151013	近現代文学史	2	選択	L 基幹	
		2	151007	日本伝統文化	2	選択	L 基幹	
		2	151014	古典文学史	2	選択	L 基幹	
		3	152000	日本史研究	2	選択	L 展開	
		3	152004	日本史特講	2	選択	L 展開	
	日本神話・古典文学マイナーコース	1	151000	日本神話・古典文学概論	2	選択	L 基幹	
		1	151006	日本文化史	2	選択	L 基幹	
		2	151008	日本神話・古典文学講読	2	選択	L 基幹	
		2	151014	古典文学史	2	選択	L 基幹	
		2	151013	近現代文学史	2	選択	L 基幹	
		3	152001	日本神話・古典文学作品研究	2	選択	L 展開	
		3	152005	日本神話・古典文学特講	2	選択	L 展開	
	近現代文学マイナーコース	1	151001	近現代文学概論	2	選択	L 基幹	
		1	151006	日本文化史	2	選択	L 基幹	
		2	151009	近現代文学講読	2	選択	L 基幹	
		2	151013	近現代文学史	2	選択	L 基幹	
		2	151012	児童文学史	2	選択	L 基幹	
		3	152003	近現代文学作品研究	2	選択	L 展開	
		3	152006	近現代文学特講	2	選択	L 展開	
	児童文学マイナーコース	1	151002	児童文学概論	2	選択	L 基幹	
		1	151005	絵本論	2	選択	L 基幹	
		2	151010	児童文学講読	2	選択	L 基幹	
		2	151012	児童文学史	2	選択	L 基幹	
		3	152003	児童文学作品研究	2	選択	L 展開	
		3	152007	児童文学特講	2	選択	L 展開	
グローバル英語 自身が希望するコースから8単位以上を修得すること	ビジネスコミュニケーションマイナーコース	2	151404	Business Communication A	2	選択	L 基幹	
		2	151405	Business Communication B	2	選択	L 基幹	
		2	151410	国際ビジネス入門	2	選択	L 基幹	
		2	151412	エアラインサービスビジネス論	2	選択	L 基幹	
		2	151411	ビジネスマナー入門	2	選択	L 基幹	
		3	152402	English for Specific Purposes	2	選択	L 展開	
		3	152406	Presentation Skills	2	選択	L 展開	
	多文化コミュニケーションマイナーコース	1	150005	異文化理解論	2	選択	L 基礎	
		2	151406	英語資格講座A	1	選択	L 基幹	
		2	151407	英語資格講座B	1	選択	L 基幹	
		3	152404	Global Issues	2	選択	L 展開	
		3	152407	Discussion Topics	2	選択	L 展開	
		3	152400	上級英語資格講座A	2	選択	L 展開	
		3	152401	上級英語資格講座B	2	選択	L 展開	

マイナーコース科目一覧

コース		配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	科目種別	備考
情報クリエイティブ 自身が希望するコースから8単位以上を修得すること	**映像表現マイナーコース**	1	150001	コンテンツ制作基礎	2	必修	L 基礎	
		2	151606	映像制作基礎	2	必修	L 基幹	
		2	151605	デジタル映像実習	2	選択	L 基幹	
		3	152608	メディア表現技法A	2	選択	L 展開	
		3	152609	メディア表現技法B	2	選択	L 展開	
		3	152607	3DCG 実習	2	選択	L 展開	
	サウンド表現マイナーコース	1	150001	コンテンツ制作基礎	2	必修	L 基礎	
		1	150003	現代文化論　①	2	必修	L 基礎	
		2	151602	音楽・サウンド基礎	2	必修	L 基幹	
		3	152609	メディア表現技法B	2	選択	L 展開	
		3	152601	音楽制作実習	2	選択	L 展開	
		3	152600	サウンドデザイン実習	2	選択	L 展開	
	現代アート表現マイナーコース	1	150003	現代文化論　①	2	必修	L 基礎	
		2	151612	イメージ創造論	2	選択	L 基幹	
		2	151608	現代アート論	2	選択	L 基幹	
		2	151604	造形研究	2	選択	L 基幹	
		3	152606	アート構想研究	2	選択	L 展開	
		3	152605	アートプロデュース	2	選択	L 展開	
		3	152604	先端表現研究	2	選択	L 展開	
	デザイン表現マイナーコース	1	150001	コンテンツ制作基礎	2	必修	L 基礎	
		1	151600	プレゼンテーション技法	2	必修	L 基幹	
		1	150002	デジタルデザイン基礎	2	必修	L 基礎	
		2	151607	広告デザイン演習	2	選択	L 基幹	
		2	151601	UI デザイン実習	2	選択	L 基幹	
		3	152610	DTP 実習	2	選択	L 展開	
	プログラミング表現マイナーコース	1	253006	プログラミング言語Ⅰ	2	必修	基盤	
		1	253007	プログラミング言語Ⅱ	2	必修	基盤	
		2	151611	ソフトウェアデザイン手法	2	必修	L 基幹	2単位選択
		2	151603	クリエイティブプログラミング実習	2	必修	L 基幹	
		3	152603	クラウドシステム実習	2	選択	L 展開	2単位選択
		3	152602	インターネット論	2	選択	L 展開	
外国語資格 自身が希望するコースから8単位以上を修得すること、および、下記の資格を取得すること。 **英語資格** TOEIC® 公開テストスコア500点（公式認定証を指定の期日までに提出すること） **韓国語資格** 「ハングル」能力検定試験4級（合格証明書を指定の期日までに提出すること）	**英語資格マイナーコース**	2	252002/252003	総合英語Ⅱ 1・2	2	選択	基盤	
		2	252006/252007	実践コミュニケーション英語Ⅱ 1・2	2	選択	基盤	
		1	252008	資格英語Ⅰ	1	選択	基盤	
		1	252009	資格英語Ⅱ	1	選択	基盤	
		2	151406	英語資格講座A	1	選択	L 基幹	
		2	151407	英語資格講座B	1	選択	L 基幹	
		3	152400	上級英語資格講座A	2	選択	L 展開	
		3	152401	上級英語資格講座B	2	選択	L 展開	
	韓国語資格マイナーコース	2	252610	資格韓国語Ⅰ	1	選択	基盤	
		2	252611	資格韓国語Ⅱ	1	選択	基盤	
		1	252600	韓国語ⅠA1	1	選択	基盤	
		1	252602	韓国語ⅠB1	1	選択	基盤	
		1	252601	韓国語ⅠA2	1	選択	基盤	
		1	252603	韓国語ⅠB2	1	選択	基盤	
		2	252604	韓国語ⅡA1	1	選択	基盤	
		2	252606	韓国語ⅡB1	1	選択	基盤	
		2	252605	韓国語ⅡA2	1	選択	基盤	
		2	252607	韓国語ⅡB2	1	選択	基盤	
		1	151200	韓国語コミュニケーションⅠA1	1	選択	L 基幹	
		1	151202	韓国語コミュニケーションⅠB1	1	選択	L 基幹	
		1	151201	韓国語コミュニケーションⅠA2	1	選択	L 基幹	
		1	151203	韓国語コミュニケーションⅠB2	1	選択	L 基幹	
		1	151205	韓国語研究A	2	選択	L 基幹	2単位選択
		2	151211	現地講義（韓国）	2	選択	L 基幹	

・①「現代文化論」の履修については、学科の履修指導に従うこと。

マイナーコース科目一覧

コース		配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	科目種別	備考
心理学 自身が希望するコースから8単位以上を修得すること	**産業統計心理学マイナーコース**	1	251208	心理学	2	選択	基盤	
		2	251211	データリテラシー	2	選択	基盤	
		2	351014	産業心理学概論	2	選択	H専門	
		3	352017	産業・組織心理学	2	選択	H専門	
		1	350004	心理調査概論	2	選択	H専門	
		2	351013	行動心理学	2	選択	H専門	
	健康発達心理学マイナーコース	1	251208	心理学	2	選択	基盤	
		2	351015	健康・医療心理学Ⅰ	2	選択	H専門	
		3	352008	思春期青年期心理学	2	選択	H専門	
		3	352009	家族心理学Ⅰ	2	選択	H専門	
		3	352010	家族心理学Ⅱ	2	選択	H専門	
		3	352012	異常心理学	2	選択	H専門	
		3	352020	障害者・障害児心理学Ⅰ	2	選択	H専門	
		3	352021	障害者・障害児心理学Ⅱ	2	選択	H専門	
健康学 自身が希望するコースから8単位以上を修得すること	**栄養・健康マイナーコース**	1	251209	くらしと化学	2	選択	基盤	
		1	251210	生物を知る	2	選択	基盤	
		2	351200	栄養学	2	選択	H専門	
		2	351201	食品学	2	選択	H専門	
		2	351202	衛生学	2	選択	H専門	
		3	356512	食文化論	2	選択	NP専門	
	運動・健康マイナーコース	1	251209	くらしと化学	2	選択	基盤	
		1	251210	生物を知る	2	選択	基盤	
		2	351200	栄養学	2	選択	H専門	
		2	351201	食品学	2	選択	H専門	
		3	357506	運動療法A	2	選択	NP専門	
		3	357507	運動療法B	2	選択	NP専門	

21・20年度入学生

教育課程（カリキュラム）

人間科学部
心理学科

卒業に必要な総単位数　（21・20年度入学生）

		心理学科		備　考
基盤教育科目	導入学習	2単位　必修	28単位	※①「日本語表現法」必修
	A群（先人の知を受けつぐ）	2単位　選択必修		
	B群（世界と今を読み解く）	2単位　選択必修		
	C群（未来をひらく）	2単位　選択必修		
	キャリア形成	4単位　必修		※②「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」必修
	外国語	8単位　選択必修		※③
	情報処理	2単位　選択必修		※④
	現地研修	選択		
	資格基礎	選択		
	小　計		28単位	
学科専門科目	基礎科目	6単位　必修	68単位	「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」「心理学統計法Ⅰ」必修
	基幹科目	24単位　選択必修		
	展開科目	選択		
	演習科目	必修	8単位	
	小　計		76単位	
合　計			104単位	
関連科目	上記共通科目・学科専門科目の余剰修得単位	選択	20単位	
	他学科開講科目			※⑤
	単位互換制度による修得単位			
総　計			124単位	

資格専門（関連）科目	教職課程専門科目	資格取得を希望する場合は各資格取得に必要な科目を履修すること	資格専門科目は卒業単位には算入されない
	図書館司書専門科目		
	博物館学芸員専門科目		
	日本語教員養成コース専門科目		
	社会教育主事任用資格専門科目		
	社会福祉主事任用資格関連科目		
	児童指導員任用資格関連科目		
	児童福祉司任用資格関連科目		
	認定心理士／認定心理士（心理調査）・応用心理士資格関連科目		
	公認心理師国家試験　受験資格（大学指定科目）関連科目		
	レクリエーション・インストラクター関連科目		

■　履修についての注意

※① 導入学習科目（選択）のうち、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」の2科目2単位は1回生時に、「基礎演習Ⅲ・Ⅳ」の2科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※② キャリア形成科目（選択）のうち、「数理リテラシー」の1科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※③ 外国語(英語) 科目について
「総合英語Ⅰ1・2、Ⅱ1・2」「実践コミュニケーション英語Ⅰ1・2、Ⅱ1・2」の計8単位を修得すること。

※④ 情報処理科目について
教職課程の履修希望者は、「情報機器の操作A・B」の2科目2単位を修得すること。
教職課程を履修しない者は、「情報活用基礎A・B」の2科目2単位を修得すること。
なお、「情報活用基礎（A・B）」「情報機器の操作（A・B）」の両科目の履修は原則認めない。

※⑤ 他学科開講科目のうち、他学部科目の修得単位は、単位互換制度での修得単位分を含め、20単位を上限として卒業単位に算入する。また、単位互換制度による修得単位は、8単位を上限として卒業単位に算入する。

● 資格取得を希望する学生は、「資格取得について」の項を熟読し、資格取得に必要な科目を履修すること。

● 他学科開講科目として履修可能な科目は、開講科目表において、以下の記号により示す。
○……他学科履修可能科目

〔配当年次別科目一覧〕 21・20年度入学生カリキュラム

カッコ内は単位数。記載がない科目の単位数は２単位

		1年次			2年次		3年次	4年次
基盤教育科目	《導入学習》	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1)	日本語表現法 カレッジコミュニティⅠ		基礎演習Ⅲ(1) 基礎演習Ⅳ(1)	カレッジコミュニティⅡ 読書演習		
	《A群(先人の知を受けつぐ)》	思想の世界 日本の歴史 民族と文化 ことばの世界	日本語を知る 教養としての日本文化 西洋の文化を考える 子どもの文化	芸術を鑑賞する	伝統文化演習(1)			
	《B群(世界と今を読み解く)》	日本の憲法 くらしと法律 現代社会を考える 東アジアを知る	人権を考える 平和を考える メディアを考える 情報リテラシー	心理学 くらしと化学 生物を知る	データリテラシー			
	《C群(未来をひらく)》	科学と倫理 ソーシャルメディア論 先端技術と文化	健康を管理する 書いて学ぶ文芸 描いて学ぶアート	健康とスポーツA(1) 健康とスポーツB(1)	生涯スポーツ実習A(1) 生涯スポーツ実習B(1)			
	《キャリア形成》	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	ホスピタリティ入門		数理リテラシー キャリアデザインⅢ	キャリアデザインⅣ インターンシップA	インターンシップB(1) プロジェクト型インターンシップ	
	《外国語》	総合英語Ⅰ1・2 実践コミュニケーション英語Ⅰ1・2 資格英語Ⅰ(1) 資格英語Ⅱ(1)	フランス語IA1・2 フランス語IB1・2 中国語IA1・2 中国語IB1・2	韓国語IA1・2 韓国語IB1・2	総合英語Ⅱ1・2 実践コミュニケーション英語Ⅱ1・2 フランス語ⅡA1・2 フランス語ⅡB1・2 中国語ⅡA1・2 中国語ⅡB1・2	資格中国語Ⅰ(1) 資格中国語Ⅱ(1) 韓国語ⅡA1・2 韓国語ⅡB1・2 資格韓国語Ⅰ(1) 資格韓国語Ⅱ(1)	韓国語Ⅲ(研究) 韓国語Ⅳ(研究)	
	《情報処理》	情報活用基礎A(1) 情報機器の操作A(1) 情報活用基礎B(1)	情報機器の操作B(1) 情報活用A(1) 情報活用B(1)	プログラミング言語Ⅰ プログラミング言語Ⅱ				
	《現地研修》	現地研修A	現地研修B	現地研修C	現地研修D	現地研修E	現地研修F(1)	現地研修G(1)
	《資格基礎》	教職入門 教育学概論	図書館概論 図書館情報資源概論		教職基礎演習A(1) 学校インターンシップ 博物館概論 博物館経営論 社会と言語	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ レクリエーション概論 レクリエーション実技(1)	教職基礎演習B(1) 教職特別演習A(1) レクリエーション現場実習(1)	教職特別演習B(1)

			1年次		2年次		3年次		4年次
心理学科専門科目	《基礎科目》	心理学・行動科学に関する科目群	心理学基礎実験Ⅰ(1) 心理学基礎実験Ⅱ(1) 心理学概論Ⅰ	心理学概論Ⅱ 心理調査概論 心理学統計法Ⅰ					
		健康科学に関する科目群	学校保健 養護概説 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ	微生物学 看護学概論 公衆衛生学(予防医学を含む)					
	《基幹科目/展開科目》	心理学・行動科学に関する科目群			心理学実験 心理統計実習 心理学統計法Ⅱ 心理学研究法(4) 心理的アセスメント(4) 臨床心理学概論Ⅰ 臨床心理学概論Ⅱ 感情・人格心理学Ⅰ 感情・人格心理学Ⅱ 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ	教育・学校心理学 学習・言語心理学 行動心理学 産業心理学概論 健康・医療心理学Ⅰ 健康・医療心理学Ⅱ 人体の構造と機能及び疾病 地域援助論Ⅰ 地域援助論Ⅱ 文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 心理学英語文献講読A(1) 心理学英語文献講読B(1)	社会心理学実習Ⅰ(1) 社会心理学実習Ⅱ(1) 心理演習(臨床心理学演習) 心理学的支援法A 心理学的支援法B 臨床心理学特講 思春期青年期心理学 家族心理学Ⅰ 家族心理学Ⅱ 司法・犯罪心理学 異常心理学 精神疾患とその治療 精神医学特講	神経・生理心理学 知覚・認知心理学 産業・組織心理学 社会・集団・家族心理学Ⅰ 社会・集団・家族心理学Ⅱ 障害者・障害児心理学Ⅰ 障害者・障害児心理学Ⅱ 福祉心理学 健康相談活動(カウンセリング論) スポーツ心理学 比較文化心理学Ⅰ 比較文化心理学Ⅱ 心理学英語文献講読C(1) 産業心理学実習(1)	心理実習(臨床心理学現場実習)Ⅰ(1) 心理実習(臨床心理学現場実習)Ⅱ(1) 公認心理師の職責 関係行政論
		健康科学に関する科目群			栄養学 食品学 衛生学 薬理学 看護学Ⅰ 看護学Ⅱ 救急処置 基礎看護技術	小児保健Ⅰ 小児保健Ⅱ 生涯スポーツ論 社会保障論 公的扶助論 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ	精神保健 看護学Ⅲ 看護学臨床実習(4) 保健科教育法Ⅲ 保健科教育法Ⅳ		
	《演習科目》						専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ		卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究(4)

関連科目	上記共通科目、学科専門科目の余剰修得単位 他学科開講科目・単位互換制度による修得単位

自由科目	資格専門科目	教職課程(保健・養護)	教育制度論 教育心理学		特別支援教育 教育課程論 教育方法・技術論	生徒指導論 保健科教育法Ⅰ 保健科教育法Ⅱ	道徳教育の指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育相談	進路指導論 教育実習指導(養護)(1) 養護実習(4)	教育実習指導(保健)(1) 教育実習A(4) 教職実践演習(中・高) 教職実践演習(養護教諭)
		図書館司書	図書館サービス概論 図書・図書館史		図書館制度・経営論 図書館情報技術論 情報サービス論 児童サービス論	図書館基礎特論 図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書館施設論	情報サービス演習Ⅰ(1) 情報サービス演習Ⅱ(1)	情報資源組織論 図書館総合演習(1)	情報資源組織論演習Ⅰ(1) 情報資源組織論演習Ⅱ(1) 図書館実習(1)
		博物館学芸員			博物館資料論		博物館資料保存論 博物館展示論	博物館教育論 博物館情報・メディア論	博物館実習Ⅰ(1) 博物館実習Ⅱ
		日本語教員養成コース	教育心理学				日本語教育教材研究	日本語教育法ⅠA 日本語教育法ⅠB	日本語教育法ⅡA 日本語教育法ⅡB 日本語教育実習(1)
		社会教育主事任用資格			社会教育経営論Ⅰ 社会教育経営論Ⅱ		生涯学習支援論Ⅰ 生涯学習支援論Ⅱ	社会教育課題研究	社会教育演習(1) 社会教育実習(1)

21・20年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから 教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力	ナンバリング	他履修	備考
心理学科専門科目																	
基礎科目																	
心理学・行動科学に関する科目群																	
1	350000	心理学基礎実験Ⅰ	1	選択		●						●			HP101		認必
1	350001	心理学基礎実験Ⅱ	1	選択		●						●			HP102		認必
1	350002	心理学概論Ⅰ	2	必修		●	●								HP103		認必/公必
1	350003	心理学概論Ⅱ	2	必修		●	●								HP104		認必
1	350004	心理調査概論	2	選択		●		●							HP105	○	認選/認(心)必
1	350005	心理学統計法Ⅰ	2	必修		●		●							HP106		認選/認(心)必/公必
健康科学に関する科目群																	
1	350006	学校保健	2	選択		●								●	HK101		教必(保・養)
1	350007	養護概説	2	選択		●								●	HK102		教必(養)
1	350008	解剖生理学Ⅰ	2	選択		●	●								HK103		教必(保・養)
1	350009	解剖生理学Ⅱ	2	選択		●	●								HK104		教必(保・養)
1	350010	微生物学	2	選択		●	●								HK105		教必(保)/教選必(養)
1	350011	看護学概論	2	選択		●							●		HK106		教必(養)
1	350012	公衆衛生学(予防医学を含む)	2	選択		●								●	HK107		教必(保・養)
基幹科目																	
心理学・行動科学に関する科目群																	
2	351000	心理学実験	2	選択		●						●			HP207		認必/公必
2	351001	心理統計実習	2	選択		●				●					HP208		認(心)選
2	351002	心理学統計法Ⅱ	2	選択		●		●							HP209		認(心)選
2	351003	心理学研究法	4	選択		●	●								HP210		認選/公必
2	351004	心理的アセスメント	4	選択		●	●								HP211		教選(保・養)/認選/公必
2	351005	臨床心理学概論Ⅰ	2	選択		●					●				HK208		認選/公必
2	351006	臨床心理学概論Ⅱ	2	選択		●					●				HK209		認選
2	351007	感情・人格心理学Ⅰ	2	選択		●					●				HK210		認選/公必
2	351008	感情・人格心理学Ⅱ	2	選択		●					●				HK211		認選
2	351009	発達心理学Ⅰ	2	選択		●					●				HK212		教選(保・養)/認選/公必
2	351010	発達心理学Ⅱ	2	選択		●					●				HK213		教選(保・養)/認選
2	351011	教育・学校心理学	2	選択		●								●	HK214	○	日選/認選/公必
2	351012	学習・言語心理学	2	選択		●	●								HK215	○	日選/認選/公必
2	351013	行動心理学	2	選択		●						●			HK216	○	
2	351014	産業心理学概論	2	選択		●				●					HK217	○	
2	351015	健康・医療心理学Ⅰ	2	選択		●					●				HK218	○	
2	351016	健康・医療心理学Ⅱ	2	選択		●					●				HK219	○	公必
2	351017	人体の構造と機能及び疾病	2	選択		●	●								HK220		公必
2	351018	地域援助論Ⅰ	2	選択		●								●	HK221	○	社教選
2	351019	地域援助論Ⅱ	2	選択		●								●	HK222	○	社教選
2	351020	文化人類学Ⅰ	2	選択		●	●								HK223	○	学選/日選
2	351021	文化人類学Ⅱ	2	選択		●	●								HK224	○	学選/日選
2	351022	心理学英語文献講読A	1	選択		●			●						HP212		
2	351023	心理学英語文献講読B	1	選択		●			●						HP213		
健康科学に関する科目群																	
2	351200	栄養学	2	選択		●						●			HK225	○	教必(保・養)/社福選
2	351201	食品学	2	選択		●				●					HK226	○	教必(養)
2	351202	衛生学	2	選択		●	●								HK227	○	教必(保・養)
2	351203	薬理学	2	選択		●	●								HK228		教選必(養)
2	351204	看護学Ⅰ	2	選択		●				●					HK229		教必(養)/社福選
2	351205	看護学Ⅱ	2	選択		●								●	HK230		教選(養)/社福選
2	351206	救急処置	2	選択		●				●					HP214		教必(保・養)
2	351207	基礎看護技術	2	選択		●							●		HK231		教必(養)
2	351208	小児保健Ⅰ	2	選択		●	●								HK232		教必(保)
2	351209	小児保健Ⅱ	2	選択		●	●								HK233		教必(保)
2	351210	生涯スポーツ論	2	選択		●				●					HK234	○	社教選
2	351211	社会保障論	2	選択		●				●					HK235	○	社福選
2	351212	公的扶助論	2	選択		●				●					HK236	○	社福選
2	351213	社会福祉原論Ⅰ	2	選択		●								●	HK237	○	社教選/社福選
2	351214	社会福祉原論Ⅱ	2	選択		●								●	HK238	○	社教選/社福選
展開科目																	
心理学・行動科学に関する科目群																	
3	352000	社会心理学実習Ⅰ	1	選択		●						●			HP315		認選/認(心)選
3	352001	社会心理学実習Ⅱ	1	選択		●						●			HP316		認選/認(心)選
3	352002	心理演習(臨床心理学演習)	2	選択		●					●				HP317		認選/公必
4	352003	心理実習(臨床心理学現場実習)Ⅰ	1	選択		●							●		HP418		公必
4	352004	心理実習(臨床心理学現場実習)Ⅱ	1	選択		●							●		HP419		公必
3	352005	心理学的支援法A	2	選択		●	●								HP320		認選/公必

21・20年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから 教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力	ナンバリング	他履修	備考
3	352006	心理学的支援法B	2	選択		●			●						HP321		認選
3	352007	臨床心理学特講	2	選択		●			●						HK339		
3	352008	思春期青年期心理学	2	選択		●					●				HK340	○	教選(保・養)/認選
3	352009	家族心理学Ⅰ	2	選択		●					●				HK341	○	認選
3	352010	家族心理学Ⅱ	2	選択		●					●				HK342	○	認選
3	352011	司法・犯罪心理学	2	選択		●							●		HK343		公必
3	352012	異常心理学	2	選択		●	●								HK344	○	認選
3	352013	精神疾患とその治療	2	選択		●	●								HK345		公必
3	352014	精神医学特講	2	選択		●	●								HK346		
3	352015	神経・生理心理学	2	選択		●	●								HK347	○	公必
3	352016	知覚・認知心理学	2	選択		●	●								HK348	○	認選/公必
3	352017	産業・組織心理学	2	選択		●				●					HK349	○	認選/公必
3	352018	社会・集団・家族心理学Ⅰ	2	選択		●					●				HK350	○	社教選/認選/公必
3	352019	社会・集団・家族心理学Ⅱ	2	選択		●					●				HK351	○	社教選/認選
3	352020	障害者・障害児心理学Ⅰ	2	選択		●				●					HK352	○	教選(保・養)/社教選/公必
3	352021	障害者・障害児心理学Ⅱ	2	選択		●				●					HK353	○	社教選
3	352022	福祉心理学	2	選択		●								●	HK354		公必
3	352023	健康相談活動(カウンセリング論)	2	選択		●			●						HK355		教必(保・養)
3	352024	スポーツ心理学	2	選択		●	●								HK356		
3	352025	比較文化心理学Ⅰ	2	選択		●					●				HK357	○	日選/認選
3	352026	比較文化心理学Ⅱ	2	選択		●					●				HK358	○	日選/認選
3	352027	心理学英語文献講読C	1	選択		●			●						HP322		
4	352028	公認心理師の職責	2	選択		●							●		HK459		公必
4	352029	関係行政論	2	選択		●							●		HK460		公必
3	352030	産業心理学実習	1	選択		●				●					HP329		
健康科学に関する科目群																	
3	352200	精神保健	2	選択		●	●								HK361		教必(保・養)/社福選
3	352201	看護学Ⅲ	2	選択		●				●					HK362		教選(養)
3	352202	看護学臨床実習	4	選択		●			●						HP323		教必(養)
3	352203	保健科教育法Ⅲ	2	選択		●		●							HK363		教必(保)
3	352204	保健科教育法Ⅳ	2	選択		●		●							HK364		教必(保)
演習科目																	
3	353000	専門演習Ⅰ　①	2	必修		●		●							HP324		
3	353001	専門演習Ⅱ　①	2	必修		●		●							HP325		
4	353002	卒業演習Ⅰ	2	必修		●		●							HP426		
4	353003	卒業演習Ⅱ	2	必修		●		●							HP427		
4	353004	卒業研究	4	選択		●		●							HP428		

・ ① 3回生科目「専門演習」のクラスは、2回生で開催される説明会を経て、事前登録により決定する。

〔心理学科　学位プログラムツリー〕　21・20年度入学生カリキュラム

ディプロマ・ポリシー		幅広い一般的知識・教養を身につけ、かつ社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解できること。							
		基盤教育科目（教養力：現代を生きる社会人としての教養と知識、スキルを修得し、活用することができる）							
ディプロマ・ポリシーの具体化（第1階層）		社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解して自分自身のデザインにつながる、幅広い教養を身につける			グローバル社会、高度情報化社会を生きていくうえで必要な基本的技能を身につける		学びの基礎的技能、自立に向けて必要な知識・技能を身につけるとともに、地域社会とのかかわり等から社会や人間のもつ課題を理解し、専門の学びを経て社会的・職業的自立へと向かう準備を行う		
ディプロマ・ポリシーの具体化（第2階層）		先人たちがたどった知の道のり、築いてきたものを理解する	我々が生きる世界と今を読み解く	未来を見通し、自分自身をデザインする	英語など母語以外の言語で基本的なコミュニケーションを行う技能を身につけるとともに、社会や文化の多様性を理解する	情報機器を操作し、諸問題にICTを活用できる基本的な技能を身につける	大学における学びに必要な基礎的技能を身につけるとともに、専門の学びへの準備を行う	地域社会とのかかわりや知と向き合う読書活動から、社会や人間のもつ課題を理解する	社会的・職業的自立を果たすために必要な知識・技能の基礎を身につける
4年次	秋学期								
	春学期								
3年次	秋学期				韓国語Ⅳ（研究）				インターンシップB
	春学期				韓国語Ⅲ（研究）				インターンシップB プロジェクト型インターンシップ
2年次	秋学期			生涯スポーツ実習B	総合英語Ⅱ2 実践コミュニケーション英語Ⅱ2 フランス語ⅡA2 フランス語ⅡB2 中国語ⅡA2 中国語ⅡB2 資格中国語Ⅱ 韓国語ⅡA2 韓国語ⅡB2 資格韓国語Ⅱ		基礎演習Ⅳ		キャリアデザインⅣ インターンシップA
	春学期	伝統文化演習	データリテラシー	生涯スポーツ実習A	総合英語Ⅱ1 実践コミュニケーション英語Ⅱ1 フランス語ⅡA1 フランス語ⅡB1 中国語ⅡA1 中国語ⅡB1 資格中国語Ⅰ 韓国語ⅡA1 韓国語ⅡB1 資格韓国語Ⅰ	情報活用B	基礎演習Ⅲ	カレッジコミュニティⅡ 読書演習	数理リテラシー キャリアデザインⅢ インターンシップA
1年次	秋学期	民族と文化 ことばの世界 日本語を知る 西洋の文化を考える 芸術を鑑賞する	日本の憲法 くらしと法律 現代社会を考える 人権を考える メディアを考える くらしと化学	科学と倫理 ソーシャルメディア論 健康を管理する 書いて学ぶ文芸 健康とスポーツB	総合英語Ⅰ2 実践コミュニケーション英語Ⅰ2 資格英語Ⅱ フランス語ⅠA2 フランス語ⅠB2 中国語ⅠA2 中国語ⅠB2 韓国語ⅠA2 韓国語ⅠB2	情報活用基礎B 情報機器の操作B 情報活用A プログラミング言語Ⅱ	基礎演習Ⅱ		キャリアデザインⅡ ホスピタリティ入門
	春学期	思想の世界 日本の歴史 教養としての日本文化 子どもの文化	東アジアを知る 平和を考える 心理学 生物を知る 情報リテラシー	描いて学ぶアート 健康とスポーツA 先端技術と文化	総合英語Ⅰ1 実践コミュニケーション英語Ⅰ1 資格英語Ⅰ フランス語ⅠA1 フランス語ⅠB1 中国語ⅠA1 中国語ⅠB1 韓国語ⅠA1 韓国語ⅠB1 現地研修A～G	情報活用基礎A 情報機器の操作A プログラミング言語Ⅰ	基礎演習Ⅰ 日本語表現法	カレッジコミュニティⅠ	キャリアデザインⅠ
ナンバリングとの対応		BA			BS		BC		

学位プログラムツリーはカリキュラムの体系性を示すためのモデルです。年度によって開講時期が変わる場合があります。

	人間・文化・社会の諸現象を心理学的素養をもとに理解し、分析するための科学的・統計的知識、技能を有すること。							
	心理学科専門科目(専門力：学位プログラムの専門知識・技能を修得し、活用できる)							
学校教育・社会教育等の資格の基礎となる知識を身につけるとともに、社会の課題を理解する	心理学の方法論や考え方を基盤として、実践的に学ぶ			心理学とその関連分野の理論と知識を学ぶ				
	心理学の先行研究を踏まえて、自らの研究や進路を探求し、それを表現する力を身につける	実験・調査をもとにデータを統計的に分析する力を身につける	心理支援・対人援助における専門的な技術と倫理観を身につける	発達・人格を学び、心理的な成長や変化を専門的に理解する力を身につける	臨床・異常を学び、心理的な苦悩や精神疾患を専門的に理解する力を身につける	認知・行動を学び、心の基本的な仕組みを専門的に理解する力を身につける	福祉・社会・文化を学び、心理的な問題を幅広い文脈から考察する力を身につける	心と身体の関係を学び、心身の健康について専門的に理解する力を身につける
	卒業演習Ⅱ 卒業研究		心理実習(臨床心理学現場実習)Ⅱ					
教職特別演習B	卒業演習Ⅰ 卒業研究		心理実習(臨床心理学現場実習)Ⅰ		公認心理師の職責		関係行政論	
教職特別演習A	専門演習Ⅱ	社会心理学実習Ⅱ	心理演習(臨床心理学演習) 心理学的支援法B	思春期青年期心理学 家族心理学Ⅱ	異常心理学 精神医学特講	知覚・認知心理学	社会・集団・家族心理学Ⅱ 比較文化心理学Ⅱ	障害者・障害児心理学Ⅱ 健康相談活動(カウンセリング論) スポーツ心理学 保健科教育法Ⅳ
教職基礎演習B レクリエーション現場実習	心理学英語文献講読C 産業心理学実習 専門演習Ⅰ	社会心理学実習Ⅰ	心理演習(臨床心理学演習) 心理学的支援法A 看護学臨床実習	家族心理学Ⅰ	臨床心理学特講 司法・犯罪心理学 精神疾患とその治療	神経・生理心理学 産業・組織心理学	社会・集団・家族心理学Ⅰ 福祉心理学 比較文化心理学Ⅰ	障害者・障害児心理学Ⅰ 精神保健 看護学Ⅲ 保健科教育法Ⅲ
教職基礎演習A 学校インターンシップ 博物館経営論 生涯学習概論Ⅱ レクリエーション実技	心理学英語文献講読A 心理学英語文献講読B	心理統計実習 心理学統計法Ⅱ	心理的アセスメント 救急処置	感情・人格心理学Ⅱ 発達心理学Ⅱ 教育・学校心理学 健康・医療心理学Ⅱ	臨床心理学概論Ⅱ 地域援助論Ⅱ	産業心理学概論	文化人類学Ⅱ 公的扶助論 社会福祉原論Ⅱ	人体の構造と機能及び疾病 衛生学 薬理学 看護学Ⅱ 基礎看護技術 小児保健Ⅱ
学校インターンシップ 博物館概論 社会と言語 生涯学習概論Ⅰ レクリエーション概論	心理学研究法	心理学実験 心理統計実習	心理的アセスメント	感情・人格心理学Ⅰ 発達心理学Ⅰ 健康・医療心理学Ⅰ	臨床心理学概論Ⅰ 地域援助論Ⅰ	学習・言語心理学 行動心理学	文化人類学Ⅰ 社会保障論 社会福祉原論Ⅰ	栄養学 食品学 看護学Ⅰ 小児保健Ⅰ 生涯スポーツ論
図書館情報資源概論	心理学概論Ⅱ	心理学基礎実験Ⅱ 心理学統計法Ⅰ						養護概説 解剖生理学Ⅱ
教職入門 教育学概論 図書館概論	心理学概論Ⅰ	心理学基礎実験Ⅰ 心理調査概論						学校保健 解剖生理学Ⅰ 微生物学 看護学概論 公衆衛生学(予防医学を含む)
BZ	HP			HK				

21・20年度入学生

教育課程（カリキュラム）

人間科学部
食物栄養学科

卒業に必要な総単位数　（21・20年度入学生）

		食物栄養学科（管理栄養士課程）		備　　考
基盤教育科目	導入学習	2単位　必修	26単位	※①「日本語表現法」必修
	A群（先人の知を受けつぐ）	6単位　選択必修		
	B群（世界と今を読み解く）			
	C群（未来をひらく）			
	キャリア形成	4単位　必修		※②「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」必修
	外国語	8単位　選択必修		※③
	情報処理	2単位　選択必修		※④
	現地研修	選択		
	資格基礎	選択		
	小　　計		26単位	
学科専門科目	学科基礎	選択必修	2単位	
	専門基礎分野	必修	26単位	※⑤
	専門分野	必修	26単位	
	演習科目	必修	12単位	
	小　　計		66単位	
合　　計			92単位	
関連科目	上記共通目・学科専門科目の余剰修得単位	選択	36単位	
	他課程科目			
	他学科開講科目			※⑥
	単位互換制度による修得単位			
総　　計			128単位	

資格専門（関連）科目	教職専門科目（栄養教諭一種）	資格取得を希望する場合は各資格取得に必要な科目を履修すること	資格専門科目は卒業単位には算入されない
	社会福祉主事任用資格関連科目		
	レクリエーション・インストラクター関連科目		
	健康運動実践指導者関連科目		
	フードスペシャリスト関連科目		
	食品衛生管理者及び食品衛生監視員任用資格課程関連科目		
	管理栄養士国家試験受験資格関連科目		
	栄養士関連科目		

■　履修についての注意

※① 導入学習科目（選択）のうち、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」の2科目2単位は1回生時に、「基礎演習Ⅲ・Ⅳ」の2科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※② キャリア形成科目（選択）のうち、「数理リテラシー」の1科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※③ 外国語（英語）科目について
「総合英語Ⅰ1・2、Ⅱ1・2」「実践コミュニケーション英語Ⅰ1・2、Ⅱ1・2」の計8単位を修得すること。

※④ 情報処理科目について
教職課程の履修希望者は、「情報機器の操作A・B」の2科目2単位を修得すること。
教職課程を履修しない者は、「情報活用基礎A・B」の2科目2単位を修得すること。
なお、「情報活用基礎（A・B）」「情報機器の操作（A・B）」の両科目の履修は原則認めない。

※⑤ 栄養士を取得しない場合は、選択とする。

※⑥ 他学科開講科目のうち、他学部科目の修得単位は、単位互換制度での修得単位分を含め、20単位を上限として卒業単位に算入する。また、単位互換制度による修得単位は、8単位を上限として卒業単位に算入する。

● 資格取得を希望する学生は、「資格取得について」の項を熟読し、資格取得に必要な科目を履修すること。

● 他学科開講科目として履修可能な科目は、開講科目表において、以下の記号により示す。
○……他学科履修可能科目　　△……他課程履修可能科目

〔配当年次別科目一覧〕 21・20年度入学生カリキュラム

カッコ内は単位数。記載がない科目の単位数は２単位

		１年次			２年次		３年次	
基盤教育科目	《導入学習》	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1)	日本語表現法 カレッジコミュニティⅠ		基礎演習Ⅲ(1) 基礎演習Ⅳ(1)	カレッジコミュニティⅡ 読書演習		
	《A群(先人の知を受けつぐ)》	思想の世界 日本の歴史 民族と文化 ことばの世界	日本語を知る 教養としての日本文化 西洋の文化を考える 子どもの文化	芸術を鑑賞する	伝統文化演習(1)			
	《B群(世界と今を読み解く)》	日本の憲法 くらしと法律 現代社会を考える 東アジアを知る	人権を考える 平和を考える メディアを考える 情報リテラシー	心理学 くらしと化学 生物を知る	データリテラシー			
	《C群(未来をひらく)》	科学と倫理 ソーシャルメディア論 先端技術と文化	健康を管理する 書いて学ぶ文芸 描いて学ぶアート	健康とスポーツA(1) 健康とスポーツB(1)	生涯スポーツ実習A(1) 生涯スポーツ実習B(1)			
	《キャリア形成》	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	ホスピタリティ入門		数理リテラシー キャリアデザインⅢ	キャリアデザインⅣ インターンシップA	インターンシップB(1) プロジェクト型インターンシップ	
	《外国語》	総合英語Ⅰ1・2 実践コミュニケーション英語Ⅰ1・2 資格英語Ⅰ(1) 資格英語Ⅱ(1)	フランス語ⅠA1・2 フランス語ⅠB1・2 中国語ⅠA1・2 中国語ⅠB1・2	韓国語ⅠA1・2 韓国語ⅠB1・2	総合英語Ⅱ1・2 実践コミュニケーション英語Ⅱ1・2 フランス語ⅡA1・2 フランス語ⅡB1・2 中国語ⅡA1・2 中国語ⅡB1・2	資格中国語Ⅰ(1) 資格中国語Ⅱ(1) 韓国語ⅡA1・2 韓国語ⅡB1・2 資格韓国語Ⅰ(1) 資格韓国語Ⅱ(1)	韓国語Ⅲ(研究) 韓国語Ⅳ(研究)	
	《情報処理》	情報活用基礎A(1) 情報機器の操作A(1) 情報活用基礎B(1)	情報機器の操作B(1) 情報活用A(1) 情報活用B(1)	プログラミング言語Ⅰ プログラミング言語Ⅱ				
	《現地研修》	現地研修A	現地研修B	現地研修C	現地研修D	現地研修E	現地研修F(1)	現地研修G(1)
	《資格基礎》	教職入門 教育学概論	図書館概論 図書館情報資源概論		教職基礎演習A(1) 学校インターンシップ 博物館概論 博物館経営論 社会と言語	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ レクリエーション概論 レクリエーション実技(1)	教職基礎演習B(1) 教職特別演習A(1) レクリエーション現場実習(1)	教職特別演習B(1)

			１年次		２年次		３年次		４年次
食物栄養学科管理栄養士課程専門科目	《基礎科目》		基礎化学 基礎医学	化学					
	《専門基礎分野》	社会・環境と健康			公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ	公衆衛生学実習(1) 生涯スポーツ論	社会福祉論		
		人体の構造と機能 疾病の成り立ち	生化学 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ	解剖生理学実験 病理学Ⅰ 運動生理学	生化学実験(1) 病理学Ⅱ		微生物学 薬理学		
		食べ物と健康	食品学 食品学実験 調理学	調理学実習 食生活論	食品加工学 食品加工学実習(1) 食品衛生学	食品衛生学実験(1) 食品の流通と消費	フードコーディネート論 応用食品学		
	《専門分野》	基礎栄養学			基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ	基礎栄養学実験(1)			食物栄養英語論文講読
		応用栄養学			応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ	応用栄養学実習(1)			運動栄養学
		栄養教育論			栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ		栄養カウンセリング論 栄養教育論実習(1)		
		臨床栄養学			臨床栄養学総論		臨床栄養学各論Ⅰ 臨床栄養学各論Ⅱ	栄養アセスメント 臨床栄養学実習	
		公衆栄養学			公衆栄養学Ⅰ		公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習(1)		
		給食経営管理論			給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ		給食経営管理論実習		
		総合演習					管理栄養士演習Ⅰ(1)		管理栄養士演習Ⅱ(1) 管理栄養士特別演習(4)
		臨地実習					公衆栄養臨地実習(1)		給食経営管理臨地実習Ⅰ(1) 給食経営管理臨地実習Ⅱ(1) 臨床栄養臨地実習(1)
	《演習科目》						専門演習(4)		卒業演習(4) 卒業研究(4)

関連科目	上記共通科目、学科専門科目の余剰修得単位 他学科開講科目・他課程科目・単位互換制度による修得単位

自由科目	食物栄養学科 《その他科目》				管理栄養士セミナーⅠ(4)		管理栄養士セミナーⅡ(4)		管理栄養士セミナーⅢ(4)
	資格専門科目	教職課程 (栄養教諭一種)	教育制度論 教育心理学		特別支援教育 教育課程論 教育方法・技術論	生徒指導論	道徳教育の指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法	教育相談 学校栄養教育論Ⅰ(NP専門) 学校栄養教育論Ⅱ(NP専門)	教育実習指導(1) 栄養教育実習(1) 教職実践演習(栄養教諭)

21・20年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから 教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力	ナンバリング	他履修	備考	管理栄養士	栄養士
食物栄養学科管理栄養士課程専門科目																			
基礎科目																			
1	355000	基礎化学	2	選必		●				●					NB101				
1	355001	基礎医学	2	選必		●		●							NB102				
1	355002	化学	2	選必		●				●					NB103		衛必/ﾌｰﾄﾞ選		
専門基礎分野																			
社会・環境と健康																			
2	356000	公衆衛生学Ⅰ	2	必修		●						●			NP201		社福選/ﾌｰﾄﾞ選/衛必	○	○
2	356001	公衆衛生学Ⅱ	2	選択		●						●			NP202		社福選/衛必	○	
2	356002	公衆衛生学実習	1	選択		●				●					NP203		衛必	○	
3	356003	社会福祉論	2	必修		●								●	NP304		社福選	○	○
2	356004	生涯スポーツ論	2	選択		●				●					NP205		社教選		
人体の構造と機能疾病の成り立ち																			
1	356005	生化学	2	必修		●						●			NS101		衛必	○	○
2	356006	生化学実験	1	選択		●		●							NS202		衛必	○	
1	356007	解剖生理学Ⅰ	2	必修		●						●			NS103		健運必/衛必	○	○
1	356008	解剖生理学Ⅱ	2	必修		●		●							NS104		衛必	○	○
1	356009	解剖生理学実験	2	選択		●		●							NS105		衛必	○	
1	356010	病理学Ⅰ	2	必修		●						●			NS106		衛必	○	○
2	356011	病理学Ⅱ	2	選択		●						●			NS207		衛必	○	
3	356012	微生物学	2	選択		●						●			NS308		衛必	○	
1	356013	運動生理学	2	選択		●				●					NS109		健運必	○	
3	356014	薬理学	2	選択		●	●								NS310				
食べ物と健康																			
1	356015	食品学	2	必修		●		●							NF101		ﾌｰﾄﾞ必/衛必	○	○
1	356016	食品学実験	2	必修		●	●								NF102		ﾌｰﾄﾞ必/衛必	○	○
2	356017	食品加工学	2	必修		●	●								NF203		ﾌｰﾄﾞ必/衛必	○	○
2	356018	食品加工学実習	1	必修		●			●						NF204		ﾌｰﾄﾞ必/衛必	○	○
1	356019	調理学	2	必修		●						●			NF105		ﾌｰﾄﾞ必	○	○
1	356020	調理学実習	2	必修		●			●						NF106		ﾌｰﾄﾞ必	○	○
2	356021	食品衛生学	2	必修		●						●			NF207		ﾌｰﾄﾞ必/衛必	○	○
2	356022	食品衛生学実験	1	必修		●			●						NF208		衛必	○	○
1	356023	食生活論	2	選択		●								●	NF109		ﾌｰﾄﾞ必		
2	356024	食品の流通と消費	2	選択		●	●								NF210		ﾌｰﾄﾞ必		
3	356025	フードコーディネート論	2	選択		●			●						NF311		ﾌｰﾄﾞ必		
3	356026	応用食品学	2	選択		●		●							NF312				
専門分野																			
基礎栄養学																			
2	357000	基礎栄養学Ⅰ	2	必修		●		●							NS211		社福選/ﾌｰﾄﾞ必/衛必	○	○
2	357001	基礎栄養学Ⅱ	2	必修		●		●							NS212		社福選/ﾌｰﾄﾞ必/衛必	○	○
2	357002	基礎栄養学実験	1	必修		●		●							NS213		衛必	○	○
4	357003	食物栄養英語論文講読	2	選択		●	●								NS414				
応用栄養学																			
2	357004	応用栄養学Ⅰ	2	必修		●							●		NL201		衛必	○	○
2	357005	応用栄養学Ⅱ	2	選択		●						●			NL202			○	
2	357006	応用栄養学実習	1	選択		●								●	NL203			○	
4	357007	運動栄養学	2	選択		●		●							NL404		健運必	○	
栄養教育論																			
2	357008	栄養教育論Ⅰ	2	必修		●						●			NL205			○	○
2	357009	栄養教育論Ⅱ	2	必修		●						●			NL206			○	○
3	357010	栄養カウンセリング論	2	選択		●			●						NL307			○	
3	357011	栄養教育論実習	1	必修		●				●					NL308			○	○
臨床栄養学																			
2	357012	臨床栄養学総論	2	必修		●				●					ND201			○	○
3	357013	臨床栄養学各論Ⅰ	2	選択		●	●								ND302			○	
3	357014	臨床栄養学各論Ⅱ	2	選択		●				●					ND303			○	
3	357015	栄養アセスメント	2	選択		●		●							ND304			○	
3	357016	臨床栄養学実習	2	必修		●			●						ND305			○	○
公衆栄養学																			
2	357017	公衆栄養学Ⅰ	2	必修		●								●	NL209		衛必	○	○
3	357018	公衆栄養学Ⅱ	2	選択		●								●	NL310		衛必	○	
3	357019	公衆栄養学実習	1	必修		●								●	NL311			○	○
給食経営管理論																			
2	357020	給食経営管理論Ⅰ	2	必修		●						●			NF213			○	○
2	357021	給食経営管理論Ⅱ	2	必修		●						●			NF214			○	○
3	357022	給食経営管理論実習	2	必修		●				●					NF315			○	○

21・20年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから 教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力	ナンバリング	他履修	備考		
総合演習																			
3	357023	管理栄養士演習Ⅰ	1	選択		●								●	NA301				
4	357024	管理栄養士演習Ⅱ	1	選択		●			●						NA402			○	
4	357025	管理栄養士特別演習	4	選択		●				●					NA403			○	
臨地実習																			
4	357026	給食経営管理臨地実習Ⅰ(含給食の運営)	1	必修		●						●			NA404			○	○
4	357027	給食経営管理臨地実習Ⅱ	1	選択		●						●			NA405			○	
4	357028	臨床栄養臨地実習	1	選択		●						●			NA406			○	
3	357029	公衆栄養臨地実習	1	選択		●								●	NA307			○	
演習科目																			
3	358000	専門演習　①	4	必修		●						●			NA308				
4	358001	卒業演習	4	必修		●					●				NA409				
4	358002	卒業研究	4	必修		●							●		NA410				
その他科目																			
2	359000	管理栄養士セミナーⅠ	4	自由		●				●					NA211				
3	359001	管理栄養士セミナーⅡ	4	自由		●				●					NA312				
4	359002	管理栄養士セミナーⅢ	4	自由		●				●					NA413				

・① 3回生秋学期「専門演習」のクラスは、春学期中に開催される説明会を経て、事前登録により決定する。
(春学期履修登録時は仮登録用クラスで登録すること。)

〔食物栄養学科管理栄養士課程　学位プログラムツリー〕　21・20年度入学生カリキュラム

ディプロマ・ポリシー		幅広い一般的知識・教養を身につけ、かつ社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解できること。									食や健康に関する専門的	
		基盤教育科目（教養力：現代を生きる社会人としての教養と知識、スキルを修得し、活用することができる）									食物栄養学科管理栄養	
ディプロマ・ポリシーの具体化（第1階層）		社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解して自分自身のデザインにつながる、幅広い教養を身につける			グローバル社会、高度情報化社会を生きていくうえで必要な基本的技能を身につける		学びの基礎的技能、自立に向けて必要な知識・技能を身につけるとともに、地域社会とのかかわり等から社会や人間のもつ課題を理解し、専門の学びを経て社会的・職業的自立へと向かう準備を行う			学校教育・社会教育等の資格の基礎となる知識を身につけるとともに、社会の課題を理解する	学修内容を統合して活用できを身につける	
ディプロマ・ポリシーの具体化（第2階層）		先人たちがたどった知の道のり、築いてきたものを理解する	我々が生きる世界と今を読み解く	未来を見通し、自分自身をデザインする	英語など母語以外の言語で基本的なコミュニケーションを行う技能を身につけるとともに、社会や文化の多様性を理解する	情報機器を操作し、諸問題にICTを活用できる基本的な技能を身につける	大学における学びに必要な基礎的技能を身につけるとともに、専門の学びへの準備を行う	地域社会とのかかわりや知と向き合う読書活動から、社会や人間のもつ課題を理解する	社会的・職業的自立を果たすために必要な知識・技能の基礎を身につける		各分野で学習した知識・技術を統合し、総合的な判断ができるようになる	栄養管理を行うために必要とされる知識および技術を身につける
4年次	秋学期										卒業研究	給食経営管理臨地実習Ⅰ（含給食の運営） 給食経営管理臨地実習Ⅱ 臨床栄養臨地実習 管理栄養士セミナーⅢ
	春学期									教職特別演習B	卒業研究	給食経営管理臨地実習Ⅰ（含給食の運営） 給食経営管理臨地実習Ⅱ 臨床栄養臨地実習 卒業演習 管理栄養士セミナーⅢ
3年次	秋学期				韓国語Ⅳ（研究）					教職特別演習A		公衆栄養臨地実習 専門演習 管理栄養士セミナーⅡ
	春学期				韓国語Ⅲ（研究）				インターンシップB プロジェクト型インターンシップ	教職基礎演習B レクリエーション現場実習		公衆栄養臨地実習 管理栄養士セミナーⅡ
2年次	秋学期			生涯スポーツ実習B	総合英語Ⅱ2 実践コミュニケーション英語2 フランス語ⅡA2 フランス語ⅡB2 中国語ⅡA2 中国語ⅡB2 資格中国語Ⅱ 韓国語ⅡA2 韓国語ⅡB2 資格韓国語Ⅱ		基礎演習Ⅳ		キャリアデザインⅣ インターンシップA	教職基礎演習A 学校インターンシップ 博物館経営論 生涯学習概論Ⅱ レクリエーション実技		管理栄養士セミナーⅠ
	春学期	伝統文化演習	データリテラシー	生涯スポーツ実習A	総合英語Ⅱ1 実践コミュニケーション英語1 フランス語ⅡA1 フランス語ⅡB1 中国語ⅡA1 中国語ⅡB1 資格中国語Ⅰ 韓国語ⅡA1 韓国語ⅡB1 資格韓国語Ⅰ	情報活用B	基礎演習Ⅲ	カレッジコミュニティⅡ 読書演習	数理リテラシー キャリアデザインⅢ インターンシップA	学校インターンシップ 博物館概論 社会と言語 生涯学習概論Ⅰ レクリエーション概論		管理栄養士セミナーⅠ
1年次	秋学期	民族と文化 ことばの世界 日本語を知る 西洋の文化を考える 芸術を鑑賞する	日本の憲法 くらしと法律 現代社会を考える 人権を考える メディアを考える くらしと化学	科学と倫理 ソーシャルメディア論 健康を管理する 書いて学ぶ文芸 健康とスポーツB	総合英語I2 実践コミュニケーション英語2 資格英語Ⅱ フランス語IA2 フランス語IB2 中国語IA2 中国語IB2 韓国語IA2 韓国語IB2	情報活用基礎B 情報機器の操作B 情報活用A プログラミング言語Ⅱ	基礎演習Ⅱ		キャリアデザインⅡ ホスピタリティ入門	図書館情報資源概論		
	春学期	思想の世界 日本の歴史 教養としての日本文化 子どもの文化	東アジアを知る 平和を考える 心理学 生物を知る 情報リテラシー	描いて学ぶアート 健康とスポーツA 先端技術と文化	総合英語I1 実践コミュニケーション英語1 資格英語I フランス語IA1 フランス語IB1 中国語IA1 中国語IB1 韓国語IA1 韓国語IB1 現地研修A～G	情報活用基礎A 情報機器の操作A プログラミング言語I	基礎演習I 日本語表現法	カレッジコミュニティI	キャリアデザインI	教職入門 教育学概論 図書館概論		
ナンバリングとの対応		BA			BS		BC			BZ	NA	

学位プログラムツリーはカリキュラムの体系性を示すためのモデルです。年度によって開講時期が変わる場合があります。

知識・技能を身につけていること。

士課程専門科目（専門力：学位プログラムの専門知識・技能を修得し、活用できる）

る力(応用力)	疾病と栄養管理の実践ができる	ライフステージと栄養管理の実践ができる			食べ物をベースとした栄養管理の実践ができる		栄養管理の実践のための基礎科学を身につける		健康のとらえ方、社会的背景や制度、疫学の基本を理解する	学科専攻科目を学ぶための基礎を理解する
栄養管理の実践を想定し、対象の栄養状態とその生活背景を総合的に評価できる力を身につける	疾病の原因、病態、症状、症候について人体の構造と機能に関連づけて理解し、病態に応じた栄養管理を実践する力を身につける	地域・職域の栄養課題に適切に対応する知識を身につける	栄養教育の意義や目的を理解し、行動変容モデルを用いた栄養教育を展開する力を身につける	栄養管理を遂行するための基本的事項やライフステージ別の栄養管理について理解する	食環境整備による利用者への栄養介入としての給食を理解する	健康を支える食事の実践の基本や食べ物と健康の関連、食事と調理の科学について理解する	栄養と健康の関わりを理解する	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	健康増進、疾病予防の重要性を理解し、取り組み、課題、今後の展望について考察できる	
管理栄養士演習Ⅱ 管理栄養士特別演習										
管理栄養士演習Ⅱ 管理栄養士特別演習				運動栄養学			食物栄養英語論文講読			
管理栄養士演習Ⅰ	臨床栄養学各論Ⅱ 栄養アセスメント 臨床栄養学実習	公衆栄養学実習	学校栄養教育論Ⅱ			フードコーディネート論		微生物学 薬理学		
	臨床栄養学各論Ⅰ	公衆栄養学Ⅱ	栄養カウンセリング論 栄養教育論実習 学校栄養教育論Ⅰ		給食経営管理論実習	応用食品学			社会福祉論	
		公衆栄養学Ⅰ	栄養教育論Ⅱ	応用栄養学Ⅱ 応用栄養学実習	給食経営管理論Ⅱ	食品の流通と消費	基礎栄養学Ⅱ 基礎栄養学実験	生化学実験	公衆衛生学Ⅱ 公衆衛生学実習	
	臨床栄養学総論		栄養教育論Ⅰ	応用栄養学Ⅰ	給食経営管理論Ⅰ	食品加工学 食品加工学実習 食品衛生学 食品衛生学実験	基礎栄養学Ⅰ	病理学Ⅱ	公衆衛生学Ⅰ 生涯スポーツ論	
						調理学実習		生化学 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学実験 病理学Ⅰ 運動生理学		
						食品学 食品学実験 調理学 食生活論		解剖生理学Ⅰ		基礎化学 基礎医学 化学
	ND	NL			NF		NS		NP	NB

卒業に必要な総単位数　（21・20年度入学生）

		食物栄養学科（健康実践栄養士課程）		備　考
基盤教育科目	導入学習	2単位 必修	26単位	※①「日本語表現法」必修
	A群（先人の知を受けつぐ）	6単位 選択必修		
	B群（世界と今を読み解く）			
	C群（未来をひらく）			
	キャリア形成	4単位 必修		※②「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」必修
	外国語	8単位 選択必修		※③
	情報処理	2単位 選択必修		※④
	現地研修	選択		
	資格基礎	選択		
	小　計	26単位		
学科専門科目	学科基礎	選択必修	2単位	
	専門分野	必修	54単位	※⑤
	領域別専門科目	選択	4単位	
	演習科目	必修	8単位	
	小　計	68単位		
合　計		94単位		
関連科目	上記共通科目・学科専門科目の余剰修得単位	選択	34単位	
	他学科開講科目			
	単位互換制度による修得単位			※⑥
総　計		128単位		

資格専門（関連）科目	教職専門科目（栄養教諭二種）	資格取得を希望する場合は各資格取得に必要な科目を履修すること	資格専門科目は卒業単位には算入されない
	社会福祉主事任用資格関連科目		
	レクリエーション・インストラクター関連科目		
	健康運動実践指導者関連科目		
	フードスペシャリスト関連科目		
	栄養士関連科目		

■　履修についての注意

※① 導入学習科目（選択）のうち、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」の2科目2単位は1回生時に、「基礎演習Ⅲ・Ⅳ」の2科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※② キャリア形成科目（選択）のうち、「数理リテラシー」の1科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※③ 外国語(英語) 科目について
「総合英語Ⅰ1・2、Ⅱ1・2」「実践コミュニケーション英語Ⅰ1・2、Ⅱ1・2」の計8単位を修得すること。

※④ 情報処理科目について
教職課程の履修希望者は、「情報機器の操作A・B」の2科目2単位を修得すること。
教職課程を履修しない者は、「情報活用基礎A・B」の2科目2単位を修得すること。
なお、「情報活用基礎（A・B）」「情報機器の操作（A・B）」の両科目の履修は原則認めない。

※⑤ 栄養士を取得しない場合は、選択とする。

※⑥ 他学科開講科目のうち、他学部科目の修得単位は、単位互換制度での修得単位分を含め、20単位を上限として卒業単位に算入する。また、単位互換制度による修得単位は、8単位を上限として卒業単位に算入する。

● 資格取得を希望する学生は、「資格取得について」の項を熟読し、資格取得に必要な科目を履修すること。

● 他学科開講科目として履修可能な科目は、開講科目表において、以下の記号により示す。
○……他学科履修可能科目　　△……他課程履修可能科目

〔配当年次別科目一覧〕 21・20年度入学生カリキュラム

カッコ内は単位数。記載がない科目の単位数は２単位

		1年次			2年次		3年次	
基盤教育科目	《導入学習》	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1)	日本語表現法 カレッジコミュニティⅠ		基礎演習Ⅲ(1) 基礎演習Ⅳ(1)	カレッジコミュニティⅡ 読書演習		
	《A群(先人の知を受けつぐ)》	思想の世界 日本の歴史 民族と文化 ことばの世界	日本語を知る 教養としての日本文化 西洋の文化を考える 子どもの文化	芸術を鑑賞する	伝統文化演習(1)			
	《B群(世界と今を読み解く)》	日本の憲法 くらしと法律 現代社会を考える 東アジアを知る	人権を考える 平和を考える メディアを考える 情報リテラシー	心理学 くらしと化学 生物を知る	データリテラシー			
	《C群(未来をひらく)》	科学と倫理 ソーシャルメディア論 先端技術と文化	健康を管理する 書いて学ぶ文芸 描いて学ぶアート	健康とスポーツA(1) 健康とスポーツB(1)	生涯スポーツ実習A(1) 生涯スポーツ実習B(1)			
	《キャリア形成》	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	ホスピタリティ入門		数理リテラシー キャリアデザインⅢ	キャリアデザインⅣ インターンシップA	インターンシップB(1) プロジェクト型インターンシップ	
	《外国語》	総合英語Ⅰ1・2 実践コミュニケーション英語Ⅰ1・2 資格英語Ⅰ(1) 資格英語Ⅱ(1)	フランス語ⅠA1・2 フランス語ⅠB1・2 中国語ⅠA1・2 中国語ⅠB1・2	韓国語ⅠA1・2 韓国語ⅠB1・2	総合英語Ⅱ1・2 実践コミュニケーション英語Ⅱ1・2 フランス語ⅡA1・2 フランス語ⅡB1・2 中国語ⅡA1・2 中国語ⅡB1・2	資格中国語Ⅰ(1) 資格中国語Ⅱ(1) 韓国語ⅡA1・2 韓国語ⅡB1・2 資格韓国語Ⅰ(1) 資格韓国語Ⅱ(1)	韓国語Ⅲ(研究) 韓国語Ⅳ(研究)	
	《情報処理》	情報活用基礎A(1) 情報機器の操作A(1) 情報活用基礎B(1)	情報機器の操作B(1) 情報活用A(1) 情報活用B(1)	プログラミング言語Ⅰ プログラミング言語Ⅱ				
	《現地研修》	現地研修A	現地研修B	現地研修C	現地研修D	現地研修E	現地研修F(1)	現地研修G(1)
	《資格基礎》	教職入門 教育学概論	図書館概論 図書館情報資源概論		教職基礎演習A(1) 学校インターンシップ 博物館概論 博物館経営論 社会と言語	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ レクリエーション概論 レクリエーション実技(1)	教職基礎演習B(1) 教職特別演習A(1) レクリエーション現場実習(1)	教職特別演習B(1)

			1年次		2年次		3年次		4年次
食物栄養学科健康実践栄養士課程専門科目	《基礎科目》		基礎化学 基礎医学	化学					
	≪専門分野≫	社会生活と健康			公衆衛生学Ⅰ	社会福祉論			
		人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ	予防医学	生化学		微生物学 疾病論		
		食品と衛生	食品学 食品学実験		食品加工学 食品加工学実習(1)	食品衛生学 食品衛生学実験(1)	食文化論 フードコーディネート論	食品の流通と消費 応用食品学	
		栄養と健康	食生活論		基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ	基礎栄養学実験(1) 応用栄養学Ⅰ	臨床栄養学総論 臨床栄養学実習(1) 運動栄養学		食物栄養英語論文購読
		栄養の指導	保育総論A 保育総論B		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 保育総論演習(1)		栄養教育論実習(1) 公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学実習(1)	学校栄養教育論Ⅰ 学校栄養教育論Ⅱ	
		給食の運営	調理学 調理学実習(基礎)		給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ		給食経営管理論実習(1) 調理学実習(応用)		給食経営管理臨地実習Ⅰ(1)
	≪領域別専門科目≫	健康運動領域	健康運動科学		健康運動方法論 健康運動演習A 健康運動演習B 救急処置		スポーツ指導論 運動療法A 運動療法B	健康運動実践指導者特別演習	
		フードビジネス領域			フードビジネス論 マーケティング論		マーケティング情報戦略論 商品企画	ソーシャルメディア戦略 ビジネスプレゼンテーション	
	《演習科目》						専門演習(4)		卒業演習(4) 卒業研究(4)

関連科目	上記共通科目、学科専門科目の余剰修得単位 他学科開講科目・単位互換制度による修得単位

自由科目	食物栄養学科《その他科目》		健康実践栄養士セミナーⅠ(4)		健康実践栄養士セミナーⅡ(4)		健康実践栄養士セミナーⅢ(4)		健康実践栄養士セミナーⅣ(4)
	資格専門科目	教職課程 (栄養教諭二種)	教育制度論 教育心理学		特別支援教育 教育課程論	教育方法・技術論 生徒指導論	道徳教育の指導法 総合的な学習の時間の指導法	特別活動の指導法 教育相談	教育実習指導(1) 栄養教育実習(1) 教職実践演習(栄養教諭)

21・20年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから 教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力	ナンバリング	他履修	備考	栄養士
食物栄養学科健康実践栄養士課程専門科目																		
基礎科目																		
1	355500	基礎化学	2	選必		●				●					PB101			
1	355501	基礎医学	2	選必		●		●							PB102			
1	355502	化学	2	選必		●				●					PB103		フード必	
専門分野																		
社会生活と健康																		
2	356500	公衆衛生学Ⅰ	2	必修		●				●					PP201		社福選/ﾌｰﾄﾞ選	○
2	356501	社会福祉論	2	必修		●								●	PP202		社福選	○
人体の構造と機能																		
2	356502	生化学	2	必修		●	●								PS201			○
3	356503	微生物学	2	必修		●						●			PS302			○
1	356504	解剖生理学Ⅰ	2	必修		●						●			PS103		健運必	○
1	356505	解剖生理学Ⅱ	2	必修		●						●			PS104			○
1	356506	予防医学	2	必修		●	●								PS105	△	健運必	○
3	356507	疾病論	2	選択		●		●							PS306	△		
食品と衛生																		
1	356508	食品学	2	必修		●	●								PS107		フード必	○
1	356509	食品学実験	2	必修		●	●								PS108		フード必	○
2	356510	食品加工学	2	必修		●	●								PS209		フード必	○
2	356511	食品加工学実習	1	必修		●			●						PS210		フード必	○
3	356512	食文化論	2	選択		●				●					PS311	○		
3	356513	フードコーディネート論	2	選択		●			●						PS312	○	フード必	
3	356514	食品の流通と消費	2	選択		●	●								PS313		フード必	
2	356515	食品衛生学	2	選択		●				●					PS214		フード必	○
2	356516	食品衛生学実験	1	必修		●		●							PS215			○
3	356517	応用食品学	2	選択		●		●							PS316			
栄養と健康																		
2	356518	基礎栄養学Ⅰ	2	必修		●						●			PS217		社福選/ﾌｰﾄﾞ必	○
2	356519	基礎栄養学Ⅱ	2	必修		●						●			PS218		社福選/ﾌｰﾄﾞ必	○
2	356520	基礎栄養学実験	1	必修		●			●						PS219			○
2	356521	応用栄養学Ⅰ	2	必修		●						●			PS220		健運必	○
1	356522	食生活論	2	選択		●	●								PS121		フード必	
3	356523	臨床栄養学総論	2	必修		●				●					PS322			○
3	356524	臨床栄養学実習	1	必修		●			●						PS323			○
3	356525	運動栄養学	2	選択		●		●							PS324			
4	356526	食物栄養英語論文講読	2	選択		●	●								PS425			
栄養の指導																		
2	356527	栄養教育論Ⅰ	2	必修		●						●			PS226			○
2	356528	栄養教育論Ⅱ	2	必修		●						●			PS227			○
3	356529	栄養教育論実習	1	必修		●				●					PS328			○
3	356530	公衆栄養学Ⅰ	2	必修		●								●	PS329			○
3	356531	公衆栄養学実習	1	必修		●								●	PS330			○
3	356532	学校栄養教育論Ⅰ	2	選択		●	●								PS331		教必(栄)	
3	356533	学校栄養教育論Ⅱ	2	選択		●						●			PS332		教必(栄)	
1	356534	保育総論A	2	選択		●								●	PS133			
1	356535	保育総論B	2	選択		●								●	PS134			
2	356536	保育総論演習	1	選択		●								●	PS235			
給食の運営																		
2	356537	給食経営管理論Ⅰ	2	必修		●						●			PS236			○
2	356538	給食経営管理論Ⅱ	2	必修		●					●				PS237			○
3	356539	給食経営管理論実習	1	必修		●			●						PS338			○
1	356540	調理学	2	必修		●						●			PS139		フード必	○
1	356541	調理学実習(基礎)	2	必修		●			●						PS140		フード必	○
3	356542	調理学実習(応用)	2	必修		●						●			PS341			○
4	356543	給食経営管理臨地実習Ⅰ(含給食の運営)	1	必修		●			●						PS442			○
領域別専門科目																		
健康運動領域																		
2	357500	健康運動方法論	2	選択		●						●			PF201	△	健運必	
1	357501	健康運動科学	2	選択		●				●					PF102		健運必	
3	357502	スポーツ指導論	2	選択		●								●	PF303	△	健運必	
2	357503	健康運動演習A	2	選択		●						●			PF204	△	健運必	
2	357504	健康運動演習B	2	選択		●						●			PF205	△	健運必	
2	357505	救急処置	2	選択		●						●			PF206	△	健運必	
3	357506	運動療法A	2	選択		●				●					PF307	○		
3	357507	運動療法B	2	選択		●	●								PF308	○		

21・20年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから 教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力	ナンバリング	他履修	備考
3	357508	健康運動実践指導者特別演習	2	選択		●						●			PF309	△	健運選
フードビジネス領域																	
2	357509	フードビジネス論	2	選択		●		●							PF210	○	
2	357510	マーケティング論	2	選択		●				●					PF211		
3	357511	マーケティング情報戦略論	2	選択		●	●								PF312		
3	357512	商品企画	2	選択		●				●					PF313		
3	357513	ソーシャルメディア戦略	2	選択		●	●								PF314		
3	357514	ビジネスプレゼンテーション	2	選択		●			●						PF315		
演習科目																	
3	358500	専門演習　①	4	必修		●						●			PF316		
4	358501	卒業演習	4	必修		●					●				PF417		
4	358502	卒業研究	4	選択		●							●		PF418		
その他科目																	
1	359500	健康実践栄養士セミナーⅠ	4	自由		●	●								PF119		
2	359501	健康実践栄養士セミナーⅡ	4	自由		●							●		PF220		
3	359502	健康実践栄養士セミナーⅢ	4	自由		●							●		PF321		
4	359503	健康実践栄養士セミナーⅣ	4	自由		●								●	PF422		

・ ① 3回生秋学期「専門演習」のクラスは、春学期中に開催される説明会を経て、事前登録により決定する。
（春学期履修登録時は仮登録用クラスで登録すること。）

〔食物栄養学科健康実践栄養士課程　学位プログラムツリー〕 21・20年度入学生カリキュラム

ディプロマ・ポリシー		幅広い一般的知識・教養を身につけ、かつ社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解できること。									食や健康に関
		基盤教育科目（教養力：現代を生きる社会人としての教養と知識、スキルを修得し、活用することができる）									食物栄養学
ディプロマ・ポリシーの具体化（第1階層）		社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解して自分自身のデザインにつながる、幅広い教養を身につける			グローバル社会、高度情報化社会を生きていくうえで必要な基本的技能を身につける		学びの基礎的技能、自立に向けて必要な知識・技能を身につけるとともに、地域社会とのかかわり等から社会や人間のもつ課題を理解し、専門の学びを経て社会的・職業的自立へと向かう準備を行う			学校教育・社会教育等の資格の基礎となる知識を身につけるとともに、社会の課題を理解する	食と関わる分野
ディプロマ・ポリシーの具体化（第2階層）		先人たちがたどった知の道のり、築いてきたものを理解する	我々が生きる世界と今を読み解く	未来を見通し、自分自身をデザインする	英語など母語以外の言語で基本的なコミュニケーションを行う技能を身につけるとともに、社会や文化の多様性を理解する	情報機器を操作し、諸問題にICTを活用できる基本的な技能を身につける	大学における学びに必要な基礎的技能を身につけるとともに、専門の学びへの準備を行う	地域社会とのかかわりや知と向き合う読書活動から、社会や人間のもつ課題を理解する	社会的・職業的自立を果たすために必要な知識・技能の基礎を身につける		各分野で学習した知識・技術を統合し、総合的な判断ができるようになる
4年次	秋学期										卒業研究
	春学期									教職特別演習B	卒業研究
3年次	秋学期				韓国語Ⅳ（研究）					教職特別演習A	
	春学期				韓国語Ⅲ（研究）				インターンシップB プロジェクト型インターンシップ	教職基礎演習B レクリエーション現場実習	
2年次	秋学期			生涯スポーツ実習B	総合英語Ⅱ2 実践コミュニケーション英語Ⅱ2 フランス語ⅡA2 フランス語ⅡB2 中国語ⅡA2 中国語ⅡB2 資格中国語Ⅱ 韓国語ⅡA2 韓国語ⅡB2 資格韓国語Ⅱ		基礎演習Ⅳ		キャリアデザインⅣ インターンシップA	教職基礎演習A 学校インターンシップ 博物館経営論 生涯学習概論Ⅱ レクリエーション実技	
	春学期	伝統文化演習	データリテラシー	生涯スポーツ実習A	総合英語Ⅱ1 実践コミュニケーション英語Ⅱ1 フランス語ⅡA1 フランス語ⅡB1 中国語ⅡA1 中国語ⅡB1 資格中国語Ⅰ 韓国語ⅡA1 韓国語ⅡB1 資格韓国語Ⅰ	情報活用B	基礎演習Ⅲ	カレッジコミュニティⅡ 読書演習	数理リテラシー キャリアデザインⅢ インターンシップA	学校インターンシップ 博物館概論 社会と言語 生涯学習概論Ⅰ レクリエーション概論	
1年次	秋学期	民族と文化 ことばの世界 日本語を知る 西洋の文化を考える 芸術を鑑賞する	日本の憲法 くらしと法律 現代社会を考える 人権を考える メディアを考える くらしと化学	科学と倫理 ソーシャルメディア論 健康を管理する 書いて学ぶ文芸 健康とスポーツB	総合英語I2 実践コミュニケーション英語I2 資格英語Ⅱ フランス語IA2 フランス語IB2 中国語IA2 中国語IB2 韓国語IA2 韓国語IB2	情報活用基礎B 情報機器の操作B 情報活用A プログラミング言語Ⅱ	基礎演習Ⅱ		キャリアデザインⅡ ホスピタリティ入門	図書館情報資源概論	
	春学期	思想の世界 日本の歴史 教養としての日本文化 子どもの文化	東アジアを知る 平和を考える 心理学 生物を知る	描いて学ぶアート 健康とスポーツA	総合英語I1 実践コミュニケーション英語I1 資格英語I フランス語IA1 フランス語IB1 中国語IA1 中国語IB1 韓国語IA1 韓国語IB1 現地研修A～G	情報活用基礎A 情報機器の操作A プログラミング言語I	基礎演習I 日本語表現法	カレッジコミュニティI	キャリアデザインI	教職入門 教育学概論 図書館概論	
		情報リテラシー		先端技術と文化							
ナンバリングとの対応		BA			BS		BC			BZ	

学位プログラムツリーはカリキュラムの体系性を示すためのモデルです。年度によって開講時期が変わる場合があります。

する専門的知識・技能を身につけていること。

科健康実践栄養士課程専門科目（専門力：学位プログラムの専門知識・技能を修得し、活用できる）

について理解する			食事の管理を中心とした栄養管理の実践のための基礎科学について理解する					健康のとらえ方、社会的背景や制度および疫学の基本的事項を理解する	学科専攻科目を学ぶための基礎を理解する
栄養管理を行うために必要とされる知識および技術を身につける	食に関わる様々なビジネスの現場とマーケティングについて理解する	運動に対する人の諸機能の変化から、運動の意義と健康づくりに対する重要性を理解し、実践できるようにする	適切な食事を提供するための実践的な調理の知識や技術を身につけ、給食運営に必要な実践的な知識や技術を学ぶ	栄養指導が実践できるための知識・技術を身につける。また、公衆栄養学の意義・役割、および健康づくり対策について理解する	ライフステージや病態に応じた食事の管理を中心とした栄養管理を実践するための知識や技術を身につける	食べ物と健康の関連について理解する	栄養と健康との関連性を理解するために必要となる基本的な知識を身につける	栄養と食の観点から健康増進・疾病予防の重要性について理解する	
卒業演習 健康実践栄養士セミナーⅣ			給食経営管理臨地実習Ⅰ（含給食の運営）						
卒業演習 健康実践栄養士セミナーⅣ			給食経営管理臨地実習Ⅰ（含給食の運営）		食物栄養英語論文講読				
専門演習 健康実践栄養士セミナーⅢ	商品企画	運動療法B		公衆栄養学実習 学校栄養教育論Ⅱ		フードコーディネート論 食品の流通と消費	微生物学 疾病論		
健康実践栄養士セミナーⅢ	マーケティング情報戦略論 ソーシャルメディア戦略 ビジネスプレゼンテーション	スポーツ指導論 運動療法A 健康運動実践指導者特別演習	給食経営管理論実習 調理学実習（応用）	栄養教育論実習 公衆栄養学Ⅰ 学校栄養教育論Ⅰ	臨床栄養学総論 臨床栄養学実習 運動栄養学	食文化論 応用食品学			
健康実践栄養士セミナーⅡ	フードビジネス論 マーケティング論	健康運動演習B	給食経営管理論Ⅱ	栄養教育論Ⅱ	基礎栄養学Ⅱ 基礎栄養学実験 応用栄養学Ⅰ	食品衛生学実験		公衆衛生学Ⅰ	
健康実践栄養士セミナーⅡ		健康運動方法論 健康運動演習A 救急処置	給食経営管理論Ⅰ	栄養教育論Ⅰ 保育総論演習	基礎栄養学Ⅰ	食品加工学 食品加工学実習 食品衛生学	生化学	社会福祉論	
健康実践栄養士セミナーⅠ		健康運動科学	調理学実習（基礎）	保育総論A 保育総論B		食品学 食品学実験	解剖生理学Ⅱ		
健康実践栄養士セミナーⅠ			調理学		食生活論		解剖生理学Ⅰ 予防医学		基礎化学 基礎医学 化学
PF			PS					PP	PB

21・20年度入学生

教育課程（カリキュラム）

資格専門科目

21・20年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	帝塚山学院大学生の10のちから 教養力	専門力	情報収集・分析力	論理的思考・表現力	コミュニケーション力	問題解決力	自己理解力	主体的行動力	倫理性と自律力	地域貢献力	ナンバリング	他履修	備考
資格専門科目																	
教職に関する専門科目																	
1	258000	教育制度論	2	自由	●								●		ZT101		教必
1	258001	教育心理学	2	自由	●		●								ZT102		教必/日選
2	258002	特別支援教育	2	自由	●								●		ZT203		教必
2	258003	教育課程論	2	自由	●			●							ZT204		教必
3	258004	道徳教育の指導法	2	自由	●			●							ZT305		教必
3	258005	総合的な学習の時間の指導法	2	自由	●									●	ZT306		教必
3	258006	特別活動の指導法	2	自由	●				●						ZT307		教必
2	258007	教育方法・技術論	2	自由	●					●					ZT208		教必
2	258008	生徒指導論	2	自由	●				●						ZT209		教必
3	258009	教育相談	2	自由	●					●					ZT310		教必
3	258010	進路指導論	2	自由	●				●						ZT311		教必(保)
3・4	258011	教育実習指導　①	1	自由	●							●			ZT312		教必
4	258012	教育実習Ａ	4	自由	●				●						ZT413		教必(保)
3	258013	養護実習	4	自由	●				●						ZT314		教必(養)
4	258014	栄養教育実習	1	自由	●							●			ZT415		教必(栄)
4	258015	教職実践演習(中・高)	2	自由	●							●			ZT416		教必(保)
4	258016	教職実践演習(栄養教諭)	2	自由	●							●			ZT417		教必(栄)
4	258017	教職実践演習(養護教諭)	2	自由	●							●			ZT418		教必(養)
2	258018	保健科教育法Ⅰ	2	自由	●							●			ZT219		教必(保)
2	258019	保健科教育法Ⅱ	2	自由	●							●			ZT220		教必(保)
図書館司書課程																	
2	258100	図書館制度・経営論	2	自由	●									●	ZL201		司必
2	258101	図書館情報技術論	2	自由	●		●								ZL202		司必
1	258102	図書館サービス概論	2	自由	●			●							ZL103		司必
2	258103	情報サービス論	2	自由	●				●						ZL204		司必
2	258104	児童サービス論	2	自由	●									●	ZL205		司必
3	258105	情報サービス演習Ⅰ	1	自由	●		●								ZL306		司必
3	258106	情報サービス演習Ⅱ	1	自由	●		●								ZL307		司必
3	258107	情報資源組織論	2	自由	●			●							ZL308		司必
4	258108	情報資源組織論演習Ⅰ	1	自由	●			●							ZL409		司必
4	258109	情報資源組織論演習Ⅱ	1	自由	●			●							ZL410		司必
2	258110	図書館基礎特論	2	自由	●									●	ZL211		司選
2	258111	図書館サービス特論	2	自由	●									●	ZL212		司選
2	258112	図書館情報資源特論	2	自由	●									●	ZL213		司選
1	258113	図書・図書館史	2	自由	●									●	ZL114		司選
2	258114	図書館施設論	2	自由	●									●	ZL215		司選
3	258115	図書館総合演習	1	自由	●							●			ZL316		司選
4	258116	図書館実習	1	自由	●									●	ZL417		司選
博物館学芸員課程																	
2	258200	博物館資料論	2	自由	●					●					ZM201		学必
3	258201	博物館資料保存論	2	自由	●		●								ZM302		学必
3	258202	博物館展示論	2	自由	●			●							ZM303		学必
3	258203	博物館教育論	2	自由	●									●	ZM304		学必/社教必
3	258204	博物館情報・メディア論	2	自由	●		●								ZM305		学必
4	258205	博物館実習Ⅰ	1	自由	●							●			ZM406		学必
4	258206	博物館実習Ⅱ	2	自由	●							●			ZM407		学必
日本語教員養成コース																	
3	258400	日本語教育教材研究	2	自由	●					●					ZJ301		日必
3	258401	日本語教育法ⅠＡ	2	自由	●			●							ZJ302		日必
3	258402	日本語教育法ⅠＢ	2	自由	●			●							ZJ303		日必
4	258403	日本語教育法ⅡＡ	2	自由	●					●					ZJ404		日必
4	258404	日本語教育法ⅡＢ	2	自由	●					●					ZJ405		日必
4	258405	日本語教育実習	1	自由	●							●			ZJ406		日必
社会教育主事任用資格																	
2	258300	社会教育経営論Ⅰ	2	自由	●				●						ZS201		社教必
2	258301	社会教育経営論Ⅱ	2	自由	●		●								ZS202		社教必
3	258302	生涯学習支援論Ⅰ	2	自由	●									●	ZS303		社教必
3	258303	生涯学習支援論Ⅱ	2	自由	●									●	ZS304		社教必
3	258304	社会教育課題研究	2	自由	●					●					ZS305		社教必
4	258305	社会教育演習	1	自由	●					●					ZS406		社教必
4	258306	社会教育実習	1	自由	●					●					ZS407		社教必

・① 心理学科養護教諭一種免許状取得課程については、「教育実習指導」は3回生配当科目である。その他の課程については、4回生配当科目である。
・資格の取得要件・注意事項については、資格の頁を参照のこと。

19・18年度入学生

教育課程（カリキュラム）

教育課程（カリキュラム）
（19・18年度入学生）

教育課程表 / カリキュラム・マップ

1．教育課程

教育課程は次の分類により構成されています。

① 共通科目　② 学科専門科目　③ 資格専門科目

2．卒業に必要な総単位数

大学を卒業するためには、各学部・学科ごとに定める教育課程に従って授業科目を履修し、所定の単位以上を修得しなければなりません。詳細は、所属学科の「教育課程（カリキュラム）」を参照してください。

3．配当年次別科目一覧

配当年次別科目一覧は、配当年次、科目の分類・分野ごとに科目を掲載した表です。

4．教育課程表 / カリキュラム・マップの見方

配当年次 ①	学則科目コード ②	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ･ポリシーとの対応) ③											ナンバリング ④	他履修 ⑤	備考
					関心･意欲･態度				思考･判断･表現			技能(表現)			知識･理解			
					1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	1	2		

教育課程表　　カリキュラム･マップ

① 配当年次	当該科目を履修することができる年次（学年）を示しています。 配当年次が上の年次の科目は履修できません。 下位の学年次に配当されている科目を履修することができます。
② 学則科目コード	学則科目コードは、科目ごとに割り振られている６ケタの番号で、入学から卒業まで変わることはありません。学則科目コードが同一の場合は、原則として重複履修できません。 なお、履修登録する場合は、下１ケタに「クラス」を表示した科目コード（７ケタ）を利用します。科目コードの説明は、「履修の手引き」項を参照してください。
③ 授業を通して修得できる力（ディプロマ･ポリシーとの対応）	当該科目を通して修得できる力を示しています。 番号は各学科・課程のディプロマ・ポリシーの項目番号と対応しています。 ディプロマ・ポリシーの内容は「帝塚山学院大学の教育方針（３つのポリシー）」項または、各科目のシラバスを参照してください。
④ ナンバリング	学修の段階や順序等を示し、カリキュラムの体系性を表した番号です。 アルファベットは科目分類、左から３つめの数字は科目分野、下４ケタの数字はレベルと科目番号を表します。 （1000 番台 :1 回生配当、2000 番台 :2 回生配当、3000 番台 :3 回生配当、4000 番台 :4 回生配当 ）
⑤ 他履修	「○」がついている科目は、開講学科以外の学生でも履修できます。 「△」がついている科目は、開講学科の他課程の学生でも履修できます。

19・18年度入学生

教育課程（カリキュラム）

共通科目

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	思考・判断・表現 1	2	3	技能(表現) 1	2	3	知識・理解 1	2	3	ナンバリング	他履修	備考
共通科目																						
導入学習																						
1	200010	基礎演習Ⅰ ①	1	選択		●	●	●	●	●		●		●						BE11001		
1	200020	基礎演習Ⅱ ②	1	選択				●	●	●		●		●		●				BE11002		
2	200030	基礎演習Ⅲ ③	1	選択		●		●	●	●		●		●		●		●		BE21001		
2	200040	基礎演習Ⅳ ④	1	選択		●		●	●	●		●		●		●		●		BE21002		
1	200050	日本語表現法	2	必修					●	●		●		●			●			BE11003		
1	200051	数学リテラシー	2	選択							●					●				BE11004		
1	200052	文章表現実践Ⅰ	2	選択		●						●		●						BE11005		
2	200053	文章表現実践Ⅱ	2	選択		●						●		●						BE21003		
人文																						
1	201001	哲学	2	選択		●						●					●			BE12001		
1	201021	宗教学A	2	選択													●			BE12002		社教選
1	201022	宗教学B	2	選択													●	●		BE12003		社教選
1	201003	文化と歴史(日本)	2	選択							●						●			BE12004		学選
1	201004	文化と歴史(アジア)	2	選択													●			BE12005		
1	201009	大阪学	2	選択													●	●		BE12006		
1	201010	考古学	2	選択													●			BE12007		学選
1	201011	民俗学	2	選択										●			●			BE12008		学選
1	201012	言語学概論	2	選択													●	●		BE12009		日必
1	201013	日本の近代文学	2	選択								●		●			●			BE12010		
1	201014	日本の古典文学	2	選択													●			BE12011		
1	201015	外国の文学	2	選択													●			BE12012		
1	201016	世界の児童文学	2	選択										●			●			BE12013		
1	201017	日本の児童文学	2	選択													●			BE12014		
1	201018	芸術鑑賞入門	2	選択					●		●			●			●		●	BE12015		
1	201019	スケッチ入門	2	選択								●					●			BE12016		
1	201020	デッサン入門	2	選択								●					●			BE12017		
社会																						
1	201201	日本国憲法	2	選択	●												●			BE13001		教必
1	201214	法学	2	選択	●												●			BE13002		教選/社福選/ｽﾎﾟ必
1	201202	著作権概論	2	選択	●												●			BE13003		教選(情)
1	201213	大阪の食文化論	2	選択	●												●			BE13004		
1	201205	経済と経営	2	選択	●												●		●	BE13005		
1	201206	社会学	2	選択	●						●						●	●		BE13006		社教選/社福選
1	201207	ジェンダー論	2	選択	●							●					●	●		BE13007		社教選
1	201217	人権論	2	選択	●												●	●		BE13008		社教選
1	201218	国際機構と世界	2	選択	●												●			BE13009		
1	201208	マスコミュニケーション概論	2	選択	●							●					●			BE13010		
1	201220	図書館概論	2	選択	●							●					●			BE13011		司必/社教選
1	201221	図書館情報資源概論	2	選択	●							●					●			BE13012		司必/社教選
2	201222	レクリエーション概論	2	選択			●										●			BE23001		社教選/ﾚｸ必
自然																						
1	201401	心理学	2	選択			●										●			BE14001		社福選/認選
1	201407	生命科学と倫理	2	選択	●						●						●		●	BE14002		
1	201409	基礎化学	2	選択					●		●						●		●	BE14003		
1	201402	化学	2	選択					●		●						●		●	BE14004		ﾌｰﾄﾞ選/衛必
1	201410	基礎生物学	2	選択							●						●		●	BE14005		
1	201403	生物学	2	選択							●						●		●	BE14006		
1	201414	色彩学入門	2	選択													●			BE14007		
健康管理																						
1	201603	健康スポーツ学A	1	選択		●	●	●	●											BE15001		教必/健運必
1	201604	健康スポーツ学B	1	選択		●	●	●	●											BE15002		教必
2	201609	スポーツ学A	1	選択		●	●	●	●											BE25001		ｽﾎﾟ必
2	201610	スポーツ学B	1	選択		●	●	●	●											BE25002		ｽﾎﾟ必
2	201611	スポーツ学C	1	選択		●	●	●	●											BE25003		
2	201612	スポーツ学D	1	選択		●	●	●	●											BE25004		
2	201613	スポーツ学E	1	選択		●	●	●	●											BE25005		健運必
2	201614	スポーツ学F	1	選択		●	●	●	●											BE25006		健運必
1	201615	基礎医学	2	選択			●				●						●		●	BE15003		ｽﾎﾟ必
1	201616	健康管理学	2	選択			●				●						●		●	BE15004		健運必

・ 共通科目の取得要件については、各学科・課程の「卒業に必要な総単位数」を参照すること。
・ ①「基礎演習Ⅰ」の学則科目コードを、Lは「200011」、Sは「200012」、Cは「200013」、Hは「200014」、Nは「200015」、NPは「200016」とする。
・ ②「基礎演習Ⅱ」の学則科目コードを、Lは「200021」、Sは「200022」、Cは「200023」、Hは「200024」、Nは「200025」、NPは「200026」とする。
・ ③「基礎演習Ⅲ」の学則科目コードを、Lは「200031」、Sは「200032」、Cは「200033」、Hは「200034」、Nは「200035」、NPは「200036」とする。
・ ④「基礎演習Ⅳ」の学則科目コードを、Sは「200042」、Cは「200043」、Hは「200044」、Nは「200045」、NPは「200046」とする。

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	思考・判断・表現 1	2	3	技能(表現) 1	2	3	知識・理解 1	2	3	ナンバリング	他履修	備考
キャリア形成																						
1	201807	キャリアデザインⅠ	2	必修		●		●				●		●						BE16001		
2	201808	キャリアデザインⅡ	2	必修		●		●			●			●						BE26001		
2	201809	キャリアデザインⅢ	2	選択	●			●			●			●						BE26002		L(選必)
3	201810	キャリアデザインⅣ	2	選択	●			●					●	●						BE36001		L(選必)
2	201811	キャリア基礎	2	選択		●		●				●		●						BE26003		L(選必)
3	201804	キャリア実践	2	選択		●		●				●		●						BE36002		L(選必)
2	201806	学校インターンシップ　①	2	選択	●			●		●		●						●	●	BE26004		教選(国[19・18生]英・情・保・養) L(選必)
2	201820	インターンシップA　②	2	選択	●			●				●							●	BE26005		L(選必)
3	201821	インターンシップB　②	1	選択	●			●				●							●	BE36003		L(選必)
2	201812	教職基礎演習A	1	選択					●		●	●						●		BE26006		L(選必)
2	201813	教職基礎演習B	1	選択					●		●	●						●		BE26007		L(選必)
3	201814	教職基礎演習C	1	選択					●		●	●						●		BE36004		L(選必)
3	201815	教職基礎演習D	1	選択					●		●	●						●		BE36005		L(選必)
2	201816	教職特別演習A	1	選択					●		●	●						●		BE26008		L(選必)
2	201817	教職特別演習B	1	選択					●		●	●						●		BE26009		L(選必)
3	201818	教職特別演習C	1	選択					●		●	●						●		BE36006		L(選必)
3	201819	教職特別演習D	1	選択					●		●	●						●		BE36007		L(選必)
オフ・キャンパス																						
1	201901	Off-Campus Studies A	1	選択	●				●											BE19001		
1	201902	Off-Campus Studies B	1	選択	●				●											BE19002		
1	201903	Off-Campus Studies C	1	選択	●				●											BE19003		
1	201904	Off-Campus Studies D	1	選択	●				●											BE19004		
外国語																						
1	202060	総合英語ⅠA1	1	選必								●			●					BE17001		教選必
1	202061	総合英語ⅠA2	1	選必								●			●					BE17002		教選必
1	202062	総合英語ⅡA1	1	選必								●			●					BE17003		教選必
1	202063	総合英語ⅡA2	1	選必								●			●					BE17004		教選必
1	202064	総合英語ⅢA1	1	選必								●			●					BE17005		教選必
1	202065	総合英語ⅢA2	1	選必								●			●					BE17006		教選必
2	202066	総合英語ⅠB1	1	選必								●			●			●		BE27001		教選必
2	202067	総合英語ⅠB2	1	選必								●			●			●		BE27002		教選必
2	202068	総合英語ⅡB1	1	選必								●			●			●		BE27003		教選必
2	202069	総合英語ⅡB2	1	選必								●			●			●		BE27004		教選必
2	202070	総合英語ⅢB1	1	選必								●			●			●		BE27005		教選必
2	202071	総合英語ⅢB2	1	選必								●			●			●		BE27006		教選必
1	202072	実践コミュニケーション英語ⅠA1	1	選必								●			●					BE17007		教選必
1	202073	実践コミュニケーション英語ⅠA2	1	選必								●			●					BE17008		教選必
1	202074	実践コミュニケーション英語ⅡA1	1	選必								●			●					BE17009		教選必
1	202075	実践コミュニケーション英語ⅡA2	1	選必								●			●					BE17010		教選必
1	202076	実践コミュニケーション英語ⅢA1	1	選必								●			●					BE17011		教選必
1	202077	実践コミュニケーション英語ⅢA2	1	選必								●			●					BE17012		教選必
2	202078	実践コミュニケーション英語ⅠB1	1	選必								●			●			●		BE27007		教選必
2	202079	実践コミュニケーション英語ⅠB2	1	選必								●			●			●		BE27008		教選必
2	202080	実践コミュニケーション英語ⅡB1	1	選必								●			●			●		BE27009		教選必
2	202081	実践コミュニケーション英語ⅡB2	1	選必								●			●			●		BE27010		教選必
2	202082	実践コミュニケーション英語ⅢB1	1	選必								●			●			●		BE27011		教選必
2	202083	実践コミュニケーション英語ⅢB2	1	選必								●			●			●		BE27012		教選必
2	202084	資格英語Ⅰ	1	選択		●					●				●			●		BE27013		
2	202085	資格英語Ⅱ	1	選択		●					●				●			●		BE27014		
2	202086	資格英語Ⅲ	1	選択		●					●				●			●		BE27015		
2	202087	資格英語Ⅳ	1	選択		●					●				●			●		BE27016		
1	202401	フランス語ⅠA1	1	選択					●		●	●						●		BE17013		L(選必)
1	202402	フランス語ⅠA2	1	選択					●		●	●						●		BE17014		L(選必)
1	202403	フランス語ⅠB1	1	選択					●		●	●						●		BE17015		L(選必)
1	202404	フランス語ⅠB2	1	選択					●		●	●						●		BE17016		L(選必)
2	202405	フランス語ⅡA1	1	選択					●		●	●						●		BE27017		L(選必)
2	202406	フランス語ⅡA2	1	選択					●		●	●						●		BE27018		L(選必)

・共通科目の取得要件については、各学科・課程の「卒業に必要な総単位数」を参照すること。
・①「学校インターンシップ」は所定の要件を満たす学校インターンシップを行う科目であり、事前学習会・事後報告会における事前・事後指導が含まれる。
・②「インターンシップA」「インターンシップB」は所定の要件を満たす就労型インターンシップを行う科目であり、オリエンテーション・事後報告会における事前・事後指導が含まれる。
・「Off-Campus StudiesA」～「Off-Campus StudiesD」は、本学が指定する地域社会をフィールドとしたボランティア活動、社会貢献活動等に参加し、所定の手続を経て単位が認定される科目である。(2019年度以降、一部集中講義として開講)
・原則として、同一クラスの1(春学期)・2(秋学期)を連続履修すること。
・「フランス語」「中国語」「韓国語」において、「ⅡA、B」の履修は、原則として1回生配当の「ⅠA、B」の履修が条件である。
・「フランス語」「中国語」「韓国語」において、「Ⅲ、Ⅳ(研究)」の履修は、原則として「ⅠA、B」および「ⅡA、B」の履修が条件である。

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	思考・判断・表現 1	2	3	技能(表現) 1	2	3	知識・理解 1	2	3	ナンバリング	他履修	備考	
2	202407	フランス語Ⅱ B 1	1	選択					●		●	●					●			BE27019			L(選必)
2	202408	フランス語Ⅱ B 2	1	選択					●		●	●					●			BE27020			L(選必)
3	202409	フランス語Ⅲ(研究)	2	選択					●		●	●					●			BE37001			
3	202410	フランス語Ⅳ(研究)	2	選択					●		●	●					●			BE37002			
1	202601	中国語Ⅰ A 1	1	選択					●		●	●					●			BE17017			L(選必)
1	202602	中国語Ⅰ A 2	1	選択					●		●	●					●			BE17018			L(選必)
1	202603	中国語Ⅰ B 1	1	選択					●		●	●					●			BE17019			L(選必)
1	202604	中国語Ⅰ B 2	1	選択					●		●	●					●			BE17020			L(選必)
2	202605	中国語Ⅱ A 1	1	選択					●		●	●					●			BE27021			L(選必)
2	202606	中国語Ⅱ A 2	1	選択					●		●	●					●			BE27022			L(選必)
2	202607	中国語Ⅱ B 1	1	選択					●		●	●					●			BE27023			L(選必)
2	202608	中国語Ⅱ B 2	1	選択					●		●	●					●			BE27024			L(選必)
3	202609	中国語Ⅲ(研究)	2	選択					●		●	●					●			BE37003			
3	202610	中国語Ⅳ(研究)	2	選択					●		●	●					●			BE37004			
1	202611	資格中国語Ⅰ	1	選択					●		●	●					●			BE17021			
1	202612	資格中国語Ⅱ	1	選択					●		●	●					●			BE17022			
1	202801	韓国語Ⅰ A 1	1	選択					●		●	●					●			BE17023			L(選必)
1	202802	韓国語Ⅰ A 2	1	選択					●		●	●					●			BE17024			L(選必)
1	202803	韓国語Ⅰ B 1	1	選択					●		●	●					●			BE17025			L(選必)
1	202804	韓国語Ⅰ B 2	1	選択					●		●	●					●			BE17026			L(選必)
2	202805	韓国語Ⅱ A 1	1	選択					●		●	●					●			BE27025			L(選必)
2	202806	韓国語Ⅱ A 2	1	選択					●		●	●					●			BE27026			L(選必)
2	202807	韓国語Ⅱ B 1	1	選択					●		●	●					●			BE27027			L(選必)
2	202808	韓国語Ⅱ B 2	1	選択					●		●	●					●			BE27028			L(選必)
3	202809	韓国語Ⅲ(研究)	2	選択					●		●	●					●			BE37005			
3	202810	韓国語Ⅳ(研究)	2	選択					●		●	●					●			BE37006			
2	202811	資格韓国語Ⅰ	1	選択					●		●	●					●			BE27029			
2	202812	資格韓国語Ⅱ	1	選択					●		●	●					●			BE27030			
情報処理																							
1	203001	情報活用基礎A	1	選必							●		●			●				BE18001			
1	203002	情報機器の操作A	1	選必							●		●			●				BE18002		教必	
1	203003	情報活用基礎B	1	選必							●		●			●				BE18003			
1	203004	情報機器の操作B	1	選必							●		●			●				BE18004		教必	
1	203005	情報活用A	1	選択												●			●	BE18005			
1	203006	情報活用B	1	選択												●			●	BE18006			
2	203007	情報活用C	1	選択									●			●			●	BE28001			
2	203008	情報活用D	1	選択							●					●			●	BE28002			
1	203011	情報活用G	1	選択									●			●			●	BE18007			
2	203012	情報活用H	1	選択									●			●			●	BE28003			
現地研修																							
1	204001	現地研修A	2	選択																BE18008		単位認定科目	
1	204002	現地研修B	2	選択																BE18009		単位認定科目	
1	204003	現地研修C	2	選択																BE18010		単位認定科目	
1	204004	現地研修D	2	選択																BE18011		単位認定科目	
1	204005	現地研修E	2	選択																BE18012		単位認定科目	
1	204006	現地研修F	2	選択																BE18013		単位認定科目	

・共通科目の取得要件については、各学科・課程の「卒業に必要な総単位数」を参照すること。
・原則として、同一クラスの1(春学期)・2(秋学期)を連続履修すること。
・「資格中国語Ⅰ、Ⅱ」の履修は、原則として1回生配当の「中国語ⅠA、ⅠB」の履修が条件である。
・「資格韓国語Ⅰ、Ⅱ」の履修は、原則として1回生配当の「韓国語ⅠA、ⅠB」の履修が条件である。
・「フランス語」「中国語」「韓国語」において、「ⅡA、B」の履修は、原則として1回生配当の「ⅠA、B」の履修が条件である。
・「フランス語」「中国語」「韓国語」において、「Ⅲ、Ⅳ(研究)」の履修は、原則として「ⅠA、B」および「ⅡA、B」の履修が条件である。

19・18年度入学生

教育課程（カリキュラム）

リベラルアーツ学部
リベラルアーツ学科

卒業に必要な総単位数　（19・18年度入学生）

			リベラルアーツ学科		備　考
共通科目	導入学習		2単位 必修	32単位	※①「日本語表現法」必修
	人文		2単位 選択必修		
	社会		2単位 選択必修		
	自然		2単位 選択必修		
	健康管理		1単位 選択必修		
	キャリア形成		4単位 必修		「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」必修
			2単位 選択必修		※②
	オフ・キャンパススタディーズ		選択		
	外国語		8単位 選択必修		※③ 英語4単位選択必修
	情報処理		2単位 選択必修		※④
	現地研修		選択		
	小　計			32単位	
学科専門科目	専門基礎科目		2単位 必修	72単位	「リベラルアーツ入門Ⅰ」必修
			4単位 選択必修		
	国際教養科目		2単位 選択必修		
	専攻学習科目	日本学専攻	いずれか1つの専攻から26単位選択必修		
		東アジア専攻			
		美学・文化表現専攻			
	演習科目		12単位 必修		
	特別科目		選択		
	小　計			72単位	
合　計				104単位	
関連科目	上記共通科目・学科専門科目の余剰修得単位		選択	20単位	
	他学科開講科目				※⑤
	単位互換制度による修得単位				
総　計				124単位	

資格専門（関連）科目	教職課程専門科目	資格取得を希望する場合は各資格取得に必要な科目を履修すること	資格専門科目は卒業単位には算入されない
	学校図書館司書教諭専門科目		
	図書館司書専門科目		
	博物館学芸員専門科目		
	日本語教員養成コース専門科目		
	社会教育主事任用資格専門科目		
	社会福祉主事任用資格関連科目		

■　履修についての注意

※① 導入学習科目（選択）のうち、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」および「数学リテラシー」の3科目4単位は1回生時に必ず履修すること。
「基礎演習Ⅲ」の1科目1単位は2回生春学期に必ず履修すること。

※② キャリア形成科目（選択）から計2単位選択必修。

※③ 外国語科目について
英語1言語で計8単位または、英語4単位およびフランス語・中国語・韓国語のうち1言語4単位の計8単位を修得すること。
・英語は、「総合英語IA1・2、IB1・2」「ⅡA1・2、ⅡB1・2」「ⅢA1・2、ⅢB1・2」
「実践コミュニケーション英語IA1・2、IB1・2」「ⅡA1・2、ⅡB1・2」「ⅢA1・2、ⅢB1・2」から4単位または8単位を修得すること。
・フランス語・中国語・韓国語で4単位を修得する場合は、1言語科目について
「IA1・2、IB1・2」「ⅡA1・2、ⅡB1・2」から4単位を修得すること。

※④ 情報処理科目について
教職課程の履修希望者は、「情報機器の操作A・B」の2科目2単位を修得すること。
教職課程を履修しない者は、「情報活用基礎A・B」の2科目2単位を修得すること。
なお、「情報活用基礎（A・B）」「情報機器の操作（A・B）」の両科目の履修は原則認めない。

※⑤ 他学科開講科目のうち、他学部科目の修得単位は、単位互換制度での修得単位分を含め、20単位を上限として卒業単位に算入する。また、単位互換制度による修得単位は、8単位を上限として卒業単位に算入する。

● 資格取得を希望する学生は、「資格取得について」の項を熟読し、資格取得に必要な科目を履修すること。

● 他学科開講科目として履修可能な科目は、開講科目表において、以下の記号により示す。
○……他学科履修可能科目

〔配当年次別科目一覧〕 19・18年度入学生カリキュラム

カッコ内は単位数。記載がない科目の単位数は２単位

		1年次				2年次		3年次	
共通科目	《導入学習》	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 日本語表現法	数学リテラシー 文章表現実践Ⅰ			基礎演習Ⅲ(1) 文章表現実践Ⅱ			
	《人文》	哲学 宗教学A 宗教学B	文化と歴史(日本) 文化と歴史(アジア) 大阪学	考古学 民俗学 言語学概論	日本の近代文学 日本の古典文学 外国の文学	世界の児童文学 日本の児童文学 芸術鑑賞入門	スケッチ入門 デッサン入門		
	《社会》	日本国憲法 法学 著作権概論 大阪の食文化論	経済と経営 社会学 ジェンダー論 人権論	国際機構と世界 マスコミュニケーション概論 図書館概論 図書館情報資源概論		レクリエーション概論			
	《自然》	心理学 生命科学と倫理	基礎化学[Nのみ] 化学	基礎生物学[Nのみ] 生物学	色彩学入門				
	《健康管理》	健康スポーツ学A(1) 健康スポーツ学B(1)	基礎医学 健康管理学			スポーツ学A(1) スポーツ学B(1) スポーツ学C(1)	スポーツ学D(1) スポーツ学E(1) スポーツ学F(1)		
	《キャリア形成》	キャリアデザインⅠ				キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリア基礎 学校インターンシップ インターンシップA	教職基礎演習A(1) 教職基礎演習B(1) 教職特別演習A(1) 教職特別演習B(1)	キャリアデザインⅣ キャリア実践 インターンシップB(1)	教職基礎演習C(1) 教職基礎演習D(1) 教職特別演習C(1) 教職特別演習D(1)
	《オフ・キャンパス》	Off-Campus Studies A(1)	Off-Campus Studies B(1)	Off-Campus Studies C(1)	Off-Campus Studies D(1)				
	《外国語》	総合英語ⅠA1・2 総合英語ⅡA1・2 総合英語ⅢA1・2	実践コミュニケーション英語ⅠA1・2 実践コミュニケーション英語ⅡA1・2 実践コミュニケーション英語ⅢA1・2	フランス語ⅠA1・2 フランス語ⅠB1・2 中国語ⅠA1・2 中国語ⅠB1・2	資格中国語Ⅰ(1) 資格中国語Ⅱ(1) 韓国語ⅠA1・2 韓国語ⅠB1・2	総合英語ⅠB1・2 総合英語ⅡB1・2 総合英語ⅢB1・2 実践コミュニケーション英語ⅠB1・2 実践コミュニケーション英語ⅡB1・2 実践コミュニケーション英語ⅢB1・2 資格英語Ⅰ(1) 資格英語Ⅱ(1) 資格英語Ⅲ(1)	資格英語Ⅳ(1) フランス語ⅡA1・2 フランス語ⅡB1・2 中国語ⅡA1・2 中国語ⅡB1・2 韓国語ⅡA1・2 韓国語ⅡB1・2 資格韓国語Ⅰ(1) 資格韓国語Ⅱ(1)	フランス語Ⅲ(研究) フランス語Ⅳ(研究) 中国語Ⅲ(研究) 中国語Ⅳ(研究) 韓国語Ⅲ(研究) 韓国語Ⅳ(研究)	
	《情報処理》	情報活用基礎A(1) 情報機器の操作A(1)	情報活用基礎B(1) 情報機器の操作B(1)	情報活用A(1) 情報活用B(1)	情報活用G(1)	情報活用C(1) 情報活用D(1)	情報活用H(1)		
	《現地研修》	現地研修A	現地研修B	現地研修C	現地研修D	現地研修E	現地研修F		

			1年次	2年次			3年次			4年次
リベラルアーツ学科専門科目	《専門基礎科目》		LA入門Ⅰ LA入門Ⅱ(日本文学・文化)	LA入門Ⅱ(歴史) LA入門Ⅱ(中国語)	LA入門Ⅱ(韓国語) LA入門Ⅱ(芸術文化)	LA入門Ⅱ(絵本・児童文学)				
	《国際教養科目》		国際関係入門 多文化共生論 世界の英語事情	社会と言語 日本語と外国語 日本事情						
	《専攻学習科目》	日本学専攻	日本語学概論A 日本語学概論B 日本文学概論A 古典文学講読A 近代文学講読A	日本文学概論B 日本古典文学史 日本近代文学史 古典文学講読B 古典文学作品研究A 近代文学講読B 近代文学作品研究A	日本語表現技法研究A 日本語表現技法研究B 漢文学概論 漢文学講読A 漢文学講読B 書道および書道史A 書道および書道史B	創作研究(ライトノベル) 創作研究(小説) 日本史概論A 日本史概論B 日本文化史A 日本文化史B 日本伝統文化	日本文学特講A 日本文学特講B 古典文学作品研究B 近代文学作品研究B 物語の心理学 比較文学 日本史特講A	日本史特講B 近現代史A 近現代史B 歴史・伝統文化事例研究 国語科教育法Ⅲ [19生] 国語科教育法Ⅳ [19生]		
		東アジア専攻	インテンシブ中国語Ⅰ1 インテンシブ中国語Ⅰ2 インテンシブ韓国語Ⅰ1 インテンシブ韓国語Ⅰ2 韓国語研究A 韓国語研究B	インテンシブ中国語Ⅱ1 インテンシブ中国語Ⅱ2 現代中国事情A 現代中国事情B 中国の社会と文化A 中国の社会と文化B 留学準備講座(中国語)	インテンシブ韓国語Ⅱ1 インテンシブ韓国語Ⅱ2 韓国語研究C 韓国語研究D 韓国の社会と文化 メディア韓国語 留学準備講座(韓国語) 日中韓異文化理解研究		インテンシブ中国語Ⅲ1 インテンシブ中国語Ⅲ2 インテンシブ中国語Ⅳ1 インテンシブ中国語Ⅳ2 中国語研究A 中国語研究B 中国特殊研究A 中国特殊研究B	インテンシブ韓国語Ⅲ1 インテンシブ韓国語Ⅲ2 インテンシブ韓国語Ⅳ1 インテンシブ韓国語Ⅳ2	現代韓国事情A 現代韓国事情B 現代日韓文化交流論 東アジア関係史	
		美学・文化表現専攻		美学概論 美術史概論 日本美術史 東洋美術史 西洋美術史 比較芸術論 芸術文化論 現代アート論 アートコミュニケーション	グラフィックデザイン基礎Ⅰ グラフィックデザイン基礎Ⅱ アート表現技法 造形表現A 造形表現B 児童文学概論A 児童文学概論B 絵本論A 絵本論B	アニメーション論 日本児童文学講読 外国児童文学講読 マンガ論 創作研究(児童文学) 創作研究(絵本をつくる・入門) 創作研究(絵本をつくる・展開)	芸術情報論 映画論 グラフィックデザイン研究 アートプロデュース 造形表現C 児童文学史 児童文学作品研究A 児童文学作品研究B 児童心理学			
	《演習科目》			専門基礎演習			専門応用演習Ⅰ 専門応用演習Ⅱ			卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究
	《特別科目》		FS(芸術文化)A FS(芸術文化)B	FS(中国語)A FS(中国語)B	FS(韓国語)A FS(韓国語)B FS(韓国語)C	FS(日本文学・文化) FS(絵本・児童文学)	ワークショップ(絵本) ワークショップ(造形基礎A)	ワークショップ(造形基礎B)		

関連科目	上記共通科目、学科専門科目の余剰修得単位 他学科開講科目・単位互換制度による修得単位

			1年次	2年次			3年次			4年次
自由科目	資格専門科目	教職課程(国語)	教職入門 教育学概論 学校と教育の歴史 [18生] 教育心理学 [19生] 教育制度論 [19生]	教育心理学 [18生] 教育制度論 [18生] 教育課程論	国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 特別支援教育 [19生]	教育方法・技術論 [19・18生] 生徒指導論	国語科教育法研究Ⅰ [18生] 国語科教育法研究Ⅱ [18生] 進路指導論 [19生]	道徳教育の指導法 特別活動の指導法	教育相談 総合的な学習の時間の指導法 [19生]	教育実習指導(1) 教育実習A(4) 教職実践演習(中・高)
		学校図書館司書教諭(教職課程履修者)		学校経営と学校図書館	学習指導と学校図書館	読書と豊かな人間性	学校図書館メディアの構成	情報メディアの活用		
		図書館司書	図書館サービス概論 図書・図書館史	図書館制度・経営論 図書館情報技術論 情報サービス論	児童サービス論 図書館基礎特論 図書館サービス特論	図書館情報資源特論 図書館施設論	情報サービス演習Ⅰ(1) 情報サービス演習Ⅱ(1)	情報資源組織論 図書館総合演習(1)		情報資源組織論演習Ⅰ(1) 情報資源組織論演習Ⅱ(1) 図書館実習(1)
		博物館学芸員		博物館概論	博物館経営論	博物館資料論	博物館資料保存論 博物館展示論	博物館教育論 博物館情報・メディア論		博物館実習Ⅰ(1) 博物館実習Ⅱ
		日本語教員養成コース		教育心理学			日本語教育教材研究	日本語教育法IA	日本語教育法IB	日本語教育法Ⅱ 日本語教育実習A(1) 日本語教育実習B(1)
		社会教育主事任用資格		社会教育計画Ⅰ	社会教育計画Ⅱ		社会教育課題研究Ⅰ	社会教育課題研究Ⅱ		

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	8	9	思考・判断・表現 1	2	3	4	技能(表現) 1	2	3	4	5	6	7	知識・理解 1	2	3	4	5	6	7	8	ナンバリング	他履修	備考	
リベラルアーツ学科専門科目																																				
専門基礎科目																																				
1	120025	リベラルアーツ入門Ⅰ	2	必修						●			●										●		●								LA11001			
1	120020	リベラルアーツ入門Ⅱ(日本文学・文化)	2	選必					●	●													●			●							LA11002			
1	120026	リベラルアーツ入門Ⅱ(歴史)	2	選必					●	●													●			●							LA11003			
1	120027	リベラルアーツ入門Ⅱ(中国語)	2	選必	●					●				●									●			●			●				LA11004			
1	120028	リベラルアーツ入門Ⅱ(韓国語)	2	選必	●					●				●									●						●				LA11005			
1	120023	リベラルアーツ入門Ⅱ(芸術文化)	2	選必								●		●					●													●	LA11006			
1	120029	リベラルアーツ入門Ⅱ(絵本・児童文学)	2	選必										●										●			●					●	LA11007			
国際教養科目																																				
1	126801	国際関係入門	2	選必	●					●			●				●							●									LA12001	○	日選	
1	121205	多文化共生論	2	選必	●					●			●				●							●									LA12002	○	日選	
1	126661	世界の英語事情	2	選必							●			●				●		●				●									LA12003	○		
2	126802	社会と言語	2	選必		●					●						●				●				●								LA22001	○	日必	
2	126803	日本語と外国語	2	選必							●		●												●								LA22002	○	日必	
2	126626	日本事情	2	選必	●					●				●			●							●		●					●		LA22003	○	日必	
専攻学習科目																																				
日本学専攻																																				
1	125024	日本語学概論Ａ	2	選択						●			●				●								●								LA13001	○	教必(国)・日必	
1	125025	日本語学概論Ｂ	2	選択						●			●				●								●								LA13002	○	教必(国)・日必	
1	125026	日本文学概論Ａ	2	選択						●					●	●										●							LA13003	○	教必(国)・日選	
2	125027	日本文学概論Ｂ	2	選択						●					●							●				●							LA23001	○	教必(国)・日選	
2	125005	日本古典文学史	2	選択						●					●							●			●								LA23002	○	教必(国)・学選	
2	125006	日本近代文学史	2	選択						●					●	●									●								LA23003	○	教必(国)・学選	
3	125028	日本文学特講Ａ	2	選択						●					●							●				●							LA33001	○		
3	125029	日本文学特講Ｂ	2	選択						●					●	●										●							LA33002	○		
1	125030	古典文学講読Ａ	2	選択						●					●							●				●							LA13004	○	教選必①(国)	
2	125031	古典文学講読Ｂ	2	選択						●					●							●				●							LA23004	○	教選必①(国)	
2	125045	古典文学作品研究Ａ	2	選択						●					●							●				●							LA23005	○	教選必①(国)	
3	125046	古典文学作品研究Ｂ	2	選択						●					●							●				●							LA33003	○	教選必①(国)	
1	125034	近代文学講読Ａ	2	選択						●					●	●										●							LA13005	○	教選必②(国)	
2	125035	近代文学講読Ｂ	2	選択						●					●	●										●							LA23006	○	教選必②(国)	
2	125047	近代文学作品研究Ａ	2	選択						●					●	●										●							LA23007	○	教選必②(国)	
3	125048	近代文学作品研究Ｂ	2	選択						●					●	●										●							LA33004	○	教選必②(国)	
2	125038	日本語表現技法研究Ａ	2	選択						●					●	●									●								LA23008	○	教必(国)・日選必③	
2	125039	日本語表現技法研究Ｂ	2	選択						●					●	●									●								LA23009	○	教必(国)・日選必③	
2	125019	漢文学概論	2	選択						●					●							●				●							LA23010	○	教必(国)	
2	125040	漢文学講読Ａ	2	選択						●					●							●				●							LA23011	○	教必(国)	
2	125041	漢文学講読Ｂ	2	選択						●					●							●				●							LA23012	○	教必(国)	
2	125042	書道および書道史Ａ	2	選択						●					●										●							LA23013	○	教必(国)	
2	125043	書道および書道史Ｂ	2	選択						●					●										●							LA23014	○	教必(国)	
2	125049	創作研究(ライトノベル)	2	選択								●		●							●				●							LA23015			
2	125050	創作研究(小説)	2	選択								●		●							●				●							LA23016			
3	125051	物語の心理学	2	選択						●					●	●								●	●							LA33005	○		
3	125044	比較文学	2	選択						●					●	●										●							LA33006	○		
2	125811	日本史概論Ａ	2	選択						●					●										●							LA23017	○	日選	
2	125812	日本史概論Ｂ	2	選択						●					●										●							LA23018	○	日選	
2	125813	日本文化史Ａ	2	選択						●					●										●							LA23019	○		
2	125814	日本文化史Ｂ	2	選択						●					●										●							LA23020	○		
2	125804	日本伝統文化	2	選択						●					●										●							LA23021	○		
3	125815	日本史特講Ａ	2	選択						●					●										●							LA33007	○		
3	125816	日本史特講Ｂ	2	選択						●					●										●							LA33008	○		
3	125817	近現代史Ａ	2	選択						●					●										●							LA33009	○	日選	
3	125818	近現代史Ｂ	2	選択						●					●										●							LA33010	○	日選	
3	125819	歴史・伝統文化事例研究	2	選択						●					●										●							LA33011	○		
3	125052	国語科教育法Ⅲ	2	選択	●																												LA33012		教必(国)	19生
3	125053	国語科教育法Ⅳ	2	選択	●																												LA33013		教必(国)	19生
東アジア専攻																																				
1	125434	インテンシブ中国語Ⅰ1　①	2	選択							●			●					●			●				●							LA13006			週2
1	125435	インテンシブ中国語Ⅰ2　①	2	選択							●			●					●			●	●			●							LA13007			週2

・ 教職課程／中高一種(国語)履修者は、教選必①(国)から2科目4単位を修得すること。
・ 教職課程／中高一種(国語)履修者は、教選必②(国)から2科目4単位を修得すること。
・ 日本語教員養成コース履修者は、日選必③から1科目2単位を修得すること。
・ ①「インテンシブ中国語Ⅰ」の履修希望者は、「中国語ⅠA、ⅠB」を同時履修すること。

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	8	9	思考・判断・表現 1	2	3	4	技能(表現) 1	2	3	4	5	6	7	知識・理解 1	2	3	4	5	6	7	8	ナンバリング	他履修	備考
2	125436	インテンシブ中国語Ⅱ1 ①	2	選択								●			●							●			●	●				●			LA23022		週2
2	125437	インテンシブ中国語Ⅱ2 ①	2	選択								●			●							●			●	●				●			LA23023		週2
3	125438	インテンシブ中国語Ⅲ1	2	選択								●			●							●			●	●				●			LA33014		週2
3	125439	インテンシブ中国語Ⅲ2	2	選択								●			●							●			●	●				●			LA33015		週2
3	125440	インテンシブ中国語Ⅳ1	2	選択								●			●							●			●	●				●			LA33016		週2
3	125441	インテンシブ中国語Ⅳ2	2	選択								●			●							●			●	●				●			LA33017		週2
3	125425	中国語研究A	2	選択					●			●			●							●			●	●				●			LA33018	○	
3	125426	中国語研究B	2	選択					●			●			●							●			●	●				●			LA33019	○	
2	125442	現代中国事情A	2	選択							●						●										●				●	●	LA23024	○	
2	125443	現代中国事情B	2	選択							●						●										●				●	●	LA23025	○	
2	125444	中国の社会と文化A	2	選択							●			●	●												●				●		LA23026		
2	125445	中国の社会と文化B	2	選択							●			●	●												●				●		LA23027		
3	125430	中国特殊研究A	2	選択							●	●			●							●			●								LA33020		
3	125431	中国特殊研究B	2	選択							●	●			●							●			●								LA33021		
2	125446	留学準備講座(中国語)	2	選択				●		●	●	●				●						●			●		●				●		LA23028		
1	125639	インテンシブ韓国語Ⅰ1 ②	2	選択					●			●		●	●							●			●	●						●	LA13008		週2
1	125640	インテンシブ韓国語Ⅰ2 ②	2	選択					●			●		●	●							●			●	●						●	LA13009		週2
2	125641	インテンシブ韓国語Ⅱ1 ③	2	選択					●			●		●	●							●			●	●						●	LA23029		週2
2	125642	インテンシブ韓国語Ⅱ2 ③	2	選択					●			●		●	●							●			●	●						●	LA23030		週2
3	125643	インテンシブ韓国語Ⅲ1	2	選択					●			●			●							●			●	●						●	LA33022		週2
3	125644	インテンシブ韓国語Ⅲ2	2	選択					●			●			●							●			●	●						●	LA33023		週2
3	125645	インテンシブ韓国語Ⅳ1	2	選択					●			●			●							●			●	●						●	LA33024		週2
3	125646	インテンシブ韓国語Ⅳ2	2	選択					●			●			●							●			●	●						●	LA33025		週2
1	125629	韓国語研究A	2	選択					●			●			●							●			●	●						●	LA13010		
1	125630	韓国語研究B	2	選択					●			●			●							●			●	●						●	LA13011		
2	125631	韓国語研究C	2	選択					●			●			●							●			●	●						●	LA23031		
2	125632	韓国語研究D	2	選択					●			●			●							●			●	●						●	LA23032		
3	125647	現代韓国事情A	2	選択							●				●												●				●		LA33026	○	
3	125648	現代韓国事情B	2	選択							●				●												●				●		LA33027	○	
2	125649	韓国の社会と文化	2	選択	●						●				●			●													●		LA23033	○	
2	125636	メディア韓国語	2	選択							●				●							●			●			●				●	LA23034		
3	125650	現代日韓文化交流論	2	選択							●				●			●											●		●		LA33028	○	日選
2	125651	留学準備講座(韓国語)	2	選択				●		●		●				●						●			●		●				●		LA23035		
2	125652	日中韓異文化理解研究	2	選択							●					●													●		●	●	LA23036	○	日選
3	125653	東アジア関係史	2	選択							●						●	●											●		●	●	LA33029	○	日選
美学・文化表現専攻																																			
2	126002	美学概論	2	選択							●			●			●	●		●						●			●	●			LA23037	○	
2	126001	美術史概論	2	選択							●			●	●		●	●		●						●			●	●			LA23038	○	学選
2	126003	日本美術史	2	選択							●		●				●	●									●	●					LA23039	○	学選
2	126004	東洋美術史	2	選択							●		●				●	●											●	●			LA23040	○	学選
2	126005	西洋美術史	2	選択							●		●				●	●											●	●			LA23041	○	学選
2	126006	比較芸術論	2	選択		●					●				●			●											●	●			LA23042	○	
3	126007	芸術情報論	2	選択		●					●				●					●								●	●		●		LA33030	○	学選
2	126008	芸術文化論	2	選択		●					●				●			●									●		●		●		LA23043	○	学選
2	126010	現代アート論	2	選択							●					●	●										●		●		●		LA23044	○	
3	126012	映画論	2	選択		●					●				●		●	●		●								●	●		●		LA33031	○	
2	126009	アートコミュニケーション	2	選択									●		●						●								●		●		LA23045	○	
2	126019	グラフィックデザイン基礎Ⅰ	2	選択									●		●				●		●								●		●		LA23046	○	
2	126020	グラフィックデザイン基礎Ⅱ	2	選択									●		●				●		●								●		●		LA23047	○	
3	126021	グラフィックデザイン研究	2	選択									●		●				●		●								●		●		LA33032	○	
2	126014	アート表現技法	2	選択					●				●		●						●								●		●		LA23048	○	
3	126015	アートプロデュース	2	選択					●				●			●					●						●				●		LA33033	○	
2	126022	造形表現A	2	選択									●		●						●										●		LA23049		
2	126023	造形表現B	2	選択									●		●						●											●	LA23050		
3	126024	造形表現C	2	選択									●		●						●										●		LA33034		
2	126217	児童文学概論A	2	選択											●				●										●			●	LA23051	○	
2	126218	児童文学概論B	2	選択											●				●										●		●	●	LA23052	○	
2	126219	絵本論A	2	選択											●				●										●		●	●	LA23053	○	
2	126220	絵本論B	2	選択											●				●										●		●	●	LA23054	○	
2	126221	アニメーション論	2	選択										●	●			●	●												●	●	LA23055	○	
3	126205	児童文学史	2	選択														●										●		●		●	LA33035		
2	126222	日本児童文学講読	2	選択										●	●				●										●	●		●	●	LA23056	○	
2	126223	外国児童文学講読	2	選択							●								●											●			●	LA23057	○	
3	126224	児童文学作品研究A	2	選択										●	●				●											●	●		●	LA33036	○	
3	126225	児童文学作品研究B	2	選択										●	●				●										●	●			●	LA33037	○	

・①「インテンシブ中国語Ⅱ」の履修希望者は、「中国語ⅡA、ⅡB」を同時履修すること。
・②「インテンシブ韓国語Ⅰ」の履修希望者は、「韓国語ⅠA、ⅠB」を同時履修すること。
・③「インテンシブ韓国語Ⅱ」の履修希望者は、「韓国語ⅡA、ⅡB」を同時履修すること。

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	8	9	思考・判断・表現 1	2	3	4	技能(表現) 1	2	3	4	5	6	7	知識・理解 1	2	3	4	5	6	7	8	ナンバリング	他履修	備考
2	126226	マンガ論	2	選択							●			●	●		●	●											●		●	●	LA23058	○	
3	126231	児童心理学	2	選択	●									●				●									●	●						LA33038	○	社教選
2	126229	創作研究(児童文学)	2	選択					●				●		●							●										●	LA23059		
2	126213	創作研究(絵本をつくる・入門)	2	選択					●				●		●						●											●	LA23060		
2	126214	創作研究(絵本をつくる・展開)	2	選択					●				●		●						●											●	LA23061		
演習科目																																			
2	127019	専門基礎演習	2	必修		●			●					●	●			●		●							●							LA24001		
3	127020	専門応用演習Ⅰ	2	必修		●			●						●	●		●		●							●							LA34001		
3	127021	専門応用演習Ⅱ	2	必修		●			●						●	●		●		●							●							LA34002		
4	127022	卒業演習Ⅰ	2	必修		●			●						●	●	●	●		●							●							LA44001		
4	127023	卒業演習Ⅱ	2	必修		●			●							●	●	●		●							●							LA44002		
4	127024	卒業研究	2	必修		●			●				●			●	●	●		●							●							LA44003		
特別科目																																			
1	124019	フィールドスタディーズ(芸術文化)A	2	選択							●							●	●										●	●				LA15001		
1	124020	フィールドスタディーズ(芸術文化)B	2	選択							●		●					●	●			●								●		●		LA15002		
1	124029	フィールドスタディーズ(中国語)A	2	選択				●		●					●					●					●					●				LA15003		
1	124030	フィールドスタディーズ(中国語)B	2	選択				●		●					●					●					●					●				LA15004		
1	124031	フィールドスタディーズ(韓国語)A	2	選択					●				●		●					●					●					●				LA15005		
1	124032	フィールドスタディーズ(韓国語)B	2	選択									●		●					●											●			LA15006		
1	124034	フィールドスタディーズ(韓国語)C	2	選択	●			●	●																									LA15007		
1	124025	フィールドスタディーズ(日本文学・文化)	2	選択						●	●				●															●				LA15008		
1	124033	フィールドスタディーズ(絵本・児童文学)	2	選択		●				●			●		●			●					●									●	●	LA15009		
1	127004	ワークショップ(絵本)	2	選択		●							●		●								●										●	LA15010	○	
1	124017	ワークショップ(造形基礎A)	2	選択									●		●								●								●			LA15011	○	
1	124018	ワークショップ(造形基礎B)	2	選択									●		●								●								●			LA15012	○	

19・18年度入学生

教育課程（カリキュラム）

人間科学部
キャリア英語学科

卒業に必要な総単位数　（19・18年度入学生）

		キャリア英語学科		備　　考
共通科目	導入学習	2単位 必修	31単位	※①「日本語表現法」必修
	人文	4単位 選択必修		
	社会	4単位 選択必修		
	自然	2単位 選択必修		
	健康管理	選択		
	キャリア形成	4単位 必修		「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」必修
	オフ・キャンパススタディーズ	選択		
	外国語	選択		
	情報処理	2単位 選択必修		※②
	現地研修	選択		
	小　　計		31単位	
学科専門科目	基礎科目	必修	25単位	※③
	基幹科目	必修	16単位	※④
	展開科目	選択必修	24単位	
	演習科目	必修	8単位	
	小　　計		73単位	
合　　計			104単位	
関連科目	上記共通科目・学科専門科目の余剰修得単位	選択	20単位	
	他学科開講科目			※⑤
	単位互換制度による修得単位			
総　　計			124単位	

資格専門（関連）科目	教職課程専門科目	資格取得を希望する場合は各資格取得に必要な科目を履修すること	資格専門科目は卒業単位には算入されない
	学校図書館司書教諭専門科目		
	図書館司書専門科目		
	博物館学芸員専門科目		
	日本語教員養成コース専門科目		
	社会教育主事任用資格専門科目		
	社会福祉主事任用資格関連科目		

■　履修についての注意

※① 導入学習科目（選択）のうち、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」および「数学リテラシー」の3科目4単位は1回生時に必ず履修すること。
「基礎演習Ⅲ・Ⅳ」の2科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※② 情報処理科目について
教職課程の履修希望者は、「情報機器の操作A・B」の2科目2単位を修得すること。
教職課程を履修しない者は、「情報活用基礎A・B」の2科目2単位を修得すること。
なお、「情報活用基礎（A・B）」「情報機器の操作（A・B）」の両科目の履修は原則認めない。

※③ 「キャリア英語入門」「Intensive Practical English A1、A2、B1、B2、C、D」
「Introduction to Career English A1、A2、B1、B2、C」「英語資格講座A、B、C、D」計16科目25単位必修。

※④ 「社会で働く」「ホスピタリティ入門」「英語と職業」「生活設計論」「現代産業論Ⅰ・Ⅱ」
「ビジネスマナー入門」「労働法基礎」計8科目16単位必修。

※⑤ 他学科開講科目のうち、他学部科目の修得単位は、単位互換制度での修得単位分を含め、20単位を上限として卒業単位に算入する。また、単位互換制度による修得単位は、8単位を上限として卒業単位に算入する。

● 資格取得を希望する学生は、「資格取得について」の項を熟読し、資格取得に必要な科目を履修すること。

● 他学科開講科目として履修可能な科目は、開講科目表において、以下の記号により示す。
○……他学科履修可能科目

〔配当年次別科目一覧〕 19・18年度入学生カリキュラム

カッコ内は単位数。記載がない科目の単位数は２単位

		1年次	2年次	3年次
共通科目	《導入学習》	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 日本語表現法 数学リテラシー 文章表現実践Ⅰ	基礎演習Ⅲ(1) 基礎演習Ⅳ(1) 文章表現実践Ⅱ	
	《人文》	哲学 宗教学A 宗教学B 文化と歴史(日本) 文化と歴史(アジア) 大阪学 考古学 民俗学 言語学概論	日本の近代文学 日本の古典文学 外国の文学 世界の児童文学 日本の児童文学 芸術鑑賞入門	スケッチ入門 デッサン入門
	《社会》	日本国憲法 法学 著作権概論 大阪の食文化論 経済と経営 社会学 ジェンダー論 人権論 国際機構と世界 マスコミュニケーション概論 図書館概論 図書館情報資源概論	レクリエーション概論	
	《自然》	心理学 生命科学と倫理 基礎化学[Nのみ] 化学 基礎生物学[Nのみ] 生物学	色彩学入門	
	《健康管理》	健康スポーツ学A(1) 健康スポーツ学B(1) 健康管理学	スポーツ学A(1) スポーツ学B(1) スポーツ学C(1) スポーツ学D(1) スポーツ学E(1) スポーツ学F(1)	
	《キャリア形成》	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリア基礎 学校インターンシップ インターンシップA 教職基礎演習A(1) 教職基礎演習B(1) 教職特別演習A(1) 教職特別演習B(1)	キャリアデザインⅣ キャリア実践 インターンシップB(1) 教職基礎演習C(1) 教職基礎演習D(1) 教職特別演習C(1) 教職特別演習D(1)
	《オフ・キャンパス》	Off-Campus Studies A(1)　Off-Campus Studies B(1)　Off-Campus Studies C(1)　Off-Campus Studies D(1)		
	《外国語》	総合英語IA1・2 総合英語IIA1・2 総合英語IIIA1・2 実践コミュニケーション英語IA1・2 実践コミュニケーション英語IIA1・2 実践コミュニケーション英語IIIA1・2 フランス語IA1・2 フランス語IB1・2 中国語IA1・2 中国語IB1・2 資格中国語Ⅰ(1) 資格中国語Ⅱ(1) 韓国語IA1・2 韓国語IB1・2	総合英語IB1・2 総合英語IIB1・2 総合英語IIIB1・2 実践コミュニケーション英語IB1・2 実践コミュニケーション英語IIB1・2 実践コミュニケーション英語IIIB1・2 資格英語Ⅰ(1) 資格英語Ⅱ(1) 資格英語Ⅲ(1) 資格英語Ⅳ(1) フランス語IIA1・2 フランス語IIB1・2 中国語IIA1・2 中国語IIB1・2 韓国語IIA1・2 韓国語IIB1・2 資格韓国語Ⅰ(1) 資格韓国語Ⅱ(1)	フランス語Ⅲ(研究) フランス語Ⅳ(研究) 中国語Ⅲ(研究) 中国語Ⅳ(研究) 韓国語Ⅲ(研究) 韓国語Ⅳ(研究)
	《情報処理》	情報活用基礎A(1) 情報機器の操作A(1) 情報活用基礎B(1) 情報機器の操作B(1) 情報活用A(1) 情報活用B(1) 情報活用G(1)	情報活用C(1) 情報活用D(1) 情報活用H(1)	
	《現地研修》	現地研修A 現地研修B 現地研修C	現地研修D 現地研修E	現地研修F

			1年次	2年次	3年次	4年次
キャリア英語学科専門科目	《基礎科目》	入門科目	キャリア英語入門			
		プラクティカルイングリッシュ	I.P.E. A1・2(4) I.P.E. B1・2(4) I.P.E. C(1) I.P.E. D(1)	I.C.E. A1・2(4) I.C.E. B1・2(4) I.C.E. C(1) E.S.P. (Tourism and Hospitality)(1)		
		プロフェッショナルイングリッシュ	英語資格講座A(1) 英語資格講座B(1)	英語資格講座C(1) 英語資格講座D(1) Project-based EnglishA(1)	Project-based EnglishB(1)	
		グローバルイングリッシュ	短期英語研修	留学準備講座(英語圏)		
	《基幹科目》	キャリア形成科目	社会で働く 英語と職業 ホスピタリティ入門 情報調査法	現代産業論Ⅰ 現代産業論Ⅱ 生活設計論 ビジネスマナー入門 ビジネス情報調査法 労働法基礎 企業研究		
	《展開科目》	ビジネスキャリア系		エアラインサービスビジネス論 観光サービスビジネス 国際貿易概論 国際ビジネス論 ビジネスコミュニケーション キャリア英語フィールドワーク	サービスビジネス概論 総合観光マネジメント論 グローバルビジネス研究 通商政策論 マーケティング論 ビジネスプレゼンテーション Career English Skills A Career English Skills B English Presentation English Discussion	
		教育キャリア系		イギリス文学史［18生］ 英語文学概論A［19生］ アメリカ文学史［18生］ 英語文学概論B［19生］ 英語学基礎 英語学応用 異文化理解論(英語圏)A 異文化理解論(英語圏)B ICTと英語教育	イギリス文学特講［18生］ 英語文学作品講読A［19生］ アメリカ文学特講［18生］ 英語文学作品講読B［19生］ 英語教育学研究 英語能力測定・評価論 早期英語教育論 英語カリキュラム・教材研究 上級英語資格講座A 上級英語資格講座B 英語科教育法Ⅲ［19生］ 英語科教育法Ⅳ［19生］	英語教育実践論
	《演習科目》				専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

関連科目	上記共通科目、特別科目、学科専門科目の余剰修得単位 他学科開講科目、単位互換制度による修得単位

		1年次	2年次	3年次	4年次
自由科目 資格専門科目	教職課程(英語)	教職入門 教育学概論 教育心理学　[19生] 教育制度論　[19生] 学校と教育の歴史［18生］	教育心理学［18生］ 教育制度論［18生］ 教育課程論 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 教育方法・技術論［19・18生］ 生徒指導論 特別支援教育［19生］	英語科教育法研究Ⅰ［18生］ 英語科教育法研究Ⅱ［18生］ 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 教育相談 総合的な学習の時間の指導法［19生］ 進路指導論［19生］	教育実習指導(1) 教育実習A(4) 教職実践演習(中・高)
	学校図書館司書教諭(教職課程履修者)		学校経営と学校図書館 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性	学校図書館メディアの構成 情報メディアの活用	
	図書館司書	図書館サービス概論 図書・図書館史	図書館制度・経営論 図書館情報技術論 情報サービス論 児童サービス論 図書館基礎特論 図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書館施設論	情報サービス演習Ⅰ(1) 情報サービス演習Ⅱ(1) 情報資源組織論 図書館総合演習(1)	情報資源組織論演習Ⅰ(1) 情報資源組織論演習Ⅱ(1) 図書館実習(1)
	博物館学芸員		博物館概論 博物館経営論 博物館資料論	博物館資料保存論 博物館展示論 博物館教育論 博物館情報・メディア論	博物館実習Ⅰ(1) 博物館実習Ⅱ
	日本語教員養成コース		教育心理学	日本語教育法IA 日本語教育法IB 日本語教育教材研究	日本語教育法Ⅱ 日本語教育実習A(1) 日本語教育実習B(1)
	社会教育主事任用資格		社会教育計画Ⅰ 社会教育計画Ⅱ	社会教育課題研究Ⅰ 社会教育課題研究Ⅱ	

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	思考・判断・表現 1	2	3	4	技能(表現) 1	2	3	4	5	知識・理解 1	2	3	4	5	ナンバリング	他履修	備考	
キャリア英語学科専門科目																													
基礎科目																													
入門科目																													
1	304000	キャリア英語入門	2	必修		●		●		●		●				●		●								EC11001			
プラクティカルイングリッシュ																													
1	304001	Intensive Practical English A1	2	必修							●		●				●									EC11002		教必(英)	週2
1	304002	Intensive Practical English A2	2	必修							●		●				●									EC11003		教必(英)	週2
1	304003	Intensive Practical English B1	2	必修							●		●				●									EC11004		教必(英)	週2
1	304004	Intensive Practical English B2	2	必修							●		●				●									EC11005		教必(英)	週2
1	304005	Intensive Practical English C	1	必修							●						●									EC11006			
1	304006	Intensive Practical English D	1	必修		●			●		●						●									EC11007		教必(英)	
2	304007	Introduction to Career English A1	2	必修							●	●	●					●								EC21001		教必(英)	週2
2	304008	Introduction to Career English A2	2	必修							●	●	●					●								EC21002		教必(英)	週2
2	304009	Introduction to Career English B1	2	必修							●		●		●			●								EC21003		教必(英)	週2
2	304010	Introduction to Career English B2	2	必修							●		●		●			●								EC21004		教必(英)	週2
2	304011	Introduction to Career English C	1	必修							●		●					●								EC21005		教必(英)	
2	304012	English for Specific Purpose (Tourism and Hospitality)	1	選択				●	●	●	●				●			●								EC21006	○		
プロフェッショナルイングリッシュ																													
1	304101	英語資格講座A	1	必修		●												●								EC11008			
1	304102	英語資格講座B	1	必修		●												●								EC11009			
2	304103	英語資格講座C	1	必修		●												●								EC21007			
2	304104	英語資格講座D	1	必修		●												●								EC21008			
2	304105	Project-based English A	1	選択				●	●	●			●	●							●					EC21009			
3	304106	Project-based English B	1	選択				●	●	●				●	●				●		●					EC31001			
グローバルイングリッシュ																													
1	304201	短期英語研修	2	選択							●						●				●					EC11010	○		
2	304202	留学準備講座(英語圏)	2	選択		●			●		●			●				●			●					EC21010			
基幹科目																													
キャリア形成科目																													
1	304301	社会で働く	2	必修		●							●			●		●			●					EC12001			
2	304302	現代産業論Ⅰ	2	必修								●	●				●				●	●		●		EC22001			
2	304303	現代産業論Ⅱ	2	必修									●		●				●		●	●				EC22002			
1	304304	英語と職業	2	必修		●					●	●									●					EC12002			
2	304305	生活設計論	2	必修		●						●						●	●		●					EC22003			
1	304306	ホスピタリティ入門	2	必修				●	●	●			●		●						●					EC12003			
2	304307	ビジネスマナー入門	2	必修	●	●				●					●			●								EC22004			
1	304308	情報調査法	2	選択								●		●			●				●					EC12004	○	社教選	
2	304309	ビジネス情報調査法	2	選択								●			●		●		●		●					EC22005	○		
2	304310	労働法基礎	2	必修								●		●				●			●					EC22006			
2	304311	企業研究	2	選択		●	●	●	●	●				●					●							EC22007			
展開科目																													
ビジネスキャリア系																													
3	305001	サービスビジネス概論	2	選択								●			●				●					●		EC33001	○		
2	305002	エアラインサービスビジネス論	2	選択							●	●			●				●					●		EC23008	○		
2	305003	観光サービスビジネス	2	選択					●	●	●				●				●					●		EC23009	○		
3	305004	総合観光マネジメント論	2	選択							●	●			●				●					●		EC33002	○		
3	305005	グローバルビジネス研究	2	選択							●	●	●							●				●		EC33003	○		
3	305006	通商政策論	2	選択								●			●			●						●		EC33004	○		
2	305007	国際貿易概論	2	選択								●			●						●			●		EC23010	○		
3	305008	マーケティング論	2	選択								●			●			●	●					●		EC33005			
2	305009	国際ビジネス論	2	選択							●	●			●				●					●		EC23011	○		
3	305010	ビジネスプレゼンテーション	2	選択							●	●	●		●	●			●							EC33006		日選	
2	305011	ビジネスコミュニケーション	2	選択						●		●	●						●		●			●		EC23012	○		
3	305012	Career English Skills A	2	選択							●				●			●			●	●				EC33007	○		週2
3	305013	Career English Skills B	2	選択							●				●			●				●		●		EC33008	○		週2
3	305014	English Presentation	2	選択							●		●		●			●				●				EC33009	○	教選(英)	週2
3	305015	English Discussion	2	選択							●		●		●		●	●				●				EC33010	○	教選(英)	週2
2	305016	キャリア英語フィールドワーク	2	選択							●				●				●							EC23013			
教育キャリア系																													
2	305101	イギリス文学史	2	選択							●											●	●			EC23014	○	教必(英)	18生
2	305117	英語文学概論A	2	選択							●											●	●			EC23016	○	教必(英)	19生
2	305102	アメリカ文学史	2	選択							●											●	●			EC23015	○	教必(英)	18生
2	305118	英語文学概論B	2	選択							●											●	●			EC23017	○	教必(英)	19生
2	305103	英語学基礎	2	選択								●										●	●			EC23018	○	教必(英)	
2	305104	英語学応用	2	選択								●										●	●			EC23019	○	教必(英)	

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	思考・判断・表現 1	2	3	4	技能(表現) 1	2	3	4	5	知識・理解 1	2	3	4	5	ナンバリング	他履修	備考
2	305105	異文化理解論(英語圏) A	2	選択							●											●	●	●		EC23020	○	教必(英)・日選・社教選
2	305106	異文化理解論(英語圏) B	2	選択							●											●	●	●		EC23021	○	教選(英)・日選・社教選
3	305107	イギリス文学特講	2	選択							●								●					●		EC33011	○	教必(英) 18生
3	305119	英語文学作品講読A	2	選択							●								●					●		EC33013	○	教必(英) 19生
3	305108	アメリカ文学特講	2	選択							●								●					●		EC33012	○	教必(英) 18生
3	305120	英語文学作品講読B	2	選択							●								●					●		EC33014	○	教必(英) 19生
3	305109	英語教育学研究	2	選択					●										●	●				●		EC33015	○	教選(英)
3	305110	英語能力測定・評価論	2	選択					●									●	●					●		EC33016		教選(英)
3	305111	早期英語教育論	2	選択					●				●						●					●		EC33017	○	教選(英)
3	305112	英語カリキュラム・教材研究	2	選択					●										●					●		EC33018		教選(英)
4	305113	英語教育実践論	2	選択					●						●				●	●				●		EC43001		教選(英)
2	305114	ICTと英語教育	2	選択					●									●	●					●		EC23022	○	教選(英)
3	305115	上級英語資格講座A	2	選択		●					●								●					●		EC33019	○	
3	305116	上級英語資格講座B	2	選択		●					●								●					●		EC33020	○	
3	305121	英語科教育法Ⅲ	2	選択	●																					EC33021		教必(英) 19生
3	305122	英語科教育法Ⅳ	2	選択	●																					EC33022		教必(英) 19生
演習科目																												
3	306101	専門演習Ⅰ	2	必修		●			●		●	●			●				●	●						EC34001		
3	306102	専門演習Ⅱ	2	必修		●			●		●	●			●				●	●						EC34002		
4	306103	卒業研究Ⅰ	2	必修		●			●		●	●			●				●	●						EC44001		
4	306104	卒業研究Ⅱ	2	必修		●			●		●	●			●				●	●						EC44002		

19・18年度入学生

教育課程（カリキュラム）

人間科学部
情報メディア学科

卒業に必要な総単位数 （19年度入学生）

		情報メディア学科		備　考
共通科目	導入学習	2単位 必修	28単位	※①「日本語表現法」必修
	人文	6単位 選択必修		
	社会			
	自然			
	健康管理	2単位 選択必修		
	キャリア形成	4単位 必修		「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」必修
	オフ・キャンパススタディーズ	選択		
	外国語	4単位 選択必修		※② 英語選択必修
	情報処理	2単位 選択必修		※③
	現地研修	選択		
	小　計	28単位		
学科専門科目	基礎科目	14単位 選択必修	72単位	※④
	基幹科目	22単位 選択必修		※⑤
	展開科目	選択		
	演習科目	8単位 必修		
	小　計	72単位		
合　計		100単位		
関連科目	上記共通科目・学科専門科目の余剰修得単位	選択	24単位	
	他学科開講科目			※⑥
	単位互換制度による修得単位			
総　計		124単位		

資格専門（関連）科目	図書館司書専門科目	資格取得を希望する場合は各資格取得に必要な科目を履修すること	資格専門科目は卒業単位には算入されない
	博物館学芸員専門科目		
	日本語教員養成コース専門科目		
	社会教育主事任用資格専門科目		
	社会福祉主事任用資格関連科目		

■ 履修についての注意

※① 導入学習科目（選択）のうち、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」および「数学リテラシー」の3科目4単位は1回生時に必ず履修すること。「基礎演習Ⅲ・Ⅳ」の2科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※② 外国語（英語）科目について
「総合英語IA1・2」「ⅡA1・2」「ⅢA1・2」「IB1・2」「ⅡB1・2」「ⅢB1・2」から2単位および、「実践コミュニケーション英語IA1・2」「ⅡA1・2」「ⅢA1・2」「IB1・2」「ⅡB1・2」「ⅢB1・2」から2単位、計4単位を修得すること。

※③ 情報処理科目について
「情報活用基礎A・B」の2科目2単位を修得すること。
なお、「情報活用基礎（A・B）」「情報機器の操作（A・B）」の両科目の履修は原則認めない。

※④「情報メディア概論」「情報基礎演習A・B」の3科目4単位必修。その他選択科目の中から計10単位選択必修。

※⑤「情報と問題解決」「情報と職業」の2科目4単位必修。選択科目の中から計18単位選択必修。

※⑥ 他学科開講科目のうち、他学部科目の修得単位は、単位互換制度での修得単位分を含め、20単位を上限として卒業単位に算入する。また、単位互換制度による修得単位は、8単位を上限として卒業単位に算入する。

● 資格取得を希望する学生は、「資格取得について」の項を熟読し、資格取得に必要な科目を履修すること。

● 他学科開講科目として履修可能な科目は、開講科目表において、以下の記号により示す。
○……他学科履修可能科目

〔配当年次別科目一覧〕 19年度入学生カリキュラム

カッコ内は単位数。記載がない科目の単位数は２単位

		1年次			2年次		3年次	
共通科目	《導入学習》	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1)	日本語表現法 数学リテラシー	文章表現実践Ⅰ	基礎演習Ⅲ(1) 基礎演習Ⅳ(1)	文章表現実践Ⅱ		
	《人文》	哲学 宗教学A 宗教学B	文化と歴史(日本) 文化と歴史(アジア) 大阪学	考古学 民俗学 言語学概論	日本の近代文学 日本の古典文学 外国の文学	世界の児童文学 日本の児童文学 芸術鑑賞入門	スケッチ入門 デッサン入門	
	《社会》	日本国憲法 法学 著作権概論 大阪の食文化論	経済と経営 社会学 ジェンダー論 人権論	国際機構と世界 マスコミュニケーション概論 図書館概論 図書館情報資源概論	レクリエーション概論			
	《自然》	心理学 生命科学と倫理	基礎化学[Nのみ] 化学	基礎生物学[Nのみ] 生物学	色彩学入門			
	《健康管理》	健康スポーツ学A(1) 健康スポーツ学B(1)	基礎医学 健康管理学		スポーツ学A(1) スポーツ学B(1) スポーツ学C(1)	スポーツ学D(1) スポーツ学E(1) スポーツ学F(1)		
	《キャリア形成》	キャリアデザインⅠ			キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリア基礎 学校インターンシップ インターンシップA	教職基礎演習A(1) 教職基礎演習B(1) 教職特別演習A(1) 教職特別演習B(1)	キャリアデザインⅣ キャリア実践 インターンシップB(1)	教職基礎演習C(1) 教職基礎演習D(1) 教職特別演習C(1) 教職特別演習D(1)
	《オフ・キャンパス》	Off-Campus Studies A(1)	Off-Campus Studies B(1)	Off-Campus Studies C(1)	Off-Campus Studies D(1)			
	《外国語》	総合英語ⅠA1・2 総合英語ⅡA1・2 総合英語ⅢA1・2 実践コミュニケーション英語ⅠA1・2 実践コミュニケーション英語ⅡA1・2 実践コミュニケーション英語ⅢA1・2	フランス語ⅠA1・2 フランス語ⅠB1・2 中国語ⅠA1・2 中国語ⅠB1・2	資格中国語Ⅰ(1) 資格中国語Ⅱ(1) 韓国語ⅠA1・2 韓国語ⅠB1・2	総合英語ⅡB1・2 総合英語ⅢB1・2 実践コミュニケーション英語ⅠB1・2 実践コミュニケーション英語ⅡB1・2 実践コミュニケーション英語ⅢB1・2 資格英語Ⅰ(1) 資格英語Ⅱ(1) 資格英語Ⅲ(1) 資格英語Ⅳ(1)	フランス語ⅡA1・2 フランス語ⅡB1・2 中国語ⅡA1・2 中国語ⅡB1・2 韓国語ⅡA1・2 韓国語ⅡB1・2 資格韓国語Ⅰ(1) 資格韓国語Ⅱ(1)	フランス語Ⅲ(研究) フランス語Ⅳ(研究) 中国語Ⅲ(研究) 中国語Ⅳ(研究)	韓国語Ⅲ(研究) 韓国語Ⅳ(研究)
	《情報処理》	情報活用基礎A(1) 情報機器の操作A(1)	情報活用基礎B(1) 情報機器の操作B(1)	情報活用A(1) 情報活用B(1) 情報活用G(1)	情報活用C(1) 情報活用D(1) 情報活用H(1)			
	《現地研修》	現地研修A	現地研修B	現地研修C	現地研修D	現地研修E	現地研修F	

			1年次	2年次		3年次		4年次
情報メディア学科専門科目	≪基礎科目≫		情報メディア概論 情報倫理 情報科学基礎 コンテンツ制作基礎 デジタルデザイン基礎	ソーシャルメディア概論 ウェブ概論 情報基礎演習A(1) 情報基礎演習B(1)				
	≪基幹科目／展開科目≫	情報ツール系		コンピュータ概論 アルゴリズム入門 データベース概論 プログラミング プログラミング実習 コンピュータネットワーク論A コンピュータネットワーク論B	ネットワーキング実習 ウェブシステム論 情報と問題解決 情報と職業 ビジネス分析技法 情報システム論 プログラミングの指導法	情報セキュリティ論 組込み機器論 視聴覚メディア論 Webプログラミング実習 システム構築法	ソフトウェア設計法 モデル化とシミュレーション 視聴覚技術論 ネットワーキング応用実習	
		情報コンテンツ系		かたちの文化 映像制作基礎 デジタル映像実習 音楽・サウンド基礎 音声表現法	DTP実習 コンテンツプロデュース コピーライティング概論 デザイン基礎 プレゼンテーション技法	Webデザイン実習 サウンドデザイン実習 音楽制作実習	マルチメディア制作法A マルチメディア制作法B コピーライティング論	
		メディア・コミュニケーション系		放送メディア概論A 放送メディア概論B 広告メディア概論 情報社会論 市民とジャーナリズム	広告の企画と表現 広告デザイン論 ソーシャルメディア論 アニメーション論	放送特論 番組制作論 アナウンス技術 ビデオインタビューテクニック	広告特論 映像文化論 ソーシャルメディア特論	
	《演習科目》					専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ		卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

関連科目	上記共通科目、学科専門科目の余剰修得単位 他学科開講科目・単位互換制度による修得単位

			1年次	2年次		3年次		4年次
自由科目	資格専門科目	図書館司書	図書館サービス概論 図書・図書館史	図書館制度・経営論 図書館情報技術論 情報サービス論 児童サービス論	図書館基礎特論 図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書館施設論	情報サービス演習Ⅰ(1) 情報サービス演習Ⅱ(1)	情報資源組織論 図書館総合演習(1)	情報資源組織論演習Ⅰ(1) 情報資源組織論演習Ⅱ(1) 図書館実習(1)
		博物館学芸員		博物館概論 博物館経営論	博物館資料論	博物館資料保存論 博物館展示論	博物館教育論 博物館情報・メディア論	博物館実習Ⅰ(1) 博物館実習Ⅱ
		日本語教員養成コース		教育心理学		日本語教育教材研究 日本語教育法IA	日本語教育法IB	日本語教育法Ⅱ 日本語教育実習A(1) 日本語教育実習B(1)
		社会教育主事任用資格		社会教育計画Ⅰ 社会教育計画Ⅱ	社会教育経営論Ⅰ 社会教育経営論Ⅱ	社会教育課題研究Ⅰ 社会教育課題研究Ⅱ	生涯学習支援論Ⅰ 生涯学習支援論Ⅱ	

19年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力（ディプロマ・ポリシーとの対応） 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	8	思考・判断・表現 1	2	3	4	技能（表現） 1	2	3	4	5	知識・理解 1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング	他履修	備考
情報メディア学科専門科目																																
基礎科目																																
1	311201	情報メディア概論	2	必修							●	●							●											MI11001		
1	311202	情報倫理	2	選択								●	●									●	●							MI11002	○	社教選
1	311211	情報科学基礎	2	選択							●								●					●						MI11003		
1	311204	コンテンツ制作基礎	2	選択							●										●						●			MI11004		
1	311205	デジタルデザイン基礎	2	選択							●										●						●			MI11005		
1	311212	ソーシャルメディア概論	2	選択								●	●																●	MI11006	○	
1	311213	ウェブ概論	2	選択							●															●	●			MI11007		
1	311214	情報基礎演習Ａ	1	必修							●								●							●				MI11008		
1	311215	情報基礎演習Ｂ	1	必修							●								●							●				MI11009		
基幹科目																																
情報ツール系																																
2	312334	コンピュータ概論	2	選択							●		●			●														MI22001		
2	312501	アルゴリズム入門	2	選択									●			●			●							●				MI22002		
2	312506	データベース概論	2	選択							●					●										●				MI22003		
2	312317	プログラミング	2	選択							●		●						●							●				MI22004		
2	312335	プログラミング実習	2	選択									●						●							●				MI22005		
2	312318	コンピュータネットワーク論Ａ	2	選択							●										●						●			MI22006		
2	312319	コンピュータネットワーク論Ｂ	2	選択							●										●						●			MI22007		
2	312336	ネットワーキング実習	2	選択																	●					●	●			MI22008		
2	312337	ウェブシステム論	2	選択							●					●					●								●	MI22009		
2	312417	情報と問題解決	2	必修				●					●		●				●					●						MI22010		
2	312418	情報と職業	2	必修		●					●		●											●		●				MI22011		
2	312401	ビジネス分析技法	2	選択												●			●					●			●			MI22012		
2	312338	情報システム論	2	選択												●			●								●			MI22013		
2	312351	プログラミングの指導法	2	選択							●		●						●	●										MI22014	○	
情報コンテンツ系																																
2	312301	かたちの文化	2	選択										●								●	●						●	MI22015	○	
2	312306	映像制作基礎	2	選択							●			●							●						●			MI22016		
2	312339	デジタル映像実習	2	選択										●							●						●			MI22017		
2	312307	音楽・サウンド基礎	2	選択							●			●							●						●			MI22018		
2	312340	音声表現法	2	選択										●			●				●	●							●	MI22019	○	日選
2	312341	DTP実習	2	選択										●							●						●			MI22020		
2	312303	コンテンツプロデュース	2	選択								●	●		●							●								MI22021	○	
2	312342	コピーライティング概論	2	選択									●	●			●	●												MI22022	○	
2	312348	デザイン基礎	2	選択							●		●	●															●	MI22023	○	
2	312349	プレゼンテーション技法	2	選択									●	●			●												●	MI22024	○	日選
メディア・コミュニケーション系																																
2	311206	放送メディア概論Ａ	2	選択								●	●									●							●	MI22025	○	
2	311207	放送メディア概論Ｂ	2	選択								●	●									●							●	MI22026	○	
2	311208	広告メディア概論	2	選択								●										●							●	MI22027	○	
2	312324	情報社会論	2	選択								●	●									●							●	MI22028	○	社教選
2	312350	市民とジャーナリズム	2	選択								●		●								●							●	MI22029	○	
2	312344	広告の企画と表現	2	選択									●	●								●							●	MI22030	○	
2	312345	広告デザイン論	2	選択									●	●							●							●	●	MI22031	○	
2	312346	ソーシャルメディア論	2	選択								●							●										●	MI22032	○	
2	312347	アニメーション論	2	選択							●										●							●		MI22033	○	
展開科目																																
情報ツール系																																
3	312546	情報セキュリティ論	2	選択									●										●	●	●					MI33001		
3	312539	組込み機器論	2	選択															●					●	●					MI33002		
3	312520	視聴覚メディア論	2	選択							●													●					●	MI33003	○	
3	312540	Webプログラミング実習	2	選択										●	●			●	●						●					MI33004		
3	312505	システム構築法	2	選択															●					●	●					MI33005		
3	312525	ソフトウェア設計法	2	選択															●					●	●					MI33006		
3	312530	モデル化とシミュレーション	2	選択											●				●				●		●					MI33007		
3	312521	視聴覚技術論	2	選択							●										●			●					●	MI33008	○	
3	312541	ネットワーキング応用実習	2	選択															●						●	●				MI33009		
情報コンテンツ系																																
3	312542	Webデザイン実習	2	選択										●							●							●	●	MI33010		
3	312543	サウンドデザイン実習	2	選択										●							●							●	●	MI33011		
3	312544	音楽制作実習	2	選択										●							●							●	●	MI33012		
3	312527	マルチメディア制作法Ａ	2	選択										●							●							●	●	MI33013		
3	312528	マルチメディア制作法Ｂ	2	選択										●							●							●	●	MI33014		
3	312545	コピーライティング論	2	選択									●	●			●	●												MI33015	○	

19年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	8	思考・判断・表現 1	2	3	4	技能(表現) 1	2	3	4	5	知識・理解 1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング	他履修	備考
メディア・コミュニケーション系																																
3	312547	放送特論	2	選択												●						●						●	MI33016		
3	312548	番組制作論	2	選択										●							●						●		MI33017	○	
3	312601	アナウンス技術	2	選択										●								●						●	MI33018	○	日選
3	312613	ビデオインタビューテクニック	2	選択										●		●	●											●	MI33019	○	日選
3	312549	広告特論	2	選択									●									●						●	MI33020		
3	312550	映像文化論	2	選択												●						●						●	MI33021	○	
3	312551	ソーシャルメディア特論	2	選択												●				●								●	MI33022		
演習科目																																
3	313101	専門演習Ⅰ　①	2	必修				●	●					●			●		●				●						MI33001		
3	313102	専門演習Ⅱ　①	2	必修				●	●					●			●		●				●						MI33002		
4	313103	卒業研究Ⅰ	2	必修					●					●	●		●		●				●						MI44001		
4	313104	卒業研究Ⅱ	2	必修					●					●	●		●		●				●						MI44002		

・① 3回生科目「専門演習」のクラスは、2回生で開催される説明会を経て、事前登録により決定する。

卒業に必要な総単位数　（18年度入学生）

		情報メディア学科		備　　考
共通科目	導入学習	2単位　必修	28単位	※①「日本語表現法」必修
	人文	6単位　選択必修		
	社会			
	自然			
	健康管理	2単位　選択必修		
	キャリア形成	4単位　必修		「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」必修
	オフ・キャンパススタディーズ	選択		
	外国語	4単位　選択必修		※② 英語選択必修
	情報処理	2単位　選択必修		※③
	現地研修	選択		
	小　　計	28単位		
学科専門科目	基礎科目	14単位　選択必修	72単位	※④
	基幹科目	22単位　選択必修		※⑤
	展開科目	選択		
	演習科目	8単位　必修		
	小　　計	72単位		
合　　計		100単位		
関連科目	上記共通科目・学科専門科目の余剰修得単位	選択	24単位	
	他学科開講科目			※⑥
	単位互換制度による修得単位			
総　　計		124単位		

資格専門（関連）科目	教職課程専門科目	資格取得を希望する場合は各資格取得に必要な科目を履修すること	資格専門科目は卒業単位には算入されない
	学校図書館司書教諭専門科目		
	図書館司書専門科目		
	博物館学芸員専門科目		
	日本語教員養成コース専門科目		
	社会教育主事任用資格専門科目		
	社会福祉主事任用資格関連科目		

■　履修についての注意

※① 導入学習科目（選択）のうち、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」および「数学リテラシー」の3科目4単位は1回生時に必ず履修すること。
「基礎演習Ⅲ・Ⅳ」の2科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※② 外国語（英語）科目について
「総合英語ⅠA1・2」「ⅡA1・2」「ⅢA1・2」「ⅠB1・2」「ⅡB1・2」「ⅢB1・2」から2単位および、
「実践コミュニケーション英語ⅠA1・2」「ⅡA1・2」「ⅢA1・2」「ⅠB1・2」「ⅡB1・2」「ⅢB1・2」から2単位、計4単位を修得すること。

※③ 情報処理科目について
教職課程の履修希望者は、「情報機器の操作A・B」の2科目2単位を修得すること。
教職課程を履修しない者は、「情報活用基礎A・B」の2科目2単位を修得すること。
なお、「情報活用基礎（A・B）」「情報機器の操作（A・B）」の両科目の履修は原則認めない。

※④ 「情報メディア概論」「情報基礎演習A・B」の3科目4単位必修。その他選択科目の中から計10単位選択必修。

※⑤ 「情報と問題解決」「情報と職業」の2科目4単位必修。選択科目の中から計18単位選択必修。

※⑥ 他学科開講科目のうち、他学部科目の修得単位は、単位互換制度での修得単位分を含め、20単位を上限として卒業単位に算入する。また、単位互換制度による修得単位は、8単位を上限として卒業単位に算入する。

● 資格取得を希望する学生は、「資格取得について」の項を熟読し、資格取得に必要な科目を履修すること。

● 他学科開講科目として履修可能な科目は、開講科目表において、以下の記号により示す。
○……他学科履修可能科目

〔配当年次別科目一覧〕 18年度入学生カリキュラム

カッコ内は単位数。記載がない科目の単位数は２単位

		1年次			2年次		3年次	
共通科目	《導入学習》	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1)	日本語表現法 数学リテラシー	文章表現実践Ⅰ	基礎演習Ⅲ(1) 基礎演習Ⅳ(1)	文章表現実践Ⅱ		
	《人文》	哲学 宗教学A 宗教学B	文化と歴史(日本) 文化と歴史(アジア) 大阪学	考古学 民俗学 言語学概論	日本の近代文学 日本の古典文学 外国の文学	世界の児童文学 日本の児童文学 芸術鑑賞入門	スケッチ入門 デッサン入門	
	《社会》	日本国憲法 法学 著作権概論 大阪の食文化論	経済と経営 社会学 ジェンダー論 人権論	国際機構と世界 マスコミュニケーション概論 図書館概論 図書館情報資源概論	レクリエーション概論			
	《自然》	心理学 生命科学と倫理	基礎化学[Nのみ] 化学	基礎生物学[Nのみ] 生物学	色彩学入門			
	《健康管理》	健康スポーツ学A(1) 健康スポーツ学B(1)	基礎医学 健康管理学		スポーツ学A(1) スポーツ学B(1) スポーツ学C(1)	スポーツ学D(1) スポーツ学E(1) スポーツ学F(1)		
	《キャリア形成》	キャリアデザインⅠ			キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリア基礎 学校インターンシップ インターンシップA	教職基礎演習A(1) 教職基礎演習B(1) 教職特別演習A(1) 教職特別演習B(1)	キャリアデザインⅣ キャリア実践 インターンシップB(1)	教職基礎演習C(1) 教職基礎演習D(1) 教職特別演習C(1) 教職特別演習D(1)
	《オフ・キャンパス》	Off-Campus Studies A(1)	Off-Campus Studies B(1)	Off-Campus Studies C(1)	Off-Campus Studies D(1)			
	《外国語》	総合英語ⅠA1・2 総合英語ⅡA1・2 総合英語ⅢA1・2 実践コミュニケーション英語ⅠA1・2 実践コミュニケーション英語ⅡA1・2 実践コミュニケーション英語ⅢA1・2	フランス語ⅠA1・2 フランス語ⅠB1・2 中国語ⅠA1・2 中国語ⅠB1・2	資格中国語Ⅰ(1) 資格中国語Ⅱ(1) 韓国語ⅠA1・2 韓国語ⅠB1・2	総合英語ⅡB1・2 総合英語ⅢB1・2 実践コミュニケーション英語ⅠB1・2 実践コミュニケーション英語ⅡB1・2 実践コミュニケーション英語ⅢB1・2 資格英語Ⅰ(1) 資格英語Ⅱ(1) 資格英語Ⅲ(1) 資格英語Ⅳ(1)	フランス語ⅡA1・2 フランス語ⅡB1・2 中国語ⅡA1・2 中国語ⅡB1・2 韓国語ⅡA1・2 韓国語ⅡB1・2 資格韓国語Ⅰ(1) 資格韓国語Ⅱ(1)	フランス語Ⅲ(研究) フランス語Ⅳ(研究) 中国語Ⅲ(研究) 中国語Ⅳ(研究)	韓国語Ⅲ(研究) 韓国語Ⅳ(研究)
	《情報処理》	情報活用基礎A(1) 情報機器の操作A(1)	情報活用基礎B(1) 情報機器の操作B(1)	情報活用A(1) 情報活用B(1) 情報活用G(1)	情報活用C(1) 情報活用D(1) 情報活用H(1)			
	《現地研修》	現地研修A	現地研修B	現地研修C	現地研修D	現地研修E	現地研修F	

			1年次		2年次		3年次		4年次
情報メディア学科専門科目	≪基礎科目≫		情報メディア概論 情報倫理 情報科学基礎 コンテンツ制作基礎 デジタルデザイン基礎	ソーシャルメディア概論 ウェブ概論 情報基礎演習A(1) 情報基礎演習B(1)					
	≪基幹科目／展開科目≫	情報ツール系			コンピュータ概論 アルゴリズム入門 データベース概論 プログラミング プログラミング実習 コンピュータネットワーク論A コンピュータネットワーク論B	ネットワーキング実習 ウェブシステム論 情報と問題解決 情報と職業 ビジネス分析技法 情報システム論 プログラミングの指導法 [18生]	情報セキュリティ論 組込み機器論 視聴覚メディア論 Webプログラミング実習 システム構築法	ソフトウェア設計法 モデル化とシミュレーション 視聴覚技術論 ネットワーキング応用実習	
		情報コンテンツ系			かたちの文化 映像制作基礎 デジタル映像実習 音楽・サウンド基礎 音声表現法	DTP実習 コンテンツプロデュース コピーライティング概論 デザイン基礎 プレゼンテーション技法	Webデザイン実習 サウンドデザイン実習 音楽制作実習	マルチメディア制作法A マルチメディア制作法B コピーライティング論	
		メディア・コミュニケーション系			放送メディア概論A 放送メディア概論B 広告メディア概論 情報社会論 市民とジャーナリズム	広告の企画と表現 広告デザイン論 ソーシャルメディア論 アニメーション論	放送特論 番組制作論 アナウンス技術 ビデオインタビューテクニック	広告特論 映像文化論 ソーシャルメディア特論	
	《演習科目》						専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ		卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

関連科目	上記共通科目、学科専門科目の余剰修得単位 他学科開講科目・単位互換制度による修得単位

			1年次		2年次		3年次		4年次
自由科目	資格専門科目	教職課程(情報)	教職入門 教育学概論	学校と教育の歴史	教育心理学 教育制度論 教育課程論 情報科教育法Ⅰ	情報科教育法Ⅱ 教育方法・技術論 [18生] 生徒指導論	情報科教育法研究Ⅰ 情報科教育法研究Ⅱ	特別活動の指導法 教育相談	教育実習指導(1) 教育実習B 教職実践演習(中・高)
		学校図書館司書教諭(教職課程履修者)			学校経営と学校図書館 学習指導と学校図書館	読書と豊かな人間性	学校図書館メディアの構成 情報メディアの活用		
		図書館司書	図書館サービス概論 図書・図書館史		図書館制度・経営論 図書館情報技術論 情報サービス論図 児童サービス論	図書館基礎特論 図書館サービス特論 書館情報資源特論 図書館施設論	情報サービス演習Ⅰ(1) 情報サービス演習Ⅱ(1)	情報資源組織論 図書館総合演習(1)	情報資源組織論演習Ⅰ(1) 情報資源組織論演習Ⅱ(1) 図書館実習(1)
		博物館学芸員			博物館概論 博物館経営論	博物館資料論	博物館資料保存論 博物館展示論	博物館教育論 博物館情報・メディア論	博物館実習Ⅰ(1) 博物館実習Ⅱ
		日本語教員養成コース			教育心理学		日本語教育教材研究 日本語教育法IA	日本語教育法IB	日本語教育法Ⅱ 日本語教育実習A(1) 日本語教育実習B(1)
		社会教育主事任用資格			社会教育計画Ⅰ 社会教育計画Ⅱ	社会教育経営論Ⅰ 社会教育経営論Ⅱ	社会教育課題研究Ⅰ 社会教育課題研究Ⅱ	生涯学習支援論Ⅰ 生涯学習支援論Ⅱ	

18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	8	思考・判断・表現 1	2	3	4	技能(表現) 1	2	3	4	5	知識・理解 1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング	他履修	備考
情報メディア学科専門科目																																
基礎科目																																
1	311201	情報メディア概論	2	必修							●	●							●											MI11001		教必(情)
1	311202	情報倫理	2	選択								●	●										●	●						MI11002	○	教必(情)/社教選
1	311211	情報科学基礎	2	選択							●								●						●					MI11003		教必(情)
1	311204	コンテンツ制作基礎	2	選択							●									●							●			MI11004		教必(情)
1	311205	デジタルデザイン基礎	2	選択							●									●							●			MI11005		教必(情)
1	311212	ソーシャルメディア概論	2	選択								●	●																●	MI11006	○	
1	311213	ウェブ概論	2	選択							●														●	●				MI11007		
1	311214	情報基礎演習A	1	必修							●								●						●					MI11008		
1	311215	情報基礎演習B	1	必修							●								●						●					MI11009		
基幹科目																																
情報ツール系																																
2	312334	コンピュータ概論	2	選択							●		●			●														MI22001		教必(情)
2	312501	アルゴリズム入門	2	選択									●			●				●					●					MI22002		教必(情)
2	312506	データベース概論	2	選択							●					●									●					MI22003		教必(情)
2	312317	プログラミング	2	選択							●		●						●						●					MI22004		教必(情)
2	312335	プログラミング実習	2	選択									●						●						●					MI22005		教選(情)
2	312318	コンピュータネットワーク論A	2	選択							●									●							●			MI22006		教必(情)
2	312319	コンピュータネットワーク論B	2	選択							●									●							●			MI22007		教必(情)
2	312336	ネットワーキング実習	2	選択																●						●	●			MI22008		教選(情)
2	312337	ウェブシステム論	2	選択							●					●					●								●	MI22009		教必(情)
2	312417	情報と問題解決	2	必修					●				●		●				●						●					MI22010		教選(情)
2	312418	情報と職業	2	必修		●					●		●									●			●					MI22011		教必(情)
2	312401	ビジネス分析技法	2	選択												●				●		●				●				MI22012		教選(情)
2	312338	情報システム論	2	選択												●				●						●				MI22013		
2	312351	プログラミングの指導法	2	選択							●		●						●	●										MI22014	○	
情報コンテンツ系																																
2	312301	かたちの文化	2	選択										●								●	●						●	MI22015	○	
2	312306	映像制作基礎	2	選択							●			●						●							●			MI22016		教選(情)
2	312339	デジタル映像実習	2	選択										●						●							●			MI22017		教必(情)
2	312307	音楽・サウンド基礎	2	選択							●			●						●							●			MI22018		教選(情)
2	312340	音声表現法	2	選択										●			●			●	●								●	MI22019	○	日選
2	312341	DTP実習	2	選択										●						●							●			MI22020		
2	312303	コンテンツプロデュース	2	選択								●	●		●							●								MI22021	○	
2	312342	コピーライティング概論	2	選択									●	●			●	●												MI22022	○	
2	312348	デザイン基礎	2	選択							●		●	●															●	MI22023	○	
2	312349	プレゼンテーション技法	2	選択									●	●			●												●	MI22024	○	日選
メディア・コミュニケーション系																																
2	311206	放送メディア概論A	2	選択								●	●									●							●	MI22025	○	教選(情)
2	311207	放送メディア概論B	2	選択								●	●									●							●	MI22026	○	
2	311208	広告メディア概論	2	選択								●										●							●	MI22027	○	教選(情)
2	312324	情報社会論	2	選択								●	●									●							●	MI22028	○	教必(情)/社教選
2	312350	市民とジャーナリズム	2	選択								●		●								●							●	MI22029	○	
2	312344	広告の企画と表現	2	選択									●	●								●							●	MI22030	○	
2	312345	広告デザイン論	2	選択									●	●													●	●	●	MI22031	○	
2	312346	ソーシャルメディア論	2	選択								●							●										●	MI22032	○	
2	312347	アニメーション論	2	選択							●											●						●		MI22033	○	
展開科目																																
情報ツール系																																
3	312546	情報セキュリティ論	2	選択									●										●	●	●					MI33001		
3	312539	組込み機器論	2	選択															●					●	●					MI33002		
3	312520	視聴覚メディア論	2	選択							●													●					●	MI33003	○	教選(情)
3	312540	Webプログラミング実習	2	選択											●	●			●	●						●				MI33004		教選(情)
3	312505	システム構築法	2	選択																●					●	●				MI33005		教選(情)
3	312525	ソフトウェア設計法	2	選択																●					●	●				MI33006		教選(情)
3	312530	モデル化とシミュレーション	2	選択											●					●			●			●				MI33007		教選(情)
3	312521	視聴覚技術論	2	選択							●										●				●				●	MI33008	○	
3	312541	ネットワーキング応用実習	2	選択																●					●	●				MI33009		教選(情)
情報コンテンツ系																																
3	312542	Webデザイン実習	2	選択										●							●							●	●	MI33010		教選(情)
3	312543	サウンドデザイン実習	2	選択										●							●							●	●	MI33011		
3	312544	音楽制作実習	2	選択										●							●							●	●	MI33012		
3	312527	マルチメディア制作法A	2	選択										●							●							●	●	MI33013		教選(情)
3	312528	マルチメディア制作法B	2	選択										●							●							●	●	MI33014		教選(情)
3	312545	コピーライティング論	2	選択									●	●		●	●													MI33015	○	

18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	8	思考・判断・表現 1	2	3	4	技能(表現) 1	2	3	4	5	知識・理解 1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング	他履修	備考
メディア・コミュニケーション系																																
3	312547	放送特論	2	選択												●						●						●		MI33016		
3	312548	番組制作論	2	選択										●						●		●					●			MI33017	○	
3	312601	アナウンス技術	2	選択										●								●						●		MI33018	○	日選
3	312613	ビデオインタビューテクニック	2	選択										●		●	●											●		MI33019	○	日選
3	312549	広告特論	2	選択									●									●						●		MI33020		
3	312550	映像文化論	2	選択												●						●						●		MI33021	○	
3	312551	ソーシャルメディア特論	2	選択												●			●									●		MI33022		
演習科目																																
3	313101	専門演習Ⅰ　①	2	必修				●	●					●			●		●				●							MI33001		
3	313102	専門演習Ⅱ　①	2	必修				●	●					●			●		●				●							MI33002		
4	313103	卒業研究Ⅰ	2	必修					●					●	●		●		●				●							MI44001		
4	313104	卒業研究Ⅱ	2	必修					●					●	●		●		●				●							MI44002		

・① 3回生科目「専門演習」のクラスは、2回生で開催される説明会を経て、事前登録により決定する。

19・18年度入学生

教育課程（カリキュラム）

人間科学部
心理学科

卒業に必要な総単位数　（19・18年度入学生）

		心理学科		備　　考
共通科目	導入学習	2単位　必修	28単位	※①「日本語表現法」必修
	人文	2単位　選択必修		
	社会	2単位　選択必修		
	自然	2単位　選択必修		
	健康管理	2単位　選択必修		
	キャリア形成	4単位　必修		「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」必修
	オフ・キャンパススタディーズ	選択		
	外国語	8単位　選択必修		※② 英語選択必修
	情報処理	2単位　選択必修		※③
	現地研修	選択		
	小　　計	28単位		
学科専門科目	基礎科目	必修	6単位	「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」「心理学統計法Ⅰ」必修
	基幹科目	選択	14単位	
	展開科目	選択	48単位	
	演習科目	必修	8単位	
	小　　計	76単位		
合　　計		104単位		
関連科目	上記共通科目・学科専門科目の余剰修得単位	選択	20単位	
	他学科開講科目			※④
	単位互換制度による修得単位			
総　　計		124単位		

資格専門（関連）科目	教職課程専門科目	資格取得を希望する場合は各資格取得に必要な科目を履修すること	資格専門科目は卒業単位には算入されない
	学校図書館司書教諭専門科目		
	図書館司書専門科目		
	博物館学芸員専門科目		
	日本語教員養成コース専門科目		
	社会教育主事任用資格専門科目		
	社会福祉主事任用資格関連科目		
	児童指導員任用資格関連科目		
	児童福祉司任用資格関連科目		
	認定心理士／認定心理士（心理調査）・応用心理士資格関連科目		
	公認心理師国家試験　受験資格（大学指定科目）関連科目		
	スポーツリーダー（共通科目Ⅰ・Ⅱ）関連科目		
	健康運動実践指導者（心理学科）関連科目		

■　履修についての注意

※① 導入学習科目（選択）のうち、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」および「数学リテラシー」の3科目4単位は1回生時に必ず履修すること。
「基礎演習Ⅲ・Ⅳ」の2科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※② 外国語（英語）科目について
「総合英語IA1・2」「ⅡA1・2」「ⅢA1・2」「IB1・2」「ⅡB1・2」「ⅢB1・2」から4単位および、
「実践コミュニケーション英語IA1・2」「ⅡA1・2」「ⅢA1・2」「IB1・2」「ⅡB1・2」「ⅢB1・2」から4単位、計8単位を修得すること。

※③ 情報処理科目について
教職課程の履修希望者は、「情報機器の操作A・B」の2科目2単位を修得すること。
教職課程を履修しない者は、「情報活用基礎A・B」の2科目2単位を修得すること。
なお、「情報活用基礎（A・B）」「情報機器の操作（A・B）」の両科目の履修は原則認めない。

※④ 他学科開講科目のうち、他学部科目の修得単位は、単位互換制度での修得単位分を含め、20単位を上限として卒業単位に算入する。また、単位互換制度による修得単位は、8単位を上限として卒業単位に算入する。

● 資格取得を希望する学生は、「資格取得について」の項を熟読し、資格取得に必要な科目を履修すること。

● 他学科開講科目として履修可能な科目は、開講科目表において、以下の記号により示す。
○……他学科履修可能科目

〔配当年次別科目一覧〕　19・18年度入学生カリキュラム

カッコ内は単位数。記載がない科目の単位数は２単位

		1年次			2年次		3年次	
共通科目	《導入学習》	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1)	日本語表現法 数学リテラシー	文章表現実践Ⅰ	基礎演習Ⅲ(1) 基礎演習Ⅳ(1)	文章表現実践Ⅱ		
	《人文》	哲学 宗教学A 宗教学B	文化と歴史(日本) 文化と歴史(アジア) 大阪学	考古学 民俗学 言語学概論	日本の近代文学 日本の古典文学 外国の文学	世界の児童文学 日本の児童文学 芸術鑑賞入門	スケッチ入門 デッサン入門	
	《社会》	日本国憲法 法学 著作権概論 大阪の食文化論	経済と経営 社会学 ジェンダー論 人権論	国際機構と世界 マスコミュニケーション概論 図書館概論 図書館情報資源概論	レクリエーション概論			
	《自然》	心理学	生命科学と倫理	基礎化学[Nのみ]	化学	基礎生物学[Nのみ]	生物学	色彩学入門
	《健康管理》	健康スポーツ学A(1) 健康スポーツ学B(1)	基礎医学 健康管理学		スポーツ学A(1) スポーツ学B(1) スポーツ学C(1)	スポーツ学D(1) スポーツ学E(1) スポーツ学F(1)		
	《キャリア形成》	キャリアデザインⅠ			キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリア基礎 学校インターンシップ インターンシップA	教職基礎演習A(1) 教職基礎演習B(1) 教職特別演習A(1) 教職特別演習B(1)	キャリアデザインⅣ キャリア実践 インターンシップB(1)	教職基礎演習C(1) 教職基礎演習D(1) 教職特別演習C(1) 教職特別演習D(1)
	《オフ・キャンパス》	Off-Campus Studies A(1)	Off-Campus Studies B(1)	Off-Campus Studies C(1)	Off-Campus Studies D(1)			
	《外国語》	総合英語ⅠA1・2 総合英語ⅡA1・2 総合英語ⅢA1・2 実践コミュニケーション英語ⅠA1・2 実践コミュニケーション英語ⅡA1・2 実践コミュニケーション英語ⅢA1・2	フランス語ⅠA1・2 フランス語ⅠB1・2 中国語ⅠA1・2 中国語ⅠB1・2	資格中国語Ⅰ(1) 資格中国語Ⅱ(1) 韓国語ⅠA1・2 韓国語ⅠB1・2	総合英語ⅠB1・2 総合英語ⅡB1・2 総合英語ⅢB1・2 実践コミュニケーション英語ⅠB1・2 実践コミュニケーション英語ⅡB1・2 実践コミュニケーション英語ⅢB1・2 資格英語Ⅰ(1) 資格英語Ⅱ(1) 資格英語Ⅲ(1)	資格英語Ⅳ(1) フランス語ⅡA1・2 フランス語ⅡB1・2 中国語ⅡA1・2 中国語ⅡB1・2 韓国語ⅡA1・2 韓国語ⅡB1・2 資格韓国語Ⅰ(1) 資格韓国語Ⅱ(1)	フランス語Ⅲ(研究) フランス語Ⅳ(研究) 中国語Ⅲ(研究) 中国語Ⅳ(研究)	韓国語Ⅲ(研究) 韓国語Ⅳ(研究)
	《情報処理》	情報活用基礎A(1) 情報機器の操作A(1)	情報活用基礎B(1) 情報機器の操作B(1)	情報活用A(1) 情報活用B(1) 情報活用G(1)	情報活用C(1) 情報活用D(1) 情報活用H(1)			
	《現地研修》	現地研修A	現地研修B	現地研修C	現地研修D	現地研修E	現地研修F	

			1年次		2年次		3年次		4年次
心理学科専門科目	《基礎科目》	心理学・行動科学に関する科目群	心理学基礎実験 心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ	心理調査概論 心理学統計法Ⅰ					
		健康科学に関する科目群	学校保健 養護概説 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ	微生物学 看護学概論 基礎看護技術［18生］ 公衆衛生学(予防医学を含む)	基礎看護技術［19生］				
	《基幹科目／展開科目》	心理学・行動科学に関する科目群			心理学統計法Ⅱ 健康・医療心理学Ⅰ 健康・医療心理学Ⅱ 学習・言語心理学 行動心理学 心理学実験 心理的アセスメント(4) 心理学研究法(4) 感情・人格心理学Ⅰ 感情・人格心理学Ⅱ 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ	文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 心理統計実習 心理学英語文献講読A(1) 心理学英語文献講読B(1) 社会・集団・家族心理学Ⅰ 社会・集団・家族心理学Ⅱ 教育・学校心理学 臨床心理学概論Ⅰ 臨床心理学概論Ⅱ 地域援助論Ⅰ 地域援助論Ⅱ 人体の構造と機能及び疾病	神経・生理心理学 知覚・認知心理学 比較行動学Ⅰ 比較行動学Ⅱ 心理学英語文献講読C(1) 心理学英語文献講読D(1) 心理演習（臨床心理学演習） 社会心理学実習 産業・組織心理学 思春期青年期心理学 家族心理学Ⅰ 家族心理学Ⅱ 臨床心理学特講	司法・犯罪心理学 異常心理学 精神疾患とその治療 精神医学特講 比較文化心理学Ⅰ 比較文化心理学Ⅱ 心理学的支援法A 心理学的支援法B 健康相談活動(カウンセリング論) 障害者・障害児心理学Ⅰ 障害者・障害児心理学Ⅱ 福祉心理学 産業心理学実習(1)［19生］	公認心理師の職責 関係行政論 心理実習(臨床心理学現場実習)Ⅰ(1) 心理実習(臨床心理学現場実習)Ⅱ(1)
		健康科学に関する科目群			現代生活論A 現代生活論B 栄養学 食品学 衛生学 薬理学 看護学Ⅰ 小児保健Ⅰ 小児保健Ⅱ 看護学Ⅱ［19生］ フィットネス演習Ⅰ(1) フィットネス演習Ⅱ(1)	生涯スポーツ論 くらしの社会経済論Ⅰ くらしの社会経済論Ⅱ 社会保障論 公的扶助論 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ 生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 看護学臨床実習(4) 救急処置［19生］	看護学Ⅱ［18生］ 精神保健 看護学Ⅲ 救急処置［18生］	健康運動科学 健康運動方法論 スポーツ指導論 保健科教育法Ⅲ［19生］ 保健科教育法Ⅳ［19生］	
	《演習科目》						専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ		卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究(4)

関連科目	上記共通科目、学科専門科目の余剰修得単位 他学科開講科目・単位互換制度による修得単位

自由科目	資格専門科目	教職課程(保健・養護)	教職入門 教育学概論 学校と教育の歴史［18生］	教育心理学［19生］ 教育制度論［19生］	教育心理学［18生］ 教育制度論［18生］ 教育課程論	保健科教育法Ⅰ 保健科教育法Ⅱ 特別支援教育［19生］ 教育方法・技術論 生徒指導論	保健科教育法研究Ⅰ［18生］ 保健科教育法研究Ⅱ［18生］ 進路指導論［19生］ 道徳教育の指導法 特別活動の指導法	教育相談 総合的な学習の時間の指導法［19生］ 教育実習指導(養護)(1) 養護実習(4)	教育実習指導(保健)(1) 教育実習A(保健)(4) 教職実践演習(中・高) 教職実践演習(養護教諭)
		学校図書館司書教諭(教職課程履修者)			学校経営と学校図書館 学習指導と学校図書館	読書と豊かな人間性	学校図書館メディアの構成 情報メディアの活用		
		図書館司書	図書館サービス概論 図書・図書館史		図書館制度・経営論 図書館情報技術論 情報サービス論 児童サービス論	図書館基礎特論 図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書館施設論	情報サービス演習Ⅰ(1) 情報サービス演習Ⅱ(1)	情報資源組織論 図書館総合演習(1)	情報資源組織論演習Ⅰ(1) 情報資源組織論演習Ⅱ(1) 図書館実習(1)
		博物館学芸員			博物館概論 博物館経営論	博物館資料論	博物館資料保存論 博物館展示論	博物館教育論 博物館情報・メディア論	博物館実習Ⅰ(1) 博物館実習Ⅱ
		日本語教員養成コース	教育心理学［19生］		教育心理学［18生］		日本語教育教材研究 日本語教育法IA	日本語教育法IB	日本語教育法Ⅱ 日本語教育実習A(1) 日本語教育実習B(1)
		社会教育主事任用資格			社会教育計画Ⅰ 社会教育計画Ⅱ	社会教育経営論Ⅰ 社会教育経営論Ⅱ	社会教育課題研究Ⅰ 社会教育課題研究Ⅱ	生涯学習支援論Ⅰ 生涯学習支援論Ⅱ	

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	8	9	思考・判断・表現 1	2	3	4	5	技能(表現) 1	2	3	4	5	6	知識・理解 1	2	3	4	5	6	ナンバリング	他履修	備考
心理学科専門科目																																	
基礎科目																																	
心理学・行動科学に関する科目群																																	
1	314101	心理学基礎実験	2	選択					●		●							●	●			●							●		PS11001		認必
1	314118	心理学概論Ⅰ	2	必修		●																						●	●	●	PS11002		認必/公必
1	314119	心理学概論Ⅱ	2	必修		●	●																					●	●	●	PS11003		認必
1	314120	心理調査概論	2	選択	●						●						●	●										●	●		PS11004		認選/認(心)必
1	314122	心理学統計法Ⅰ	2	必修							●							●				●						●	●		PS11005		認選/認(心)必/公必
健康科学に関する科目群																																	
1	315305	学校保健	2	選択									●	●	●															●	PS11006		教必(保・養)
1	315310	養護概説	2	選択									●	●	●															●	PS11007		教必(養)
1	315347	解剖生理学Ⅰ	2	選択										●	●															●	PS11008		教必(保・養)/健運必
1	315348	解剖生理学Ⅱ	2	選択										●	●															●	PS11009		教必(保・養)
1	315316	微生物学	2	選択										●	●															●	PS11010		教必(保)/教選(養)
1	314301	看護学概論	2	選択									●	●	●															●	PS11011		教必(養)
2	315350	基礎看護技術　①	2	選択									●	●	●															●	PS11012		教必(養)
1	315314	公衆衛生学(予防医学を含む)	2	選択									●	●																●	PS11013		教必(保・養)
基幹科目																																	
心理学・行動科学に関する科目群																																	
2	314204	心理学統計法Ⅱ	2	選択							●					●	●					●							●	●		PS22001		認(心)選
2	314205	健康・医療心理学Ⅰ	2	選択									●												●					●	PS22002	○	
2	314206	健康・医療心理学Ⅱ	2	選択									●												●					●	PS22003		公必
3	314207	神経・生理心理学	2	選択		●					●			●														●			PS32001		公必
3	314208	知覚・認知心理学	2	選択		●					●																	●			PS32002		認選/公必
2	314209	学習・言語心理学	2	選択							●						●										●	●	●		PS22004	○	日選/認選/公必
2	314210	行動心理学	2	選択							●						●										●	●	●		PS22005		
2	314211	心理学実験	2	選択					●		●						●	●				●								●	PS22006		認必/公必
2	314212	心理的アセスメント	4	選択		●					●		●					●						●				●			PS22007		教選(保・養)/認選/公必
2	315208	心理学研究法	4	選択					●					●				●	●				●							●	PS22008		認選/公必
2	314213	感情・人格心理学Ⅰ	2	選択		●					●							●		●						●		●			PS22009		認選/公必
2	314214	感情・人格心理学Ⅱ	2	選択		●					●							●		●						●		●			PS22010		認選
2	314215	発達心理学Ⅰ	2	選択			●						●												●	●		●		●	PS22011		教選(保・養)/認選/公必
2	314216	発達心理学Ⅱ	2	選択			●						●												●	●		●		●	PS22012		教選(保・養)/認選
健康科学に関する科目群																																	
2	314116	現代生活論A	2	選択							●	●	●												●	●				●	PS22013	○	社教選
2	314117	現代生活論B	2	選択							●	●	●												●	●				●	PS22014	○	社教選
2	315311	栄養学	2	選択									●	●																●	PS22015		教必(保・養)/社福選/ｽﾎﾟ必/健運必
2	315312	食品学	2	選択									●	●																●	PS22016		教必(養)
2	315313	衛生学	2	選択									●	●																●	PS22017		教必(保・養)
2	315318	薬理学	2	選択									●	●																●	PS22018		教選(養)
2	315319	看護学Ⅰ	2	選択									●	●	●				●											●	PS22019		教必(養)/社福選
展開科目																																	
心理学・行動科学に関する科目群																																	
2	314108	文化人類学Ⅰ	2	選択	●						●	●													●	●					PS23001	○	日選
2	314109	文化人類学Ⅱ	2	選択	●						●	●													●	●					PS23002	○	日選
2	315247	心理統計実習	2	選択					●			●		●				●												●	PS23003		認(心)選
2	315241	心理学英語文献講読A	1	選択															●									●			PS23004		
2	315242	心理学英語文献講読B	1	選択															●									●			PS23005		
2	315248	社会・集団・家族心理学Ⅰ	2	選択	●						●														●	●	●	●			PS23006	○	社教選/認選/公必
2	315249	社会・集団・家族心理学Ⅱ	2	選択	●						●														●	●	●	●			PS23007	○	社教選/認選
2	315250	教育・学校心理学	2	選択	●						●		●												●		●				PS23008		日選/認選/公必
2	315251	臨床心理学概論Ⅰ	2	選択			●				●		●												●		●				PS23009		認選/公必
2	315252	臨床心理学概論Ⅱ	2	選択			●				●		●												●		●				PS23010		認選
2	315333	地域援助論Ⅰ	2	選択	●							●	●												●	●					PS23011	○	社教選
2	315334	地域援助論Ⅱ	2	選択	●							●	●												●	●					PS23012	○	社教選
3	314110	比較行動学Ⅰ	2	選択	●																				●	●					PS33001		
3	314111	比較行動学Ⅱ	2	選択	●																				●	●					PS33002		
3	315243	心理学英語文献講読C	1	選択															●									●			PS33003		
3	315244	心理学英語文献講読D	1	選択															●									●			PS33004		
3	315253	心理演習(臨床心理学演習)	2	選択		●					●	●	●		●								●								PS33005		認選/公必
3	315240	社会心理学実習	2	選択							●						●			●					●		●	●			PS33006		認選/認(心)必
3	315254	産業・組織心理学	2	選択				●																	●		●		●		PS33007		認選/公必
3	315218	思春期青年期心理学	2	選択	●	●	●																		●		●		●		PS33008		教選(保・養)/認選
3	315221	家族心理学Ⅰ	2	選択	●			●					●												●		●		●		PS33009		認選

・① 18年度入学生については、「基礎看護技術」は1回生配当科目である。

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	8	9	思考・判断・表現 1	2	3	4	5	技能(表現) 1	2	3	4	5	6	知識・理解 1	2	3	4	5	6	ナンバリング	他履修	備考
3	315222	家族心理学Ⅱ	2	選択	●		●					●													●		●		●	PS33010		認選
3	315225	臨床心理学特講	2	選択	●							●													●		●			PS33011		
3	315255	司法・犯罪心理学	2	選択							●														●	●				PS33012		公必
3	315228	異常心理学	2	選択							●			●											●		●			PS33013		認選
3	315256	精神疾患とその治療	2	選択									●	●												●				PS33014		社福選/公必
3	315231	精神医学特講	2	選択									●	●											●	●				PS33015		
3	315234	比較文化心理学Ⅰ	2	選択	●							●												●	●		●			PS33016	○	日選/認選
3	315235	比較文化心理学Ⅱ	2	選択	●							●												●	●		●			PS33017	○	日選/認選
3	315257	心理学的支援法A	2	選択							●	●	●				●						●				●			PS33018		認選/公必
3	315258	心理学的支援法B	2	選択							●	●	●				●						●				●			PS33019		認選
3	315303	健康相談活動(カウンセリング論)	2	選択									●	●	●										●	●				PS33020		教必(保・養)
3	315259	障害者・障害児心理学Ⅰ	2	選択	●							●	●												●		●		●	PS33021	○	教選(保・養)/社教選/公必
3	315260	障害者・障害児心理学Ⅱ	2	選択	●							●	●												●		●		●	PS33022	○	教選(保・養)/社教選
3	315261	福祉心理学	2	選択																					●		●			PS33023		公必
2	315262	人体の構造と機能及び疾病	2	選択																					●	●				PS23013		公必
4	315263	公認心理師の職責	2	選択									●		●										●				●	PS43001		公必
4	315264	関係行政論	2	選択																					●				●	PS43002		公必
4	315265	心理実習(臨床心理学現場実習)Ⅰ	1	選択									●										●			●		●	●	PS43003		公必
4	315266	心理実習(臨床心理学現場実習)Ⅱ	1	選択									●										●			●		●	●	PS43004		公必
3	315267	産業心理学実習(19年度生)	1	選択	●			●						●	●								●						●	PS33031		
健康科学に関する科目群																																	
2	315306	小児保健Ⅰ	2	選択									●	●															●	PS23014		教必(保)
2	315307	小児保健Ⅱ	2	選択									●	●															●	PS23015		教必(保)
2	315320	看護学Ⅱ　①	2	選択									●	●	●					●									●	PS33024		教必(養)/社福選
2	315343	フィットネス演習Ⅰ	1	選択			●		●			●	●																●	PS23016		ｽﾎﾟ必/健運必
2	315344	フィットネス演習Ⅱ	1	選択			●		●			●	●																●	PS23017		健運必
2	315326	生涯スポーツ論	2	選択			●					●	●												●	●			●	PS23018	○	社教選/ｽﾎﾟ必
2	315328	くらしの社会経済論Ⅰ	2	選択							●	●	●												●	●			●	PS23019		
2	315329	くらしの社会経済論Ⅱ	2	選択							●	●	●												●	●			●	PS23020		
2	315330	社会保障論	2	選択							●	●	●												●	●			●	PS23021	○	社福選
2	315332	公的扶助論	2	選択	●							●	●												●	●			●	PS23022	○	社福選
2	315335	社会福祉原論Ⅰ	2	選択	●								●												●	●			●	PS23023	○	社教選/社福選
2	315336	社会福祉原論Ⅱ	2	選択	●								●												●	●			●	PS23024	○	社教選/社福選
2	315337	生涯学習概論Ⅰ	2	選択									●												●	●				PS23025	○	教選(情)/社教必
2	315338	生涯学習概論Ⅱ	2	選択									●												●	●				PS23026	○	教選(情)/司必/学必/社教必
3	315230	精神保健	2	選択									●	●															●	PS33025		教必(保・養)/社福選
3	315349	看護学Ⅲ	2	選択									●	●	●					●									●	PS33026		教必(養)/社福選
2	315321	看護学臨床実習	4	選択						●		●	●	●									●						●	PS23027		教必(養)
2	315322	救急処置　②	2	選択								●	●	●															●	PS33027		教必(保・養)/健運必
3	315323	健康運動科学	2	選択			●						●												●				●	PS33028		ｽﾎﾟ必/健運必
3	315346	健康運動方法論	2	選択			●						●												●				●	PS33029		健運必
3	315324	スポーツ指導論	2	選択								●	●												●				●	PS33030		ｽﾎﾟ必/健運必
3	315351	保健科教育法Ⅲ	2	選択	●																									PS33031		教必(保)　19生
3	315352	保健科教育法Ⅳ	2	選択	●																									PS33032		教必(保)　19生
演習科目																																	
3	316101	専門演習Ⅰ　③	2	必修				●			●			●	●								●							PS34001		
3	316102	専門演習Ⅱ　③	2	必修				●			●			●	●								●							PS34002		
4	316103	卒業演習Ⅰ	2	必修				●			●			●				●	●				●							PS44001		
4	316104	卒業演習Ⅱ	2	必修				●			●			●				●	●				●							PS44002		
4	316105	卒業研究	4	選択							●			●				●	●				●							PS44003		認(心)必

・① 18年度入学生については、「看護学Ⅱ」は3回生配当科目である。
・② 18年度入学生については、「救急処置」は3回生配当科目である。
・③ 3回生科目「専門演習」のクラスは、2回生で開催される説明会を経て、事前登録により決定する。

19・18年度入学生

教育課程（カリキュラム）

人間科学部
食物栄養学科

卒業に必要な総単位数　（19・18年度入学生）

		食物栄養学科（管理栄養士課程）		備　　考
共通科目	導入学習	2単位 必修	28単位	※①「日本語表現法」必修
	人文	選択		
	社会	選択		
	自然	選択		
	健康管理	2単位 選択必修		
	キャリア形成	4単位 必修		「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」必修
	オフ・キャンパススタディーズ	選択		
	外国語	8単位 選択必修		※② 英語選択必修
	情報処理	2単位 選択必修		※③
	現地研修	選択		
	小　　計		28単位	
学科専門科目	専門基礎分野	必修	26単位	※④
	専門分野	必修	26単位	
	演習科目	必修	12単位	
	小　　計		64単位	
合　　計			92単位	
関連科目	上記共通科目・学科専門科目の余剰修得単位	選択	36単位	
	他課程科目			
	他学科開講科目			※⑤
	単位互換制度による修得単位			
総　　計			128単位	

資格専門（関連）科目	教職専門科目（栄養教諭一種）	資格取得を希望する場合は各資格取得に必要な科目を履修すること	資格専門科目は卒業単位には算入されない
	社会教育主事任用資格専門科目		
	社会福祉主事任用資格関連科目		
	レクリエーション・インストラクター関連科目		
	スポーツリーダー（共通科目Ⅰ・Ⅱ）関連科目		
	健康運動実践指導者関連科目		
	フードスペシャリスト関連科目		
	食品衛生管理者及び食品衛生監視員任用資格課程関連科目		
	管理栄養士国家試験受験資格関連科目		
	栄養士関連科目		

■　履修についての注意

※① 導入学習科目（選択）のうち、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」および「数学リテラシー」の3科目4単位は1回生時に必ず履修すること。「基礎演習Ⅲ・Ⅳ」の2科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※② 外国語（英語）科目について
「総合英語IA1・2」「ⅡA1・2」「ⅢA1・2」「IB1・2」「ⅡB1・2」「ⅢB1・2」から4単位および、「実践コミュニケーション英語IA1・2」「ⅡA1・2」「ⅢA1・2」「IB1・2」「ⅡB1・2」「ⅢB1・2」から4単位、計8単位を修得すること。

※③ 情報処理科目について
教職課程の履修希望者は、「情報機器の操作A・B」の2科目2単位を修得すること。
教職課程を履修しない者は、「情報活用基礎A・B」の2科目2単位を修得すること。
なお、「情報活用基礎（A・B）」「情報機器の操作（A・B）」の両科目の履修は原則認めない。

※④ 栄養士を取得しない場合は、選択とする。

※⑤ 他学科開講科目のうち、他学部科目の修得単位は、単位互換制度での修得単位分を含め、20単位を上限として卒業単位に算入する。また、単位互換制度による修得単位は、8単位を上限として卒業単位に算入する。

● 資格取得を希望する学生は、「資格取得について」の項を熟読し、資格取得に必要な科目を履修すること。

● 他学科開講科目として履修可能な科目は、開講科目表において、以下の記号により示す。
○……他学科履修可能科目　　△……他課程履修可能科目

〔配当年次別科目一覧〕 19・18年度入学生カリキュラム

カッコ内は単位数。記載がない科目の単位数は２単位

		１年次			２年次		３年次	
共通科目	《導入学習》	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1)	日本語表現法 数学リテラシー	文章表現実践Ⅰ	基礎演習Ⅲ(1) 基礎演習Ⅳ(1)	文章表現実践Ⅱ		
	《人文》	哲学 宗教学A 宗教学B	文化と歴史(日本) 文化と歴史(アジア) 大阪学	考古学 民俗学 言語学概論	日本の近代文学 日本の古典文学 外国の文学	世界の児童文学 日本の児童文学 芸術鑑賞入門	スケッチ入門 デッサン入門	
	《社会》	日本国憲法 法学 著作権概論 大阪の食文化論	経済と経営 社会学 ジェンダー論 人権論	国際機構と世界 マスコミュニケーション概論 図書館概論 図書館情報資源概論	レクリエーション概論			
	《自然》	心理学 生命科学と倫理	基礎化学[Nのみ] 化学	基礎生物学[Nのみ] 生物学	色彩学入門			
	《健康管理》	健康スポーツ学A(1) 健康スポーツ学B(1)	基礎医学 健康管理学		スポーツ学A(1) スポーツ学B(1) スポーツ学C(1)	スポーツ学D(1) スポーツ学E(1) スポーツ学F(1)		
	《キャリア形成》	キャリアデザインⅠ			キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリア基礎 学校インターンシップ インターンシップA	教職基礎演習A(1) 教職基礎演習B(1) 教職特別演習A(1) 教職特別演習B(1)	キャリアデザインⅣ キャリア実践 インターンシップB(1)	教職基礎演習C(1) 教職基礎演習D(1) 教職特別演習C(1) 教職特別演習D(1)
	《オフ・キャンパス》	Off-Campus Studies A(1)	Off-Campus Studies B(1)	Off-Campus Studies C(1)	Off-Campus Studies D(1)			
	《外国語》	総合英語ⅠA1・2 総合英語ⅡA1・2 総合英語ⅢA1・2 実践コミュニケーション英語ⅠA1・2 実践コミュニケーション英語ⅡA1・2 実践コミュニケーション英語ⅢA1・2	フランス語ⅠA1・2 フランス語ⅠB1・2 中国語ⅠA1・2 中国語ⅠB1・2	資格中国語Ⅰ(1) 資格中国語Ⅱ(1) 韓国語ⅠA1・2 韓国語ⅠB1・2	総合英語ⅡB1・2 総合英語ⅡB1・2 総合英語ⅢB1・2 実践コミュニケーション英語ⅠB1・2 実践コミュニケーション英語ⅡB1・2 実践コミュニケーション英語ⅢB1・2 資格英語Ⅰ(1) 資格英語Ⅱ(1) 資格英語Ⅲ(1) 資格英語Ⅳ(1)	フランス語ⅡA1・2 フランス語ⅡB1・2 中国語ⅡA1・2 中国語ⅡB1・2 韓国語ⅡA1・2 韓国語ⅡB1・2 資格韓国語Ⅰ(1) 資格韓国語Ⅱ(1)	フランス語Ⅲ(研究) フランス語Ⅳ(研究) 中国語Ⅲ(研究) 中国語Ⅳ(研究)	韓国語Ⅲ(研究) 韓国語Ⅳ(研究)
	《情報処理》	情報活用基礎A(1) 情報機器の操作A(1)	情報活用基礎B(1) 情報機器の操作B(1)	情報活用A(1) 情報活用B(1) 情報活用G(1)	情報活用C(1) 情報活用D(1) 情報活用H(1)			
	《現地研修》	現地研修A	現地研修B	現地研修C	現地研修D	現地研修E	現地研修F	

			１年次		２年次		３年次		４年次
食物栄養学科管理栄養士課程専門科目	≪専門基礎分野≫	社会・環境と健康			公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ	公衆衛生学実習(1) 生涯スポーツ論	社会福祉論		
		人体の構造と機能 疾病の成り立ち	生化学 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ	解剖生理学実験 病理学Ⅰ 運動生理学	生化学実験(1) 病理学Ⅱ		微生物学 薬理学		
		食べ物と健康	食品学 食品学実験 調理学	調理学実習 食生活論	食品加工学 食品加工学実習(1) 食品衛生学	食品衛生学実験(1) 食品の流通と消費	フードコーディネート論 応用食品学		
	≪専門分野≫	基礎栄養学			基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ	基礎栄養学実験(1)			食物栄養英語論文講読
		応用栄養学			応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ	応用栄養学実習(1)			運動栄養学
		栄養教育論			栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ	健康心理学	栄養カウンセリング論 栄養教育論実習(1)	カウンセリング論	
		臨床栄養学			臨床栄養学総論		臨床栄養学各論Ⅰ 臨床栄養学各論Ⅱ	栄養アセスメント 臨床栄養学実習	
		公衆栄養学			公衆栄養学Ⅰ［19生］		公衆栄養学Ⅰ［18生］ 公衆栄養学Ⅱ	公衆栄養学実習(1)	
		給食経営管理論			給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ		給食経営管理論実習		
		総合演習					公衆栄養学演習(1)		管理栄養士特別演習(4) 管理栄養士演習
		臨地実習					公衆栄養臨地実習(1)		給食経営管理臨地実習Ⅰ(1) 給食経営管理臨地実習Ⅱ(1) 臨床栄養臨地実習(1)
	《演習科目》						専門演習(4)		卒業演習(4) 卒業研究(4)

関連科目	上記共通科目、学科専門科目の余剰修得単位 他学科開講科目・他課程科目・単位互換制度による修得単位

自由科目	食物栄養学科《その他科目》				管理栄養士セミナーⅠ(4)		管理栄養士セミナーⅡ(4)		管理栄養士セミナーⅢ(4)
	資格専門科目	教職課程 (栄養教諭一種)	教職入門 教育学概論 教育心理学［19生］ 教育制度論［19生］	学校と教育の歴史［18生］	教育心理学［18生］ 教育制度論［18生］ 教育課程論	教育方法・技術論 生徒指導論 特別支援教育［19生］	教育相談 進路指導論［19生］ 学校栄養教育論Ⅰ(NP専門) 学校栄養教育論Ⅱ(NP専門)	道徳教育の指導法 特別活動の指導法 総合的な学習の時間の指導法［19生］	教育実習指導(1) 栄養教育実習(1) 教職実践演習(栄養教諭)
		社会教育主事任用資格			社会教育計画Ⅰ 社会教育計画Ⅱ	社会教育経営論Ⅰ 社会教育経営論Ⅱ	社会教育課題研究Ⅰ 社会教育課題研究Ⅱ	生涯学習支援論Ⅰ 生涯学習支援論Ⅱ	

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	8	9	思考・判断・表現 1	2	3	4	5	6	7	8	技能(表現) 1	2	3	4	知識・理解 1	2	3	4	5	ナンバリング	他履修	備考	管理栄養士	栄養士
食物栄養学科管理栄養士課程専門科目																																			
専門基礎分野																																			
社会・環境と健康																																			
2	317001	公衆衛生学Ⅰ	2	必修	●						●	●																	●			NR21001		社福選/ﾜｰﾄﾞ選/衛必	○	○
2	317002	公衆衛生学Ⅱ	2	選択	●						●	●																	●			NR21002		社福選/衛必	○	
2	317003	公衆衛生学実習	1	選択	●						●	●												●					●			NR21003		衛必	○	
3	317004	社会福祉論	2	必修	●						●	●																	●			NR31001		社教選/社福選	○	○
2	317005	生涯スポーツ論	2	選択			●				●																		●			NR21004		社教選/ｽﾎﾟ必		
人体の構造と機能疾病の成り立ち																																			
1	317006	生化学	2	必修								●		●																●		NR11001		衛必	○	○
2	317007	生化学実験	1	選択								●		●										●						●		NR21005		衛必	○	
1	317028	解剖生理学Ⅰ	2	必修								●		●																●		NR11002		健運必/衛必	○	○
1	317029	解剖生理学Ⅱ	2	必修								●		●																●		NR11003		衛必	○	○
1	317009	解剖生理学実験	2	選択								●		●										●						●		NR11004		衛必	○	
1	317010	病理学Ⅰ	2	必修								●		●																●		NR11005		衛必	○	○
2	317011	病理学Ⅱ	2	選択								●		●																●		NR21006		衛必	○	
3	317012	微生物学	2	選択	●						●	●									●										●	NR31002		衛必	○	
1	317013	運動生理学	2	選択			●				●																		●			NR11006		ｽﾎﾟ必/健運選必	○	
3	317030	薬理学	2	選択								●		●																●		NR31003				
食べ物と健康																																			
1	317014	食品学	2	必修							●										●									●		NR11007		ﾌｰﾄﾞ必/衛必	○	○
1	317015	食品学実験	2	必修							●										●			●						●		NR11008		ﾌｰﾄﾞ必/衛必	○	○
2	317016	食品加工学	2	必修							●										●									●		NR21007		ﾌｰﾄﾞ必/衛必	○	○
2	317017	食品加工学実習	1	必修							●										●			●						●		NR21008		ﾌｰﾄﾞ必/衛必	○	○
1	317018	調理学	2	必修							●										●									●		NR11009		ﾌｰﾄﾞ必	○	○
1	317019	調理学実習	2	必修							●										●			●						●		NR11010		ﾌｰﾄﾞ必	○	○
2	317020	食品衛生学	2	必修	●						●	●									●									●		NR21009		ﾌｰﾄﾞ必/衛必	○	○
2	317021	食品衛生学実験	1	必修	●						●	●									●			●						●		NR21010		衛必	○	○
1	317022	食生活論	2	選択								●																		●		NR11011		ﾌｰﾄﾞ必		
2	317027	食品の流通と消費	2	選択								●									●									●		NR21011		ﾌｰﾄﾞ必		
3	317025	フードコーディネート論	2	選択								●									●									●		NR31004		ﾌｰﾄﾞ必		
3	317031	応用食品学	2	選択																	●											NN31002				
専門分野																																			
基礎栄養学																																			
2	318030	基礎栄養学Ⅰ	2	必修								●									●									●		NR22001		社福選/ﾜｰﾄﾞ必/衛必	○	○
2	318031	基礎栄養学Ⅱ	2	必修								●									●									●		NR22002		社福選/ﾜｰﾄﾞ必/衛必	○	○
2	318002	基礎栄養学実験	1	必修								●									●			●						●		NR22003		衛必	○	○
4	318038	食物栄養英語論文講読	2	選択	●				●																							NN41002				
応用栄養学																																			
2	318003	応用栄養学Ⅰ	2	必修								●							●		●									●		NR22004		ｽﾎﾟ必/衛必	○	○
2	318004	応用栄養学Ⅱ	2	選択								●							●		●									●		NR22005			○	
2	318005	応用栄養学実習	1	選択								●							●		●			●						●		NR22006			○	
4	318006	運動栄養学	2	選択								●							●		●									●		NR42001		健運必	○	
栄養教育論																																			
2	318007	栄養教育論Ⅰ	2	必修	●														●											●		NR22007			○	○
2	318008	栄養教育論Ⅱ	2	必修	●														●											●		NR22008			○	○
3	318009	栄養カウンセリング論	2	選択	●														●											●		NR32001			○	
3	318010	栄養教育論実習	1	必修	●														●					●						●		NR32002			○	○
2	318011	健康心理学	2	選択			●									●													●			NR22009				
3	318012	カウンセリング論	2	選択			●									●													●			NR32003				
臨床栄養学																																			
2	318015	臨床栄養学総論	2	必修								●		●					●											●		NR22010			○	○
3	318032	臨床栄養学各論Ⅰ	2	選択								●		●					●											●		NR32004			○	
3	318033	臨床栄養学各論Ⅱ	2	選択								●		●					●											●		NR32005			○	
3	318017	栄養アセスメント	2	選択	●														●											●	●	NR32006			○	
3	318018	臨床栄養学実習	2	必修	●							●		●					●					●						●	●	NR32007			○	○
公衆栄養学																																			
2	318019	公衆栄養学Ⅰ　①	2	必修	●						●	●																	●		●	NR32008		衛必	○	○
3	318020	公衆栄養学Ⅱ	2	選択	●						●	●																	●		●	NR32009		衛必	○	
3	318021	公衆栄養学実習	1	必修	●						●	●												●					●		●	NR32010			○	○
給食経営管理論																																			
2	318034	給食経営管理論Ⅰ	2	必修				●			●								●	●										●		NR22011			○	○
2	318035	給食経営管理論Ⅱ	2	必修				●			●								●	●										●		NR22012			○	○
3	318023	給食経営管理論実習	2	必修				●			●								●	●				●						●		NR32011			○	○

・ ① 18年度入学生については、「公衆栄養学Ⅰ」は3回生配当科目である。

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力（ディプロマ・ポリシーとの対応） 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	8	9	思考・判断・表現 1	2	3	4	5	6	7	8	技能（表現） 1	2	3	4	知識・理解 1	2	3	4	5	ナンバリング	他履修	備考		
総合演習																																				
4	318024	管理栄養士演習	1	選択							●						●	●					●				●	●				NR32012			○	
4	318029	管理栄養士特別演習	4	選択							●						●	●					●				●	●				NR42002			○	
臨地実習																																				
4	318025	給食経営管理臨地実習Ⅰ（含給食の運営）	1	必修				●			●						●		●	●			●				●					NR32013			○	○
4	318026	給食経営管理臨地実習Ⅱ	1	選択				●			●						●		●	●			●				●					NR32014			○	
4	318027	臨床栄養臨地実習	1	選択	●							●	●	●			●	●					●				●				●	NR32015			○	
3	318028	公衆栄養臨地実習	1	選択	●			●			●	●	●				●						●				●			●		NR42003			○	
演習科目																																				
3	319011	専門演習　①	4	必修							●						●	●					●				●	●				NR33001				
4	319012	卒業演習	4	必修							●						●	●					●				●	●				NR43001				
4	319013	卒業研究	4	必修							●						●	●					●				●	●				NR43002				
その他科目																																				
2	327001	管理栄養士セミナーⅠ	4	自由												●														●		NN21001				
3	327002	管理栄養士セミナーⅡ	4	自由												●														●		NN31001				
4	327004	管理栄養士セミナーⅢ	4	自由												●														●		NN41001				

・① 3回生秋学期「専門演習」のクラスは春学期中に開催される説明会を経て、事前登録により決定する。
（春学期履修登録時は仮登録用クラスで登録すること。）

卒業に必要な総単位数　（19・18年度入学生）

		食物栄養学科（健康実践栄養士課程）		備　　考
共通科目	導入学習	2単位 必修	28単位	※①「日本語表現法」必修
	人文	選択		
	社会	選択		
	自然	選択		
	健康管理	2単位 選択必修		
	キャリア形成	4単位 必修		「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」必修
	オフ・キャンパススタディーズ	選択		
	外国語	8単位 選択必修		※② 英語選択必修
	情報処理	2単位 選択必修		※③
	現地研修	選択		
	小　　計		28単位	
学科専門科目	専門分野	必修	54単位	※④
	領域別専門科目	選択	4単位	
	演習科目	必修	8単位	
	小　　計		66単位	
合　　計			94単位	
関連科目	上記共通科目・学科専門科目の余剰修得単位	選択	34単位	
	他学科開講科目			※⑤
	単位互換制度による修得単位			
総　　計			128単位	

資格専門（関連）科目	教職専門科目（栄養教諭二種）	資格取得を希望する場合は各資格取得に必要な科目を履修すること	資格専門科目は卒業単位には算入されない
	社会教育主事任用資格専門科目		
	社会福祉主事任用資格関連科目		
	レクリエーション・インストラクター関連科目		
	スポーツリーダー（共通科目Ⅰ・Ⅱ）関連科目		
	健康運動実践指導者関連科目		
	フードスペシャリスト関連科目		
	栄養士関連科目		

■　履修についての注意

※① 導入学習科目（選択）のうち、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」および「数学リテラシー」の3科目4単位は1回生時に必ず履修すること。
「基礎演習Ⅲ・Ⅳ」の2科目2単位は2回生時に必ず履修すること。

※② 外国語（英語）科目について
「総合英語ⅠA1・2」「ⅡA1・2」「ⅢA1・2」「ⅠB1・2」「ⅡB1・2」「ⅢB1・2」から4単位および、
「実践コミュニケーション英語ⅠA1・2」「ⅡA1・2」「ⅢA1・2」「ⅠB1・2」「ⅡB1・2」「ⅢB1・2」から4単位、計8単位を修得すること。

※③ 情報処理科目について
教職課程の履修希望者は、「情報機器の操作A・B」の2科目2単位を修得すること。
教職課程を履修しない者は、「情報活用基礎A・B」の2科目2単位を修得すること。
なお、「情報活用基礎（A・B）」「情報機器の操作（A・B）」の両科目の履修は原則認めない。

※④ 栄養士を取得しない場合は、選択とする。

※⑤ 他学科開講科目のうち、他学部科目の修得単位は、単位互換制度での修得単位分を含め、20単位を上限として卒業単位に算入する。また、単位互換制度による修得単位は、8単位を上限として卒業単位に算入する。

● 資格取得を希望する学生は、「資格取得について」の項を熟読し、資格取得に必要な科目を履修すること。

● 他学科開講科目として履修可能な科目は、開講科目表において、以下の記号により示す。
○……他学科履修可能科目　　△……他課程履修可能科目

〔配当年次別科目一覧〕 19・18年度入学生カリキュラム

カッコ内は単位数。記載がない科目の単位数は２単位

		１年次			２年次		３年次	
共通科目	《導入学習》	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1)	日本語表現法 数学リテラシー	文章表現実践Ⅰ	基礎演習Ⅲ(1) 基礎演習Ⅳ(1)	文章表現実践Ⅱ		
	《人文》	哲学 宗教学A 宗教学B	文化と歴史(日本) 文化と歴史(アジア) 大阪学	考古学 民俗学 言語学概論	日本の近代文学 日本の古典文学 外国の文学	世界の児童文学 日本の児童文学 芸術鑑賞入門	スケッチ入門 デッサン入門	
	《社会》	日本国憲法 法学 著作権概論 大阪の食文化論	経済と経営 社会学 ジェンダー論 人権論	国際機構と世界 マスコミュニケーション概論 図書館概論 図書館情報資源概論	レクリエーション概論			
	《自然》	心理学 生命科学と倫理	基礎化学[Nのみ] 化学	基礎生物学[Nのみ] 生物学	色彩学入門			
	《健康管理》	健康スポーツ学A(1) 健康スポーツ学B(1)	基礎医学 健康管理学		スポーツ学A(1) スポーツ学B(1) スポーツ学C(1)	スポーツ学D(1) スポーツ学E(1) スポーツ学F(1)		
	《キャリア形成》	キャリアデザインⅠ			キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリア基礎 学校インターンシップ インターンシップA	教職基礎演習A(1) 教職基礎演習B(1) 教職特別演習A(1) 教職特別演習B(1)	キャリアデザインⅣ キャリア実践 インターンシップB(1)	教職基礎演習C(1) 教職基礎演習D(1) 教職特別演習C(1) 教職特別演習D(1)
	《オフ・キャンパス》	Off-Campus Studies A(1)	Off-Campus Studies B(1)	Off-Campus Studies C(1)	Off-Campus Studies D(1)			
	《外国語》	総合英語ⅠA1・2 総合英語ⅡA1・2 総合英語ⅢA1・2 実践コミュニケーション英語ⅠA1・2 実践コミュニケーション英語ⅡA1・2 実践コミュニケーション英語ⅢA1・2	フランス語ⅠA1・2 フランス語ⅠB1・2 中国語ⅠA1・2 中国語ⅠB1・2	資格中国語Ⅰ(1) 資格中国語Ⅱ(1) 韓国語ⅠA1・2 韓国語ⅠB1・2	総合英語ⅠB1・2 総合英語ⅡB1・2 総合英語ⅢB1・2 実践コミュニケーション英語ⅠB1・2 実践コミュニケーション英語ⅡB1・2 実践コミュニケーション英語ⅢB1・2 資格英語Ⅰ(1) 資格英語Ⅱ(1) 資格英語Ⅲ(1) 資格英語Ⅳ(1)	フランス語ⅡA1・2 フランス語ⅡB1・2 中国語ⅡA1・2 中国語ⅡB1・2 韓国語ⅡA1・2 韓国語ⅡB1・2 資格韓国語Ⅰ(1) 資格韓国語Ⅱ(1)	フランス語Ⅲ(研究) フランス語Ⅳ(研究) 中国語Ⅲ(研究) 中国語Ⅳ(研究)	韓国語Ⅲ(研究) 韓国語Ⅳ(研究)
	《情報処理》	情報活用基礎A(1) 情報機器の操作A(1)	情報活用基礎B(1) 情報機器の操作B(1)	情報活用A(1) 情報活用B(1) 情報活用G(1)	情報活用C(1) 情報活用D(1) 情報活用H(1)			
	《現地研修》	現地研修A	現地研修B	現地研修C	現地研修D	現地研修E	現地研修F	

			１年次		２年次		３年次		４年次
食物栄養学科健康実践栄養士課程専門科目	《専門分野》	社会生活と健康			公衆衛生学Ⅰ	社会福祉論			
		人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ	予防医学	生化学		微生物学 疾病論		
		食品と衛生	食品学 食品学実験	食品学演習(1)	食品加工学 食品加工学実習(1)	食品衛生学 食品衛生学実験(1)	食文化論 フードコーディネート論	食品の流通と消費 応用食品学	
		栄養と健康	食生活論		基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ 基礎栄養学実験(1)	応用栄養学Ⅰ	臨床栄養学総論 臨床栄養学実習(1) 運動栄養学		食物栄養英語論文講読
		栄養の指導	保育総論A 保育総論B(18年度入学生)		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ	保育総論演習(1)	栄養教育論実習(1) 公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学実習(1)	学校栄養教育論Ⅰ 学校栄養教育論Ⅱ	
		給食の運営	調理学 調理学実習(基礎)		給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ		給食経営管理論実習(1) 調理学実習(応用)		給食経営管理臨地実習Ⅰ(1)
	《領域別専門科目》	健康運動領域	健康運動科学		健康運動方法論 健康運動演習Ⅰ 健康運動演習Ⅱ	救急処置 レクリエーション実技(1)	スポーツ指導論Ⅰ スポーツ指導論Ⅱ 運動療法Ⅰ 運動療法Ⅱ	レクリエーション現場実習(1) 健康運動実践指導者特別演習	
		フードビジネス領域			フードビジネス論 マーケティング論		マーケティング情報戦略論 商品企画	ソーシャルメディア戦略 ビジネスプレゼンテーション	
	《演習科目》						専門演習(4)		卒業演習(4) 卒業研究(4)

関連科目	上記共通科目、学科専門科目の余剰修得単位 他学科開講科目・単位互換制度による修得単位

自由科目	食物栄養学科《その他科目》		健康実践栄養士セミナーⅠ(4)		健康実践栄養士セミナーⅡ(4)		健康実践栄養士セミナーⅢ(4)		健康実践栄養士セミナーⅣ(4)
	資格専門科目	教職課程(栄養教諭二種)	教職入門 教育学概論 教育心理学［19生］ 教育制度論［19生］	学校と教育の歴史[18生]	教育心理学［18生］ 教育制度論［18生］ 教育課程論	教育方法・技術論 生徒指導論 特別支援教育［19生］	教育相談 進路指導論［19生］ 学校栄養教育論Ⅰ(NP専門) 学校栄養教育論Ⅱ(NP専門)	道徳教育の指導法 特別活動の指導法 総合的な学習の時間の指導法［19生］	教育実習指導(1) 栄養教育実習(1) 教職実践演習(栄養教諭)
		社会教育主事任用資格			社会教育計画Ⅰ 社会教育計画Ⅱ	社会教育経営論Ⅰ 社会教育経営論Ⅱ	社会教育課題研究Ⅰ 社会教育課題研究Ⅱ	生涯学習支援論Ⅰ 生涯学習支援論Ⅱ	

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	思考・判断・表現 1	2	3	4	5	6	7	技能(表現) 1	2	3	4	5	6	7	知識・理解 1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング	他履修	備考	栄養士
食物栄養学科健康実践栄養士課程専門科目																																			
専門分野																																			
社会生活と健康																																			
2	317501	公衆衛生学Ⅰ	2	必修	●										●											●			●	NH21001		社福選/ﾌｰﾄﾞ選	○
2	317502	社会福祉論	2	必修	●										●											●			●	NH21002		社教選/社福選	○
人体の構造と機能																																			
2	317503	生化学	2	必修		●										●										●				NH21003			○
3	317504	微生物学	2	必修	●																					●				NH31001			○
1	317505	解剖生理学Ⅰ	2	必修		●										●										●				NH11001		健運必	○
1	317506	解剖生理学Ⅱ	2	必修		●										●										●				NH11002			○
1	317507	予防医学	2	必修		●										●										●				NH11003	△		○
3	317508	疾病論	2	選択		●										●										●				NH31002	△		
食品と衛生																																			
1	317509	食品学	2	必修							●							●								●				NH11004		ﾌｰﾄﾞ必	○
1	317510	食品学実験	2	必修							●							●					●			●				NH11005		ﾌｰﾄﾞ必	○
2	317511	食品加工学	2	必修							●							●								●				NH21004		ﾌｰﾄﾞ必	○
2	317512	食品加工学実習	1	必修							●							●				●				●				NH21005		ﾌｰﾄﾞ必	○
1	317513	食品学演習	1	選択							●							●					●			●				NH11006			
3	317514	食文化論	2	選択							●															●				NH31003	○		
3	317515	フードコーディネート論	2	選択	●						●											●				●	●			NH31004	○	ﾌｰﾄﾞ必	
3	317516	食品の流通と消費	2	選択	●						●							●				●				●	●			NH31005		ﾌｰﾄﾞ必	
2	317517	食品衛生学	2	必修	●																					●				NH21006		ﾌｰﾄﾞ必	○
2	317518	食品衛生学実験	1	必修	●																		●			●				NH21007			○
3	317545	応用食品学	2	選択							●							●								●				NN31002			
栄養と健康																																			
2	317519	基礎栄養学Ⅰ	2	必修		●										●										●				NH21008		社福選/ﾌｰﾄﾞ必	○
2	317520	基礎栄養学Ⅱ	2	必修		●										●										●				NH21009		社福選/ﾌｰﾄﾞ必	○
2	317521	基礎栄養学実験	1	必修		●										●							●			●				NH21010			○
2	317522	応用栄養学Ⅰ	2	必修		●									●	●										●				NH21011		ｽﾎﾟ必/健運必	○
1	317523	食生活論	2	選択							●																●			NH11007		ﾌｰﾄﾞ必	
3	317524	臨床栄養学総論	2	必修		●										●	●									●				NH31006			○
3	317525	臨床栄養学実習	1	必修		●										●	●					●				●				NH31007			○
3	317526	運動栄養学	2	選択			●								●												●			NH31008			
4	317546	食物栄養英語論文講読	2	選択	●				●																			●		NN41002			
栄養の指導																																			
2	317527	栄養教育論Ⅰ	2	必修	●											●										●				NH21012			○
2	317528	栄養教育論Ⅱ	2	必修	●											●										●				NH21013			○
3	317529	栄養教育論実習	1	必修	●				●							●						●				●	●			NH31009			○
3	317530	公衆栄養学Ⅰ	2	必修	●										●											●			●	NH31010			○
3	317531	公衆栄養学実習	1	必修	●										●							●				●			●	NH31011			○
3	317532	学校栄養教育論Ⅰ	2	選択	●				●							●										●	●			NH31012	△	教必(栄)	
3	317533	学校栄養教育論Ⅱ	2	選択	●				●							●										●	●			NH31013	△	教必(栄)	
1	317542	保育総論A	2	選択					●																		●			NH11008			
1	317543	保育総論B	2	選択					●																		●			NH11009			
2	317544	保育総論演習	1	選択					●																		●			NH21014			
給食の運営																																			
2	317535	給食経営管理論Ⅰ	2	必修				●			●				●			●								●				NH21015			○
2	317536	給食経営管理論Ⅱ	2	必修				●			●				●			●								●				NH21016			○
3	317537	給食経営管理論実習	1	必修				●			●				●	●		●				●				●				NH31014			○
1	317538	調理学	2	必修							●							●								●				NH11010		ﾌｰﾄﾞ必	○
1	317539	調理学実習(基礎)	2	必修							●							●				●				●				NH11011		ﾌｰﾄﾞ必	○
3	317540	調理学実習(応用)	2	必修							●							●				●				●				NH31015			○
4	317541	給食経営管理臨地実習Ⅰ(含給食の運営)	1	必修				●		●	●				●		●	●				●	●			●				NH31016			○
領域別専門科目																																			
健康運動領域																																			
2	318501	健康運動方法論	2	選択			●																				●			NH22001	△	健運必	
1	318502	健康運動科学	2	選択			●																				●			NH12001	△	ｽﾎﾟ必/健運選必	
3	318503	スポーツ指導論Ⅰ	2	選択			●																				●			NH32001	△	ｽﾎﾟ必/健運必	
3	318504	スポーツ指導論Ⅱ	2	選択			●																				●			NH32002	△		
2	318505	健康運動演習Ⅰ	2	選択			●																●				●			NH22002	△	ﾚｸ選/ｽﾎﾟ必/健運必	
2	318506	健康運動演習Ⅱ	2	選択			●																●				●			NH22003	△	ﾚｸ選/健運必	
2	318507	救急処置	2	選択			●																●				●			NH22004	△	健運必	
3	318508	運動療法Ⅰ	2	選択			●																				●			NH32003	△		
3	318509	運動療法Ⅱ	2	選択			●																				●			NH32004	△		

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	7	思考・判断・表現 1	2	3	4	5	6	7	技能(表現) 1	2	3	4	5	6	7	知識・理解 1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング	他履修	備考
2	318516	レクリエーション実技	1	選択			●																	●						●			NH22005	△	レク必
3	318517	レクリエーション現場実習	1	選択			●					●	●	●					●					●					●			NH32005	△	レク必
3	318518	健康運動実践指導者特別演習	2	選択			●					●	●	●										●					●			NH32006	○	健運選
フードビジネス領域																																		
2	318510	フードビジネス論	2	選択					●															●						●	●	NH22006	○	
2	318511	マーケティング論	2	選択	●																			●						●		NH22007		
3	318512	マーケティング情報戦略論	2	選択	●																			●						●		NH32007		
3	318513	商品企画	2	選択					●															●						●	●	NH32008		
3	318514	ソーシャルメディア戦略	2	選択					●													●		●						●	●	NH32009		
3	318515	ビジネスプレゼンテーション	2	選択					●															●						●	●	NH32010		
演習科目																																		
3	319511	専門演習　①	4	必修					●														●						●			NH33011		
4	319512	卒業演習	4	必修					●														●						●			NH43001		
4	319513	卒業研究	4	選択					●				●		●									●			●	●				NH43002		
その他科目																																		
1	327501	健康実践栄養士セミナーⅠ	4	自由					●																					●			NN11001		
2	327502	健康実践栄養士セミナーⅡ	4	自由					●																					●			NN21002		
3	327503	健康実践栄養士セミナーⅢ	4	自由					●																					●			NN31003		
4	327504	健康実践栄養士セミナーⅣ	4	自由					●																					●			NN41003		

・① 3回生秋学期「専門演習」のクラスは春学期中に開催される説明会を経て、事前登録により決定する。
(春学期履修登録時は仮登録用クラスで登録すること。)

19・18年度入学生

教育課程（カリキュラム）

資格専門科目

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	思考・判断・表現 1	2	3	技能(表現) 1	2	3	知識・理解 1	2	3	ナンバリング	他履修	備考	
資格専門科目																							
教職課程																							
1	208001	教職入門	2	自由	●															CE11001		教必	
1	208002	教育学概論	2	自由	●															CE11002		(19)教必・(18)教選必/社教選	
1	208003	学校と教育の歴史	2	自由	●															CE11003		教選必	18生
1	208004	教育心理学　①	2	自由	●															CE11004		教必・日選	
2	208050	特別支援教育	2	自由	●															CE21012		教必	19生
1	208005	教育制度論　②	2	自由	●															CE11005		教必	
2	208026	教育課程論	2	自由	●															CE21003		教必	
2	208027	国語科教育法Ⅰ	2	自由	●															CE21004		教必(国)	
2	208028	国語科教育法Ⅱ	2	自由	●															CE21005		教必(国)	
3	208029	国語科教育法研究Ⅰ	2	自由	●															CE31004		教必(国)	18生
3	208030	国語科教育法研究Ⅱ	2	自由	●															CE31005		教必(国)	18生
2	208031	英語科教育法Ⅰ	2	自由	●															CE21006		教必(英)	
2	208032	英語科教育法Ⅱ	2	自由	●															CE21007		教必(英)	
3	208033	英語科教育法研究Ⅰ	2	自由	●															CE31006		教必(英)	18生
3	208034	英語科教育法研究Ⅱ	2	自由	●															CE31007		教必(英)	18生
2	208035	情報科教育法Ⅰ	2	自由	●															CE21008		教必(情)	
2	208036	情報科教育法Ⅱ	2	自由	●															CE21009		教必(情)	
3	208037	情報科教育法研究Ⅰ	2	自由	●															CE31008		教必(情)	
3	208038	情報科教育法研究Ⅱ	2	自由	●															CE31009		教必(情)	
2	208039	保健科教育法Ⅰ	2	自由	●															CE21010		教必(保)	
2	208040	保健科教育法Ⅱ	2	自由	●															CE21011		教必(保)	
3	208041	保健科教育法研究Ⅰ	2	自由	●															CE31010		教必(保)	18生
3	208042	保健科教育法研究Ⅱ	2	自由	●															CE31011		教必(保)	18生
3	208014	道徳教育の指導法	2	自由	●															CE31001		教必(国・英・保・養・栄)	
3	208051	総合的な学習の時間の指導法	2	自由	●															CE31013		教必(国・英・保・養・栄)	19生
3	208015	特別活動の指導法	2	自由	●															CE31002		教必	
2	208016	教育方法・技術論	2	自由	●															CE21001		教必	
2	208017	生徒指導論(含進路指導論)	2	自由	●															CE21002		教必	
3	208052	進路指導論	2	自由	●															CE31014		教必(国・英・保)	19生
3	208018	教育相談	2	自由	●															CE31003		教必	
3・4	208045	教育実習指導　③	1	自由	●															CE41001		教必	
4	208046	教育実習A	4	自由	●															CE41002		教必(国・英・保)	
4	208047	教育実習B	2	自由	●															CE41003		教必(情)	情報
3	208048	養護実習　③	4	自由	●															CE31012		教必(養)	
4	208049	栄養教育実習	1	自由	●															CE41004		教必(栄)	
4	208023	教職実践演習(中・高)	2	自由	●															CE41005		教必(中・高)	(国語・英語・情報・保健)
4	208024	教職実践演習(栄養教諭)	2	自由	●															CE41006		教必(栄)	
4	208025	教職実践演習(養護教諭)	2	自由	●															CE41007		教必(養)	
学校図書館司書教諭課程																							
2	208201	学校経営と学校図書館	2	自由	●															CE22001		司教必	
2	208202	学習指導と学校図書館	2	自由	●															CE22002		司教必	
2	208203	読書と豊かな人間性	2	自由	●															CE22003		司教必	
3	208204	学校図書館メディアの構成	2	自由	●															CE32001		司教必	
3	208205	情報メディアの活用	2	自由	●															CE32002		教選(保・養)/司教必	
図書館司書課程																							
2	208418	図書館制度・経営論	2	自由	●															CE23002		司必	
2	208419	図書館情報技術論	2	自由	●															CE23003		司必	
1	208420	図書館サービス概論	2	自由	●															CE13001		司必	
2	208421	情報サービス論	2	自由	●															CE23004		司必	
2	208406	児童サービス論	2	自由	●															CE23001		司必	
3	208422	情報サービス演習Ⅰ	1	自由	●															CE33001		司必	
3	208423	情報サービス演習Ⅱ	1	自由	●															CE33002		司必	
3	208425	情報資源組織論	2	自由	●															CE33003		司必	
4	208426	情報資源組織論演習Ⅰ	1	自由	●															CE43001		司必	
4	208427	情報資源組織論演習Ⅱ	1	自由	●															CE43002		司必	
2	208428	図書館基礎特論	2	自由	●															CE23005		司選	
2	208429	図書館サービス特論	2	自由	●															CE23006		司選	
2	208430	図書館情報資源特論	2	自由	●															CE23007		司選	
1	208431	図書・図書館史	2	自由	●															CE13002		司選	

・① 18年度以前入学生については、「教育心理学」は2回生配当科目である。
・② 18年度入学生については、「教育制度論」は2回生配当科目である。
・③ 心理学科18年度以降入学生については、「教育実習指導」及び「養護実習」は3回生配当科目となる。
・資格の取得要件・注意事項については、資格の頁を参照のこと。

19・18年度入学生　教育課程表 / カリキュラム・マップ

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	授業を通して修得できる力(ディプロマ・ポリシーとの対応) 関心・意欲・態度 1	2	3	4	5	6	思考・判断・表現 1	2	3	技能(表現) 1	2	3	知識・理解 1	2	3	ナンバリング	他履修	備考
2	208432	図書館施設論	2	自由	●															CE23008		司選
3	208433	図書館総合演習	1	自由	●															CE33004		司選
4	208434	図書館実習	1	自由	●															CE43003		司選
博物館学芸員課程																						
2	208605	博物館概論	2	自由	●															CE24001		学必/社教選
2	208606	博物館経営論	2	自由	●															CE24002		学必/社教選
2	208607	博物館資料論	2	自由	●															CE24003		学必
3	208608	博物館資料保存論	2	自由	●															CE34001		学必
3	208609	博物館展示論	2	自由	●															CE34002		学必
3	208610	博物館教育論	2	自由	●															CE34003		学必
3	208611	博物館情報・メディア論	2	自由	●															CE34004		学必
4	208612	博物館実習Ⅰ	1	自由	●															CE44001		学必
4	208613	博物館実習Ⅱ	2	自由	●															CE44002		学必
日本語教員養成コース																						
3	208809	日本語教育法ⅠA	2	自由	●															CE35002		日必
3	208810	日本語教育法ⅠB	2	自由	●															CE35003		日必
4	208806	日本語教育法Ⅱ	2	自由	●															CE45001		日必
3	208807	日本語教育教材研究	2	自由	●															CE35001		日必
4	208811	日本語教育実習A	1	自由	●															CE45002		日必
4	208812	日本語教育実習B	1	自由	●															CE45003		日必
社会教育主事任用資格																						
2	208701	社会教育計画Ⅰ	2	自由	●															CE26001		社教必
2	208702	社会教育計画Ⅱ	2	自由	●															CE26002		社教必
3	208703	社会教育課題研究Ⅰ	2	自由	●															CE36001		社教必
3	208704	社会教育課題研究Ⅱ	2	自由	●															CE36002		社教必
2	208705	社会教育経営論Ⅰ	2	自由	●															CE26003		20年度新設
2	208706	社会教育経営論Ⅱ	2	自由	●															CE26004		20年度新設
3	208707	生涯学習支援論Ⅰ	2	自由	●															CE36003		20年度新設
3	208708	生涯学習支援論Ⅱ	2	自由	●															CE36004		20年度新設

・ 資格の取得要件・注意事項については、資格の頁を参照のこと。

交換留学生科目

交換留学生　教育課程表

配当年次	学則科目コード	科　目　名	単位	
交換留学生科目（交換留学生のみ）				
	341021	総合日本語A1	1	
	341022	総合日本語A2	1	
	341023	総合日本語B1	1	
	341024	総合日本語B2	1	
	341025	総合日本語C1	1	
	341026	総合日本語C2	1	
	341027	総合日本語D1	1	
	341028	総合日本語D2	1	
	341029	総合日本語E1	1	
	341030	総合日本語E2	1	
	341031	日本語研究A	2	
	341032	日本語研究B	2	
	341033	日本理解講座	2	
	341034	Project work	2	

資格取得について

資格取得について

大学教育の目的の一つには、現代的教養を有する社会人の育成と専門的職業人の養成があり、本学ではそのために、在学中にいくつかの資格が取得できるように教育課程を編成している。

新たな時代の担い手となる学生が、学部教育の中で幅広い教養と現代的な専門性を磨き、その基礎の上に立って将来の進路をも考慮した資格取得に挑むことを期待する。

取得できる資格は次のとおりである。

21・20年度入学生

取得できる資格	学科			
	リベラルアーツ学科	心理学科	食物栄養学科	
			管理栄養士課程	健康実践栄養士課程
教職課程				
①中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 《保健》		○		
②養護教諭一種免許状		○		
③栄養教諭一種免許状			○	
二種免許状				○
図書館司書	○	○		
博物館学芸員	○	○		
日本語教員養成コース	○	○		
社会教育主事任用資格	○	○		
社会福祉主事任用資格	○	○	○	○
児童指導員任用資格		○		
児童福祉司任用資格		○		
認定心理士／認定心理士（心理調査） 応用心理士資格		○		
公認心理師国家試験　受験資格（大学指定科目）		○		
レクリエーション・インストラクター資格	○	○	○	○
健康運動実践指導者 受験資格			○	○
フードスペシャリスト 受験資格			○	○
食品衛生管理者および食品衛生監視員任用資格課程			○	
管理栄養士国家試験 受験資格			○	
栄養士資格			○	○

19・18年度入学生

取得できる資格		学科					
		リベラルアーツ学科	キャリア英語学科	情報メディア学科	心理学科	食物栄養学科	
						管理栄養士課程	健康実践栄養士課程
教職課程							
①中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	《国語》	○					
	《英語》		○				
	《保健》				○		
②高等学校教諭一種免許状 《情報》				○ ※18以前生			
③養護教諭一種免許状					○		
④栄養教諭一種免許状						○	
二種免許状							○
学校図書館司書教諭		教職課程履修者《国語》	教職課程履修者《英語》	教職課程履修者《情報》 ※18以前生	教職課程履修者《保健》		
図書館司書		○	○	○	○		
博物館学芸員		○	○	○	○		
日本語教員養成コース		○	○	○	○		
社会教育主事任用資格		○	○	○	○	○	○
社会福祉主事任用資格		○	○	○	○	○	○
児童指導員任用資格					○		
児童福祉司任用資格					○		
認定心理士／認定心理士(心理調査) 応用心理士資格					○		
公認心理師国家試験　受験資格(大学指定科目)					○		
レクリエーション・インストラクター資格						○	○
スポーツリーダー資格(共通科目Ⅰ・Ⅱ)					○	○	○
健康運動実践指導者 受験資格					○	○	○
フードスペシャリスト 受験資格						○	○
食品衛生管理者および食品衛生監視員任用資格課程						○	
管理栄養士国家試験 受験資格						○	
栄養士資格						○	○

■ 教職課程

教職課程は、中学校・高等学校（19 年度入学生まで　国語・英語）（保健）、高等学校（18 年度入学生まで　情報）、養護、栄養の教員免許状を取得するために設けられた教員養成の課程です。教職課程の学生は、教科に関する知識や技術を学ぶとともに、教員としての基礎的力量や資質を多様な体験学習や教育実習を通して身につけます。

本教職課程では、教育は人を育てる極めて大切な営みであることを学生自身が強く認識し得る教育課程を提供し、厳しい学校教育環境においても資質能力を発揮できる、質の高い教員を養成することを目指します。

また、教員免許状を取得することによって、塾、各種教育機関、あるいは教育関連企業など、様々なところで指導者として活躍する機会が広がります。

■ 学校図書館司書教諭課程（19 年度入学生まで）

学校図書館法で、小・中・高等学校に学校図書館を設けて、その専門的職務を掌る司書教諭を置くことが定められています。司書教諭の資格を得るためには、学校図書館司書教諭課程専門科目を修得するとともに教諭の免許状を取得しなければなりません。従って、教職課程（中・高）履修者がこの課程を履修できます。

■ 図書館司書課程

司書は、公共図書館で専門的業務に従事するために必要な、図書館法で定められた資格です。また、学校図書館、大学図書館、専門図書館などでも司書資格保持者が多く働いています。資料の収集、組織化、貸し出し、レファレンスサービスなど、仕事の領域は広く、また高度情報化時代の今日、各種デジタル資料やオンライン情報サービスの提供など、新たな資料・情報に対応した業務が急速に増大しつつあります。

■ 博物館学芸員課程

博物館学芸員課程は、博物館や美術館などで資料や作品の収集・保存・展示・研究や教育活動にかかわる専門職員です。博物館学や博物館実習などの臨場感あふれる実践的体験を通じて美的な文化財の大切さや、文化人としての極めて有意義な実践的知識・生き方を学びます。

■ 日本語教員養成コース

在住外国人の急増に伴い日本語教師の不足が課題になっています。このコースでは、日本語教育に必要な基礎知識はもちろん、教材分析、教案作成、模擬授業など実践的な授業を積み重ね、実際に外国人に日本語を教える教育実習も行います。自分で考え成長し続けられる教師養成を目指しています。将来、日本語教員だけでなく外国人と接することの多い職に就こうとする人を対象としています。コース修了者には修了証が与えられます。現在、日本語教員の免許制度はないため、この修了証が資格のひとつとなります。

■ 社会教育主事任用資格

社会教育主事は、都道府県および市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言、指導にあたる役割を担います。この資格は任用資格（公務員に採用された後に、特定の業務に任用されるとき必要となる資格）です。

■ 社会福祉主事任用資格

社会福祉主事とは、福祉事務所などの行政機関において、福祉ニーズをもった人々の相談・保護・指導などを業務とする人のことです。この資格は任用資格（国家公務員や地方公務員に採用された後に、特定の業務に任用されるとき必要となる資格）であり、福祉関係諸法の規定により、児童指導員、生活指導員、生活相談員などの任用基礎資格でもあります。

■ 児童指導員任用資格

児童指導員とは、家庭の事情などが原因で、児童福祉施設等で生活を送っている児童を、保護者に代わり生活指導する人のことです。この資格は任用資格（国家公務員や地方公務員に採用された後に、特定の業務に任用されるとき必要となる資格）です。

■ 児童福祉司任用資格

児童福祉司とは、地方自治体の児童相談所で、相談、調査、支援などを行う人のことです。この資格は任用資格（国家公務員や地方公務員に採用された後に、特定の業務に任用されるとき必要となる資格）です。

■ 認定心理士／認定心理士（心理調査）・応用心理士資格

心理学の専門家としての職務を遂行するのに必要最低限の標準的、基礎的学力と技能を獲得していると認定された者に対して与えられる資格です。この資格は心理学関係の資格の中で最も一般的なもので、将来は、臨床心理士や公認心理師など一層特殊な経験や訓練を要求される資格の取得に際して、十分な基礎条件となることが期待されています。

■ 公認心理師国家試験　受験資格（大学指定科目）

公認心理師は、国民の心の健康の保持増進に寄与するため、2018 年度から誕生した日本で初めての心理支援に関わる国家資格です。

公認心理師の資格を得るためには、以下①～③のいずれかの受験資格を持ち、「公認心理師国家試験」に合格しなければなりません。したがって、本学心理学科で所定の科目を修めることは、公認心理師受験資格の基本条件となっています。

① 大学において心理学等に関する所定の科目を修め、かつ、大学院において心理学等の所定の科目を修めてその課程を修了した者等
② 大学で心理学等に関する所定の科目を修め、卒業後、所定の施設において一定期間の実務経験を積んだ者等
③ 主務大臣が①及び②に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めた者

■ レクリエーション・インストラクター資格

レクリエーション・インストラクターは、公益財団法人 日本レクリエーション協会が認定する指導者資格です。余暇やレクリエーションに関する専門知識と指導法、さまざまな遊びのメニューと技術を持ち、人と人との交流促進や、楽しさの体験に主眼をおいた技術を多くの人々に提供します。

■ スポーツリーダー資格（19 年度入学生まで）

「スポーツリーダー」は、公益財団法人 日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者制度における基礎資格です。

スポーツ指導やボランティアに関する基礎的な知識を身に付け、地域におけるスポーツクラブやサークルなどのリーダー的な存在として、基礎的なスポーツ指導や運営にあたることができます。

■ 健康運動実践指導者 受験資格

健康運動実践指導者資格は、健康・体力づくり事業財団が認定する指導者資格です。医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技術などを持つことを認定するもので、健康作りを目的として作成された運動プログラムに基づき、ジョギング、ストレッチング、筋力トレーニング等の実践指導を行います。健康増進センター、保健所、民間健康増進施設（フィットネスクラブ等）、介護老人保健福祉施設などで活用されています。

■ フードスペシャリスト 受験資格

フードスペシャリスト協会が認定する資格、食品が製造されてから、消費されるまでの幅広い分野で、食品を消費者の好みに合わせた安全な商品や料理に変えていく知識・技術を持つことを認定するものです。食に関する高度な知識と技術を有する専門家で、社会のニーズに応える能力が求められており、食品会社、ホテル、レストラン、デパート、スーパーマーケットなどでの活躍が期待されています。

■ 食品衛生管理者および食品衛生監視員任用資格

食品衛生管理者および食品衛生監視員は共に厚生労働省管轄の国家資格です。食品衛生管理者は、食品または添加物を製造、加工する会社や施設におくことが義務づけられており、食品または添加物の製造、加工を食品衛生法上の違反がないように管理する者です。必要な科目の単位を修得した者は、食品衛生管理者資格を得ることができます。

食品衛生監視員は、国、都道府県、保健所、検疫所などに配置され、食品衛生上注意を必要とする加工食品や添加物の製造、加工、飲食に使用する器具、施設などの監視、指導、検査を行います。必要な科目の単位を修得した者には、「食品衛生監視員になることができる資格（これを任用資格という）が得られます。」食品衛生監視員（公務員）採用試験の受験資格が与えられます。

■ 管理栄養士国家試験 受験資格

管理栄養士は、栄養士と同様に個人の健康の保持増進のための栄養の指導・給食施設等における栄養改善上必要な指導等を行うことを業務とします。それに加え、高度な専門知識や技術を用いた、傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導も行います。官公庁、保健所、教育委員会、病院、学校、工場、事業所、福祉施設、スポーツ施設等において栄養指導者として、また大学、研究所、食品会社における研究員として活躍します。

管理栄養士になるためには、厚生労働大臣から管理栄養士養成施設として指定認可された学校（修業年限４年）で所定の単位数を取得した後、毎年１回実施される「管理栄養士国家試験」に合格しなければなりません。国家試験に合格した者が、管理栄養士免許証の交付を申請すると厚生労働大臣名で管理栄養士登録証が交付されます。

■ 栄養士資格

栄養士は栄養の指導や給食施設の食事の提供などを業務とし、学校、工場、事業所、福祉施設、スポーツ施設等において栄養指導者として、また大学、研究所、食品会社における研究員として活躍するほか、生活改良普及員として活躍することもできます。栄養士免許証は、厚生労働大臣から栄養士養成施設として指定認可された学校に入学し、その課程を履修して卒業した後、各都道府県に申請した者に、都道府県知事名で免許証が交付されます。

POINT

Web履修登録の際に、履修申請画面にある「資格入力」から取得を希望する資格をすべて登録してください。
（詳しくは、ガイダンス時にポータルにて配信するWeb履修登録マニュアルを参照のこと）

教職課程

1 概要

教職課程は、中学校・高等学校（19 年度入学生まで　国語・英語）（保健）、高等学校（18 年度入学生まで　情報）、養護、栄養の教員免許状（以下「教員免許」という）を取得するために設けられた教員養成の課程です。教職課程の学生は、教科に関する知識や技術を学ぶとともに、教員としての基礎的力量や資質を多様な体験学習や教育実習を通して身につけます。

2 資質と力量形成のために

教師に求められるのは、教職に関する専門的な知識以外にも幅広く豊かな教養と優れた人格です。

特に近年は、情報化時代に対応できる情報メディアの活用や情報処理能力、国際理解や福祉を含めた心の豊かさ、さらに環境問題への関心・認識などが求められています。したがって、教員免許状取得に必要な科目だけを履修するのではなく、時代の要請を見据えて積極的に科目を履修し、教師としての資質の向上と力量形成に励むことが望まれます。

3 取得要件

教員免許状取得を希望する学生は、教育職員免許法施行規則に定める各科目区分から所定の単位を修得しなければなりません。履修方法および卒業単位への算入は入学年度によって異なるので、次頁以降を熟読し間違いのないように履修してください。

【教員免許状取得のための基礎資格と最低修得単位数】

免許状の取得には、以下の基礎資格と単位修得が必要ですが、教育職員免許法に定める単位数（下表の法定最低修得単位数）と、本学における最低修得単位数は異なります。本学において定められた開設科目と単位をすべて修得しなければ、大学の一括申請により卒業と同時に免許状を取得することはできません。

（2019年度以降入学生）
《中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状》

免許状の種類	基礎資格	法定最低修得単位数					
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目
中学校一種	学士の学位を有すること	28 単位	10 単位	10 単位	7 単位	4 単位	8 単位
高等学校一種		24 単位	10 単位	8 単位	5 単位	12 単位	8 単位

中学校の免許状を取得するためには、社会福祉施設等における 7 日間以上の介護等の体験が必要

《養護教諭一種免許状》

免許状の種類	基礎資格	法定最低修得単位数					
		養護に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目
養護教諭一種	学士の学位を有すること	28 単位	8 単位	6 単位	7 単位	7 単位	8 単位

《栄養教諭一種免許状・二種免許状》

免許状の種類	基礎資格	法定最低修得単位数					
		栄養に係る教育に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に定める科目
栄養教諭一種	学士の学位を有すること、かつ、栄養士法第二条第三項の規定により管理栄養士の免許を受けていること又は同法第五条の三第四号の規定により指定された管理栄養士養成施設の課程を修了し、同法第二条第一項の規定により栄養士の免許を受けていること	4単位	8単位	6単位	4単位	—	8単位
栄養教諭二種	短期大学士の学位を有すること及び栄養士法第二条第一項の規定により栄養士の免許を受けていること	2単位	5単位	3単位	4単位	—	8単位

（2018年度以前入学生）
《中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状》

免許状の種類	基礎資格	法定最低修得単位数			
		教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に定める科目
中学校一種	学士の学位を有すること	20単位	31単位	8単位	8単位
高等学校一種		20単位	23単位	16単位	8単位

中学校の免許状を取得するためには、社会福祉施設等における7日間以上の介護等の体験が必要

《養護教諭一種免許状》

免許状の種類	基礎資格	法定最低修得単位数			
		養護に関する科目	教職に関する科目	養護又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に定める科目
養護教諭一種	学士の学位を有すること	28単位	21単位	7単位	8単位

《栄養教諭一種免許状・二種免許状》

免許状の種類	基礎資格	法定最低修得単位数			
		栄養に係る教育に関する科目	教職に関する科目	栄養に係る教育又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に定める科目
栄養教諭一種	学士の学位を有すること、かつ、栄養士法第二条第三項の規定により管理栄養士の免許を受けていること又は同法第五条の三第四号の規定により指定された管理栄養士養成施設の課程を修了し、同法第二条第一項の規定により栄養士の免許を受けていること	4単位	18単位	—	8単位
栄養教諭二種	短期大学士の学位を有すること及び栄養士法第二条第一項の規定により栄養士の免許を受けていること	2単位	12単位	—	8単位

4 交付

教員免許状は、教育職員免許法に則り、各都道府県教育委員会へ交付を申請し授与されるものです。申請方法として、大学が窓口になり、取りまとめて手続きを行う「一括申請」と、自分で申請を行う「個人申請」があります。一括申請の手続きは、卒業年次の 11 月頃にガイダンスを行います。一括申請の手続きを行い、教員免許取得要件をすべて満たせば、卒業式時に教員免許状を交付します。一括申請の場合の授与権者は大阪府教育委員会となります。

5 必要な費用

教職課程を履修する場合は、教育実習費、介護等の体験費〔中学のみ〕、看護学臨床実習費〔養護のみ〕が必要となり、実施年次に徴収します。また、必要に応じて教材費等を徴収する場合があります。

教員免許状の申請時には、一免許種につき 3,600 円の申請料が必要となります。(2020 年現在)

6 教職課程ホームルーム

教職課程を履修する全学生を対象として、「教職課程ホームルーム」を開設します。教職課程ホームルームは、教員を目指す皆さんが共に学び成長し合う集団づくりと、教員採用試験に向けた基礎力の養成を目的に、教職実践研究センターが中心となって運営されます。

2021 年度は、授業期間中の毎週「水曜日 5 時限」が教職課程ホームルームの時間帯です。履修登録の必要はなく単位も付与されませんが、教職課程の履修者はこの時間帯は他の科目の履修登録をせずに、全員、必ずホームルームに出席してください。

各回の内容やスケジュールはホームルームやメーリングリスト等で通知されますので、確認してください。

◎初回ホームルームの詳細は、ポータル等で通知されます。

7「教職基礎演習」「教職特別演習」について

2017 年度より、キャリア形成科目として「教職基礎演習」、「教職特別演習」が設置されました。

「教職基礎演習」においては、既存の教職科目に加え、子どもたちの思考力・判断力・表現力等を育成する実践的指導力を教職志望学生たちに身に付けさせるため、具体的な教育課題に取り組みます。

「教職特別演習」は教科ごとに開講され、教員としての前提条件である教科専門の基礎力を鍛えるとともに、必要に応じて教員としての実践力・応用力の補完に努めます。

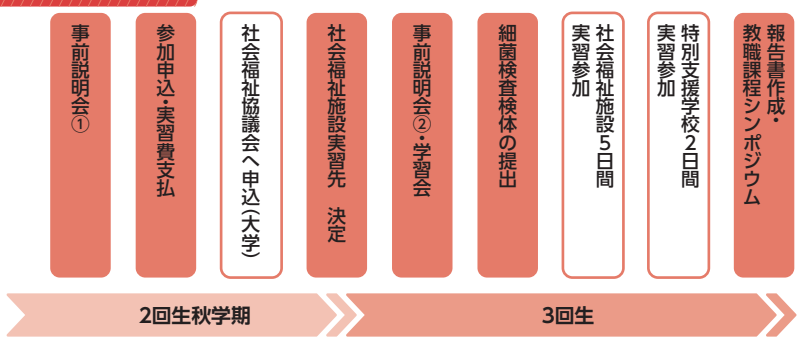
「教職基礎演習」、「教職特別演習」は、2・3 回生配当で開講され、修得単位は卒業要件に含まれます。教職課程の必修科目ではありませんが、実践的指導力を有する教員を養成するために設置されたものであり、その趣旨を理解し、積極的に履修してください。

8 介護等の体験《中学校教諭一種免許状〔国語(19・18年度生)・英語(19・18年度生)・保健)》

「介護等の体験」の単位認定はありませんが、教員免許状取得のために義務付けられているものです。内容は 7 日間を下らない範囲において、特別支援学校および社会福祉施設で、体験先の人々との交流や介護の補助など、幅広い体験を行います。さらに、大学で行う「介護等の体験」に際しての事前指導を受けなければなりません。

「介護等の体験」は 3 回生で行いますが、参加要件を満たさない場合は、4 回生で行います。参加要件は、各教科の項目を確認してください。看護師や理学療法士など、特定の資格を持している学生は「介護等の体験」が免除されます。詳細は教学課の窓口で確認してください。

介護等の体験参加の流れ



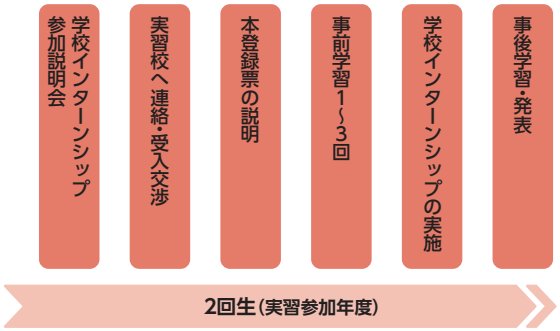
9 学校インターンシップ

2回生配当科目「学校インターンシップ」は、教職課程の学生が、小学校、中学校、高等学校、児童福祉施設などの学校現場において教育活動や校務、部活動などに関する支援や補助業務など学校における諸活動を通し、学校をよりいっそう理解するために設けられた学習機会です。主として教科指導が中心となりがちな教育実習とは異なり、学校インターンシップは広く学校の活動を学びます。

「学校現場のことや先生の仕事をもっと知りたい」「子どもたちと一緒に活動したい」という気持ちを持ち、学生がこれからの教員に求められる資質を理解し、自らの教員としての適格性を把握するための機会として、積極的に履修をしてください。

「学校インターンシップ」について、詳しくは教職課程ホームルームで説明を行います。説明会実施についてはポータル等で確認をしてください。

学校インターンシップの流れ



10 教育実習

3回生配当科目「養護実習」、4回生配当科目「教育実習」は、大学での「教育実習」の授業科目と小・中・高等学校で主として5月頃から実施される「教育実習」を修了することにより単位が与えられます。

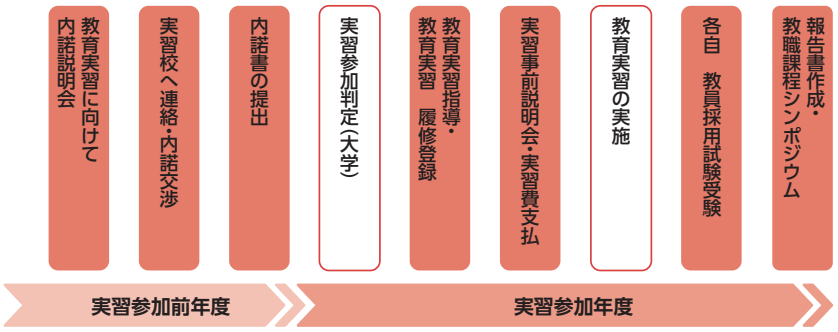
出身校での実習に当たっては、実習参加の前年度に出身校で内諾を得ておく必要があります。地域（豊中市、京都市、神戸市、尼崎市、姫路市、名古屋市などの公立学校）によっては教育委員会が実習校を指定しますので、注意してください。

教育実習の参加については、各免許種における要件を満たすとともに、教員採用試験（含　私立学校）の受験を原則とします。

また、各免許種の参加要件を満たし、中央教育審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する（2005年10月）」が言及する優れた下記のような教師の条件も考慮しますので、平素の学習活動等の様子によっては、学内会議の審議により「教育実習」の履修を認めないことがあります。

① 教職に対する強い情熱（教職に対する使命感、子どもに対する愛情等）
② 教育の専門家として確かな力量（職務遂行能力、子ども理解力、集団指導の力、授業づくりの力等）
③ 総合的な人間力（常識と教養、礼儀作法をはじめ対人関係能力、協働する力、責任感、自己統制力等）
④ 授業や本教職課程が企画するプログラム等に取組む態度（私語・居眠り・無断欠席の厳禁、積極的で真摯な態度等）

教育実習参加の流れ



POINT

卒業年次生で教員免許状取得予定者は11月に開催（予定）の一括申請説明会に必ず出席してください。

11 教育実習・介護等の体験・看護学臨床実習の際の感染症抗体検査確認について

本学では、「教育実習」、「介護等の体験」、「看護学臨床実習」に際し、教育実習校や介護等の体験先、病院内における感染を防止することを目的とし、参加予定の学生全員に感染症抗体検査の受診と、「感染症に対する免疫がある」または「ワクチンを接種した」という確認書類の提出を義務づけています。

抗体検査と、抗体がない場合のワクチン接種は、各自実費負担となります。感染症の検査項目（麻疹、風疹、水痘、ムンプス等）や検査方法、提出期限等の詳細については、授業および説明会でお知らせします。

POINT

各実習もしくは介護等の体験参加前年度の1月（予定）に開催する「抗体検査についての説明会」に必ず出席してください。

12 「教職実践演習」について

「教職実践演習」は、教職課程の他の科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものです。履修時期は 4 年次の秋学期に設定されています。学生はこの科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待されています。

・「教職実践演習」の履修要件

「教職実践演習」履修の前年度までに「教育実習」「養護実習」の履修要件を充足していること。つまり、「教職実践演習」を履修する同じ年度に「教育実習」を修了見込みである（または修了している）こと。

なお、履修開始の時点で条件を満たしている場合でも、「教育実習」が不合格となった場合は、「教職実践演習」の単位は認められません。

・履修カルテについて

「履修カルテ」は、教員免許状取得に必要な科目の履修を始めてから 4 回生秋学期の「教職実践演習」の授業を受けるまでの間に、各自で「履修カルテ」を作成しなければなりません。

履修カルテは教職について学習し体験した内容の理解をよりいっそう深めるとともに、「教職実践演習」の授業においてそれまでの学習や体験を振り返りながら、今後どのような学習が必要なのかを自分で考えるための手がかりにしてもらうためのものです。

「教職実践演習」の履修には、履修カルテの作成および提出が必須であり、授業開始までに準備が整わない場合、授業を履修することができません。

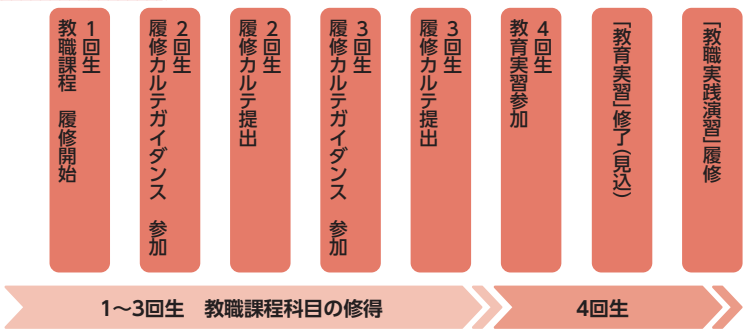
・履修カルテ作成方法について

履修カルテは 2 年次以降の秋学期において教職課程履修者に配布されます。各年次の授業終了時において、必要な資質能力の指標 29 項目について、5 段階の「自己評価」を行い、設定された期日までに教学課まで必ず提出してください。自己評価は当該時点における自分に対する評価なので、自分にしっかりと向き合って率直に評価をすることが重要です。

「教職を目指す上で課題と考えている事項」については、各年次における課題を明記してください。「教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況」については、実習等の種類及び行った時期を明記してください。

詳しい作成方法については、秋学期に説明会を実施しますので、教職課程履修者は必ず出席をしてください。

「教職実践演習」履修までの流れ



⓭ 教育職員免許法改正に伴う移行措置について（2018年度以前入学生）

教育職員免許法の改正により、2019 年度入学生から大きく教職課程のカリキュラムが変更となります。

2018 年度以前入学生については、卒業までに教員免許状の取得に必要な単位を修得した場合、現行の教員職員免許法施行規則が適用となります。しかし、卒業までに教員免許状の取得に必要な単位を修得できなかった場合、教育職員免許法（新法 2019 年施行）が適用されることとなり、改正後のカリキュラムで必要となる単位を追加で修得することが必要となります。その場合は教職実践研究センターまたは教学課に相談に来てください。

⓮ 教員免許更新制について

教員免許更新制により、教員免許状に 10 年間の有効期間が付き、有効期間を更新するため、2 年間で 30 時間の免許状更新講習を受講、修了することが必要となります。詳細については、文部科学省ホームページの「教員免許更新制」ページにて確認してください。

⓯ 小学校教諭（一種）免許状取得プログラムについて

神戸親和女子大学との協定に基づいて、神戸親和女子大学通信教育課程を利用することにより、小学校の教員免許を取得できるプログラムを導入しています。このプログラムを利用することにより、小学校教員を希望する学生は、所定の科目・単位を修得することにより中学校または高等学校教員免許と小学校教員免許を同時に取得することができます。つまり、本学卒業時に中・高の教員免許（または中・高どちらかの免許）に加えて小学校教諭（一種）免許も取得することができ、卒業後の進路選択の幅が大きく広がりました。（ただし、小学校免許のみを本プログラムによって取得することはできません。）

・プログラム概要

中学校・高等学校教員免許状取得予定者を対象とし、神戸親和女子大学通信教育部の科目等履修生として所定の科目・単位を修得することにより、本学教職課程において取得できる「中学校・高等学校教諭一種免許」に加えて「小学校教諭一種免許」の取得が目指せます。（中学校・高等学校いずれか一方の免許取得のみでも可能）

本プログラムは、中学校・高等学校教員免許取得を前提としたものであり、小学校教員免許のみの取得はできません。

本プログラム（大学間提携）での科目等履修生には、特別に「小学校教育実習」の履修が認められます。（一般の科目等履修生では認められません。）

小学校教諭一種免許状を取得するには 3 年間が必要です。したがって、このプログラムを履修することができるのは原則として 2 回生からとなります。1 回生終了時に、成績等の審査によって意欲のある者を選考します。

小学校教諭一種免許状を取得するためには、67 単位が必要ですが、本学で修得した中学校・高等学校教員免許取得に係る単位の一部が充当されますので、神戸親和女子大学通信教育課程で取得する単位数は 45 単位となります。

このプログラムの履修のためには、別途、神戸親和女子大学への登録諸費（3 年間で 40 ～ 46 万円）が必要になります。

・出願資格

以下の①～③の全ての条件を満たす者

① 本学教職課程（中・高）を履修する 2 回生以上
② 小学校教諭を強く志望する者
③ 本学の定めた推薦要件を満たした者

[注意事項]

中学校・高等学校教員免許状に加え、小学校一種免許状取得を目指したい学生は、1 回生秋学期に実施される説明会に必ず出席すること。

中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状 国語 取得課程

■リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科　19年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等 科目区分	各科目に含める必要事項	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
①教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	208002	※教育学概論	2	必修		
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	1	208001	※教職入門	2	必修		
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	1	208005	※教育制度論	2	必修		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	1	208004	※教育心理学	2	必修		
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	208050	※特別支援教育	2	必修		
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	208026	※教育課程論	2	必修		
②道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	3	208014	※道徳教育の指導法	2	必修		
	・総合的な学習の時間の指導法	3	208051	※総合的な学習の時間の指導法	2	必修		
	・特別活動の指導法	3	208015	※特別活動の指導法	2	必修		
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	208016	※教育方法・技術論	2	必修		
	・生徒指導の理論及び方法	2	208017	※生徒指導論	2	必修		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	3	208018	※教育相談	2	必修		
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	3	208052	※進路指導論	2	必修		
③教育実践に関する科目	・教育実習	4	208045	※教育実習指導	1	必修		
		4	208046	※教育実習A	4	必修		
	・教職実践演習	4	208023	※教職実践演習（中・高）	2	必修		
④教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	・国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1	125024	日本語学概論A	2	必修	L専門	
		1	125025	日本語学概論B	2	必修	L専門	
		2	125038	日本語表現技法研究A	2	必修	L専門	
		2	125039	日本語表現技法研究B	2	必修	L専門	
	・国文学（国文学史を含む。）	1	125026	日本文学概論A	2	必修	L専門	
		2	125027	日本文学概論B	2	必修	L専門	
		2	125005	日本古典文学史	2	必修	L専門	
		2	125006	日本近代文学史	2	必修	L専門	
		1	125030	◆古典文学講読A	2	選必	L専門	◆印から
		2	125031	◆古典文学講読B	2	選必	L専門	2科目4単位以上
		2	125045	◆古典文学作品研究A	2	選必	L専門	修得すること
		3	125046	◆古典文学作品研究B	2	選必	L専門	
		1	125034	◇近代文学講読A	2	選必	L専門	◇印から
		2	125035	◇近代文学講読B	2	選必	L専門	2科目4単位以上
		2	125047	◇近代文学作品研究A	2	選必	L専門	修得すること
		3	125048	◇近代文学作品研究B	2	選必	L専門	
	・漢文学	2	125019	漢文学概論	2	必修	L専門	
		2	125040	漢文学講読A	2	必修	L専門	
		2	125041	漢文学講読B	2	必修	L専門	
	・書道（書写を中心とする。）	2	125042	書道および書道史A	2	必修	L専門	
		2	125043	書道および書道史B	2	必修	L専門	
	・各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	2	208027	※国語科教育法Ⅰ	2	必修		
		2	208028	※国語科教育法Ⅱ	2	必修		
		3	125052	国語科教育法Ⅲ	2	必修	L専門	
		3	125053	国語科教育法Ⅳ	2	必修	L専門	
大学が独自に設定する科目		2	201806	学校インターンシップ	2	選択	共通	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数		
	①教育の基礎的理解に関する科目	必修6科目12単位
	②道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	必修7科目14単位
	③教育実践に関する科目	必修3科目7単位
	④教科及び教科の指導法に関する科目	必修13科目26単位、選択必修4科目8単位、合わせて17科目34単位
	大学が独自に設定する科目	「大学が独自に設定する科目」又は上記①～④の科目区分で法定最低修得単位数（中免55単位、高免47単位）を超えて履修した単位を合わせて、中免4単位、高免12単位以上
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	必修5科目6単位、選択必修2科目2単位、合わせて7科目8単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　19・18年度入学生共通

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	201201	日本国憲法	2	必修	共通	
	1	201214	法学	2	選択	共通	
体　育	1	201603	健康スポーツ学Ａ	1	必修	共通	
	1	201604	健康スポーツ学Ｂ	1	必修	共通	
情報機器の操作	1	203002	情報機器の操作Ａ	1	必修	共通	
	1	203004	情報機器の操作Ｂ	1	必修	共通	
外国語コミュニケーション	1	202060	総合英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	2 科目 2 単位以上修得すること ただし、中高一種（英語）の場合は、▲印 2 科目 4 単位必修
	1	202061	総合英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202062	総合英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202063	総合英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202064	総合英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202065	総合英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202066	総合英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202067	総合英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202068	総合英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202069	総合英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202070	総合英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202071	総合英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	202072	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202073	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202074	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202075	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202076	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202077	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202078	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202079	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202080	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202081	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202082	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202083	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	304001	▲ Intensive Practical English A1	2	必修	S 専門	
	1	304002	▲ Intensive Practical English A2	2	必修	S 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　19 年度入学生

○「介護等の体験」の参加要件

1・2 回生における教職に関する科目の単位のうち、所定の科目の未修得単位が 2 単位以下であること。

○「教育実習」について

・実施方法

中学校での実習 3 週間、もしくは高等学校 2 週間と帝塚山学院小学校 1 週間

・参加要件

① 教育の基礎的理解に関する科目

② 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

教育実習参加の前年度末の時点で、①・②の所定科目の未修得単位が計 2 単位以下であること。ただし、1 回生配当科目の全ての単位を修得済みであり、かつ、2・3 回生配当科目を全て履修済みであること。

④ 教科及び教科の指導法に関する科目

教育実習参加の前年度末の時点で、各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）の単位を修得済みであり、所定科目の未修得単位が 4 単位以下であること。

○ 教科に関する履修科目の補強について

教科に関する学力を充実させるために、履修が望ましい科目を設定しています。教職課程履修者は是非修得するようにしてください。

・履修を強く勧める科目

「リベラルアーツ入門Ⅱ（日本文学・文化）」「日本の近代文学」「日本の古典文学」
「古典文学講読A」「古典文学講読B」「古典文学作品研究A」「古典文学作品研究B」「近代文学講読A」「近代文学講読B」
「近代文学作品研究A」「近代文学作品研究B」「日本文学特講A」「日本文学特講B」「日本児童文学講読」

・履修を勧める科目

「日本の児童文学」「比較文学」「日本文化史A」「日本文化史B」「フィールドスタディーズ（日本文学・文化）」

中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状 国語 取得課程

■リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科　18年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等 区分	科目	各科目に含める必要事項	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	1	208001	※教職入門	2	必修		
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	208002	※教育学概論	2	選必		1科目2単位以上修得すること
			1	208003	※学校と教育の歴史	2	選必		
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む）	2	208004	※教育心理学	2	必修		
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	2	208005	※教育制度論	2	必修		
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	2	208026	※教育課程論	2	必修		
		・各教科の指導法	2	208027	※国語科教育法Ⅰ	2	必修		
			2	208028	※国語科教育法Ⅱ	2	必修		
			3	208029	※国語科教育法研究Ⅰ	2	必修		
			3	208030	※国語科教育法研究Ⅱ	2	必修		
		・道徳の指導法	3	208014	※道徳教育の指導法	2	必修		
		・特別活動の指導法	3	208015	※特別活動の指導法	2	必修		
		・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	208016	※教育方法・技術論	2	必修		
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	2	208017	※生徒指導論	2	必修		進路指導を含む
		・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	3	208018	※教育相談	2	必修		
	教育実習		4	208045	※教育実習指導	1	必修		
			4	208046	※教育実習A	4	必修		
	教職実践演習		4	208023	※教職実践演習（中・高）	2	必修		
教科に関する科目	国　語　学 （音声言語及び文章表現に関するものを含む）		1	125024	日本語学概論A	2	必修	L専門	
			1	125025	日本語学概論B	2	必修	L専門	
			2	125038	日本語表現技法研究A	2	必修	L専門	
			2	125039	日本語表現技法研究B	2	必修	L専門	
	国　文　学 （国文学史を含む）		1	125026	日本文学概論A	2	必修	L専門	
			2	125027	日本文学概論B	2	必修	L専門	
			2	125005	日本古典文学史	2	必修	L専門	
			2	125006	日本近代文学史	2	必修	L専門	
			1	125030	◆古典文学講読A	2	選必	L専門	◆印から2科目4単位以上修得すること
			2	125031	◆古典文学講読B	2	選必	L専門	
			2	125045	◆古典文学作品研究A	2	選必	L専門	
			3	125046	◆古典文学作品研究B	2	選必	L専門	
			1	125034	◇近代文学講読A	2	選必	L専門	◇印から2科目4単位以上修得すること
			2	125035	◇近代文学講読B	2	選必	L専門	
			2	125047	◇近代文学作品研究A	2	選必	L専門	
			3	125048	◇近代文学作品研究B	2	選必	L専門	
	漢　文　学		2	125019	漢文学概論	2	必修	L専門	
			2	125040	漢文学講読A	2	必修	L専門	
			2	125041	漢文学講読B	2	必修	L専門	
	書　道 （書写を中心とする）		2	125042	書道および書道史A	2	必修	L専門	
			2	125043	書道および書道史B	2	必修	L専門	
教科又は教職に関する科目	教科又は教職に関する科目		2	201806	学校インターンシップ	2	選択	共通	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目			教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	教職に関する科目	必修16科目33単位、選択必修1科目2単位、合わせて17科目35単位
	教科に関する科目	必修13科目26単位、選択必修4科目8単位、合わせて17科目34単位
	教科又は教職に関する科目	「教科又は教職に関する科目」又は法定最低修得単位（中免51単位、高免43単位）を超えて修得した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、中免8単位以上、高免16単位以上
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	必修5科目6単位、選択必修2科目2単位、合わせて7科目8単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　19・18年度入学生共通

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	201201	日本国憲法	2	必修	共通	
	1	201214	法学	2	選択	共通	
体　育	1	201603	健康スポーツ学Ａ	1	必修	共通	
	1	201604	健康スポーツ学Ｂ	1	必修	共通	
情報機器の操作	1	203002	情報機器の操作Ａ	1	必修	共通	
	1	203004	情報機器の操作Ｂ	1	必修	共通	
外国語コミュニケーション	1	202060	総合英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	2 科目 2 単位以上修得すること ただし、中高一種（英語）の場合は、▲印 2 科目 4 単位必修
	1	202061	総合英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202062	総合英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202063	総合英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202064	総合英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202065	総合英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202066	総合英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202067	総合英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202068	総合英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202069	総合英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202070	総合英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202071	総合英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	202072	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202073	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202074	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202075	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202076	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202077	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202078	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202079	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202080	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202081	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202082	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202083	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	304001	▲ Intensive Practical English A1	2	必修	S 専門	
	1	304002	▲ Intensive Practical English A2	2	必修	S 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　18 年度入学生

○「介護等の体験」の参加要件

1・2 回生における教職に関する科目の単位のうち、所定の科目の未修得単位が 2 単位以下であること。

○「教育実習」について

・実施方法

中学校での実習 3 週間、もしくは高等学校 2 週間と帝塚山学院小学校 1 週間

・参加要件

① 教職に関する科目について、「教育実習指導」、「教育実習」、「教職実践演習（中・高）」を除き、教育実習参加の前年度末の時点で、所定科目の未修得単位が 2 単位以下であること。ただし、1 回生配当科目の全てと、2 回生配当「国語科教育法Ⅰ・Ⅱ」、3 回生配当「国語科教育法研究Ⅰ・Ⅱ」を修得済みであり、かつ、2・3 回生配当科目を全て履修済みであること。

② 教科に関する科目について、教育実習参加の前年度末の時点で、所定科目の未修得単位が 4 単位以下であること。

○ 教科に関する履修科目の補強について

教科に関する学力を充実させるために、履修が望ましい科目を設定しています。教職課程履修者は是非修得するようにしてください。

・履修を強く勧める科目

「リベラルアーツ入門Ⅱ（日本文学・文化）」「日本の近代文学」「日本の古典文学」
「古典文学講読A」「古典文学講読B」「古典文学作品研究A」「古典文学作品研究B」「近代文学講読A」「近代文学講読B」
「近代文学作品研究A」「近代文学作品研究B」「日本文学特講A」「日本文学特講B」「日本児童文学講読」

・履修を勧める科目

「日本の児童文学」「比較文学」「日本文化史A」「日本文化史B」「フィールドスタディーズ（日本文学・文化）」

中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状 英語 取得課程

■人間科学部 キャリア英語学科　19年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等		配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
科目区分	各科目に含める必要事項							
①教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	208002	※教育学概論	2	必修		
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	1	208001	※教職入門	2	必修		
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	1	208005	※教育制度論	2	必修		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	1	208004	※教育心理学	2	必修		
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	208050	※特別支援教育	2	必修		
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	208026	※教育課程論	2	必修		
②道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	3	208014	※道徳教育の指導法	2	必修		
	・総合的な学習の時間の指導法	3	208051	※総合的な学習の時間の指導法	2	必修		
	・特別活動の指導法	3	208015	※特別活動の指導法	2	必修		
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	208016	※教育方法・技術論	2	必修		
	・生徒指導の理論及び方法	2	208017	※生徒指導論	2	必修		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	3	208018	※教育相談	2	必修		
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	3	208052	※進路指導論	2	必修		
③教育実践に関する科目	・教育実習	4	208045	※教育実習指導	1	必修		
		4	208046	※教育実習A	4	必修		
	・教職実践演習	4	208023	※教職実践演習（中・高）	2	必修		
④教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	・英語学	2	305103	英語学基礎	2	必修	S専門	
		2	305104	英語学応用	2	必修	S専門	
	・英語文学	2	305117	英語文学概論A	2	必修	S専門	
		2	305118	英語文学概論B	2	必修	S専門	
		3	305119	英語文学作品講読A	2	必修	S専門	
		3	305120	英語文学作品講読B	2	必修	S専門	
	・英語コミュニケーション	1	304003	Intensive Practical English B1	2	必修	S専門	
		1	304004	Intensive Practical English B2	2	必修	S専門	
		1	304006	Intensive Practical English D	1	必修	S専門	
		2	304007	Introduction to Career English A1	2	必修	S専門	
		2	304008	Introduction to Career English A2	2	必修	S専門	
		2	304009	Introduction to Career English B1	2	必修	S専門	
		2	304010	Introduction to Career English B2	2	必修	S専門	
		2	304011	Introduction to Career English C	1	必修	S専門	
	・異文化理解	2	305105	異文化理解論（英語圏）A	2	必修	S専門	
		2	305106	異文化理解論（英語圏）B	2	選択	S専門	
	・各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	2	208031	※英語科教育法Ⅰ	2	必修		
		2	208032	※英語科教育法Ⅱ	2	必修		
		3	305121	英語科教育法Ⅲ	2	必修	S専門	
		3	305122	英語科教育法Ⅳ	2	必修	S専門	
大学が独自に設定する科目		2	201806	学校インターンシップ	2	選択	共通	
		3	305109	英語教育学研究	2	選択	S専門	
		3	305110	英語能力測定・評価論	2	選択	S専門	
		3	305111	早期英語教育論	2	選択	S専門	
		3	305112	英語カリキュラム・教材研究	2	選択	S専門	
		4	305113	英語教育実践論	2	選択	S専門	
		2	305114	ICTと英語教育	2	選択	S専門	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	①教育の基礎的理解に関する科目	必修6科目12単位
	②道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	必修7科目14単位
	③教育実践に関する科目	必修3科目7単位
	④教科及び教科の指導法に関する科目	必修15科目28単位
	大学が独自に設定する科目	「大学が独自に設定する科目」又は上記①～④の科目区分で法定最低修得単位数（中免55単位、高免47単位）を超えて履修した単位を合わせて、中免4単位、高免12単位以上
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	必修5科目6単位、選択必修2科目2単位、合わせて7科目8単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　19・18年度入学生共通

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	201201	日本国憲法	2	必修	共通	
	1	201214	法学	2	選択	共通	
体　育	1	201603	健康スポーツ学Ａ	1	必修	共通	
	1	201604	健康スポーツ学Ｂ	1	必修	共通	
情報機器の操作	1	203002	情報機器の操作Ａ	1	必修	共通	
	1	203004	情報機器の操作Ｂ	1	必修	共通	
外国語コミュニケーション	1	202060	総合英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	2 科目 2 単位以上修得すること ただし、中高一種（英語）の場合は、▲印 2 科目 4 単位必修
	1	202061	総合英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202062	総合英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202063	総合英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202064	総合英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202065	総合英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202066	総合英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202067	総合英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202068	総合英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202069	総合英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202070	総合英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202071	総合英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	202072	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202073	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202074	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202075	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202076	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202077	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202078	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202079	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202080	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202081	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202082	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202083	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	304001	▲ Intensive Practical English A1	2	必修	S 専門	
	1	304002	▲ Intensive Practical English A2	2	必修	S 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　19 年度入学生

○「介護等の体験」の参加要件

1・2 回生における教職に関する科目の単位のうち、所定の科目の未修得単位が 2 単位以下であること。

○「教育実習」について

・実施方法

中学校での実習 3 週間、もしくは高等学校 2 週間と帝塚山学院小学校 1 週間

・参加要件

① 教育の基礎的理解に関する科目

② 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

教育実習参加の前年度末の時点で、①・②の所定科目の未修得単位が計 2 単位以下であること。ただし、1 回生配当科目の全ての単位を修得済みであり、かつ、2・3 回生配当科目を全て履修済みであること。

④ 教科及び教科の指導法に関する科目

教育実習参加の前年度末の時点で、各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）の単位を修得済みであり、所定科目の未修得単位が 4 単位以下であること。

中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状 英語 取得課程

■人間科学部 キャリア英語学科　18年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等 区分	科目	各科目に含める必要事項	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	1	208001	※教職入門	2	必修		
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	208002	※教育学概論	2	選必		1科目2単位以上修得すること
			1	208003	※学校と教育の歴史	2	選必		
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む）	2	208004	※教育心理学	2	必修		
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	2	208005	※教育制度論	2	必修		
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	2	208026	※教育課程論	2	必修		
		・各教科の指導法	2	208031	※英語科教育法Ⅰ	2	必修		
			2	208032	※英語科教育法Ⅱ	2	必修		
			3	208033	※英語科教育法研究Ⅰ	2	必修		
			3	208034	※英語科教育法研究Ⅱ	2	必修		
		・道徳の指導法	3	208014	※道徳教育の指導法	2	必修		
		・特別活動の指導法	3	208015	※特別活動の指導法	2	必修		
		・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	208016	※教育方法・技術論	2	必修		
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	2	208017	※生徒指導論	2	必修		進路指導を含む
		・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	3	208018	※教育相談	2	必修		
	教育実習		4	208045	※教育実習指導	1	必修		
			4	208046	※教育実習 A	4	必修		
	教職実践演習		4	208023	※教職実践演習（中・高）	2	必修		
教科に関する科目	英語学		2	305103	英語学基礎	2	必修	S 専門	
			2	305104	英語学応用	2	必修	S 専門	
	英米文学		2	305101	イギリス文学史	2	必修	S 専門	
			2	305102	アメリカ文学史	2	必修	S 専門	
			3	305107	イギリス文学特講	2	必修	S 専門	
			3	305108	アメリカ文学特講	2	必修	S 専門	
	英語コミュニケーション		1	304003	Intensive Practical English B1	2	必修	S 専門	
			1	304004	Intensive Practical English B2	2	必修	S 専門	
			1	304006	Intensive Practical English D	1	必修	S 専門	
			2	304007	Introduction to Career English A1	2	必修	S 専門	
			2	304008	Introduction to Career English A2	2	必修	S 専門	
			2	304009	Introduction to Career English B1	2	必修	S 専門	
			2	304010	Introduction to Career English B2	2	必修	S 専門	
			2	304011	Introduction to Career English C	1	必修	S 専門	
	異文化理解		2	305105	異文化理解論（英語圏）A	2	必修	S 専門	
			2	305106	異文化理解論（英語圏）B	2	選択	S 専門	
教科又は教職に関する科目	教科又は教職に関する科目		3	305109	英語教育学研究	2	選択	S 専門	
			3	305110	英語能力測定・評価論	2	選択	S 専門	
			3	305111	早期英語教育論	2	選択	S 専門	
			3	305112	英語カリキュラム・教材研究	2	選択	S 専門	
			4	305113	英語教育実践論	2	選択	S 専門	
			2	305114	ICT と英語教育	2	選択	S 専門	
			3	305014	English Presentation	2	選択	S 専門	
			3	305015	English Discussion	2	選択	S 専門	
			2	201806	学校インターンシップ	2	選択	共通	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目			教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	教職に関する科目	必修16科目33単位、選択必修1科目2単位、合わせて17科目35単位
	教科に関する科目	必修15科目28単位
	教科又は教職に関する科目	「教科又は教職に関する科目」の選択科目又は35単位を超えて修得した「教職に関する科目」若しくは28単位を超えて修得した「教科に関する科目」より合わせて8単位以上
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	必修7科目10単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　19・18年度入学生共通

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	201201	日本国憲法	2	必修	共通	
	1	201214	法学	2	選択	共通	
体　育	1	201603	健康スポーツ学Ａ	1	必修	共通	
	1	201604	健康スポーツ学Ｂ	1	必修	共通	
情報機器の操作	1	203002	情報機器の操作Ａ	1	必修	共通	
	1	203004	情報機器の操作Ｂ	1	必修	共通	
外国語コミュニケーション	1	202060	総合英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	2 科目 2 単位以上修得すること ただし、中高一種（英語）の場合は、▲印 2 科目 4 単位必修
	1	202061	総合英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202062	総合英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202063	総合英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202064	総合英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202065	総合英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202066	総合英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202067	総合英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202068	総合英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202069	総合英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202070	総合英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202071	総合英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	202072	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202073	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202074	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202075	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202076	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202077	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202078	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202079	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202080	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202081	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202082	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202083	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	304001	▲ Intensive Practical English A1	2	必修	S 専門	
	1	304002	▲ Intensive Practical English A2	2	必修	S 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　18 年度入学生

○ **「介護等の体験」の参加要件**

1・2 回生における教職に関する科目の単位のうち、所定の科目の未修得単位が 2 単位以下であること。

○ **「教育実習」について**

・実施方法

中学校での実習 3 週間、もしくは高等学校 2 週間と帝塚山学院小学校 1 週間

・参加要件

① 教職に関する科目について、「教育実習指導」、「教育実習」、「教職実践演習」を除き、教育実習参加の前年度末の時点で、所定科目の未修得単位が 2 単位以下であること。ただし、1回生配当科目の全てと、2 回生配当「英語科教育法Ⅰ、Ⅱ」、3 回生配当「英語科教育法研究Ⅰ、Ⅱ」の単位を修得済みであり、かつ、2・3 回生配当科目を全て履修済みであること。

② 教科に関する科目について、教育実習参加の前年度末の時点で、所定科目の未修得単位が 4 単位以下であること。

高等学校教諭一種免許状 情報 取得課程

■人間科学部 情報メディア学科　18年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等 区分	科目	各科目に含める必要事項	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	1	208001	※教職入門	2	必修		
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	208002	※教育学概論	2	選必		1科目2単位以上修得すること
			1	208003	※学校と教育の歴史	2	選必		
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む）	2	208004	※教育心理学	2	必修		
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	2	208005	※教育制度論	2	必修		
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	2	208026	※教育課程論	2	必修		
		・各教科の指導法	2	208035	※情報科教育法Ⅰ	2	必修		
			2	208036	※情報科教育法Ⅱ	2	必修		
			3	208037	※情報科教育法研究Ⅰ	2	必修		
			3	208038	※情報科教育法研究Ⅱ	2	必修		
		・特別活動の指導法	3	208015	※特別活動の指導法	2	必修		
		・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	208016	※教育方法・技術論	2	必修		
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	2	208017	※生徒指導論	2	必修		進路指導を含む
		・進路指導の理論及び方法							
		・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	3	208018	※教育相談	2	必修		
	教育実習		4	208045	※教育実習指導	1	必修		
			4	208047	※教育実習Ｂ	2	必修		
	教職実践演習		4	208023	※教職実践演習（中・高）	2	必修		
教科に関する科目	情報社会及び情報倫理		1	311201	情報メディア概論	2	必修	C専門	
			2	312324	情報社会論	2	必修	C専門	
			1	311202	情報倫理	2	必修	C専門	
			1	201202	著作権概論	2	選択	共通	
	コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）		1	311211	情報科学基礎	2	必修	C専門	
			2	312334	コンピュータ概論	2	必修	C専門	
			2	312317	プログラミング	2	必修	C専門	
			2	312335	プログラミング実習	2	選択	C専門	
			2	312501	アルゴリズム入門	2	必修	C専門	
			3	312525	ソフトウエア設計法	2	選択	C専門	
	情報システム（実習を含む。）		2	312506	データベース概論	2	必修	C専門	
			2	312337	ウェブシステム論	2	必修	C専門	
			3	312540	Web プログラミング実習	2	選択	C専門	
			3	312505	システム構築法	2	選択	C専門	
			2	312417	情報と問題解決	2	選択	C専門	
			3	312530	モデル化とシミュレーション	2	選択	C専門	
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）		2	312318	コンピュータネットワーク論Ａ	2	必修	C専門	
			2	312319	コンピュータネットワーク論Ｂ	2	必修	C専門	
			2	312336	ネットワーキング実習	2	選択	C専門	
			3	312541	ネットワーキング応用実習	2	選択	C専門	
	マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）		1	311205	デジタルデザイン基礎	2	必修	C専門	
			2	312339	デジタル映像実習	2	必修	C専門	
			3	312527	マルチメディア制作法Ａ	2	選択	C専門	
			3	312528	マルチメディア制作法Ｂ	2	選択	C専門	
			1	311204	コンテンツ制作基礎	2	必修	C専門	
			2	312306	映像制作基礎	2	選択	C専門	
			2	312307	音楽・サウンド基礎	2	選択	C専門	
			3	312542	Web デザイン実習	2	選択	C専門	
	情報と職業		2	312418	情報と職業	2	必修	C専門	
			2	312401	ビジネス分析技法	2	選択	C専門	
教科又は教職に関する科目	教科又は教職に関する科目		2	315337	生涯学習概論Ⅰ	2	選択	H専門	
			2	315338	生涯学習概論Ⅱ	2	選択	H専門	
			2	311209	情報調査法	2	選択	C専門	
			2	311206	放送メディア概論Ａ	2	選択	C専門	
			2	311208	広告メディア概論	2	選択	C専門	
			3	312520	視聴覚メディア論	2	選択	C専門	
			2	201806	学校インターンシップ	2	選択	共通	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目			教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	教職に関する科目	必修15科目29単位、選択必修1科目2単位、合わせて16科目31単位
	教科に関する科目	必修15科目30単位、選択2科目4単位、合わせて17科目34単位
	教科又は教職に関する科目	「教科又は教職に関する科目」又は法定最低修得単位（43単位）を超えて修得した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、16単位以上
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	必修7科目8単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　19・18年度入学生共通

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	201201	日本国憲法	2	必修	共通	
	1	201214	法学	2	選択	共通	
体　育	1	201603	健康スポーツ学Ａ	1	必修	共通	
	1	201604	健康スポーツ学Ｂ	1	必修	共通	
情報機器の操作	1	203002	情報機器の操作Ａ	1	必修	共通	
	1	203004	情報機器の操作Ｂ	1	必修	共通	
外国語コミュニケーション	1	202060	総合英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	2 科目 2 単位以上修得すること ただし、中高一種（英語）の場合は、▲印 2 科目 4 単位必修
	1	202061	総合英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202062	総合英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202063	総合英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202064	総合英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202065	総合英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202066	総合英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202067	総合英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202068	総合英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202069	総合英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202070	総合英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202071	総合英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	202072	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202073	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202074	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202075	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202076	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202077	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202078	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202079	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202080	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202081	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202082	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202083	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	304001	▲ Intensive Practical English A1	2	必修	S 専門	
	1	304002	▲ Intensive Practical English A2	2	必修	S 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　18 年度入学生

○ **「教育実習」について**

・実施方法

高等学校での実習 2 週間

・参加要件

① 教職に関する科目について、「教育実習指導」「教育実習」「教職実践演習」を除き、教育実習参加の前年度末の時点で、所定科目の未修得単位が 2 単位以下であること。ただし、1 回生配当科目の全てと、2 回生配当「情報科教育法Ⅰ、Ⅱ」、3 回生配当「情報科教育法研究Ⅰ、Ⅱ」を修得済みであり、かつ、2・3 回生配当科目を全て履修済みであること。

② 教科に関する科目について、教育実習参加の前年度末の時点で、所定科目の未修得単位が 4 単位以下であること。

中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状 保健 取得課程

■人間科学部 心理学科　21・20年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等		配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
科目区分	各科目に含める必要事項							
①教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	256001	教育学概論	2	必修	基盤	
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	1	256000	教職入門	2	必修	基盤	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	1	258000	※教育制度論	2	必修		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	1	258001	※教育心理学	2	必修		
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	258002	※特別支援教育	2	必修		
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	258003	※教育課程論	2	必修		
②道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	3	258004	※道徳教育の指導法	2	必修		
	・総合的な学習の時間の指導法	3	258005	※総合的な学習の時間の指導法	2	必修		
	・特別活動の指導法	3	258006	※特別活動の指導法	2	必修		
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	258007	※教育方法・技術論	2	必修		
	・生徒指導の理論及び方法	2	258008	※生徒指導論	2	必修		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	3	258009	※教育相談	2	必修		
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	3	258010	※進路指導論	2	必修		
③教育実践に関する科目	・教育実習	4	258011	※教育実習指導	1	必修		
		4	258012	※教育実習Ａ	4	必修		
	・教職実践演習	4	258015	※教職実践演習（中・高）	2	必修		
④教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	・「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	1	350008	解剖生理学Ⅰ	2	必修	H専門	
		1	350009	解剖生理学Ⅱ	2	必修	H専門	
		2	351200	栄養学	2	必修	H専門	
		1	350010	微生物学	2	必修	H専門	
	・衛生学・公衆衛生学	2	351202	衛生学	2	必修	H専門	
		1	350012	公衆衛生学（予防医学を含む）	2	必修	H専門	
	・学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	1	350006	学校保健	2	必修	H専門	
		2	351208	小児保健Ⅰ	2	必修	H専門	
		2	351209	小児保健Ⅱ	2	必修	H専門	
		2	357505	救急処置	2	必修	H専門	
		3	352200	精神保健	2	必修	H専門	
	・各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	2	258018	※保健科教育法Ⅰ	2	必修		
		2	258019	※保健科教育法Ⅱ	2	必修		
		3	352203	保健科教育法Ⅲ	2	必修	H専門	
		3	352204	保健科教育法Ⅳ	2	必修	H専門	
大学が独自に設定する科目		3	352023	健康相談活動（カウンセリング論）	2	必修	H専門	
		2	256006	学校インターンシップ	2	選択	基盤	
		2	351009	発達心理学Ⅰ	2	選択	H専門	
		2	351010	発達心理学Ⅱ	2	選択	H専門	
		2	351004	心理的アセスメント	4	選択	H専門	
		3	352008	思春期青年期心理学	2	選択	H専門	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	①教育の基礎的理解に関する科目	必修6科目12単位
	②道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	必修7科目14単位
	③教育実践に関する科目	必修3科目7単位
	④教科及び教科の指導法に関する科目	必修15科目30単位
	大学が独自に設定する科目	必修1科目2単位と合わせて「大学が独自に設定する科目」又は上記①～④の科目区分で法定最低修得単位数（中免55単位、高免47単位）を超えて履修した単位を合わせて、中免4単位、高免12単位以上
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	必修5科目6単位、選択必修2科目2単位、合わせて7科目8単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　21・20年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	251200	日本の憲法	2	必修	基盤	
体　育	1	251406	健康とスポーツA	1	必修	基盤	
	1	251407	健康とスポーツB	1	必修	基盤	
情報機器の操作	1	253001	情報機器の操作A	1	必修	基盤	
	1	253003	情報機器の操作B	1	必修	基盤	
外国語コミュニケーション	1	252000	総合英語Ⅰ 1	1	選必	基盤	2 科目 2 単位以上修得すること
	1	252001	総合英語Ⅰ 2	1	選必	基盤	
	2	252002	総合英語Ⅱ 1	1	選必	基盤	
	2	252003	総合英語Ⅱ 2	1	選必	基盤	
	1	252004	実践コミュニケーション英語Ⅰ 1	1	選必	基盤	
	1	252005	実践コミュニケーション英語Ⅰ 2	1	選必	基盤	
	2	252006	実践コミュニケーション英語Ⅱ 1	1	選必	基盤	
	2	252007	実践コミュニケーション英語Ⅱ 2	1	選必	基盤	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　21・20 年度入学生

○「介護等の体験」の参加要

1・2 回生における教職に関する科目の単位のうち、所定の科目の未修得単位が 2 単位以下であること。

○「教育実習」について

・実施方法

中学校での実習 3 週間、もしくは中学校 2 週間と高等学校 2 週間

・参加要件

① 教育の基礎的理解に関する科目

② 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

教育実習参加の前年度末の時点で、①・②の所定科目の未修得単位が計 2 単位以下であること。ただし、1 回生配当科目の全ての単位を修得済みであり、かつ、2・3 回生配当科目を全て履修済みであること。

④ 教科及び教科の指導法に関する科目

教育実習参加の前年度末の時点で、各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）の単位を修得済みであり、所定科目の未修得単位が 4 単位以下であること。

○ 教科に関する履修科目の補強について

「養護教諭一種免許状取得課程」の頁を参照のこと。

養護教諭一種免許状 取得課程

■人間科学部 心理学科　21・20年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等 科目区分	各科目に含める必要事項	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
①教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	256001	教育学概論	2	必修	基盤	
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	1	256000	教職入門	2	必修	基盤	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	1	258000	※教育制度論	2	必修		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	1	258001	※教育心理学	2	必修		
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	258002	※特別支援教育	2	必修		
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	258003	※教育課程論	2	必修		
②道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	3	258004	※道徳教育の指導法	2	必修		
		3	258005	※総合的な学習の時間の指導法	2	必修		
		3	258006	※特別活動の指導法	2	必修		
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	258007	※教育方法・技術論	2	必修		
	・生徒指導の理論及び方法	2	258008	※生徒指導論	2	必修		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	3	258009	※教育相談	2	必修		
③教育実践に関する科目	・養護実習	3	258011	※教育実習指導	1	必修		
		3	258013	※養護実習	4	必修		
	・教職実践演習	4	258017	※教職実践演習（養護教諭）	2	必修		
④養護に関する科目	・衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	2	351202	衛生学	2	必修	H専門	
		1	350012	公衆衛生学（予防医学を含む）	2	必修	H専門	
	・学校保健	1	350006	学校保健	2	必修	H専門	
	・養護概説	1	350007	養護概説	2	必修	H専門	
	・健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	3	352023	健康相談活動（カウンセリング論）	2	必修	H専門	
	・栄養学（食品学を含む。）	2	351200	栄養学	2	必修	H専門	
		2	351201	食品学	2	必修	H専門	
	・解剖学・生理学	1	350008	解剖生理学Ⅰ	2	必修	H専門	
		1	350009	解剖生理学Ⅱ	2	必修	H専門	
	・「微生物学、免疫学、薬理概論」	1	350010	微生物学	2	選必	H専門	1科目2単位以上修得すること
		2	351203	薬理学	2	選必	H専門	
	・精神保健	3	352200	精神保健	2	必修	H専門	
	・看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	1	350011	看護学概論	2	必修	H専門	
		2	351207	基礎看護技術	2	必修	H専門	
		2	351204	看護学Ⅰ	2	必修	H専門	
		2	351205	看護学Ⅱ	2	選択	H専門	
		3	352201	看護学Ⅲ	2	選択	H専門	
		3	352202	看護学臨床実習	4	必修	H専門	
		2	357505	救急処置	2	必修	H専門	
大学が独自に設定する科目		2	256006	学校インターンシップ	2	選択	基盤	
		2	351009	発達心理学Ⅰ	2	選択	H専門	
		2	351010	発達心理学Ⅱ	2	選択	H専門	
		2	351004	心理的アセスメント	4	選択	H専門	
		3	352008	思春期青年期心理学	2	選択	H専門	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	①教育の基礎的理解に関する科目	必修6科目12単位
	②道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	必修6科目12単位
	③教育実践に関する科目	必修3科目7単位
	④養護に関する科目	必修15科目32単位、選択必修1科目2単位、合わせて16科目34単位
	大学が独自に設定する科目	「大学が独自に設定する科目」又は上記①～④の科目区分で法定最低修得単位数（49単位）を超えて履修した単位を合わせて7単位以上
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	必修5科目6単位、選択必修2科目2単位、合わせて7科目8単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　21・20年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	251200	日本の憲法	2	必修	基盤	
体　育	1	251406	健康とスポーツA	1	必修	基盤	
	1	251407	健康とスポーツB	1	必修	基盤	
情報機器の操作	1	253001	情報機器の操作A	1	必修	基盤	
	1	253003	情報機器の操作B	1	必修	基盤	
外国語コミュニケーション	1	252000	総合英語Ⅰ 1	1	選必	基盤	2 科目 2 単位以上修得すること
	1	252001	総合英語Ⅰ 2	1	選必	基盤	
	2	252002	総合英語Ⅱ 1	1	選必	基盤	
	2	252003	総合英語Ⅱ 2	1	選必	基盤	
	1	252004	実践コミュニケーション英語Ⅰ 1	1	選必	基盤	
	1	252005	実践コミュニケーション英語Ⅰ 2	1	選必	基盤	
	2	252006	実践コミュニケーション英語Ⅱ 1	1	選必	基盤	
	2	252007	実践コミュニケーション英語Ⅱ 2	1	選必	基盤	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　21・20 年度入学生

○「看護学臨床実習」について〔養護〕

・実施方法

「看護学臨床実習」では、医療現場の実際を見学し専門知識を習得すると共に、これまでの知識・技術を、実習を通してより確実なものにする。臨床実習期間は原則 2 週間とし、臨地実習前に事前学習・実習準備を、実習後に実習のまとめ・事後学習を行い知識・技能の定着を図る。

・参加要件

「看護学臨床実習」に参加する直前の学期末までに、「看護学概論」「基礎看護技術」「看護学Ⅰ」「救急処置」「解剖生理学Ⅰ」「解剖生理学Ⅱ」の科目の単位をすべて修得済みであること。

※「看護学概論」の単位が未修得の場合、「基礎看護技術」の履修は認められない。

[注意事項]

「養護実習」の参加直前の学期末までに「看護学臨床実習」の単位が未修得の場合、「養護実習」の履修は認められない。

○「養護実習」について

・実施方法

小学校での実習 3 週間、もしくは中学校での実習 3 週間

・参加要件

① 教育の基礎的理解に関する科目

② 道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目

養護実習参加の前年度末の時点で、①の 1 回生配当科目の全ての単位を修得済みであり、かつ、①・②の 2・3 回生春学期までの配当科目全てを履修し、未修得単位が 2 単位以下であること。

④ 養護に関する科目

養護実習参加直前の学期末の時点で、所定科目の未修得単位が 4 単位以下であり、「看護学臨床実習」は修得済みであること。なお、養護に関する科目については、「看護学臨床実習」の履修要件についても参照すること。

○ 教科に関する履修科目の補強について

教科に関する学力を充実させるために、下記の「履修が望ましい科目」を設定しています。教職課程履修者は是非修得するようにしてください。

・履修を強く勧める科目

「教育・学校心理学」「臨床心理学概論Ⅰ」「臨床心理学概論Ⅱ」「心理演習（臨床心理学演習）」
「精神疾患とその治療」「心理学的支援法A」「心理学的支援法B」

・履修を勧める科目

「健康・医療心理学Ⅰ」「健康・医療心理学Ⅱ」「心理学研究法」「感情・人格心理学Ⅰ」「感情・人格心理学Ⅱ」
「家族心理学Ⅰ」「家族心理学Ⅱ」「司法・犯罪心理学」「異常心理学」

中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状 保健 取得課程

■人間科学部 心理学科　19年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等 科目区分	各科目に含める必要事項	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
①教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	208002	※教育学概論	2	必修		
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	1	208001	※教職入門	2	必修		
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	1	208005	※教育制度論	2	必修		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	1	208004	※教育心理学	2	必修		
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	208050	※特別支援教育	2	必修		
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	208026	※教育課程論	2	必修		
②道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	3	208014	※道徳教育の指導法	2	必修		
	・総合的な学習の時間の指導法	3	208051	※総合的な学習の時間の指導法	2	必修		
	・特別活動の指導法	3	208015	※特別活動の指導法	2	必修		
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	208016	※教育方法・技術論	2	必修		
	・生徒指導の理論及び方法	2	208017	※生徒指導論	2	必修		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	3	208018	※教育相談	2	必修		
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	3	208052	※進路指導論	2	必修		
③教育実践に関する科目	・教育実習	4	208045	※教育実習指導	1	必修		
		4	208046	※教育実習Ａ	4	必修		
	・教職実践演習	4	208023	※教職実践演習（中・高）	2	必修		
④教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	・「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	1	315347	解剖生理学Ⅰ	2	必修	H 専門	
		1	315348	解剖生理学Ⅱ	2	必修	H 専門	
		2	315311	栄養学	2	必修	H 専門	
		1	315316	微生物学	2	必修	H 専門	
	・衛生学・公衆衛生学	2	315313	衛生学	2	必修	H 専門	
		1	315314	公衆衛生学（予防医学を含む）	2	必修	H 専門	
	・学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	1	315305	学校保健	2	必修	H 専門	
		2	315306	小児保健Ⅰ	2	必修	H 専門	
		2	315307	小児保健Ⅱ	2	必修	H 専門	
		2	315322	救急処置	2	必修	H 専門	該当クラスを履修すること
		3	315230	精神保健	2	必修	H 専門	
	・各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	2	208039	※保健科教育法Ⅰ	2	必修		
		2	208040	※保健科教育法Ⅱ	2	必修		
		3	315351	保健科教育法Ⅲ	2	必修	H 専門	
		3	315352	保健科教育法Ⅳ	2	必修	H 専門	
大学が独自に設定する科目		3	315303	健康相談活動（カウンセリング論）	2	必修	H 専門	
		2	201806	学校インターンシップ	2	選択	共通	
		2	314215	発達心理学Ⅰ	2	選択	H 専門	
		2	314216	発達心理学Ⅱ	2	選択	H 専門	
		2	314212	心理的アセスメント	4	選択	H 専門	
		3	315218	思春期青年期心理学	2	選択	H 専門	
教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目		教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	①教育の基礎的理解に関する科目	必修 6 科目 12 単位
	②道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	必修 7 科目 14 単位
	③教育実践に関する科目	必修 3 科目 7 単位
	④教科及び教科の指導法に関する科目	必修 15 科目 30 単位
	大学が独自に設定する科目	必修 1 科目 2 単位と合わせて「大学が独自に設定する科目」又は上記①～④の科目区分で法定最低修得単位数（中免 55 単位、高免 47 単位）を超えて履修した単位を合わせて、中免 4 単位、高免 12 単位以上
	教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目	必修 5 科目 6 単位、選択必修 2 科目 2 単位、合わせて 7 科目 8 単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　19・18年度入学生共通

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	201201	日本国憲法	2	必修	共通	
	1	201214	法学	2	選択	共通	
体　育	1	201603	健康スポーツ学Ａ	1	必修	共通	
	1	201604	健康スポーツ学Ｂ	1	必修	共通	
情報機器の操作	1	203002	情報機器の操作Ａ	1	必修	共通	
	1	203004	情報機器の操作Ｂ	1	必修	共通	
外国語コミュニケーション	1	202060	総合英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	2 科目 2 単位以上修得すること ただし、中高一種（英語）の場合は、▲印 2 科目 4 単位必修
	1	202061	総合英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202062	総合英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202063	総合英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202064	総合英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202065	総合英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202066	総合英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202067	総合英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202068	総合英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202069	総合英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202070	総合英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202071	総合英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	202072	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202073	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202074	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202075	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202076	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202077	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202078	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202079	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202080	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202081	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202082	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202083	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	304001	▲ Intensive Practical English A1	2	必修	S 専門	
	1	304002	▲ Intensive Practical English A2	2	必修	S 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　19 年度入学生

○「介護等の体験」の参加要件

1・2 回生における教職に関する科目の単位のうち、所定の科目の未修得単位が 2 単位以下であること。

○「教育実習」について

・実施方法

中学校での実習 3 週間、もしくは中学校 2 週間と高等学校 2 週間

・参加要件

① 教育の基礎的理解に関する科目

② 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

教育実習参加の前年度末の時点で、①・②の所定科目の未修得単位が計 2 単位以下であること。ただし、1 回生配当科目の全ての単位を修得済みであり、かつ、2・3 回生配当科目を全て履修済みであること。

④ 教科及び教科の指導法に関する科目

教育実習参加の前年度末の時点で、各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）の単位を修得済みであり、所定科目の未修得単位が 4 単位以下であること。

○ 教科に関する履修科目の補強について

「養護教諭一種免許状取得課程」の頁を参照のこと。

養護教諭一種免許状 取得課程

■人間科学部 心理学科　19年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等 科目区分	各科目に含める必要事項	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
①教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	208002	※教育学概論	2	必修		
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	1	208001	※教職入門	2	必修		
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	1	208005	※教育制度論	2	必修		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	1	208004	※教育心理学	2	必修		
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	208050	※特別支援教育	2	必修		
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	208026	※教育課程論	2	必修		
②道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	3	208014	※道徳教育の指導法	2	必修		
		3	208051	※総合的な学習の時間の指導法	2	必修		
		3	208015	※特別活動の指導法	2	必修		
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	208016	※教育方法・技術論	2	必修		
	・生徒指導の理論及び方法	2	208017	※生徒指導論	2	必修		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	3	208018	※教育相談	2	必修		
③教育実践に関する科目	・養護実習	3	208045	※教育実習指導	1	必修		
		3	208048	※養護実習	4	必修		
	・教職実践演習	4	208025	※教職実践演習（養護教諭）	2	必修		
④養護に関する科目	・衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	2	315313	衛生学	2	必修	H 専門	
		1	315314	公衆衛生学（予防医学を含む）	2	必修	H 専門	
	・学校保健	1	315305	学校保健	2	必修	H 専門	
	・養護概説	1	315310	養護概説	2	必修	H 専門	
	・健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	3	315303	健康相談活動（カウンセリング論）	2	必修	H 専門	
	・栄養学（食品学を含む。）	2	315311	栄養学	2	必修	H 専門	
		2	315312	食品学	2	必修	H 専門	
	・解剖学・生理学	1	315347	解剖生理学Ⅰ	2	必修	H 専門	
		1	315348	解剖生理学Ⅱ	2	必修	H 専門	
	・「微生物学、免疫学、薬理概論」	1	315316	微生物学	2	選必	H 専門	1 科目 2 単位以上修得すること
		2	315318	薬理学	2	選必	H 専門	
	・精神保健	3	315230	精神保健	2	必修	H 専門	
	・看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	1	314301	看護学概論	2	必修	H 専門	
		2	315350	基礎看護技術	2	必修	H 専門	
		2	315319	看護学Ⅰ	2	必修	H 専門	
		2	315320	看護学Ⅱ	2	選択	H 専門	
		3	315349	看護学Ⅲ	2	選択	H 専門	
		2	315321	看護学臨床実習	4	必修	H 専門	
		2	315322	救急処置	2	必修	H 専門	該当クラスを履修すること
大学が独自に設定する科目		2	201806	学校インターンシップ	2	選択	共通	
		2	314215	発達心理学Ⅰ	2	選択	H 専門	
		2	314216	発達心理学Ⅱ	2	選択	H 専門	
		2	314212	心理的アセスメント	4	選択	H 専門	
		3	315218	思春期青年期心理学	2	選択	H 専門	
教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目		教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	①教育の基礎的理解に関する科	必修 6 科目 12 単位
	②道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	必修 6 科目 12 単位
	③教育実践に関する科目	必修 3 科目 7 単位
	④養護に関する科目	必修 15 科目 32 単位、選択必修 1 科目 2 単位、合わせて 16 科目 34 単位
	大学が独自に設定する科目	「大学が独自に設定する科目」又は上記①～④の科目区分で法定最低修得単位数（49 単位）を超えて履修した単位を合わせて 7 単位以上
	教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目	必修 5 科目 6 単位、選択必修 2 科目 2 単位、合わせて 7 科目 8 単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　19・18年度入学生共通

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	201201	日本国憲法	2	必修	共通	
	1	201214	法学	2	選択	共通	
体　育	1	201603	健康スポーツ学Ａ	1	必修	共通	
	1	201604	健康スポーツ学Ｂ	1	必修	共通	
情報機器の操作	1	203002	情報機器の操作Ａ	1	必修	共通	
	1	203004	情報機器の操作Ｂ	1	必修	共通	
外国語コミュニケーション	1	202060	総合英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202061	総合英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202062	総合英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202063	総合英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202064	総合英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202065	総合英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202066	総合英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202067	総合英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202068	総合英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202069	総合英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	2 科目 2 単位以上修得すること ただし、中高一種（英語）の場合は、▲印 2 科目 4 単位必修
	2	202070	総合英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202071	総合英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	202072	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202073	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202074	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202075	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202076	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202077	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202078	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202079	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202080	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202081	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202082	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202083	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	304001	▲ Intensive Practical English A1	2	必修	S 専門	
	1	304002	▲ Intensive Practical English A2	2	必修	S 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　19年度入学生

○ **「看護学臨床実習」について〔養護〕**

- **実施方法**　「看護学臨床実習」では、医療現場の実際を見学し専門知識を習得すると共に、これまでの知識・技術を、実習を通してより確実なものにする。臨床実習期間は原則 2 週間とし、臨地実習前に事前学習・実習準備を、実習後に実習のまとめ・事後学習を行い知識・技能の定着を図る。
- **参加要件**　「看護学臨床実習」に参加する直前の学期末までに、「看護学概論」「基礎看護技術」「看護学Ⅰ」「救急処置」「解剖生理学Ⅰ」「解剖生理学Ⅱ」の科目の単位をすべて修得済みであること。
  ※「看護学概論」の単位が未修得の場合、「基礎看護技術」の履修は認められない。

［注意事項］「養護実習」の参加直前の学期末までに「看護学臨床実習」の単位が未修得の場合、「養護実習」の履修は認められない。

○ **「養護実習」について**

- **実施方法**　小学校での実習 3 週間、もしくは中学校での実習 3 週間
- **参加要件**

① 教育の基礎的理解に関する科目
② 道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目
養護実習参加の前年度末の時点で、①の 1 回生配当科目の全ての単位を修得済みであり、かつ、①・②の 2・3 回生春学期までの配当科目全てを履修し、未修得単位が 2 単位以下であること。
④ 養護に関する科目
養護実習参加直前の学期末の時点で、所定科目の未修得単位が 4 単位以下であり、「看護学臨床実習」は修得済みであること。なお、養護に関する科目については、「看護学臨床実習」の履修要件についても参照すること。

○ **教科に関する履修科目の補強について**　教科に関する学力を充実させるために、下記の「履修が望ましい科目」を設定しています。教職課程履修者は是非修得するようにしてください。

- **履修を強く勧める科目**　「教育・学校心理学」「臨床心理学概論Ⅰ」「臨床心理学概論Ⅱ」「心理演習（臨床心理学演習）」「精神疾患とその治療」「心理学的支援法A」「心理学的支援法B」
- **履修を勧める科目**　「健康・医療心理学Ⅰ」「健康・医療心理学Ⅱ」「心理学研究法」「感情・人格心理学Ⅰ」「感情・人格心理学Ⅱ」「家族心理学Ⅰ」「家族心理学Ⅱ」「司法・犯罪心理学」「異常心理学」「健康運動科学」

中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状 保健 取得課程

■人間科学部 心理学科　18年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等 区分	科目	各科目に含める必要事項	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	1	208001	※教職入門	2	必修		
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	208002	※教育学概論	2	選必		1科目2単位以上修得すること
			1	208003	※学校と教育の歴史	2	選必		
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む）	2	208004	※教育心理学	2	必修		
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事	2	208005	※教育制度論	2	必修		
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	2	208026	※教育課程論	2	必修		
		・各教科の指導法	2	208039	※保健科教育法Ⅰ	2	必修		
			2	208040	※保健科教育法Ⅱ	2	必修		
			3	208041	※保健科教育法研究Ⅰ	2	必修		
			3	208042	※保健科教育法研究Ⅱ	2	必修		
		・道徳の指導法	3	208014	※道徳教育の指導法	2	必修		
		・特別活動の指導法	3	208015	※特別活動の指導法	2	必修		
		・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	208016	※教育方法・技術論	2	必修		
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	2	208017	※生徒指導論	2	必修		進路指導を含む
		・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	3	208018	※教育相談	2	必修		
	教育実習		4	208045	※教育実習指導	1	必修		
			4	208046	※教育実習A	4	必修		
	教職実践演習		4	208023	※教職実践演習（中・高）	2	必修		
教科に関する科目	生理学、栄養学、微生物学、解剖学		1	315347	解剖生理学Ⅰ	2	必修	H専門	
			1	315348	解剖生理学Ⅱ	2	必修	H専門	
			2	315311	栄養学	2	必修	H専門	
			1	315316	微生物学	2	必修	H専門	
	衛生学及び公衆衛生学		2	315313	衛生学	2	必修	H専門	
			1	315314	公衆衛生学（予防医学を含む）	2	必修	H専門	
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）		1	315305	学校保健	2	必修	H専門	
			2	315306	小児保健Ⅰ	2	必修	H専門	
			2	315307	小児保健Ⅱ	2	必修	H専門	
			3	315322	救急処置	2	必修	H専門	該当クラスを履修すること
			3	315230	精神保健	2	必修	H専門	
養護又は教職に関する科目	教科又は教職に関する科目		3	315303	健康相談活動（カウンセリング論）	2	必修	H専門	
			2	201806	学校インターンシップ	2	選択	共通	
			2	314215	発達心理学Ⅰ	2	選択	H専門	
			2	314216	発達心理学Ⅱ	2	選択	H専門	
			2	314212	心理的アセスメント	4	選択	H専門	
			3	315218	思春期青年期心理学	2	選択	H専門	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目			教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・各科目に履修条件があるものは、シラバスに記載しているのでよく確認すること。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	教職に関する科目	必修16科目33単位、選択必修1科目2単位、合わせて17科目35単位
	教科に関する科目	必修11科目22単位
	教職の意義等に関する科目	「教科又は教職に関する科目」の必修・選択科目又は法定最低修得単位（中免51単位、高免43単位）を超えて修得した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、中免8単位以上、高免16単位以上
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	必修7科目8単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　19・18年度入学生共通

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	201201	日本国憲法	2	必修	共通	
	1	201214	法学	2	選択	共通	
体　育	1	201603	健康スポーツ学Ａ	1	必修	共通	
	1	201604	健康スポーツ学Ｂ	1	必修	共通	
情報機器の操作	1	203002	情報機器の操作Ａ	1	必修	共通	
	1	203004	情報機器の操作Ｂ	1	必修	共通	
外国語コミュニケーション	1	202060	総合英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	2 科目 2 単位以上修得すること ただし、中高一種（英語）の場合は、▲印 2 科目 4 単位必修
	1	202061	総合英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202062	総合英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202063	総合英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202064	総合英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202065	総合英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202066	総合英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202067	総合英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202068	総合英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202069	総合英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202070	総合英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202071	総合英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	202072	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202073	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202074	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202075	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202076	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202077	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202078	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202079	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202080	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202081	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202082	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202083	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	304001	▲ Intensive Practical English A1	2	必修	S 専門	
	1	304002	▲ Intensive Practical English A2	2	必修	S 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　18 年度入学生

○「介護等の体験」の参加要件

1・2 回生における教職に関する科目の単位のうち、所定の科目の未修得単位が 2 単位以下であること。

○「教育実習」について

・実施方法

中学校での実習 3 週間、もしくは中学校 2 週間と高等学校 2 週間

・参加要件

① 教職に関する科目

〔保健〕「教育実習指導」「教育実習」「教職実践演習」を除き、教育実習参加の前年度末の時点で、所定科目の未修得単位が 2 単位以下であること。ただし、1 回生配当科目の全てと、2 回生配当「保健科教育法Ⅰ、Ⅱ」、3 回生配当「保健科教育法研究Ⅰ、Ⅱ」の単位を修得済みであり、かつ、2・3 回生配当科目を全て履修済みであること。

② 教科に関する科目〔保健〕および養護に関する科目

教育実習参加の前年度末の時点で、所定科目の未修得単位が 4 単位以下であること。

○ 教科に関する履修科目の補強について

「養護教諭一種免許状取得課程」の頁を参照のこと。

養護教諭一種免許状 取得課程

■人間科学部 心理学科　18年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等 区分	科目	各科目に含める必要事項	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	1	208001	※教職入門	2	必修		
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	208002	※教育学概論	2	選必		1科目2単位以上修得すること
			1	208003	※学校と教育の歴史	2	選必		
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む）	2	208004	※教育心理学	2	必修		
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	2	208005	※教育制度論	2	必修		
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	2	208026	※教育課程論	2	必修		
		・道徳の指導法	3	208014	※道徳教育の指導法	2	必修		
		・特別活動の指導法	3	208015	※特別活動の指導法	2	必修		
		・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	208016	※教育方法・技術論	2	必修		
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	2	208017	※生徒指導論	2	必修		
		・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	3	208018	※教育相談	2	必修		
	教育実習		3	208045	※教育実習指導	1	必修		
			3	208048	※養護実習	4	必修		
	教職実践演習		4	208025	※教職実践演習（養護教諭）	2	必修		
養護に関する科目	衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）		2	315313	衛生学	2	必修	H専門	
			1	315314	公衆衛生学（予防医学を含む）	2	必修	H専門	
	学校保健		1	315305	学校保健	2	必修	H専門	
	養護概説		1	315310	養護概説	2	必修	H専門	
	健康相談活動の理論及び方法		3	315303	健康相談活動（カウンセリング論）	2	必修	H専門	
	栄養学（食品学を含む。）		2	315311	栄養学	2	必修	H専門	
			2	315312	食品学	2	必修	H専門	
	解剖学及び生理学		1	315347	解剖生理学Ⅰ	2	必修	H専門	
			1	315348	解剖生理学Ⅱ	2	必修	H専門	
	「微生物学、免疫学、薬理概論」		1	315316	微生物学	2	選択	H専門	1科目2単位以上修得すること
			2	315318	薬理学	2	選択	H専門	
	精神保健		3	315230	精神保健	2	必修	H専門	
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）		1	314301	看護学概論	2	必修	H専門	
			1	315350	基礎看護技術	2	必修	H専門	
			2	315319	看護学Ⅰ	2	必修	H専門	
			3	315320	看護学Ⅱ	2	選択	H専門	
			3	315349	看護学Ⅲ	2	選択	H専門	
			2	315321	看護学臨床実習	4	必修	H専門	
			3	315322	救急処置	2	必修	H専門	該当クラスを履修すること
養護又は教職に関する科目	養護又は教職に関する科目		2	201806	学校インターンシップ	2	選択	共通	
			2	314215	発達心理学Ⅰ	2	選択	H専門	
			2	314216	発達心理学Ⅱ	2	選択	H専門	
			2	314212	心理的アセスメント	4	選択	H専門	
			3	315218	思春期青年期心理学	2	選択	H専門	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目			教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目表参照						

・各科目に履修条件があるものは、シラバスに記載しているのでよく確認すること。
・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	教職に関する科目	必修12科目25単位、選択必修1科目2単位、合わせて13科目27単位
	養護に関する科目	必修15科目32単位、選択1科目2単位、合わせて16科目34単位
	養護又は教職に関する科目	「養護又は教職に関する科目」又は法定最低修得単位（49単位）を超えて修得した「養護に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、7単位以上
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	必修7科目8単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　19・18年度入学生共通

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	201201	日本国憲法	2	必修	共通	
	1	201214	法学	2	選択	共通	
体　育	1	201603	健康スポーツ学Ａ	1	必修	共通	
	1	201604	健康スポーツ学Ｂ	1	必修	共通	
情報機器の操作	1	203002	情報機器の操作Ａ	1	必修	共通	
	1	203004	情報機器の操作Ｂ	1	必修	共通	
外国語コミュニケーション	1	202060	総合英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202061	総合英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202062	総合英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202063	総合英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202064	総合英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202065	総合英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202066	総合英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202067	総合英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202068	総合英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202069	総合英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	2 科目 2 単位以上修得すること ただし、中高一種（英語）の場合は、▲印 2 科目 4 単位必修
	2	202070	総合英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202071	総合英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	202072	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202073	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202074	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202075	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202076	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202077	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202078	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202079	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202080	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202081	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202082	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202083	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	304001	▲ Intensive Practical English A1	2	必修	S 専門	
	1	304002	▲ Intensive Practical English A2	2	必修	S 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　18年度入学生

○「看護学臨床実習」について〔養護〕

- **実施方法**　「看護学臨床実習」では、医療現場の実際を見学し専門知識を習得すると共に、これまでの知識・技術を、実習を通してより確実なものにする。臨床実習期間は原則2週間とし、臨地実習前に事前学習・実習準備を、実習後に実習のまとめ・事後学習を行い知識・技能の定着を図る。
- **参加要件**　「看護学概論」の単位を修得していること。「基礎看護技術」「看護学Ⅰ」「解剖生理学Ⅰ」「解剖生理学Ⅱ」を履修または修得していること。「基礎看護技術」については1回生で単位が修得できなかった場合は再履修をしていること。

［注意事項］「養護実習」参加の前年度までに「看護学臨床実習」の単位が未修得の場合、「養護実習」の履修は認められないので、注意すること。

○「養護実習」について

- **実施方法**　小学校での実習 3 週間、もしくは中学校での実習 3 週間
- **参加要件**　① 教職に関する科目
  「教育実習指導」「養護実習」「教職実践演習」を除き、養護実習参加直前の学期末の時点で、所定科目の未修得単位が 2 単位以下であること。ただし、1 回生配当科目のすべての単位を修得済み、かつ、2・3 回生配当科目を全て履修済みまたは履修中であること。
  ② 教科に関する科目〔保健〕および養護に関する科目
  養護実習参加直前の学期末の時点で、所定科目の未修得単位が 4 単位以下であり、「看護学臨床実習」は修得済みであること。なお、養護に関する科目については、「看護学臨床実習」の履修要件についても参照すること。

○ 教科に関する履修科目の補強について　教科に関する学力を充実させるために、下記の「履修が望ましい科目」を設定しています。教職課程履修者は是非修得するようにしてください。

- **履修を強く勧める科目**　「教育・学校心理学」「臨床心理学概論Ⅰ」「臨床心理学概論Ⅱ」「心理演習（臨床心理学演習）」「精神疾患とその治療」「心理学的支援法A」「心理学的支援法B」
- **履修を勧める科目**　「健康・医療心理学Ⅰ」「健康・医療心理学Ⅱ」「心理学研究法」「感情・人格心理学Ⅰ」「感情・人格心理学Ⅱ」「家族心理学Ⅰ」「家族心理学Ⅱ」「司法・犯罪心理学」「異常心理学」「健康運動科学」

栄養教諭一種免許状取得課程［管理栄養士課程］
栄養教諭二種免許状取得課程［健康実践栄養士課程］

■人間科学部 食物栄養学科　21・20年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等		配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
科目区分	各科目に含める必要事項							
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	256001	教育学概論	2	必修	基盤	
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	1	256000	教職入門	2	必修	基盤	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	1	258000	※教育制度論	2	必修		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	1	258001	※教育心理学	2	必修		
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	258002	※特別支援教育	2	必修		
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	258003	※教育課程論	2	必修		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	3	258004	※道徳教育の指導法	2	必修		
		3	258005	※総合的な学習の時間の指導法	2	必修		
		3	258006	※特別活動の指導法	2	必修		
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	258007	※教育方法・技術論	2	必修		
	・生徒指導の理論及び方法	2	258008	※生徒指導論	2	必修		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	3	258009	※教育相談	2	必修		
教育実践に関する科目	・栄養教育実習	4	258011	※教育実習指導	1	必修		
		4	258014	※栄養教育実習	1	必修		
	・教職実践演習	4	258016	※教職実践演習（栄養教諭）	2	必修		
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 食生活に関する歴史的および文化的事項	3	356532	学校栄養教育論Ⅰ	2	必修	NP 専門	
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 食に関する指導の方法に関する事項	3	356533	学校栄養教育論Ⅱ	2	必修	NP 専門	
教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目		教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	教育の基礎的理解に関する科目	必修 6 科目 12 単位
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	必修 6 科目 12 単位
	教育実践に関する科目	必修 3 科目 4 単位
	栄養に係る教育に関する科目	必修 2 科目 4 単位
	教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目	必修 5 科目 6 単位、選択必修 2 科目 2 単位、合わせて 7 科目 8 単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　21・20年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	251200	日本の憲法	2	必修	基盤	
体　育	1	251406	健康とスポーツA	1	必修	基盤	
	1	251407	健康とスポーツB	1	必修	基盤	
情報機器の操作	1	253001	情報機器の操作A	1	必修	基盤	
	1	253003	情報機器の操作B	1	必修	基盤	
外国語コミュニケーション	1	252000	総合英語Ⅰ 1	1	選必	基盤	
	1	252001	総合英語Ⅰ 2	1	選必	基盤	
	2	252002	総合英語Ⅱ 1	1	選必	基盤	
	2	252003	総合英語Ⅱ 2	1	選必	基盤	2 科目 2 単位以上修得すること
	1	252004	実践コミュニケーション英語Ⅰ 1	1	選必	基盤	
	1	252005	実践コミュニケーション英語Ⅰ 2	1	選必	基盤	
	2	252006	実践コミュニケーション英語Ⅱ 1	1	選必	基盤	
	2	252007	実践コミュニケーション英語Ⅱ 2	1	選必	基盤	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　21・20年度入学生

○「栄養教育実習」について

・実施方法

小学校での実習 1 週間

・参加要件

① 教育の基礎的理解に関する科目

② 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

教育実習参加の前年度末の時点で、①・②の所定科目の未修得単位が計 2 単位以下であること。ただし、1 回生配当科目の全ての単位を修得済みであり、かつ、2・3 回生配当科目を全て履修済みであること。栄養に係る教育に関する科目については、教育実習参加の前年度末の時点で全科目を修得済みであること。

③ 栄養に係る教育に関する科目については、教育実習参加の前年度末の時点で全科目を修得済みであること。

栄養教諭一種免許状取得課程［管理栄養士課程］
栄養教諭二種免許状取得課程［健康実践栄養士課程］

■人間科学部 食物栄養学科　19年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等		配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
科目区分	各科目に含める必要事項							
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	208002	※教育学概論	2	必修		
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	1	208001	※教職入門	2	必修		
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	1	208005	※教育制度論	2	必修		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	1	208004	※教育心理学	2	必修		
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	208050	※特別支援教育	2	必修		
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	208026	※教育課程論	2	必修		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	3	208014	※道徳教育の指導法	2	必修		
		3	208051	※総合的な学習の時間の指導法	2	必修		
		3	208015	※特別活動の指導法	2	必修		
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	2	208016	※教育方法・技術論	2	必修		
	・生徒指導の理論及び方法	2	208017	※生徒指導論	2	必修		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	3	208018	※教育相談	2	必修		
教育実践に関する科目	・栄養教育実習	4	208045	※教育実習指導	1	必修		
		4	208049	※栄養教育実習	1	必修		
	・教職実践演習	4	208024	※教職実践演習（栄養教諭）	2	必修		
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 食生活に関する歴史的および文化的事項	3	317532	学校栄養教育論Ⅰ	2	必修	NP 専門	
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 食に関する指導の方法に関する事項	3	317533	学校栄養教育論Ⅱ	2	必修	NP 専門	
教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目		教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	教育の基礎的理解に関する科目	必修 6 科目 12 単位
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	必修 6 科目 12 単位
	教育実践に関する科目	必修 3 科目 4 単位
	栄養に係る教育に関する科目	必修 2 科目 4 単位
	教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目	必修 5 科目 6 単位、選択必修 2 科目 2 単位、合わせて 7 科目 8 単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　19・18年度入学生共通

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	201201	日本国憲法	2	必修	共通	
	1	201214	法学	2	選択	共通	
体　育	1	201603	健康スポーツ学Ａ	1	必修	共通	
	1	201604	健康スポーツ学Ｂ	1	必修	共通	
情報機器の操作	1	203002	情報機器の操作Ａ	1	必修	共通	
	1	203004	情報機器の操作Ｂ	1	必修	共通	
外国語コミュニケーション	1	202060	総合英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202061	総合英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202062	総合英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202063	総合英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202064	総合英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202065	総合英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202066	総合英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202067	総合英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202068	総合英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202069	総合英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	2 科目 2 単位以上修得すること ただし、中高一種（英語）の場合は、▲印 2 科目 4 単位必修
	2	202070	総合英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202071	総合英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	202072	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202073	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202074	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202075	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202076	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202077	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202078	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202079	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202080	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202081	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202082	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202083	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	304001	▲ Intensive Practical English A1	2	必修	S 専門	
	1	304002	▲ Intensive Practical English A2	2	必修	S 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　19年度入学生

○「栄養教育実習」について

・実施方法

小学校での実習 1 週間

・参加要件

① 教育の基礎的理解に関する科目

② 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

教育実習参加の前年度末の時点で、①・②の所定科目の未修得単位が計 2 単位以下であること。ただし、1 回生配当科目の全ての単位を修得済みであり、かつ、2・3 回生配当科目を全て履修済みであること。栄養に係る教育に関する科目については、教育実習参加の前年度末の時点で全科目を修得済みであること。

③ 栄養に係る教育に関する科目については、教育実習参加の前年度末の時点で全科目を修得済みであること。

栄養教諭一種免許状取得課程［管理栄養士課程］
栄養教諭二種免許状取得課程［健康実践栄養士課程］

■人間科学部 食物栄養学科　18年度入学生

免許法施行規則に定める科目区分等			配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
区分	科目	各科目に含める必要事項							
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	1	208001	※教職入門	2	必修		
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1	208002	※教育学概論	2	選必		1科目2単位以上修得すること
			1	208003	※学校と教育の歴史	2	選必		
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む）	2	208004	※教育心理学	2	必修		
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	2	208005	※教育制度論	2	必修		
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	2	208026	※教育課程論	2	必修		
		・道徳の指導法	3	208014	※道徳教育の指導法	2	必修		
		・特別活動の指導法	3	208015	※特別活動の指導法	2	必修		
		・教育の方法及び技術 （情報機器及び教材の活用を含む）	2	208016	※教育方法・技術論	2	必修		
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	2	208017	※生徒指導論	2	必修		
		・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	3	208018	※教育相談	2	必修		
	教育実習		4	208045	※教育実習指導	1	必修		
			4	208049	※栄養教育実習	1	必修		
	教職実践演習		4	208024	※教職実践演習（栄養教諭）	2	必修		
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 食生活に関する歴史的および文化的事項		3	317532	学校栄養教育論Ⅰ	2	必修	NP専門	
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 食に関する指導の方法に関する事項		3	317533	学校栄養教育論Ⅱ	2	必修	NP専門	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目			教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目表参照						

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	教職に関する科目	必修12科目22単位、選択必修1科目2単位、合わせて13科目24単位
	栄養に係る教育に関する科目	必修2科目4単位
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	必修7科目8単位

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

■全学部全学科　19・18年度入学生共通

免許法施行規則に定める科目区分等	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
日本国憲法	1	201201	日本国憲法	2	必修	共通	
	1	201214	法学	2	選択	共通	
体　育	1	201603	健康スポーツ学Ａ	1	必修	共通	
	1	201604	健康スポーツ学Ｂ	1	必修	共通	
情報機器の操作	1	203002	情報機器の操作Ａ	1	必修	共通	
	1	203004	情報機器の操作Ｂ	1	必修	共通	
外国語コミュニケーション	1	202060	総合英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202061	総合英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202062	総合英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202063	総合英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202064	総合英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202065	総合英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202066	総合英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202067	総合英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202068	総合英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202069	総合英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	2 科目 2 単位以上修得すること ただし、中高一種（英語）の場合は、▲印 2 科目 4 単位必修
	2	202070	総合英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202071	総合英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	202072	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202073	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202074	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202075	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ａ 2	1	選必	共通	
	1	202076	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 1	1	選必	共通	
	1	202077	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ａ 2	1	選必	共通	
	2	202078	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202079	実践コミュニケーション英語Ⅰ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202080	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202081	実践コミュニケーション英語Ⅱ Ｂ 2	1	選必	共通	
	2	202082	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 1	1	選必	共通	
	2	202083	実践コミュニケーション英語Ⅲ Ｂ 2	1	選必	共通	
	1	304001	▲ Intensive Practical English A1	2	必修	S 専門	
	1	304002	▲ Intensive Practical English A2	2	必修	S 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

〈実習参加要件〉　18年度入学生

○「栄養教育実習」について

・実施方法

小学校での実習 1 週間

・参加要件

① 教職に関する科目について、「教育実習指導」「栄養教育実習」「教職実践演習」を除き、教育実習参加の前年度末の時点で、所定科目の未修得単位が 2 単位以下であること。ただし、1 回生配当科目を全て修得済みであり、かつ、2・3 回生配当科目を全て履修済みであること。

② 栄養に係る教育に関する科目については、教育実習参加の前年度末の時点で全科目を修得済みであること。

学校図書館司書教諭課程

1 概要

学校図書館法では、小・中・高等学校に学校図書館を設け、そこに専門的職務を掌る司書教諭を置くことが定められています。司書教諭は、教諭として採用された者が学校内の役割としてその職務を担当し、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導等を行うなど、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担います。

2 履修条件

教職課程（中一種、高一種）を履修する者が、この課程を履修することができます。

3 取得要件

下記の単位を修得するとともに、小学校、中学校または高等学校の教育職員免許状を取得しなければなりません。また、学校図書館司書教諭の資格を取得するためには、所定の申請手続きを行わなければなりません。

・在学時に申請する場合は、以下の条件を満たした上で、4 回生 5 月頃に申請手続きを行う必要があります。
5 月中に教育実習に参加する学生は、その旨を 4 月中に教学課まで申し出てください。

申請条件

① 3 回生修了時に学校図書館司書教諭専門科目（5 科目 10 単位）を修得していること
② 教育職員免許状（中一種、または高一種）を取得見込みであること
③ 大学に 2 年以上在学し、62 単位以上修得していること

・卒業後に申請する場合は、以下の条件を満たした上で、卒業した年の 5 月頃に申請手続きを行う必要があります。
申請手続きについては、卒業式当日にお知らせします。

申請条件

① 卒業時に学校図書館司書教諭専門科目（5 科目 10 単位）を修得していること
② 教育職員免許状（中一種、または高一種）を有していること

4 交付

修了証書の交付を受けるため、文部科学省指定大学（他大学）へ申請書類を一括で提出します。提出した翌年の 3 月頃、文部科学省より修了証書が交付され、本学より申請者に修了証書を送付します。

・在学時に申請を行った場合、申請を行った翌年 3 月頃に修了証書を送付します。
ただし、教育職員免許状を取得できなかった場合は、資格として認められません。
・卒業後に申請を行った場合、申請を行った翌年 4 月頃に修了証書を送付します。

5 修了証書の効力

修了証書には、「学校の教諭の免許状を有する者についてその効力を生じる」という記載があります。このことは、本課程を修了し、修了証書を授与されたとしても、「教育職員免許状」を持っていなければ、意味のないものということを指します。本学で、この課程の履修にあたって、教職課程履修者であることを前提としているのはこのためです。

学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、本課程の修了をめざすと同時に、必ず教育職員免許状を取得してください。

学校図書館司書教諭専門科目

■リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科 19・18年度入学生
■人間科学部 キャリア英語学科・心理学科　19・18年度入学生
■人間科学部 情報メディア学科　18年度入学生

省令科目 科目名	単位	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
学校経営と学校図書館	2	2	208201	※学校経営と学校図書館	2	必修		
学習指導と学校図書館	2	2	208202	※学習指導と学校図書館	2	必修		
読書と豊かな人間性	2	2	208203	※読書と豊かな人間性	2	必修		
学校図書館メディアの構成	2	3	208204	※学校図書館メディアの構成	2	必修		
情報メディアの活用	2	3	208205	※情報メディアの活用	2	必修		

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修 5 科目 10 単位

図書館司書課程

1 概要

司書は、公共図書館で専門的業務に従事するために必要な、図書館法で定められた資格です。また、学校図書館、大学図書館、専門図書館などでも司書資格保持者が多く働いています。資料の収集、組織化、貸出、レファレンスサービスなど仕事の領域は広く、高度情報化時代の今日、デジタル資料・ネットワーク情報資源への対応やオンライン情報サービスの提供など、新たな資料・情報に適応した業務も急速に増大しつつあります。

【図書館の専門職員として勤務するには】

県立や市立など公立図書館に勤務するには、その設置自治体が行う地方公務員試験に合格しなければなりません。

2 取得要件

下記の単位を修得すること。

3 交付

取得要件を満たした者には、卒業時に図書館司書の資格認定証が授与されます。

図書館司書専門科目

■リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科　21・20年度入学生
■人間科学部 心理学科　21・20年度入学生

省令科目 科目名	単位	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
生涯学習概論	2	2	256301	生涯学習概論Ⅱ　①	2	必修	基盤	
図書館概論	2	1	256100	図書館概論	2	必修	基盤	
図書館制度・経営論	2	2	258100	※図書館制度・経営論	2	必修		
図書館情報技術論	2	2	258101	※図書館情報技術論	2	必修		
図書館サービス概論	2	1	258102	※図書館サービス概論	2	必修		
情報サービス論	2	2	258103	※情報サービス論	2	必修		
児童サービス論	2	2	258104	※児童サービス論	2	必修		
情報サービス演習	2	3	258105	※情報サービス演習Ⅰ	1	必修		
		3	258106	※情報サービス演習Ⅱ	1	必修		
図書館情報資源概論	2	1	256101	図書館情報資源概論	2	必修	基盤	
情報資源組織論	2	3	258107	※情報資源組織論	2	必修		
情報資源組織演習	2	4	258108	※情報資源組織論演習Ⅰ	1	必修		
		4	258109	※情報資源組織論演習Ⅱ	1	必修		
図書館基礎特論	1	2	228110	※図書館基礎特論	2	選択		2科目4単位以上修得すること
図書館サービス特論	1	2	258111	※図書館サービス特論	2	選択		
図書館情報資源特論	1	2	258112	※図書館情報資源特論	2	選択		
図書・図書館史	1	1	258113	※図書・図書館史	2	選択		
図書館施設論	1	2	258114	※図書館施設論	2	選択		
図書館総合演習	1	3	258115	※図書館総合演習	1	選択		
図書館実習	1	4	258116	※図書館実習	1	選択		

・①「生涯学習概論Ⅱ」は、博物館学芸員専門科目・社会教育主事任用資格に関する授業科目の「生涯学習概論 Ⅱ」としても認定する。
・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修 13 科目 22 単位、選択 2 科目 4 単位以上、合計 15 科目 26 単位以上

図書館司書専門科目

■リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科　19・18年度入学生
■人間科学部 キャリア英語学科・情報メディア学科・心理学科　19・18年度入学生

省令科目 科目名	単位	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
生涯学習概論	2	2	315338	生涯学習概論Ⅱ　①	2	必修	H専門	
図書館概論	2	1	201220	図書館概論	2	必修	共通	
図書館制度・経営論	2	2	208418	※図書館制度・経営論	2	必修		
図書館情報技術論	2	2	208419	※図書館情報技術論	2	必修		
図書館サービス概論	2	1	208420	※図書館サービス概論	2	必修		
情報サービス論	2	2	208421	※情報サービス論	2	必修		
児童サービス論	2	2	208406	※児童サービス論	2	必修		
情報サービス演習	2	3	208422	※情報サービス演習Ⅰ	1	必修		
		3	208423	※情報サービス演習Ⅱ	1	必修		
図書館情報資源概論	2	1	201221	図書館情報資源概論	2	必修	共通	
情報資源組織論	2	3	208425	※情報資源組織論	2	必修		
情報資源組織演習	2	4	208426	※情報資源組織論演習Ⅰ	1	必修		
		4	208427	※情報資源組織論演習Ⅱ	1	必修		
図書館基礎特論	1	2	208428	※図書館基礎特論	2	選択		2科目4単位以上修得すること
図書館サービス特論	1	2	208429	※図書館サービス特論	2	選択		
図書館情報資源特論	1	2	208430	※図書館情報資源特論	2	選択		
図書・図書館史	1	1	208431	※図書・図書館史	2	選択		
図書館施設論	1	2	208432	※図書館施設論	2	選択		
図書館総合演習	1	3	208433	※図書館総合演習	1	選択		
図書館実習	1	4	208434	※図書館実習	1	選択		

・①「生涯学習概論Ⅱ」は、博物館学芸員専門科目・社会教育主事任用資格の「生涯学習概論Ⅱ」としても認定する。
・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修 13 科目 22 単位、選択 2 科目 4 単位以上、合計 15 科目 26 単位以上

博物館学芸員課程

1 概要

博物館学芸員課程は、博物館や美術館などで資料や作品の収集・保存・展示・研究や教育活動にかかわる専門職員です。博物館学や博物館実習などの臨場感あふれる実践的体験を通じて美的な文化財の大切さや、文化人としての極めて有意義な実践的知識・生き方を学びます。

2 取得要件

「博物館実習」を含め、所定の単位数を修得すること。

3 交付

取得要件を満たした者には、卒業時に博物館学芸員の資格認定証が授与されます。

4 必要な費用

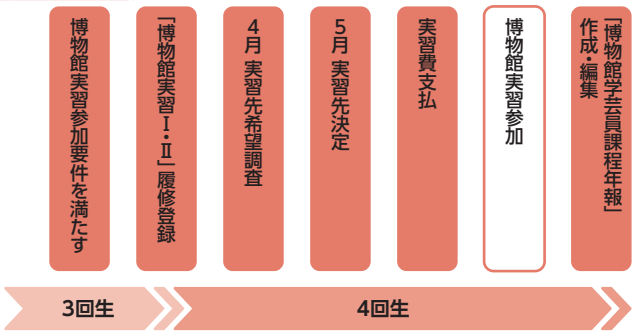
博物館実習費 4,000 円が必要です。また、別途教材費、入館料等が必要になることがあります。（2020 年度現在）

5 博物館実習

博物館学芸員として必修の基礎的技術（資料の作成、資料の取り扱い方、印刷物の作成など）を学ぶため、学内実習（週 1 回）のほか、各地の博物館施設等において実施する館園実習（夏期休業日を中心に 4 ～ 6 日間）見学実習を行います。他に本学収蔵資料の整理、本学発行の『博物館学芸員課程年報』の原稿作成、編集を行います。

「博物館実習」は大学での「博物館実習」の授業科目と博物館での実習を行うことにより単位が与えられます。博物館実習費に関する手続きや支払期日等については掲示をするので注意してください。

博物館実習までの流れ



博物館学芸員専門科目

■リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科　21・20年度入学生
■人間科学部 心理学科　21・20年度入学生

省令科目 科目名	単位	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
生涯学習概論	2	2	256301	生涯学習概論Ⅱ　①	2	必修	基盤	
博物館概論	2	2	256200	博物館概論	2	必修	基盤	
博物館経営論	2	2	256201	博物館経営論	2	必修	基盤	
博物館資料論	2	2	258200	※博物館資料論	2	必修		
博物館資料保存論	2	3	258201	※博物館資料保存論	2	必修		
博物館展示論	2	3	258202	※博物館展示論	2	必修		
博物館教育論	2	3	258203	※博物館教育論	2	必修		
博物館情報・メディア論	2	3	258204	※博物館情報・メディア論	2	必修		
博物館実習	3	4	258205	※博物館実習Ⅰ　②	1	必修		
		4	258206	※博物館実習Ⅱ　②③	2	必修		
文化史		1	151006	日本文化史	2	選択	L専門	
		1	251005	教養としての日本文化	2	選択	基盤	
		1	251006	西洋の文化を考える	2	選択	基盤	
		1	150003	現代文化論	2	選択	L専門	
		2	151007	日本伝統文化	2	選択	L専門	
考古学・民俗学		1	251002	民族と文化	2	選択	基盤	2区分以上にわたり4科目8単位修得すること
		1	251203	東アジアを知る	2	選択	基盤	
		2	351020	文化人類学Ⅰ	2	選択	H専門	
		2	351021	文化人類学Ⅱ	2	選択	H専門	
美術史		1	251008	芸術を鑑賞する	2	選択	基盤	
		2	151612	イメージ創造論	2	選択	L専門	
		2	151608	現代アート論	2	選択	L専門	

・①「生涯学習概論Ⅱ」は、図書館司書専門科目・社会教育主事任用資格の「生涯学習概論Ⅱ」としても認定する。
・②「博物館実習Ⅰ・Ⅱ」の履修は、「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」の単位を修得していることが条件である。
・③「博物館実習Ⅱ」の履修は、「博物館実習Ⅰ」の単位を修得していることが条件である。
・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修10科目19単位、選択4科目8単位以上、合計14科目27単位以上

博物館学芸員専門科目

■リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科　19・18年度入学生
■人間科学部 キャリア英語学科・情報メディア学科・心理学科　19・18年度入学生

省令科目 科目名	単位	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
生涯学習概論	2	2	315338	生涯学習概論Ⅱ　①	2	必修	H専門	
博物館概論	2	2	208605	※博物館概論	2	必修		
博物館経営論	2	2	208606	※博物館経営論	2	必修		
博物館資料論	2	2	208607	※博物館資料論	2	必修		
博物館資料保存論	2	3	208608	※博物館資料保存論	2	必修		
博物館展示論	2	3	208609	※博物館展示論	2	必修		
博物館教育論	2	3	208610	※博物館教育論	2	必修		
博物館情報・メディア論	2	3	208611	※博物館情報・メディア論	2	必修		
博物館実習	3	4	208612	※博物館実習Ⅰ　②	1	必修		
		4	208613	※博物館実習Ⅱ　②③	2	必修		
文化史		1	201003	文化と歴史（日本）	2	選択	共通	
		2	125005	日本古典文学史	2	選択	L専門	
		2	125006	日本近代文学史	2	選択	L専門	3科目6単位修得すること
		2	126008	芸術文化論	2	選択	L専門	
		3	126007	芸術情報論	2	選択	L専門	
考古学		1	201010	考古学	2	選択	共通	
民俗学		1	201011	民俗学	2	選択	共通	
美術史		2	126001	美術史概論	2	選択	L専門	
		2	126003	日本美術史	2	選択	L専門	3科目6単位修得すること
		2	126004	東洋美術史	2	選択	L専門	
		2	126005	西洋美術史	2	選択	L専門	

・①「生涯学習概論Ⅱ」は、図書館司書専門科目・社会教育主事任用資格の「生涯学習概論Ⅱ」としても認定する。
・②「博物館実習Ⅰ・Ⅱ」の履修は、「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」の単位を修得していることが条件である。
・③「博物館実習Ⅱ」の履修は、「博物館実習Ⅰ」の単位を修得していることが条件である。
・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修 10 科目 19 単位、選択 6 科目 12 単位以上、合計 16 科目 31 単位以上

日本語教員養成コース

1 概要

海外では日本のマンガやアニメの影響で日本語を学ぶ若者が増え、公式の調査だけでも約 380 万人（文化庁 2018 年調査）が日本語学習機関で日本語を勉強しています。国内では、よりよいキャリアを求めてベトナムや中国を中心に多くの若者が日本に日本語を学びに来るようになり、在留外国人は約 223 万人（法務省 2018 年）にのぼり、日本語を学んでいる人は約 24 万人（国際交流基金 2018 年）になっています。このような状況で日本語教師が不足している一方で日本語教師志望者も多く、より質の高い教師が求められており、日本語教育に関する専門知識の修得は必須です。

現在のところ、法に基づく日本語教員の免許制度は行われていないため、課程修了が資格の一つとなっています。また、日本語を教える専門家に要求される知識を認定する試験として、「日本語教育能力検定試験」があり、日本語教師採用の条件の一つとなっていることがあります。

卒業後の進路は、新卒で日本語学校に採用される場合もありますが、多くの人は非常勤講師としてしばらく経験を積んだあと専任になります。海外に教えに行く派遣プログラムや現地での募集もあります。

日本語教師だけでなく、地域や様々な職場で日本語弱者（日本語があまりわからない人）が増える中、「やさしい日本語」が使える人も求められています。そんな場で、このコースで学んだ知識と技術は必ず役に立つでしょう。今後の日本にますます必要になる資格です。

2 取得要件

「日本語教育実習」を含め、所定の単位数を修得すること。

3 交付

取得要件を満たした者には、卒業時に本学の「日本語教員養成コース修了証書」が授与されます。

4 必要な費用

日本語教育実習費として 1 人最低 10,000 円＋税（実習受け入れ校に総額最低 60,000 円を支払う必要があり、実習生が 6 人未満の場合、その額を人数で割ることになります）が必要です。また、別途教材費等が必要になることがあります。（2020 年度現在。費用は変動する場合があります。）

実習生の人数	1 人当たりの金額
1 人	60,000 円＋税
2 人	30,000 円＋税
3 人	20,000 円＋税
4 人	15,000 円＋税
5 人	12,000 円＋税
6 人	10,000 円＋税
7 人以降	10,000 円＋税

5 日本語教育実習

「日本語教育実習」は大学での「日本語教育実習」の授業科目と学外での実習を行うことにより単位が与えられます。日本語教育実習費に関する手続きや支払期日等については掲示をするので注意してください。

日本語教員養成コース専門科目

■リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科　21・20年度入学生
■人間科学部 心理学科　21・20年度入学生

区分	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
言語と教育	3	258400	※日本語教育教材研究	2	必修		
	3	258401	※日本語教育法ⅠA	2	必修		
	3	258402	※日本語教育法ⅠB	2	必修		必修6科目11単位修得すること
	4	258403	※日本語教育法ⅡA　①	2	必修		
	4	258404	※日本語教育法ⅡB　①	2	必修		
	4	258405	※日本語教育実習	1	必修		
	1	253000	情報活用基礎A	1	選必	基盤	
	1	253002	情報活用基礎B	1	選必	基盤	選択必修A・Bの2科目2単位修得すること
	1	253001	情報機器の操作A	1	選必	基盤	
	1	253003	情報機器の操作B	1	選必	基盤	
言語	1	251003	ことばの世界	2	必修	基盤	
	1	251004	日本語を知る	2	必修	基盤	
	1	150006	日本語と外国語	2	必修	L専門	
	1	250050	日本語表現法	2	必修	基盤	必修6科目12単位を修得し、選択1科目2単位以上を修得すること
	1	151600	プレゼンテーション技法	2	選択	L専門	
言語と社会	1	251005	教養としての日本文化	2	必修	基盤	
	2	256400	社会と言語	2	必修	基盤	
	1	251206	メディアを考える	2	選択	基盤	
	1	150005	異文化理解論	2	選択	L専門	
言語と心理	1	150004	言語ストラテジー	2	選択	L専門	
	1	258001	※教育心理学	2	選択		
	2	351011	教育・学校心理学	2	選択	H専門	
	2	351012	学習・言語心理学	2	選択	H専門	選択1科目2単位以上修得すること
	3	352025	比較文化心理学Ⅰ	2	選択	H専門	
	3	352026	比較文化心理学Ⅱ	2	選択	H専門	
	1	251208	心理学	2	選択	基盤	
	2	151216	日韓異文化理解論	2	選択	L専門	
社会・文化・地域	2	151007	日本伝統文化	2	選択	L専門	
	1	151001	近現代文学概論	2	選択	L専門	
	1	151000	日本神話・古典文学概論	2	選択	L専門	
	3	152204	日韓文化交流論	2	選択	L専門	
	1	251203	東アジアを知る	2	選択	基盤	選択2科目4単位以上修得すること
	1	251001	日本の歴史	2	選択	基盤	
	1	151006	日本文化史	2	選択	L専門	
	2	151011	近・現代史	2	選択	L専門	
	2	351020	文化人類学Ⅰ	2	選択	H専門	
	2	351021	文化人類学Ⅱ	2	選択	H専門	

・①「日本語教育法ⅡA・B」「日本語教育実習」の履修は、原則として「日本語教育法ⅠA・ⅠB」「日本語教育教材研究」を修得していることが条件である。
・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修12科目23単位、選択必修2科目2単位、選択4科目8単位を取得し、合計18科目33単位以上

日本語教員養成コース専門科目

■リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科　19・18年度入学生
■人間科学部 キャリア英語学科・情報メディア学科・心理学科　19・18年度入学生

区分	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備考
言語と教育	3	208807	※日本語教育教材研究	2	必修		必修科目５科目８単位修得すること
	3	208810	※日本語教育法ⅠB	2	必修		
	4	208806	※日本語教育法Ⅱ　①	2	必修		
	4	208811	※日本語教育実習A　①	1	必修		
	4	208812	※日本語教育実習B　①	1	必修		
言語	1	201012	言語学概論	2	必修	共通	必修・選択必修科目を含む 10 単位以上修得すること
	1	125024	日本語学概論A	2	必修	L 専門	
	1	125025	日本語学概論B	2	必修	L 専門	
	2	126803	日本語と外国語	2	必修	L 専門	
	2	125038	日本語表現技法研究A	2	選必	L 専門	
	2	125039	日本語表現技法研究B	2	選必	L 専門	
	3	305010	ビジネスプレゼンテーション	2	選択	S 専門	
	2	312340	音声表現法	2	選択	C 専門	
	2	312349	プレゼンテーション技法	2	選択	C 専門	
	3	312601	アナウンス技術	2	選択	C 専門	
	3	312613	ビデオインタビューテクニック	2	選択	C 専門	
言語と社会	2	126626	日本事情	2	必修	L 専門	必修科目２科目４単位修得すること
	2	126802	社会と言語	2	必修	L 専門	
言語と心理	3	208809	※日本語教育法ⅠA	2	必修		必修科目を含む２単位以上修得すること
	2	208004	※教育心理学	2	選択	教職	
	2	315250	教育・学校心理学	2	選択	H 専門	
	2	314209	学習・言語心理学	2	選択	H 専門	
	3	315234	比較文化心理学Ⅰ	2	選択	H 専門	
	3	315235	比較文化心理学Ⅱ	2	選択	H 専門	
社会・文化・地域	1	121205	多文化共生論	2	選択	L 専門	２科目４単位以上修得すること
	1	126801	国際関係入門	2	選択	L 専門	
	1	125026	日本文学概論A	2	選択	L 専門	
	2	125027	日本文学概論B	2	選択	L 専門	
	2	125652	日中韓異文化理解研究	2	選択	L 専門	
	2	125811	日本史概論A	2	選択	L 専門	
	2	125812	日本史概論B	2	選択	L 専門	
	3	125650	現代日韓文化交流論	2	選択	L 専門	
	3	125653	東アジア関係史	2	選択	L 専門	
	3	125817	近現代史 A	2	選択	L 専門	
	3	125818	近現代史 B	2	選択	L 専門	
	2	305105	異文化理解論 (英語圏)A	2	選択	S 専門	
	2	305106	異文化理解論 (英語圏)B	2	選択	S 専門	
	2	314108	文化人類学Ⅰ	2	選択	H 専門	
	2	314109	文化人類学Ⅱ	2	選択	H 専門	

・①「日本語教育法Ⅱ」「日本語教育実習Ａ・Ｂ」の履修は、原則として「日本語教育法ⅠＡ・ⅠＢ」「日本語教育教材研究」を修得していることが条件である。
・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修 12 科目 22 単位と選択必修１科目２単位、選択科目４科目８単位以上、合計 17 科目 32 単位以上 ※選択科目は、備考欄に示された２科目に加え、いずれかの区分からさらに２科目修得すること。

社会教育主事任用資格

1 概要

社会教育主事は、都道府県および市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言、指導にあたる役割を担います。職務の例としては①教育委員会事務局が主催する社会教育事業の企画、立案、実施　②管内の社会教育施設（公民館など）が主催する事業に対する指導、助言　③社会教育関係団体の活動に対する助言、指導　④管内の社会教育行政職員等に対する研修事業の企画、実施　など、その業務は多岐にわたっています。生涯学習の必要性が叫ばれている昨今、地域住民の多様な学習要求に応じえる社会教育主事の仕事は、今後ますます重要になってきます。

また、生涯学習に関わる活動は公の社会教育施設以外でも広く行われていることから、今後そうした場でも本資格による知見を生かしていくことが期待されています。

※ 2020 年度より社会教育主事講習等規程の一部が改正され、2019 年度以前入学生についても、定められた科目を修得することで、社会教育主事資格とともに社会教育士の称号を取得することができます。

【社会教育士とは】

社会教育士は、都道府県および市町村のみならず、NPO や企業などと連携して社会教育活動を担う人材に与えられる称号です。主として、地域における人々の学びの支援やネットワークづくりを通して、人づくりや地域づくりを促進する役割を担います。

2 取得要件

所定の単位数を修得して卒業することによって、任用資格が与えられます。

3 交付

次に定める科目の単位を修得した者には、卒業時に社会教育主事（任用資格）取得証明書が交付されます。

社会教育主事任用資格に関する授業科目

■リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科　21・20年度入学生
■人間科学部 心理学科　21・20年度入学生

省　令　科　目	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
生涯学習概論	2	256300	生涯学習概論Ⅰ	2	必修		
	2	256301	生涯学習概論Ⅱ	2	必修		
社会教育経営論	2	258300	※社会教育経営論Ⅰ	2	必修		
	2	258301	※社会教育経営論Ⅱ　①	2	必修		
社会教育演習	3	258304	※社会教育課題研究　②	2	必修		
社会教育実習	4	258305	※社会教育演習　③	1	必修		
社会教育課題研究	4	258306	※社会教育実習　③	1	必修		
生涯学習支援論	3	258302	※生涯学習支援論Ⅰ	2	必修		
	3	258303	※生涯学習支援論Ⅱ　④	2	必修		
社会教育特講	1	251202	現代社会を考える	2	選択	基盤	
	2	256500	レクリエーション概論	2	選択	基盤	
	2	351210/356004	生涯スポーツ論	2	選択	H/N 専門	
	1	256100	図書館概論	2	選択	基盤	
	1	256101	図書館情報資源概論	2	選択	基盤	
	2	256200	博物館概論	2	選択	基盤	
	2	256201	博物館経営論	2	選択	基盤	
	3	258203	※博物館教育論	2	選択		
	2	351018	地域援助論Ⅰ	2	選択	H専門	
	2	351019	地域援助論Ⅱ	2	選択	H専門	4科目8単位以上修得すること
	1	251000	思想の世界	2	選択	基盤	
	1	251204	人権を考える	2	選択	基盤	
	1	256001	教育学概論	2	選択	基盤	
	1	150005	異文化理解論	2	選択	L専門	
	3	352018	社会・集団・家族心理学Ⅰ	2	選択	H専門	
	3	352019	社会・集団・家族心理学Ⅱ	2	選択	H専門	
	3	352020	障害者・障害児心理学Ⅰ	2	選択	H専門	
	3	352021	障害者・障害児心理学Ⅱ	2	選択	H専門	
	2	351213	社会福祉原論Ⅰ	2	選択	H専門	
	2	351214	社会福祉原論Ⅱ	2	選択	H専門	

・①「社会教育経営論Ⅱ」を履修するためには、原則「社会教育経営論Ⅰ」を修得していなければならない。
・②「社会教育課題研究」を履修するためには、原則「生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ」「社会教育経営論Ⅰ・Ⅱ」を修得していなければならない。
・③「社会教育演習」「社会教育実習」を履修するためには、原則「社会教育課題研究」「生涯学習支援論Ⅰ・Ⅱ」を修得していなければならない。
・④「生涯学習支援論Ⅱ」を履修するためには、原則「生涯学習支援論Ⅰ」を修得していなければならない。
・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修9科目16単位、選択4科目8単位以上、合計13科目26単位以上

社会教育主事任用資格に関する授業科目

■全学部全学科　19・18年度入学生

省　令　科　目	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
生涯学習概論	2	315337	生涯学習概論Ⅰ	2	必修	H専門	
	2	315338	生涯学習概論Ⅱ	2	必修	H専門	
社会教育計画	2	208701	※社会教育計画Ⅰ	2	必修		
	2	208702	※社会教育計画Ⅱ　①	2	必修		
社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究	3	208703	※社会教育課題研究Ⅰ　②	2	必修		
	3	208704	※社会教育課題研究Ⅱ　③	2	必修		
社会教育特講Ⅰ （現代社会と社会教育）	1	201206	社会学	2	選択	共通	
	1	201207	ジェンダー論	2	選択	共通	2科目4単位以上修得すること
	2	201222	レクリエーション概論	2	選択	共通	
	2	315326/317005	生涯スポーツ論	2	選択	H/N 専門	
社会教育特講Ⅱ （社会教育活動・事業・施設）	1	201220	図書館概論	2	選択	共通	
	1	201221	図書館情報資源概論	2	選択	共通	
	2	208605	※博物館概論	2	選択	学芸員	2科目4単位以上修得すること
	2	208606	※博物館経営論	2	選択	学芸員	
	2	315333	地域援助論Ⅰ	2	選択	H専門	
	2	315334	地域援助論Ⅱ	2	選択	H専門	
社会教育特講Ⅲ （その他必要な項目）	1	201021	宗教学A	2	選択	共通	
	1	201022	宗教学B	2	選択	共通	
	1	201217	人権論	2	選択	共通	
	1	208002	※教育学概論	2	選択	教職	
	3	126231	児童心理学	2	選択	L専門	
	1	304308	情報調査法	2	選択	S専門	
	2	305105	異文化理解論（英語圏）A	2	選択	S専門	
	2	305106	異文化理解論（英語圏）B	2	選択	S専門	
	1	311202	情報倫理	2	選択	C専門	
	2	312324	情報社会論	2	選択	C専門	4科目8単位以上修得すること
	2	314116	現代生活論A	2	選択	H専門	
	2	314117	現代生活論B	2	選択	H専門	
	2	315248	社会・集団・家族心理学Ⅰ	2	選択	H専門	
	2	315249	社会・集団・家族心理学Ⅱ	2	選択	H専門	
	3	315259	障害者・障害児心理学Ⅰ	2	選択	H専門	
	3	315260	障害者・障害児心理学Ⅱ	2	選択	H専門	
	2	315335	社会福祉原論Ⅰ	2	選択	H専門	
	2	315336	社会福祉原論Ⅱ	2	選択	H専門	
	3	317004/317502	社会福祉論	2	選択	N/NP 専門	

・①「社会教育計画Ⅱ」を履修するためには、「社会教育計画Ⅰ」を修得していなければならない。
・②「社会教育課題研究Ⅰ」を履修するためには「生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ」「社会教育計画Ⅱ」を修得していなければならない。
・③「社会教育課題研究Ⅱ」を履修するためには「社会教育課題研究Ⅰ」を修得していなければならない。
・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修6科目12単位、選択8科目16単位以上、合計14科目28単位以上

※上記に加え、以下の科目を修得することで、社会教育主事任用資格とともに社会教育士の称号を取得できる。

省　令　科　目	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
社会教育経営論	2	208705	※社会教育経営論Ⅰ	2	必修		
	2	208706	※社会教育経営論Ⅱ	2	必修		
生涯学習支援論	3	208707	※生涯学習支援論Ⅰ	2	必修		
	3	208708	※生涯学習支援論Ⅱ	2	必修		

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

社会福祉主事任用資格

1 概要

社会福祉主事とは、福祉事務所などの行政機関において、福祉ニーズをもった人々の相談・保護・指導などを業務とする人のことです。この資格は任用資格であり、福祉関係諸法の規定により、児童指導員、生活指導員、生活相談員などの任用基礎資格でもあります。

【任用資格とは】

国家公務員や地方公務員に採用された後に、特定の業務に任用されるとき必要となる資格のことです。

2 取得要件

厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を３科目以上修得し、卒業することで任用資格を得ることができます。

3 交付

３科目以上を履修したことを証する書類は、大学から発行する卒業証明書と成績証明書の２点をもって扱います。但し、採用の際に社会福祉主事任用資格単位取得証明書が必要な場合は、指定科目を３科目以上修得している方に対して、教学課でこれを発行することができます。

社会福祉主事任用資格に関する授業科目

■全学部全学科　21・20年度入学生

指　定　科　目	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
心理学	1	251208	心理学	2	選択	基盤	
社会福祉概論	2	351213	社会福祉原論Ⅰ	4	選択	H専門	2科目とも修得すること
	2	351214	社会福祉原論Ⅱ		選択	H専門	
	3	356003/356501	社会福祉論	2	選択	N/NP専門	
社会保障論	2	351211	社会保障論	2	選択	H専門	
公的扶助論	2	351212	公的扶助論	2	選択	H専門	
精神障害者保健福祉論	3	352200	精神保健	2	選択	H専門	
公衆衛生学	2	356000	公衆衛生学Ⅰ	4	選択	N専門	2科目とも修得すること
	2	356001	公衆衛生学Ⅱ		選択	N専門	
	2	356500	公衆衛生学Ⅰ	2	選択	NP専門	1科目を修得すること
看護学	2	351204	看護学Ⅰ	4	選択	H専門	2科目とも修得すること
	3	351205	看護学Ⅱ		選択	H専門	
栄養学	2	351200	栄養学	2	選択	H専門	
	2	357000/356518	基礎栄養学Ⅰ	4	選択	N/NP専門	2科目とも修得すること
	2	357001/356519	基礎栄養学Ⅱ		選択	N/NP専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	上記厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する指定科目を３科目以上

社会福祉主事任用資格に関する授業科目

■全学部全学科　19・18年度入学生

指　定　科　目	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
法学	1	201214	法学	2	選択	共通	
心理学	1	201401	心理学	2	選択	共通	
社会学	1	201206	社会学	2	選択	共通	
社会福祉概論	2	315335	社会福祉原論Ⅰ	4	選択	H専門	2科目とも修得すること
	2	315336	社会福祉原論Ⅱ		選択	H専門	
	3	317004/317502	社会福祉論	2	選択	N/NP専門	
社会保障論	2	315330	社会保障論	2	選択	H専門	
公的扶助論	2	315332	公的扶助論	2	選択	H専門	
精神障害者保健福祉論	3	315230	精神保健	2	選択	H専門	
公衆衛生学	2	317001	公衆衛生学Ⅰ	4	選択	N専門	2科目とも修得すること
	2	317002	公衆衛生学Ⅱ		選択	N専門	
	2	317501	公衆衛生学Ⅰ	2	選択	NP専門	1科目を修得すること
看護学	2	315319	看護学Ⅰ	4	選択	H専門	2科目とも修得すること
	3	315320	看護学Ⅱ		選択	H専門	
栄養学	2	315311	栄養学	2	選択	H専門	
	2	318030/317519	基礎栄養学Ⅰ	4	選択	N/NP専門	2科目とも修得すること
	2	318031/317520	基礎栄養学Ⅱ		選択	N/NP専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	上記厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する指定科目を３科目以上

児童指導員任用資格

1 概要

児童指導員とは、家庭の事情などが原因で、児童福祉施設等で生活を送っている児童を、保護者に代わり生活指導する人のことです。この資格は任用資格です。

【任用資格とは】

国家公務員や地方公務員に採用された後に、特定の業務に任用されるとき必要となる資格のことです。

2 取得要件

公立の施設に勤務する場合、まず公務員試験に合格して採用される事が前提となります。特別な資格試験は無く、児童福祉法にもとづく「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」に定められたように、本学の心理学科で心理学を修めて卒業することで任用資格を得ることができます。

3 交付

任用資格の証明は、大学から発行する卒業証明書と成績証明書の 2 点をもって扱います。

児童福祉司任用資格

1 概要

児童福祉司とは、地方自治体の児童相談所で、相談、調査、支援などを行う人のことです。この資格は任用資格です。

【任用資格とは】

国家公務員や地方公務員に採用された後に、特定の業務に任用されるとき必要となる資格のことです。

2 取得要件

児童福祉司任用資格は、特別な資格試験は無く、児童福祉法にもとづく本学心理学科で、心理学を修めて卒業し、その後指定施設における 1 年以上の相談援助業務を経て、得られる任用資格となります。

3 交付

任用資格の証明は、大学から発行する卒業証明書と成績証明書の 2 点をもって扱います。

認定心理士／認定心理士（心理調査）・応用心理士資格

1 概要

正式には「公益社団法人日本心理学会認定心理士」という資格です。4 年制大学における心理学科、または心理学関連専攻の学科を卒業した者（それと同等の学力を有すると認められた者）を対象に、心理学の専門家としての職務を遂行するのに必要最低限の標準的、基礎的学力と技能を獲得していると認定された者に対して与えられる資格です。この資格を認定された者は「認定心理士」と呼ばれます。この資格は日本心理学会の会員に限らず、広く心理学関係者を対象とした心理学関係の資格の中で最も一般的なもので、将来は一層特殊な経験や訓練を要求される資格（例えば、臨床心理士など）の取得に際して、十分な基礎条件となることが期待されています。

【認定心理士とは】

「認定心理士」とは、正式には「公益社団法人日本心理学会認定心理士」（英文名：JPA Certified Psychologist）という資格の敬称です。

認定心理士の資格は一言でいえば「心理学」のミニマムエッセンスを習得しているか否かを認定するものであり、臨床心理士その他のいわゆる職能的な資格とは性質の異なるものである。ミニマムエッセンスを習得している人、ということの意味は、この資格がいわゆる「基礎資格」であるということである。具体的に言えば、「4 年制大学における心理学科またはそれに準ずる課程を修了した人（ないしは、それと同等の学力を有すると認められた人）を対象に、心理学の専門家としての職務を遂行するのに必要な最小限の標準的、基礎的学力と技能を習得していると認定された人に対して与えられる資格」である。

※「認定心理士資格申請の手引き」（発行 / 公益社団法人日本心理学会 https://www.psych.or.jp/）

【認定心理士（心理調査）とは】

心理調査に関連する専門科目を修得した認定心理士です。上記の認定心理士と同様に、資格取得に伴う直接的な権益は直ちに得られるものではありません。申請方法や申請料が認定心理士と異なります。

【応用心理士とは】

4 年制大学における心理学専攻、またはそれに準ずる学科を卒業し（学位授与機構の審査により学士の学位を授与された者も含まれる）、かつ、日本応用心理学会に入会後 2 年を経過する会員である者に与えられる資格です。

2 取得要件

資格を得るためには、所定の資格認定単位数を満たし、申請手続きを行う必要があります。申請手続きについては、卒業年度の 11 月頃にガイダンスを実施します。

3 交付

卒業年度に申請手続きを行った場合、卒業後の 6 ～ 8 月頃、申請時に届出した自宅宛に「認定心理士認定証」が送付されます。

4 必要な費用

申請時に、審査料 11,000 円と認定料 30,000 円の計 41,000 円と証明書発行料が必要です。（2020 年度現在）
認定心理士（心理調査）の審査料は 15,000 円、認定料は 35,000 円です。（2020 年度現在）

認定心理士／認定心理士（心理調査）・応用心理士資格

■人間科学部 心理学科　21・20年度入学生

領域			配当年次	学則科目コード	科目名	資格認定単位数 基本主題	資格認定単位数 副次主題	必修選択の別	科目種別	備考	
1) 基礎科目（12 単位以上）	a	心理学概論	1	350002	心理学概論Ⅰ	2		必修	H 専門		
			1	350003	心理学概論Ⅱ	2		必修	H 専門		
	b	心理学研究法	2	351003	心理学研究法	4		選択	H 専門		
			1	350004	心理調査概論	2		選択	H 専門		
			1	350005	心理学統計法Ⅰ	2		選択	H 専門		
	c	心理学実験・実習	1	350000	心理学基礎実験Ⅰ	2		必修	H 専門		
			1	350001	心理学基礎実験Ⅱ			必修	H 専門		
			2	351000	心理学実験　①	2		必修	H 専門		
			2	351004	心理的アセスメント		2	選択	H 専門		3 科目のうち 2 科目選択必修
			3	352000	社会心理学実習Ⅰ　②		1	選択	H 専門	2 科目で 1 科目とみなす	
			3	352001	社会心理学実習Ⅱ　②			選択	H 専門		
			3	352002	心理演習（臨床心理学演習）		1	選択	H 専門		
2) 選択科目（16 単位以上）	d	知覚心理学・学習心理学	2	351012	学習・言語心理学	2		選択	H 専門		
			3	352016	知覚・認知心理学	2		選択	H 専門		
	e	生理心理学									
	f	教育心理学・発達心理学	2	351009	発達心理学Ⅰ	2		選択	H 専門		
			2	351010	発達心理学Ⅱ	2		選択	H 専門		
			2	351011	教育・学校心理学	2		選択	H 専門		
	g	臨床心理学・人格心理学	2	351007	感情・人格心理学Ⅰ	2		選択	H 専門		
			2	351008	感情・人格心理学Ⅱ	2		選択	H 専門		
			2	351005	臨床心理学概論Ⅰ	2		選択	H 専門		
			2	351006	臨床心理学概論Ⅱ	2		選択	H 専門		
			3	352005	心理学的支援法Ａ	2		選択	H 専門		
			3	352006	心理学的支援法Ｂ	2		選択	H 専門		
			3	352012	異常心理学	2		選択	H 専門		
			3	352008	思春期青年期心理学	2		選択	H 専門		
	h	社会心理学・産業心理学	2	352018	社会・集団・家族心理学Ⅰ	2		選択	H 専門		
			2	352019	社会・集団・家族心理学Ⅱ	2		選択	H 専門		
			3	352009	家族心理学Ⅰ	2		選択	H 専門		
			3	352010	家族心理学Ⅱ	2		選択	H 専門		
			3	352025	比較文化心理学Ⅰ	2		選択	H 専門		
			3	352026	比較文化心理学Ⅱ	2		選択	H 専門		
			3	352017	産業・組織心理学	2		選択	H 専門		
3) その他の科目	i	心理学関連科目、卒業論文・卒業研究	3/4		心理学関連の演習（その他心理学関連科目）	※	※	選択	H 専門	※ i 領域の演習はゼミ担当教員によって資格認定単位数が変わるので注意すること。	

・①「心理学実験」を履修するには、「心理学基礎実験Ⅰ」「心理学基礎実験Ⅱ」を修得することが条件となる。
・②「社会心理学実習Ⅰ」「社会心理学実習Ⅱ」を履修するには、「心理学基礎実験Ⅰ」「心理学基礎実験Ⅱ」「心理学統計法Ⅰ」を修得済みであり、「社会・集団・家族心理学Ⅰ」「社会・集団・家族心理学Ⅱ」「心理学研究法」「心理学統計法Ⅱ」「心理統計実習」を履修済み（修得済みが望ましい）であること。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	次の条件を満たし、合計 36 単位以上修得すること ・基礎科目 a・c 領域で各 4 単位以上、b～c 領域で 8 単位以上、合計 12 単位以上 ・選択科目 d～h 領域については、5 領域のうち 3 領域で各領域 4 単位以上 (そのうち少なくとも 2 単位は基本主題に属すること)、合計 16 単位 ・残りの 8 単位については、a～i の内、いずれかで修得

認定心理士（心理調査）資格

■人間科学部 心理学科　21・20年度入学生

領域		配当年次	学則科目コード	科目名	資格認定単位数 基本主題	資格認定単位数 副次主題	必修選択の別	科目種別	備考
1) 概論（基本主題を含む 2 単位以上）	心理調査概論・心理調査法	1	350004	心理調査概論	2		必修	H 専門	
2) 統計（2 単位以上）	心理学統計	1	350005	心理学統計法 I	2		必修	H 専門	
		2	351002	心理学統計法 II	2		選択	H 専門	
		2	351001	心理統計実習	2		選択	H 専門	
3) 実践（6 単位以上）	発展／展開研究（実習）	3	352000	社会心理学実習 I　①	2		必修	H 専門	2 科目で 1 科目とみなす
		3	352001	社会心理学実習 II　①			必修	H 専門	
		4	353004	卒業研究　②	4		必修	H 専門	

・①「社会心理学実習 I」「社会心理学実習 II」を履修するには、「心理学基礎実験 I」「心理学基礎実験 II」「心理学統計法 I」を修得済みであり、「社会・集団・家族心理学 I」「社会・集団・家族心理学 II」「心理学研究法」「心理学統計法 II」「心理統計実習」を履修済み（修得済みが望ましい）であること。
・② 卒業研究は調査・実験・観察・面接・尺度構成・検査などの方法を用いて、自ら計画し、データの採取、処理、解析を行い、卒業論文の提出が必要である。資格の取得について指導教員に事前に確認すること。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	認定心理士資格取得要件と合わせて、概論領域から 2 単位以上、統計領域から 2 単位以上、実践領域から 6 単位以上、計 10 単位以上

認定心理士／認定心理士（心理調査）・応用心理士資格

■人間科学部 心理学科　19・18年度入学生

領域			配当年次	学則科目コード	科目名	資格認定単位数 基本主題	資格認定単位数 副次主題	必修選択の別	科目種別	備考
1) 基礎科目（12 単位以上）	a	心理学概論	1	314118	心理学概論Ⅰ	2		必修	H 専門	
			1	314119	心理学概論Ⅱ	2		必修	H 専門	
	b	心理学研究法	2	315208	心理学研究法	4		選択	H 専門	
			1	314120	心理調査概論	2		選択	H 専門	
			1	314122	心理学統計法Ⅰ	2		選択	H 専門	
	c	心理学実験・実習	1	314101	心理学基礎実験	2		必修	H 専門	
			2	314211	心理学実験　①	2		必修	H 専門	
			2	314212	心理的アセスメント		2	選択	H 専門	3 科目のうち 2 科目選択必修
			3	315240	社会心理学実習　②		1	選択	H 専門	
			3	315253	心理演習（臨床心理学演習）		1	選択	H 専門	
2) 選択科目（16 単位以上）	d	知覚心理学・学習心理学	2	314209	学習・言語心理学	2		選択	H 専門	
			3	314208	知覚・認知心理学	2		選択	H 専門	
	e	生理心理学								
	f	教育心理学・発達心理学	2	314215	発達心理学Ⅰ	2		選択	H 専門	
			2	314216	発達心理学Ⅱ	2		選択	H 専門	
			2	315250	教育・学校心理学	2		選択	H 専門	
	g	臨床心理学・人格心理学	2	314213	感情・人格心理学Ⅰ	2		選択	H 専門	
			2	314214	感情・人格心理学Ⅱ	2		選択	H 専門	
			2	315251	臨床心理学概論Ⅰ	2		選択	H 専門	
			2	315252	臨床心理学概論Ⅱ	2		選択	H 専門	
			3	315257	心理学的支援法Ａ	2		選択	H 専門	
			3	315258	心理学的支援法Ｂ	2		選択	H 専門	
			3	315228	異常心理学	2		選択	H 専門	
			3	315218	思春期青年期心理学	2		選択	H 専門	
	h	社会心理学・産業心理学	2	315248	社会・集団・家族心理学Ⅰ	2		選択	H 専門	
			2	315249	社会・集団・家族心理学Ⅱ	2		選択	H 専門	
			3	315221	家族心理学Ⅰ	2		選択	H 専門	
			3	315222	家族心理学Ⅱ	2		選択	H 専門	
			3	315234	比較文化心理学Ⅰ	2		選択	H 専門	
			3	315235	比較文化心理学Ⅱ	2		選択	H 専門	
			3	315254	産業・組織心理学	2		選択	H 専門	
3) その他の科目	i	心理学関連科目、卒業論文・卒業研究	3/4		心理学関連の演習（その他心理学関連科目）	※	※	選択	H 専門	※ i 領域の演習はゼミ担当教員によって資格認定単位数が変わるので注意すること。

・①「心理学実験」を履修するには、「心理学基礎実験」を修得することが条件となる。
・②「社会心理学実習」を履修するには、「心理学基礎実験」「心理学統計法Ⅰ」を修得済みであり、「社会・集団・家族心理学Ⅰ」「社会・集団・家族心理学Ⅱ」「心理学研究法」「心理学統計法Ⅱ」「心理統計実習」を履修済み（修得済みが望ましい）であること。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	次の条件を満たし、合計 36 単位以上修得すること ・基礎科目 a・c 領域で各 4 単位以上、b ～ c 領域で 8 単位以上、合計 12 単位以上 ・選択科目 d ～ h 領域については、5 領域のうち 3 領域で各領域 4 単位以上 (そのうち少なくとも 2 単位は基本主題に属すること)、合計 16 単位 ・残りの 8 単位については、a ～ i の内、いずれかで修得

認定心理士（心理調査）資格

■人間科学部 心理学科　19・18年度入学生

領域		配当年次	学則科目コード	科目名	資格認定単位数 基本主題	資格認定単位数 副次主題	必修選択の別	科目種別	備考
1) 概論（基本主題を含む2単位以上）	心理調査概論・心理調査法	1	314120	心理調査概論	2		必修	H 専門	
2) 統計（2単位以上）	心理学統計	1	314122	心理学統計法Ⅰ	2		必修	H 専門	
		2	314204	心理学統計法Ⅱ	2		選択	H 専門	
		2	315247	心理統計実習	2		選択	H 専門	
3) 実践（6単位以上）	発展／展開研究（実習）	3	315240	社会心理学実習　①	2		必修	H 専門	
		4	316105	卒業研究　②	4		必修	H 専門	

・①「社会心理学実習」を履修するには、「心理学基礎実験」「心理学統計法Ⅰ」を修得済みであり、「社会・集団・家族心理学Ⅰ」「社会・集団・家族心理学Ⅱ」「心理学研究法」「心理学統計法Ⅱ」「心理統計実習」を履修済み（修得済みが望ましい）であること。
・② 卒業研究は調査・実験・観察・面接・尺度構成・検査などの方法を用いて、自ら計画し、データの採取、処理、解析を行い、卒業論文の提出が必要である。資格の取得について指導教員に事前に確認すること。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	認定心理士資格取得要件と合わせて、概論領域から2単位以上、統計領域から2単位以上、実践領域から6単位以上、計10単位以上

公認心理師国家試験　受験資格（大学指定科目）

1 概要

公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいう。

① 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
② 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
③ 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
④ 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

2 取得要件

公認心理師の資格を得るためには、以下のいずれかの受験資格を持ち、「公認心理師国家試験」に合格しなければなりません。

① 大学において心理学等に関する所定の科目を修め、かつ、大学院において心理学等の所定の科目を修めてその課程を修了した者等
② 大学で心理学等に関する所定の科目を修め、卒業後、所定の施設において一定期間の実務経験を積んだ者等
③ 主務大臣が①及び②に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めた者

＊ ②「実務経験を積んだ者等」の受験資格については、文部科学省・厚生労働省が認定した実務経験プログラムを実施する施設での実務経験を積むことが必須です。認定施設の一覧が厚生労働省ホームページで示されていますが、少年鑑別所・家庭裁判所等、大学病院、児童心理治療施設など数件が認定されているのみです。また、③「同等以上の知識及び技能を有すると認めた者」とは、外国の大学において心理に関する科目を修めて卒業し、かつ、外国の大学院において心理に関する科目を修めてその課程を修了した者等が対象とされています。以上より、①「大学及び大学院で所定の科目を修めること」が公認心理師の基本的な受験資格であると考えるべきでしょう。

3 公認心理師科目「心理演習」「心理実習」について

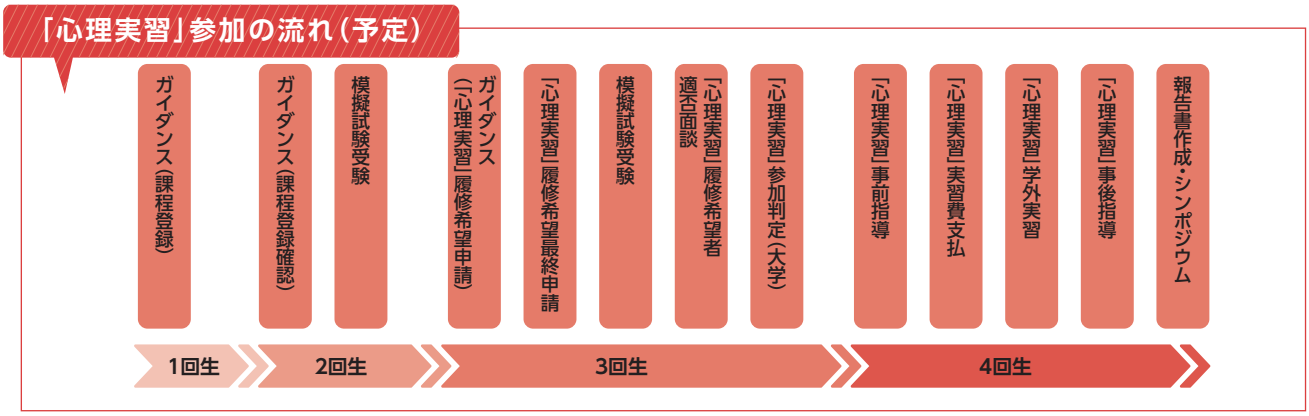
○「心理演習」について

学部２回生までに各種心理検査の技法や臨床・人格・発達などの心理学を理論的に修得したのち、それらを実践・現場へとつなげていくための専門性の高い授業が３回生配当の「心理演習（臨床心理学演習）」である。具体的には、心理療法や心理検査の各種技法を体験的に学習するとともに、カウンセリングのロールプレイや事例検討などを行う。それらを通じて、心理支援における見立てや介入、他の対人援助職との連携、さらには公認心理師に求められる守秘義務や心理療法における倫理的態度などを身に付けていく。

○「心理実習」について（概要と履修条件）

４回生配当科目の「心理実習（臨床心理現場実習）Ⅰ・Ⅱ」では、医療機関や障害者支援施設、児童養護施設などを中心に、公認心理師が実際に働くことになる学外の臨床現場での実習を行う。本学の実習では単なる見学以外にも、子どもから大人まで、実際に心理的支援を要する人たちにできる限り関わる。そのためには３回生までに実践的な知識・技能・態度を身につけている必要があり、この実習を受けるにあたっては約 20 名を定員とした選抜を行う（2020 年度現在）。また学外実習の事前事後には、学内での講義を通じて実践的な理解を深める。

「心理実習」の履修条件は、３回生までの公認心理師カリキュラム科目の成績や面談による。詳しくは毎年度のガイダンス時に行われる公認心理師説明会に出席すること。



POINT 関連するガイダンスには必ず出席してください。

4 交付

上記受験資格を取得後、大学及び大学院で発行される「卒業証明書」「修了証明書」および「公認心理師となるために必要な科目の履修証明書」等を添付のうえ、国家試験を受験し、それに合格すると公認心理師資格を得ることができます。

5 必要な費用

「心理実習」実習費が必要です。また、別途実習先への往復交通費、抗体検査・ワクチン接種費用等が必要になることがあります。

また、国家試験の受験、合格後の登録には以下の費用が必要になります。

・公認心理師国家試験 受験手数料：28,700 円（2020 年度現在）
・公認心理師簿 登録手数料：7,200 円　登録免許税 15,000 円（2020 年度現在）

6 その他

公認心理師は 2018 年 9 月 9 日に第一回国家試験があり、2018 年度に第一号が誕生しました。

上記 1 ～ 6 の内容については、厚生労働省 HP 内に掲載されている「公認心理師法概要」「公認心理師法施行令」「公認心理師法施行規則」、その他通知等より引用しています。詳しくは厚生労働省の公認心理師ページ（以下 URL）を参照してください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116049.html

公認心理師国家試験　受験資格（大学指定科目）

■人間科学部 心理学科　21・20年度入学生

		省令科目名	配当年次	学則科目コード	科　目　名	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
		① 公認心理師の職責	4	352028	公認心理師の職責	2	必修	H 専門	
Ⅰ	心理学基礎科目	② 心理学概論	1	350002	心理学概論Ⅰ	2	必修	H 専門	
		③ 臨床心理学概論	2	351005	臨床心理学概論Ⅰ	2	必修	H 専門	
		④ 心理学研究法	2	351003	心理学研究法	4	必修	H 専門	
		⑤ 心理学統計法	1	350005	心理学統計法Ⅰ	2	必修	H 専門	
		⑥ 心理学実験	2	351000	心理学実験	2	必修	H 専門	
Ⅱ	心理学の基本的理論に関する科目	⑦ 知覚・認知心理学	3	352016	知覚・認知心理学	2	必修	H 専門	
		⑧ 学習・言語心理学	2	351012	学習・言語心理学	2	必修	H 専門	
		⑨ 感情・人格心理学	2	351007	感情・人格心理学Ⅰ	2	必修	H 専門	
		⑩ 神経・生理心理学	3	352015	神経・生理心理学	2	必修	H 専門	
		⑪ 社会・集団・家族心理学	3	352018	社会・集団・家族心理学Ⅰ	2	必修	H 専門	
		⑫ 発達心理学	2	351009	発達心理学Ⅰ	2	必修	H 専門	
		⑬ 障害者・障害児心理学	3	352020	障害者・障害児心理学Ⅰ	2	必修	H 専門	
Ⅲ	心理状態の観察及び分析並びに心理に関する相談、助言、指導その他の援助等についての基本的理論及び実践に関する科目	⑭ 心理的アセスメント	2	351004	心理的アセスメント	4	必修	H 専門	
		⑮ 心理学的支援法	3	352005	心理学的支援法A	2	必修	H 専門	
		㉔ 心理演習	3	352002	心理演習（臨床心理学演習）	2	必修	H 専門	
		㉕ 心理実習	4	352003	心理実習（臨床心理学現場実習）Ⅰ	2	必修	H 専門	
			4	352004	心理実習（臨床心理学現場実習）Ⅱ	2	必修	H 専門	
Ⅳ	主な職域における心理学に関する科目	⑯ 健康・医療心理学	2	351016	健康・医療心理学Ⅱ	2	必修	H 専門	
		⑰ 福祉心理学	3	352022	福祉心理学	2	必修	H 専門	
		⑱ 教育・学校心理学	2	351011	教育・学校心理学	2	必修	H 専門	
		⑲ 司法・犯罪心理学	3	352011	司法・犯罪心理学	2	必修	H 専門	
		⑳ 産業・組織心理学	3	352017	産業・組織心理学	2	必修	H 専門	
Ⅴ	心理学関連科目	㉑ 人体の構造と機能及び疾病	2	351017	人体の構造と機能及び疾病	2	必修	H 専門	
		㉒ 精神疾患とその治療	3	352013	精神疾患とその治療	2	必修	H 専門	
		㉓ 関係行政論	4	352029	関係行政論	2	必修	H 専門	

・関連するガイダンスには必ず出席すること。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

受験資格要件	必修 26 科目 56 単位

公認心理師国家試験　受験資格（大学指定科目）

■人間科学部 心理学科　19・18年度入学生

		省令科目名	配当年次	学則科目コード	科　目　名	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
		① 公認心理師の職責	4	315263	公認心理師の職責	2	必修	H 専門	
Ⅰ	心理学基礎科目	② 心理学概論	1	314118	心理学概論Ⅰ	2	必修	H 専門	
		③ 臨床心理学概論	2	315251	臨床心理学概論Ⅰ	2	必修	H 専門	
		④ 心理学研究法	2	315208	心理学研究法	4	必修	H 専門	
		⑤ 心理学統計法	1	314122	心理学統計法Ⅰ	2	必修	H 専門	
		⑥ 心理学実験	2	314211	心理学実験	2	必修	H 専門	
Ⅱ	心理学の基本的理論に関する科目	⑦ 知覚・認知心理学	3	314208	知覚・認知心理学	2	必修	H 専門	
		⑧ 学習・言語心理学	2	314209	学習・言語心理学	2	必修	H 専門	
		⑨ 感情・人格心理学	2	314213	感情・人格心理学Ⅰ	2	必修	H 専門	
		⑩ 神経・生理心理学	3	314207	神経・生理心理学	2	必修	H 専門	
		⑪ 社会・集団・家族心理学	2	315248	社会・集団・家族心理学Ⅰ	2	必修	H 専門	
		⑫ 発達心理学	2	314215	発達心理学Ⅰ	2	必修	H 専門	
		⑬ 障害者・障害児心理学	3	315259	障害者・障害児心理学Ⅰ	2	必修	H 専門	
Ⅲ	心理状態の観察及び分析並びに心理に関する相談、助言、指導その他の援助等についての基本的理論及び実践に関する科目	⑭ 心理的アセスメント	2	314212	心理的アセスメント	4	必修	H 専門	
		⑮ 心理学的支援法	3	315257	心理学的支援法A	2	必修	H 専門	
		㉔ 心理演習	3	315253	心理演習（臨床心理学演習）	2	必修	H 専門	
		㉕ 心理実習	4	315265	心理実習（臨床心理学現場実習）Ⅰ	2	必修	H 専門	
			4	315266	心理実習（臨床心理学現場実習）Ⅱ	2	必修	H 専門	
Ⅳ	主な職域における心理学に関する科目	⑯ 健康・医療心理学	2	314206	健康・医療心理学Ⅱ	2	必修	H 専門	
		⑰ 福祉心理学	3	315261	福祉心理学	2	必修	H 専門	
		⑱ 教育・学校心理学	2	315250	教育・学校心理学	2	必修	H 専門	
		⑲ 司法・犯罪心理学	3	315255	司法・犯罪心理学	2	必修	H 専門	
		⑳ 産業・組織心理学	3	315254	産業・組織心理学	2	必修	H 専門	
Ⅴ	心理学関連科目	㉑ 人体の構造と機能及び疾病	2	315262	人体の構造と機能及び疾病	2	必修	H 専門	
		㉒ 精神疾患とその治療	3	315256	精神疾患とその治療	2	必修	H 専門	
		㉓ 関係行政論	4	315264	関係行政論	2	必修	H 専門	

・関連するガイダンスには必ず出席すること。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

受験資格要件	必修 26 科目 56 単位

レクリエーション・インストラクター資格

1 概要

レクリエーション・インストラクターは、余暇やレクリエーションに関する理論や技能を身につけ、レクリエーションを楽しく教えることのできる公益財団法人日本レクリエーション協会が認定する指導者資格です。必要な専門知識と指導法、さまざまな遊びのメニューと技術を持ち、人と人との楽しい交流促進や、楽しさの体験に主眼をおいた技術を多くの人々に提供します。

2 取得要件

資格を得るためには、各学科所定の単位数（科目数）を満たし、3・4 回生の 12 月頃に申請手続きを行う必要があります。

3 交付

申請手続きを行った場合、（公財）日本レクリエーション協会より認定証が授与されます。
（https://www.recreation.or.jp/）

4 必要な費用

申請時（卒業年次）に登録料 17,600 円が必要です。（2020 年度現在）

レクリエーション・インストラクター資格

■全学部 全学科　21・20年度入学生

配当年次	学則科目コード	科　目　名	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
2	256500	レクリエーション概論	2	必修	基盤	
2	256501	レクリエーション実技	1	必修	基盤	
3	256502	レクリエーション現場実習	1	必修	基盤	
2	251408	生涯スポーツ実習Ａ	2	必修	基盤	
2	251409	生涯スポーツ実習Ｂ	2	必修	基盤	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修５科目８単位

■人間科学部 食物栄養学科　19・18年度入学生

配当年次	学則科目コード	科　目　名	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
2	201222	レクリエーション概論	2	必修	共通	
2	318516	レクリエーション実技	1	必修	NP 専門	
3	318517	レクリエーション現場実習	1	必修	NP 専門	
2	318505	健康運動演習Ⅰ	2	必修	NP 専門	
2	318506	健康運動演習Ⅱ	2	必修	NP 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修５科目８単位

スポーツリーダー資格（共通科目Ⅰ・Ⅱ）

1 概要

「スポーツリーダー」は、公益財団法人 日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者制度における基礎資格です。スポーツ指導やボランティアに関する基礎的な知識を身に付け、地域におけるスポーツクラブやサークルなどのリーダー的な存在として、基礎的なスポーツ指導や運営にあたることができます。

2 取得要件

資格を得るためには、各学科下記の単位数（科目数）を満たし、申請手続きを行う必要があります。申請手続きについては、卒業年次に別途ガイダンスを実施します。

3 交付

申請手続きを行った場合、（公財）日本スポーツ協会公認 スポーツリーダーとして認定され、認定証が授与されます。

4 必要な費用

申請時（卒業年次）にスポーツリーダー修了証明書発行料 6,600 円が必要です。（2020 年度現在）

スポーツリーダー資格（共通科目Ⅰ・Ⅱ）

■人間科学部 心理学科　19・18年度入学生

配当年次	学則科目コード	科　目　名	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
1	201214	法学　①	2	必修	共通	
1	201615	基礎医学	2	必修	共通	
2	315326	生涯スポーツ論	2	必修	H 専門	
2	315343	フィットネス演習Ⅰ	1	必修	H 専門	
2	201609	スポーツ学A	1	必修	共通	
2	201610	スポーツ学B	1	必修	共通	
2	315311	栄養学	2	必修	H 専門	
3	315323	健康運動科学	2	必修	H 専門	
3	315324	スポーツ指導論	2	必修	H 専門	

・①「法学」は 2020 年度までに泉ヶ丘キャンパス開講の同科目を修得した場合のみ、資格科目として認定する。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修 9 科目 15 単位

■人間科学部 食物栄養学科　19・18年度入学生

配当年次	学則科目コード	科　目　名	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
1	201214	法学　①	2	必修	共通	
1	201615	基礎医学	2	必修	共通	
2	317005/315326	生涯スポーツ論	2	必修	N 専門 /H 専門	※ NP 生は H 専門を履修すること
2	318505	健康運動演習Ⅰ	2	必修	NP 専門	※ N 生履修可能
2	201609	スポーツ学A	1	必修	共通	
2	201610	スポーツ学B	1	必修	共通	
2	318003/317522	応用栄養学Ⅰ	2	必修	N 専門 /NP 専門	
1	317013	運動生理学　②	2	選必	N 専門	左記②より自課程の科目を修得すること
1	318502	健康運動科学　②	2	選必	NP 専門	
3	318503	スポーツ指導論Ⅰ	2	必修	NP 専門	※ N 生履修可能

・①「法学」は 2020 年度までに泉ヶ丘キャンパス開講の同科目を修得した場合のみ、資格科目として認定する。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修 8 科目 14 単位、選択必修 1 科目 2 単位、合計 9 科目 16 単位

健康運動実践指導者受験資格

1 概要

健康運動実践指導者資格は、健康・体力づくり事業財団が認定する資格です。医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技術などを持つことを認定するもので、健康作りを目的として作成された運動プログラムに基づき、ジョギング、ストレッチング、筋力トレーニング等の実践指導を行います。健康増進センター、保健所、民間健康増進施設（フィットネスクラブ等）、介護老人保健福祉施設などで活用されています。

2 取得要件

所定の単位数（科目数）を修得することにより、健康運動実践指導者の受験資格を得ることができます。健康運動実践指導者の称号を得るには、健康・体力づくり事業財団が実施する認定試験（1次試験：指導実技試験・2次試験：筆記試験）に合格し、健康運動実践指導者台帳に登録することが必要です。認定校の学生として、在学中に試験を受けること。卒業後に受験する場合は新たに講習（有料）を受けて試験を受けることになります。また、健康運動実践指導者資格を得てからも、5年ごとの更新が必要で、その際には講習会を受講する必要があります。

3 必要な費用

試験受験時に、認定試験受験料（筆記＋実技）25,300円、登録料22,000円が必要です。（2020年度現在）

4 その他

健康運動指導士は、健康・体力づくり事業財団が認定する資格です。個々人の心身の状態に応じた、安全で効果的な運動を実践するための運動プログラムの作成および指導を行います。健康運動実践指導者の資格を取得後健康運動指導士養成講習会を受講し、健康運動指導士試験に合格した上で登録します。（詳細については、ガイダンスで説明します。）

健康運動実践指導者資格

■人間科学部 食物栄養学科　21・20年度入学生

養成講習会の科目名	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
健康づくり施策概論（講義）	1	356506	予防医学	2	必修	NP 専門	
運動生理学（講義）	1	356013	運動生理学　①	2	選必	N 専門	左記①より 1 科目 2 単位修得すること
	1	357501	健康運動科学　①	2	選必	NP 専門	
機能的解剖とバイオメカニクス（講義）	1	356007	解剖生理学 I　②	2	選必	N 専門	左記②より 1 科目 2 単位修得すること
	1	356504	解剖生理学 I　②	2	選必	NP 専門	
栄養摂取と運動（講義）	4	357006	運動栄養学　③	2	選必	N 専門	左記③より 1 科目 2 単位修得すること
	2	356521	応用栄養学 I　③	2	選必	NP 専門	
体力測定と評価（講義）（実習）	2	357500	健康運動方法論	2	必修	NP 専門	N 生履修可能
健康づくりと運動プログラム（講義）							「健康運動方法論」に含む
運動指導の心理学的基礎（講義）	3	357502	スポーツ指導論	2	必修	NP 専門	
健康づくり運動の実際（実習）　ウォーキング、ジョギング	1	251407	健康とスポーツ B	1	必修	基盤	
健康づくり運動の実際（実習）　ストレッチング、ウォーミングアップとクーリングダウン	1	251406	健康とスポーツ A	1	必修	基盤	
健康づくり運動の実際（実習）　水泳・水中運動、レジスタンスエクササイズ	2	357503	健康運動演習 A	1	必修	NP 専門	N 生履修可能
健康づくり運動の実際（実習）　エアロビックダンス、レジスタンスエクササイズ	2	357504	健康運動演習 B	2	必修	NP 専門	N 生履修可能
運動障害と予防・救急処置（講義）（実習）	2	357505	救急処置	2	必修	NP 専門	N 生履修可能
特別演習	3	357508	健康運動実践指導者特別演習	2	選択	NP 専門	N 生履修可能

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修 9 科目 15 単位、選択必修 3 科目 6 単位、合計 12 科目 21 単位以上

健康運動実践指導者資格

■人間科学部 心理学科　19・18年度入学生

養成講習会の科目名	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
健康づくり施策概論 (講義)	1	201616	健康管理学	2	必修	共通	
運動生理学 (講義)	3	315323	健康運動科学	2	必修	H 専門	
機能的解剖とバイオメカニクス (講義)	1	315347	解剖生理学 I	2	必修	H 専門	
栄養摂取と運動 (講義)	2	315311	栄養学	2	必修	H 専門	
体力測定と評価 (講義)	3	315346	健康運動方法論	2	必修	H 専門	
(実習)							「健康スポーツ学 A」に含む 「フィットネス演習 I 」に含む
健康づくりと運動プログラム (講義)							
運動指導の心理学的基礎 (講義)	3	315324	スポーツ指導論	2	必修	H 専門	その他「健康運動方法論」に含む
健康づくり運動の実際 (実習) ウォーキング、ジョギング	1	201603	健康スポーツ学 A	1	必修	共通	
	2	315343	フィットネス演習 I	1	必修	H 専門	
健康づくり運動の実際 (実習) エアロビックダンス、ストレッチング、 ウォーミングアップとクーリングダウン、体操	2	201613	スポーツ学 E	1	必修	共通	
健康づくり運動の実際 (実習) 水泳・水中運動	2	201614	スポーツ学 F	1	必修	共通	
健康づくり運動の実際 (実習) レジスタンスエクササイズ	2	315344	フィットネス演習 II	1	必修	H 専門	
運動障害と予防・救急処置 (講義)（実習）	3	315322	救急処置	2	必修	H 専門	2 クラスを履修すること
特別演習	3	318518	健康運動実践指導者特別演習	2	選択	NP 専門	

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修 12 科目 19 単位以上

健康運動実践指導者資格

■人間科学部 食物栄養学科　19・18年度入学生

養成講習会の科目名	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
健康づくり施策概論（講義）	1	201616	健康管理学	2	必修	共通	
運動生理学（講義）	1	317013	運動生理学　①	2	選必	N 専門	左記①より 1 科目 2 単位修得すること
	1	318502	健康運動科学　①	2	選必	NP 専門	
機能的解剖とバイオメカニクス（講義）	1	317028	解剖生理学 I　②	2	選必	N 専門	左記②より 1 科目 2 単位修得すること
	1	317505	解剖生理学 I　②	2	選必	NP 専門	
栄養摂取と運動（講義）	4	318006	運動栄養学　③	2	選必	N 専門	左記③より 1 科目 2 単位修得すること
	2	317522	応用栄養学 I　③	2	選必	NP 専門	
体力測定と評価（講義）	2	318501	健康運動方法論	2	必修	NP 専門	N 生履修可能
（実習）							「健康スポーツ学 A」に含む 「健康運動演習 I 」に含む
健康づくりと運動プログラム（講義）							
運動指導の心理学的基礎（講義）	3	318503	スポーツ指導論 I	2	必修	NP 専門	その他「健康運動方法論」に含む N 生履修可能
健康づくり運動の実際（実習） ウォーキング、ジョギング	1	201603	健康スポーツ学 A	1	必修	共通	N 生履修可能
	2	318505	健康運動演習 I	2	必修	NP 専門	
健康づくり運動の実際（実習） エアロビックダンス、ストレッチング、ウォーミングアップとクーリングダウン、体操	2	201613	スポーツ学 E	1	必修	共通	
健康づくり運動の実際（実習） 水泳・水中運動	2	201614	スポーツ学 F	1	必修	共通	
健康づくり運動の実際（実習） レジスタンスエクササイズ	2	318506	健康運動演習 II	2	必修	NP 専門	N 生履修可能
運動障害と予防・救急処置（講義）（実習）	2	318507	救急処置	2	必修	NP 専門	N 生履修可能
特別演習	3	318518	健康運動実践指導者特別演習	2	選択	NP 専門	N 生履修可能

・※印は、資格専門科目であり、卒業単位には算入されない。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修 9 科目 15 単位、選択必修 3 科目 6 単位、合計 12 科目 21 単位以上

フードスペシャリスト受験資格

1 概要

フードスペシャリスト協会が認定する資格です。食品が製造されてから、消費されるまでの幅広い分野で、食品を消費者の好みに合わせた安全な商品や料理に変えていく知識・技術を持つことを認定するものです。食に関する高度な知識と技術を有する専門家で、社会のニーズに応える能力が求められており、食品会社、ホテル、レストラン、デパート、スーパーマーケットなどでの活躍が期待されています。

2 取得要件

資格を得るためには、所定の単位数（科目数）を満たし、フードスペシャリスト認定試験に合格する必要があります。

認定試験は、①フードスペシャリスト資格、②専門フードスペシャリスト（食品開発）資格、③専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格のそれぞれで実施されます。

①フードスペシャリスト資格を有する者、および、その受験者は、加えて②専門フードスペシャリスト（食品開発）資格、③専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格を受験することができます。

3 交付

所定の単位数（科目数）を満たし、フードスペシャリスト認定試験に合格した者は協会から認定証が発行され、卒業時に認定証が交付されます。

4 必要な費用

下記の通り、フードスペシャリスト認定試験受験時に受験料、試験に合格した者は登録料が必要です。（2020 年度現在）

①フードスペシャリスト資格：受験料 4,000 円、登録料 4,000 円
②専門フードスペシャリスト（食品開発）資格：受験料 2,000 円、登録料 2,000 円
③専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格：受験料 2,000 円、登録料 2,000 円

フードスペシャリスト

■人間科学部 食物栄養学科［管理栄養士課程］　21・20年度入学生

配当年次	学則科目コード	科　目　名	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
1	356023	食生活論	2	必修	N 専門	
1	356016	食品学実験	2	必修	N 専門	
1	356015	食品学	2	必修	N 専門	
2	356017	食品加工学	2	必修	N 専門	
2	356018	食品加工学実習	1	必修	N 専門	
1	356019	調理学	2	必修	N 専門	
1	356020	調理学実習	2	必修	N 専門	
2	356021	食品衛生学	2	必修	N 専門	
2	357000	基礎栄養学Ⅰ	2	必修	N 専門	
2	357001	基礎栄養学Ⅱ	2	必修	N 専門	
2	356024	食品の流通と消費	2	必修	N 専門	
3	356025	フードコーディネート論	2	必修	N 専門	
1	355002	化学	2	選択	N 専門	
2	356000	公衆衛生学Ⅰ	2	選択	N 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修科目を含め 23 単位以上

■人間科学部 食物栄養学科［健康実践栄養士課程］　21・20年度入学生

配当年次	学則科目コード	科　目　名	単位	必修選択の別	科目種別	備　　考
1	356522	食生活論	2	必修	NP 専門	
1	356509	食品学実験	2	必修	NP 専門	
1	356508	食品学	2	必修	NP 専門	
2	356510	食品加工学	2	必修	NP 専門	
2	356511	食品加工学実習	1	必修	NP 専門	
1	356540	調理学	2	必修	NP 専門	
1	356541	調理学実習（基礎）	2	必修	NP 専門	
2	356515	食品衛生学	2	必修	NP 専門	
2	356518	基礎栄養学Ⅰ	2	必修	NP 専門	
2	356519	基礎栄養学Ⅱ	2	必修	NP 専門	
3	356514	食品の流通と消費	2	必修	NP 専門	
3	356513	フードコーディネート論	2	必修	NP 専門	
1	355502	化学	2	選択	NP 専門	
2	356500	公衆衛生学Ⅰ	2	選択	NP 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修科目を含め 23 単位以上

フードスペシャリスト

■人間科学部 食物栄養学科［管理栄養士課程］　19・18年度入学生

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	科目種別	備考
1	317022	食生活論	2	必修	N 専門	
1	317015	食品学実験	2	必修	N 専門	
1	317014	食品学	2	必修	N 専門	
2	317016	食品加工学	2	必修	N 専門	
2	317017	食品加工学実習	1	必修	N 専門	
1	317018	調理学	2	必修	N 専門	
1	317019	調理学実習	2	必修	N 専門	
2	317020	食品衛生学	2	必修	N 専門	
2	318030	基礎栄養学Ⅰ	2	必修	N 専門	
2	318031	基礎栄養学Ⅱ	2	必修	N 専門	
2	317027	食品の流通と消費	2	必修	N 専門	
3	317025	フードコーディネート論	2	必修	N 専門	
1	201402	化学	2	選択	共通	
2	317001	公衆衛生学Ⅰ	2	選択	N 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修科目を含め 23 単位以上

■人間科学部 食物栄養学科［健康実践栄養士課程］　19・18年度入学生

配当年次	学則科目コード	科目名	単位	必修選択の別	科目種別	備考
1	317523	食生活論	2	必修	NP 専門	
1	317510	食品学実験	2	必修	NP 専門	
1	317509	食品学	2	必修	NP 専門	
2	317511	食品加工学	2	必修	NP 専門	
2	317512	食品加工学実習	1	必修	NP 専門	
1	317538	調理学	2	必修	NP 専門	
1	317539	調理学実習（基礎）	2	必修	NP 専門	
2	317517	食品衛生学	2	必修	NP 専門	
2	317519	基礎栄養学Ⅰ	2	必修	NP 専門	
2	317520	基礎栄養学Ⅱ	2	必修	NP 専門	
3	317516	食品の流通と消費	2	必修	NP 専門	
3	317515	フードコーディネート論	2	必修	NP 専門	
1	201402	化学	2	選択	共通	
2	317501	公衆衛生学Ⅰ	2	選択	NP 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修科目を含め 23 単位以上

食品衛生管理者および食品衛生監視員任用資格課程

1 概要

食品衛生管理者および食品衛生監視員は共に厚生労働省管轄の国家資格です。前者は会社など企業での職業で、後者は公務員としての職業です。

食品衛生管理者は、食品または添加物を製造、加工する会社や施設におくことが義務づけられており、その当該施設で食品または添加物の製造、加工を食品衛生法上の違反がないように管理する者です。

食品衛生監視員は、国、都道府県、保健所、検疫所などに配置され、食品衛生上注意を必要とする加工食品や添加物の製造、加工、飲食に使用する器具、施設などの監視、指導、検査を行います。

2 取得要件

食品衛生管理者は、本学で決められた単位数（科目数）を修得すれば、資格を取得できます。

食品衛生監視員は、本学で決められた単位数（科目数）を修得すれば、食品衛生監視員（公務員）採用試験受験資格を取得できます。

食品衛生管理者と食品衛生監視員は別の資格ですが、履修方法は同じです。

3 交付

所定の単位数（科目数）を修得すれば、卒業時に「食品衛生管理者及び監視員に関する単位取得証明書」（本学様式）を交付します。

食品衛生管理者および食品衛生監視員任用資格課程

■人間科学部 食物栄養学科［管理栄養士課程］　21・20年度入学生

区分	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
A 群：化学関係	1	355002	化学（含無機化学）	2	必修	N 専門	
B 群：生物化学関係	1	356005	生化学	2	必修	N 専門	
	2	356006	生化学実験	1	必修	N 専門	
	1	356007	解剖生理学Ⅰ	2	必修	N 専門	
	1	356008	解剖生理学Ⅱ	2	必修	N 専門	
	1	356009	解剖生理学実験	2	必修	N 専門	
C 群：微生物関係	3	356012	微生物学（含食品微生物学）	2	必修	N 専門	
	2	356017	食品加工学（含食品保存学）	2	必修	N 専門	
	2	356018	食品加工学実習（含食品保存学）	1	必修	N 専門	
D 群：公衆衛生学関係	2	356000	公衆衛生学Ⅰ（含環境衛生学）	2	必修	N 専門	
	2	356001	公衆衛生学Ⅱ（含疫学）	2	必修	N 専門	
	2	356002	公衆衛生学実習（含環境衛生学）	1	必修	N 専門	
	2	356021	食品衛生学（含衛生行政学）	2	必修	N 専門	
	2	356022	食品衛生学実験	1	必修	N 専門	
E 群：その他関連科目	2	357000	基礎栄養学Ⅰ	2	必修	N 専門	
	2	357001	基礎栄養学Ⅱ	2	必修	N 専門	
	2	357002	基礎栄養学実験	1	必修	N 専門	
	2	357004	応用栄養学Ⅰ	2	必修	N 専門	
	2	357017	公衆栄養学Ⅰ	2	必修	N 専門	
	3	357018	公衆栄養学Ⅱ	2	必修	N 専門	
	1	356010	病理学Ⅰ	2	必修	N 専門	
	2	356011	病理学Ⅱ	2	必修	N 専門	
	1	356015	食品学	2	必修	N 専門	
	1	356016	食品学実験	2	必修	N 専門	

・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修科目を含めて 43 単位以上

食品衛生管理者および食品衛生監視員任用資格課程

■人間科学部 食物栄養学科［管理栄養士課程］　19・18年度入学生

区分	配当年次	学則科目コード	本学開設科目	単位	必修選択の別	科目種別	備　考
A 群：化学関係	1	201402	化学（含無機化学）	2	必修	共通	
B 群：生物化学関係	1	317006	生化学	2	必修	N 専門	
	2	317007	生化学実験	1	必修	N 専門	
	1	317028	解剖生理学Ⅰ	2	必修	N 専門	
	1	317029	解剖生理学Ⅱ	2	必修	N 専門	
	1	317009	解剖生理学実験	2	必修	N 専門	
C 群：微生物関係	3	317012	微生物学（含食品微生物学）	2	必修	N 専門	
	2	317016	食品加工学（含食品保存学）	2	必修	N 専門	
	2	317017	食品加工学実習（含食品保存学）	1	必修	N 専門	
D 群：公衆衛生学関係	2	317001	公衆衛生学Ⅰ（含環境衛生学）	2	必修	N 専門	
	2	317002	公衆衛生学Ⅱ（含疫学）	2	必修	N 専門	
	2	317003	公衆衛生学実習（含環境衛生学）	1	必修	N 専門	
	2	317020	食品衛生学（含衛生行政学）	2	必修	N 専門	
	2	317021	食品衛生学実験	1	必修	N 専門	
E 群：その他関連科目	2	318030	基礎栄養学Ⅰ	2	必修	N 専門	
	2	318031	基礎栄養学Ⅱ	2	必修	N 専門	
	2	318002	基礎栄養学実験	1	必修	N 専門	
	2	318003	応用栄養学Ⅰ	2	必修	N 専門	
	2	318019	公衆栄養学Ⅰ　①	2	必修	N 専門	
	3	318020	公衆栄養学Ⅱ	2	必修	N 専門	
	1	317010	病理学Ⅰ	2	必修	N 専門	
	2	317011	病理学Ⅱ	2	必修	N 専門	
	1	317014	食品学	2	必修	N 専門	
	1	317015	食品学実験	2	必修	N 専門	

・① 18 年度入学生については、「公衆栄養学Ⅰ」は 3 回生配当科目である。
・「必修・選択の別」は、資格取得における必修・選択である。

取得要件単位数	必修科目を含めて 43 単位以上

管理栄養士国家試験受験資格

1 概要

管理栄養士は、栄養士の業務に加え、傷病者に対する療養のために必要な栄養の指導、個人の身体の状況、栄養状態等に応じた高度の専門知識及び技術を要する健康の保持増進のための栄養の指導並びに特定多数の人々に対して継続的に食事を供給する施設における利用者の身体の状況、栄養状態、利用の状況等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理及びこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導等を行うことを業務とします。官公庁、保健所、教育委員会、病院、学校、工場、事業所、福祉施設、スポーツ施設等における栄養指導者として、また大学、研究所、食品会社における研究員として活躍するほか、生活改良普及員として活躍することもできます。

2 取得要件

管理栄養士になるためには、厚生労働大臣から管理栄養士養成施設として指定認可された学校（修業年限が４年）で所定の単位数を取得して、毎年１回実施される「管理栄養士国家試験」に合格しなければなりません。

3 交付

国家試験に合格した者が、管理栄養士免許証の交付を申請すると厚生労働大臣名で管理栄養士登録証が交付されます。

4 必要な費用

国家試験受験時に国家試験受験料 6,800 円、試験に合格した者は申請料 15,000 円が必要です。（2020 年度現在）

管理栄養士国家試験受験資格

■人間科学部 食物栄養学科［管理栄養士課程］　21・20年度入学生

省令科目	教育内容	単位数 講義	単位数 実験・実習	配当年次	学則科目コード	科目名	必修単位数 講義	必修単位数 実験・実習	科目種別	備考
専門基礎分野	社会環境と健康	6	10	2	356000	公衆衛生学Ⅰ	2		N専門	
				2	356001	公衆衛生学Ⅱ	2		N専門	
				2	356002	公衆衛生学実習		1	N専門	
				3	356003	社会福祉論	2		N専門	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14		1	356005	生化学	2		N専門	
				2	356006	生化学実験		1	N専門	
				1	356007	解剖生理学Ⅰ	2		N専門	
				1	356008	解剖生理学Ⅱ	2		N専門	
				1	356009	解剖生理学実験		2	N専門	
				1	356010	病理学Ⅰ	2		N専門	
				2	356011	病理学Ⅱ	2		N専門	
				3	356012	微生物学	2		N専門	
				1	356013	運動生理学	2		N専門	
	食べ物と健康	8		1	356015	食品学	2		N専門	
				1	356016	食品学実験		2	N専門	
				2	356017	食品加工学	2		N専門	
				2	356018	食品加工学実習		1	N専門	
				1	356019	調理学	2		N専門	
				1	356020	調理学実習		2	N専門	
				2	356021	食品衛生学	2		N専門	
				2	356022	食品衛生学実験		1	N専門	
専門分野	基礎栄養学	2	8	2	357000	基礎栄養学Ⅰ	2		N専門	
				2	357001	基礎栄養学Ⅱ	2		N専門	
				2	357002	基礎栄養学実験		1	N専門	
	応用栄養学	6		2	357004	応用栄養学Ⅰ	2		N専門	
				2	357005	応用栄養学Ⅱ	2		N専門	
				2	357006	応用栄養学実習		1	N専門	
				4	357007	運動栄養学	2		N専門	
	栄養教育論	6		2	357008	栄養教育論Ⅰ	2		N専門	
				2	357009	栄養教育論Ⅱ	2		N専門	
				3	357010	栄養カウンセリング論	2		N専門	
				3	357011	栄養教育論実習		1	N専門	
	臨床栄養学	8		2	357012	臨床栄養学総論	2		N専門	
				3	357013	臨床栄養学各論Ⅰ	2		N専門	
				3	357014	臨床栄養学各論Ⅱ	2		N専門	
				3	357015	栄養アセスメント	2		N専門	
				3	357016	臨床栄養学実習		2	N専門	
	公衆栄養学	4		2	357017	公衆栄養学Ⅰ	2		N専門	
				3	357018	公衆栄養学Ⅱ	2		N専門	
				3	357019	公衆栄養学実習		1	N専門	
	給食経営管理論	4		2	357020	給食経営管理論Ⅰ	2		N専門	
				2	357021	給食経営管理論Ⅱ	2		N専門	
				3	357022	給食経営管理論実習		2	N専門	
	総合演習	2		3	357023	管理栄養士演習Ⅰ	1		N専門	
				4	357024	管理栄養士演習Ⅱ	1		N専門	
				4	357025	管理栄養士特別演習		4	N専門	
	臨地実習		4	4	357026	給食経営管理臨地実習Ⅰ（含給食の運営）		1	N専門	
				4	357027	給食経営管理臨地実習Ⅱ		1	N専門	
				4	357028	臨床栄養臨地実習		1	N専門	
				3	357029	公衆栄養臨地実習		1	N専門	

管理栄養士国家試験受験資格

■人間科学部 食物栄養学科［管理栄養士課程］　19・18年度入学生

省令科目	教育内容	単位数 講義	単位数 実験・実習	配当年次	学則科目コード	科目名	必修単位数 講義	必修単位数 実験・実習	科目種別	備考
専門基礎分野	社会環境と健康	6	10	2	317001	公衆衛生学Ⅰ	2		N専門	
				2	317002	公衆衛生学Ⅱ	2		N専門	
				2	317003	公衆衛生学実習		1	N専門	
				3	317004	社会福祉論	2		N専門	
	人体の構造と機能・疾病の成り立ち	14		1	317006	生化学	2		N専門	
				2	317007	生化学実験		1	N専門	
				1	317028	解剖生理学Ⅰ	2		N専門	
				1	317029	解剖生理学Ⅱ	2		N専門	
				1	317009	解剖生理学実験		2	N専門	
				1	317010	病理学Ⅰ	2		N専門	
				2	317011	病理学Ⅱ	2		N専門	
				3	317012	微生物学	2		N専門	
				1	317013	運動生理学	2		N専門	
	食べ物と健康	8		1	317014	食品学	2		N専門	
				1	317015	食品学実験		2	N専門	
				2	317016	食品加工学	2		N専門	
				2	317017	食品加工学実習		1	N専門	
				1	317018	調理学	2		N専門	
				1	317019	調理学実習		2	N専門	
				2	317020	食品衛生学	2		N専門	
				2	317021	食品衛生学実験		1	N専門	
専門分野	基礎栄養学	2	8	2	318030	基礎栄養学Ⅰ	2		N専門	
				2	318031	基礎栄養学Ⅱ	2		N専門	
				2	318002	基礎栄養学実験		1	N専門	
	応用栄養学	6		2	318003	応用栄養学Ⅰ	2		N専門	
				2	318004	応用栄養学Ⅱ	2		N専門	
				2	318005	応用栄養学実習		1	N専門	
				4	318006	運動栄養学	2		N専門	
	栄養教育論	6		2	318007	栄養教育論Ⅰ	2		N専門	
				2	318008	栄養教育論Ⅱ	2		N専門	
				3	318009	栄養カウンセリング論	2		N専門	
				3	318010	栄養教育論実習		1	N専門	
	臨床栄養学	8		2	318015	臨床栄養学総論	2		N専門	
				3	318032	臨床栄養学各論Ⅰ	2		N専門	
				3	318033	臨床栄養学各論Ⅱ	2		N専門	
				3	318017	栄養アセスメント	2		N専門	
				3	318018	臨床栄養学実習		2	N専門	
	公衆栄養学	4		2	318019	公衆栄養学Ⅰ　①	2		N専門	
				3	318020	公衆栄養学Ⅱ	2		N専門	
				3	318021	公衆栄養学実習		1	N専門	
	給食経営管理論	4		2	318034	給食経営管理論Ⅰ	2		N専門	
				2	318035	給食経営管理論Ⅱ	2		N専門	
				3	318023	給食経営管理論実習		2	N専門	
	総合演習	2		4	318024	管理栄養士演習	2		N専門	
				4	318029	管理栄養士特別演習		4	N専門	
	臨地実習		4	4	318025	給食経営管理臨地実習Ⅰ（含給食の運営）		1	N専門	
				4	318026	給食経営管理臨地実習Ⅱ		1	N専門	
				4	318027	臨床栄養臨地実習		1	N専門	
				3	318028	公衆栄養臨地実習		1	N専門	

・① 18年度入学生については、「公衆栄養学Ⅰ」は3回生配当科目である。

栄養士資格

1 概要

栄養士は栄養の指導や給食施設の献立作成などを業務とし、保健所、教育委員会、病院、学校、工場、事業所、福祉施設、スポーツ施設等における栄養指導者として、また大学、研究所、食品会社における研究員として活躍するほか、生活改良普及員として活躍することもできます。

2 取得要件

栄養士は、所定の単位数（科目数）を修得すると、卒業と同時に資格を取得できます。

3 交付

栄養士免許証は、厚生労働大臣から栄養士養成施設として指定認可された学校に入学し、その課程を履修して卒業した後、各都道府県に申請した者に、都道府県知事名で免許証が交付されます。ただし、大学が一括申請する大阪府及び和歌山県については、卒業時に免許証を交付します。

4 必要な費用

申請料 5,600 円が必要です。（2020 年度現在）

栄養士資格

■人間科学部 食物栄養学科［管理栄養士課程］　21・20年度入学生

省令科目	教育内容	単位数 講義	単位数 実験・実習	配当年次	コード	科目名	必修単位数 講義	必修単位数 実験・実習	科目種別	備考
専門分野	社会生活と健康	4	4	2	356000	公衆衛生学Ⅰ	2		N専門	
				3	356003	社会福祉論	2		N専門	
	人体の構造と機能	8		1	356007	解剖生理学Ⅰ	2		N専門	
				1	356008	解剖生理学Ⅱ	2		N専門	
				1	356010	病理学Ⅰ	2		N専門	
				1	356005	生化学	2		N専門	
	食品と衛生	6		1	356015	食品学	2		N専門	
				2	356017	食品加工学	2		N専門	
				2	356021	食品衛生学	2		N専門	
				1	356016	食品学実験		2	N専門	
				2	356018	食品加工学実習		1	N専門	
				2	356022	食品衛生学実験		1	N専門	
	栄養と健康	8	10	2	357000	基礎栄養学Ⅰ	2		N専門	
				2	357001	基礎栄養学Ⅱ	2		N専門	
				2	357004	応用栄養学Ⅰ	2		N専門	
				2	357012	臨床栄養学総論	2		N専門	
				2	357002	基礎栄養学実験		1	N専門	
				3	357016	臨床栄養学実習		2	N専門	
	栄養の指導	6		2	357008	栄養教育論Ⅰ	2		N専門	
				2	357009	栄養教育論Ⅱ	2		N専門	
				3	357011	栄養教育論実習		1	N専門	
				2	357017	公衆栄養学Ⅰ	2		N専門	
				3	357019	公衆栄養学実習		1	N専門	
	給食の運営	4		1	356019	調理学	2		N専門	
				2	357020	給食経営管理論Ⅰ	2		N専門	
				2	357021	給食経営管理論Ⅱ	2		N専門	
				1	356020	調理学実習		2	N専門	
				3	357022	給食経営管理論実習		2	N専門	
				4	357026	給食経営管理臨地実習Ⅰ（含給食の運営）		1	N専門	

栄養士資格

■人間科学部 食物栄養学科［健康実践栄養士課程］　21・20年度入学生

省令科目	教育内容	単位数 講義	単位数 実験・実習	配当年次	コード	科目名	必修単位数 講義	必修単位数 実験・実習	科目種別	備考
専門分野	社会生活と健康	4	4	2	356500	公衆衛生学Ⅰ	2		NP 専門	
				2	356501	社会福祉論	2		NP 専門	
	人体の構造と機能	8		1	356504	解剖生理学Ⅰ	2		NP 専門	
				1	356505	解剖生理学Ⅱ	2		NP 専門	
				1	356506	予防医学	2		NP 専門	
				3	356503	微生物学	2		NP 専門	
				2	356502	生化学	2		NP 専門	
	食品と衛生	6		1	356508	食品学	2		NP 専門	
				2	356510	食品加工学	2		NP 専門	
				2	356515	食品衛生学	2		NP 専門	
				1	356509	食品学実験		2	NP 専門	
				2	356511	食品加工学実習		1	NP 専門	
				2	356516	食品衛生学実験		1	NP 専門	
	栄養と健康	8	10	2	356518	基礎栄養学Ⅰ	2		NP 専門	
				2	356519	基礎栄養学Ⅱ	2		NP 専門	
				2	356521	応用栄養学Ⅰ	2		NP 専門	
				3	356523	臨床栄養学総論	2		NP 専門	
				2	356520	基礎栄養学実験		1	NP 専門	
				3	356524	臨床栄養学実習		1	NP 専門	
	栄養の指導	6		2	356527	栄養教育論Ⅰ	2		NP 専門	
				2	356528	栄養教育論Ⅱ	2		NP 専門	
				3	356529	栄養教育論実習		1	NP 専門	
				3	356530	公衆栄養学Ⅰ	2		NP 専門	
				3	356531	公衆栄養学実習		1	NP 専門	
	給食の運営	4		1	356540	調理学	2		NP 専門	
				2	356537	給食経営管理論Ⅰ	2		NP 専門	
				2	356538	給食経営管理論Ⅱ	2		NP 専門	
				1	356541	調理学実習（基礎）		2	NP 専門	
				3	356542	調理学実習（応用）		2	NP 専門	
				3	356539	給食経営管理論実習		1	NP 専門	
				4	356543	給食経営管理臨地実習Ⅰ（含給食の運営）		1	NP 専門	

栄養士資格

■人間科学部 食物栄養学科［管理栄養士課程］　19・18年度入学生

省令科目	教育内容	単位数 講義	単位数 実験・実習	配当年次	コード	科目名	必修単位数 講義	必修単位数 実験・実習	科目種別	備考
専門分野	社会生活と健康	4	4	2	317001	公衆衛生学Ⅰ	2		N専門	
				3	317004	社会福祉論	2		N専門	
	人体の構造と機能	8		1	317028	解剖生理学Ⅰ	2		N専門	
				1	317029	解剖生理学Ⅱ	2		N専門	
				1	317010	病理学Ⅰ	2		N専門	
				1	317006	生化学	2		N専門	
	食品と衛生	6		1	317014	食品学	2		N専門	
				2	317016	食品加工学	2		N専門	
				2	317020	食品衛生学	2		N専門	
				1	317015	食品学実験		2	N専門	
				2	317017	食品加工学実習		1	N専門	
				2	317021	食品衛生学実験		1	N専門	
	栄養と健康	8	10	2	318030	基礎栄養学Ⅰ	2		N専門	
				2	318031	基礎栄養学Ⅱ	2		N専門	
				2	318003	応用栄養学Ⅰ	2		N専門	
				2	318015	臨床栄養学総論	2		N専門	
				2	318002	基礎栄養学実験		1	N専門	
				3	318018	臨床栄養学実習		2	N専門	
	栄養の指導	6		2	318007	栄養教育論Ⅰ	2		N専門	
				2	318008	栄養教育論Ⅱ	2		N専門	
				3	318010	栄養教育論実習		1	N専門	
				2	318019	公衆栄養学Ⅰ　①	2		N専門	
				3	318021	公衆栄養学実習		1	N専門	
	給食の運営	4		1	317018	調理学	2		N専門	
				2	318034	給食経営管理論Ⅰ	2		N専門	
				2	318035	給食経営管理論Ⅱ	2		N専門	
				1	317019	調理学実習		2	N専門	
				3	318023	給食経営管理論実習		2	N専門	
				4	318025	給食経営管理臨地実習Ⅰ（含給食の運営）		1	N専門	

・① 18年度入学生については、「公衆栄養学Ⅰ」は3回生配当科目である。

栄養士資格

■人間科学部 食物栄養学科［健康実践栄養士課程］　19・18年度入学生

省令科目	教育内容	単位数 講義	単位数 実験・実習	配当年次	コード	科目名	必修単位数 講義	必修単位数 実験・実習	科目種別	備考
専門分野	社会生活と健康	4	4	2	317501	公衆衛生学Ⅰ	2		NP 専門	
				2	317502	社会福祉論	2		NP 専門	
	人体の構造と機能	8		1	317505	解剖生理学Ⅰ	2		NP 専門	
				1	317506	解剖生理学Ⅱ	2		NP 専門	
				1	317507	予防医学	2		NP 専門	
				3	317504	微生物学	2		NP 専門	
				2	317503	生化学	2		NP 専門	
	食品と衛生	6		1	317509	食品学	2		NP 専門	
				2	317511	食品加工学	2		NP 専門	
				2	317517	食品衛生学	2		NP 専門	
				1	317510	食品学実験		2	NP 専門	
				2	317512	食品加工学実習		1	NP 専門	
				2	317518	食品衛生学実験		1	NP 専門	
	栄養と健康	8	10	2	317519	基礎栄養学Ⅰ	2		NP 専門	
				2	317520	基礎栄養学Ⅱ	2		NP 専門	
				2	317522	応用栄養学Ⅰ	2		NP 専門	
				3	317524	臨床栄養学総論	2		NP 専門	
				2	317521	基礎栄養学実験		1	NP 専門	
				3	317525	臨床栄養学実習		1	NP 専門	
	栄養の指導	6		2	317527	栄養教育論Ⅰ	2		NP 専門	
				2	317528	栄養教育論Ⅱ	2		NP 専門	
				3	317529	栄養教育論実習		1	NP 専門	
				3	317530	公衆栄養学Ⅰ	2		NP 専門	
				3	317531	公衆栄養学実習		1	NP 専門	
	給食の運営	4		1	317538	調理学	2		NP 専門	
				2	317535	給食経営管理論Ⅰ	2		NP 専門	
				2	317536	給食経営管理論Ⅱ	2		NP 専門	
				1	317539	調理学実習（基礎）		2	NP 専門	
				3	317540	調理学実習（応用）		2	NP 専門	
				3	317537	給食経営管理論実習		1	NP 専門	
				4	317541	給食経営管理臨地実習Ⅰ（含給食の運営）		1	NP 専門	

図　書　館

図　書　館

大学図書館は、学生生活に欠かせない施設です。高校時代にくらべて図書館の資料を使って学習しなければならないケースが多くなってきます。講義も教室でノートをとるだけでなく、図書館の資料を使って自ら問題を解決する仕組みになっています。

本学図書館の蔵書冊数は約 20 万冊あり学術雑誌や新聞、AV資料もあります。日々の学習のため十分にご利用できます。

1．開館日と開館時間

［開館日］

日曜・祝日、創立記念日（5月 12 日）、夏季一斉休業期間（8月中旬）、年末年始を除く毎日。

※但し、授業のある日は開館します。

［開館時間］

月～金　9：00 ～ 19：00
（休暇中 16：50）

土　9：00 ～ 12：50

2．利用上の注意

館内には荷物を持ったまま入ることができますが、貴重品は各自責任を持って管理してください。

食事、雑談は禁止です。もちろん携帯電話での通話も禁止です。他の利用者に迷惑がかからないように利用してください。

3．閲　覧

図書館では、読みたい本を直接書架から取り出して、館内で自由に閲覧できます。

4．蔵書検索

資料を探すときは、コンピューター目録を検索すると、早く、的確に、資料を見つけることができます。新着資料もリアルタイムにヒットしますし、貸出状況も同時にわかります。またスマートフォンからも検索ができます。

5．貸出・返却

ほとんどすべての図書が貸出可能です。本を借りる場合は、本と学生証をカウンターで提示してください。返却のときは、本をカウンターにお持ちいただくか、閉館時は返却ポストをご利用ください。

〔大学院生〕

貸出冊数――20 冊以内
貸出期間――1ヶ月以内

〔学部学生〕

貸出冊数――20 冊以内
貸出期間――2週間以内
（4回生の場合、卒業論文のための1ヶ月貸出ができます。）

6．AV 資料の利用

図書館内では DVD を視聴することができます。利用手続きについてはカウンターにお問い合わせください。

7．その他のサービス

図書館では、図書館資料の閲覧、貸出のほかに次のようなサービスをしています。

［オンラインサービス］

貸出状況・貸出履歴・予約状況の確認、予約、他機関への複写・貸借依頼、購入希望の申込がインターネットでできます。但し、パスワードが必要です。カウンターで仮パスワードの発行を受けてください。

［予約サービス］

借りたい図書が貸出中のとき、その図書を予約できます。

［リクエストサービス］

学習用その他の理由で、図書館に備えてほしい資料の購入希望ができます。

［コピーサービス］

著作権法を守ったうえで、図書館蔵書のコピーができます。

［レファレンスサービス］

図書館の利用の仕方や、資料の検索方法、資料の所在調査など、わからないことにお答えします。

［相互利用サービス］

本学図書館に求める資料がない場合、他館を直接訪れて利用させてもらうための紹介状の発行や、他館からの資料の借用、コピーの取り寄せなどができます。

［インターネットサービス］

CiNii、雑誌記事索引（国立国会図書館）等が検索でき、他に、次のインターネットサービスが館内で利用できます。

・日経テレコン 21
新聞・雑誌、企業情報等を検索できるデータベースサービスです。

・国会図書館デジタル化資料送信サービス
国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料について、館内でデジタル画像の閲覧と複写ができます。

日本十進分類法（新訂９版）

０００	**総記**
０１０	図書館．図書館学
０２０	図書．書誌学
０３０	百科事典
０４０	一般論文集．一般講演集
０５０	逐次刊行物
０６０	団体
０７０	ジャーナリズム．新聞
０８０	叢書．全集．選集
０９０	貴重書．郷土資料．その他の特別コレクション
１００	**哲学**
１１０	哲学各論
１２０	東洋思想
１３０	西洋哲学
１４０	心理学
１５０	倫理学．道徳
１６０	**宗教**
１７０	神道
１８０	仏教
１９０	キリスト教
２００	**歴史**
２１０	日本史
２２０	アジア史．東洋史
２３０	ヨーロッパ史．西洋史
２４０	アフリカ史
２５０	北アメリカ史
２６０	南アメリカ史
２７０	オセアニア史．両極地方史
２８０	伝記
２９０	**地理．地誌．紀行**
３００	**社会科学**
３１０	政治
３２０	法律
３３０	経済
３４０	財政
３５０	統計
３６０	社会
３７０	教育
３８０	風俗習慣．民俗学．民族学
３９０	国防．軍事
４００	**自然科学**
４１０	数学
４２０	物理学
４３０	化学
４４０	天文学．宇宙科学
４５０	地球科学．地学
４６０	生物科学．一般生物学
４７０	植物学
４８０	動物学
４９０	**医学．薬学**
５００	**技術．工学**
５１０	建設工学．土木工学
５２０	建築学
５３０	機械工学．原子力工学
５４０	電気工学．電子工学
５５０	海洋工学．船舶工学．兵器
５６０	金属工学．鉱山工学
５７０	化学工業
５８０	製造工業
５９０	**家政学．生活科学**
６００	**産業**
６１０	農業
６２０	園芸
６３０	蚕糸業
６４０	畜産業．獣医学
６５０	林業
６６０	水産業
６７０	商業
６８０	運輸．交通
６９０	通信事業
７００	**芸術．美術**
７１０	彫刻
７２０	絵画．書道
７３０	版画
７４０	写真．印刷
７５０	工芸
７６０	音楽．舞踊
７７０	演劇．絵画
７８０	**スポーツ．体育**
７９０	**諸芸．娯楽**
８００	**言語**
８１０	日本語
８２０	中国語．その他の東洋の諸言語
８３０	英語
８４０	ドイツ語
８５０	フランス語
８６０	スペイン語
８７０	イタリア語
８８０	ロシア語
８９０	その他の諸言語
９００	**文学**
９１０	日本文学
９２０	中国文学．その他の東洋文学
９３０	英米文学
９４０	ドイツ文学
９５０	フランス文学
９６０	スペイン文学
９７０	イタリア文学
９８０	ロシア・ソヴィエト文学
９９０	その他の諸文学

帝塚山学院大学図書館規程

第１章　総　則

第　１　条　帝塚山学院大学学則第 56 条の規程に基づき、本学に帝塚山学院大学図書館（以下「本学図書館」という）を置く。

第　２　条　本学図書館は図書及び資料を取得・整理・保存して、本学の教職員、学生並びに館長の許可を得た者の利用に供する。

第　３　条　本学図書館が管理する図書類は次の４種とする。
(1)　一般図書
(2)　辞書、事典、年鑑、便覧、統計表などの特別図書
(3)　新聞、雑誌などの定期刊行物
(4)　非印刷媒体資料

第　４　条　本学図書館は、次の休館日を除き毎日開館する。
(1)　国民の祝日
(2)　日曜日
(3)　大学の一斉休業日
(4)　曝書期（その都度定める）
但し、必要により臨時にこれを変更することがある。

第　５　条　本学図書館開館時間は、次の通りとする。
平　日　　午前９時より午後７時まで
（土曜日は午後０時 50 分まで）
休暇日　　午前９時より午後４時 50 分まで
（土曜日は午後０時 50 分まで）
但し、必要により臨時にこれを変更することがある。

第２章　利用登録と館内閲覧

第　６　条　本学図書館の図書類を利用することのできる者は、次の通りとする。
(1)　本学教職員
(2)　本学学生
(3)　その他、本学図書館長の許可を得た者

第　７　条　本学図書館は、利用証を交付する。
２　利用証は、前条に示された者に対し請求があった時にこれを交付する。

第　８　条　館内の資料は、原則として自由に閲覧することができる。
２　必要があるときは、本人であることを確認できるものの提示を求めることがある。

第　９　条　閲覧図書類は、所定の閲覧室で閲覧し、外に持ち出すことはできない。

第　10　条　閲覧室では次の各号を守らなければならない。
(1)　静粛を保つこと
(2)　各種機器類、什器類、その他設備を毀損しないこと
(3)　食事はしないこと
(4)　印刷物その他物品を配布しないこと
(5)　そのほか、他の閲覧者の妨害となるような行為をしないこと

第３章　帯　出

第　11　条　図書類を帯出しようとする者は、学生証を添えて係員に提出し、帯出手続きを行う。
２　帯出図書類を返納するときは、係員に提出し、確認を受ける。

第　12　条　帯出できる図書類の数は次の通りとする。
(1)　教職員　　20 冊以内
(2)　大学院生　　20 冊以内
(3)　学部学生　　20 冊以内
(4)　その他の者　　５冊以内
２　前項の制限冊数を超えて帯出しようとする者は、図書館長の許可を得なければならない。

第　13　条　図書類を帯出できる期間は、次の通りとする。
(1)　教職員　　１ヶ月以内
(2)　大学院生　　１ヶ月以内
(3)　学部学生　　２週間以内
(4)　その他の者　　２週間以内
２　前項の制限期間以上帯出しようとする者は、図書館長の許可を得なければならない。

第　14　条　次の図書類は、特別の理由がない限り帯出は禁止する。
(1)　特に定める図書類
(2)　その他、特に指定するもの

第　15　条　教職員は退職時に、返却期限前であっても帯出図書類を直ちに返却しなければならない。
２　学生は卒業時、休学時、退学時若しくは停学の処分を受けた時には、返却期限前であっても帯出図書類を直ちに返還しなければならない。

第４章　研究用帯出

第　16　条　本学に研究室を有する専任教員は、研究上必要な図書類を研究室へ帯出することができる。
２　前項の帯出図書類については、当該研究室の責任者が保管の責に任じなければならない。

第　17　条　前条により帯出した図書類は、必要に応じて本学図書館長が、これを点検し、また返納を求めることがある。

第　18　条　本学の研究室の帯出図書類は、研究に支障のない限り、随時閲覧させる。

第５章　寄贈及び寄託図書

第　19　条　本学図書館は、図書類の寄贈を受けることができる。

第　20　条　寄贈図書類が多数のときは、特別の名称を付することができる。

第　21　条　本学図書館は、図書類の寄託を受けることができる。

第　22　条　寄託図書の紛失毀損に対しては、本学図書館の過失によるもののほかは、その責に任じない。

第６章　雑　則

第　23　条　本学図書館の施設及び設備に損害を与えた者は、その責任を負わなければならない。

第　24　条　本学図書館の図書類を紛失、毀損又は汚染した者は、同一の図書を以って弁償するものとする。
但し、やむを得ない事情ある場合は、他の方法で弁償することを認められることがある。

第　25　条　図書館の利用者で、本規程に違反した者は、図書館長が図書閲覧及び帯出を禁止することがある。

第　26　条　この規程の施行について必要な事項は図書館長が定める。

第　27　条　この規程の改廃は、大学評議会の意見を聴いて、学長が行う。

附　則
（施行期日）
１　この規程は、昭和 41 年４月１日から施行する。
（経過措置）
２　この規程は、昭和 49 年４月１日から施行する。
３　この規程は、昭和 61 年４月１日から施行する。
４　この規程は、平成元年４月１日から施行する。
５　この規程は、平成６年４月１日から施行する。
６　この規程は、平成 10 年４月１日から施行する。
７　この規程は、平成 11 年４月１日から施行する。
８　この規程は、平成 15 年４月１日から施行する。
９　この規程は、平成 22 年６月２日から施行する。
１０　この規程は、令和３年４月１日から施行する。

諸　　規　　程

帝塚山学院大学学則

第１章　総則

（名　称）

第　１条　本学は帝塚山学院大学と称する。

（目　的）

第　２条　本学は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、「力の教育」、すなわち意志の力、情の力、知の力、躯幹の力を含む全人教育を以って有為な人材を社会に送り出すという帝塚山学院建学の精神を継承しながら、豊かな教養を身につけ自学自習の教育によって求知心を育み、社会に貢献し得る品性高い人材を育成することを目的とする。

（自己点検・評価）

第　３条　本学は常に教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表し、その改善・充実に努める。

２　前項の点検及び評価の実施のために、自己点検・評価委員会をおく。同委員会に関する規程は別に定める。

３　第１項の自己点検・評価に加え、教育研究等の総合的な状況について、定期的に文部科学大臣の認証を受けた評価機構の評価（以下「認証評価」という）を受けるものとする。

４　第１項の点検及び評価に関し、必要な事項は別に定める。

（教育組織）

第　４条　本学に、次の学部、学科及び課程をおく。

リベラルアーツ学部
　リベラルアーツ学科
人間科学部
　キャリア英語学科
　情報メディア学科
　心理学科
　食物栄養学科
　　管理栄養士課程
　　健康実践栄養士課程

２　本学に基盤教育機構をおく。但し、基盤教育機構に関する規程は別に定める。

３　本学に大学院をおく。但し、大学院に関して必要な事項は別に定める。

（学部及び学科の人材養成目的等）

第　５条　本学の学部、学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は次の通りとする。

《リベラルアーツ学部》

社会の急速な変化に対応できる広い視野、判断力を有し、企画力、実践力、推進力のある総合的、学際的教養を身につけた人材の育成を目指す。

リベラルアーツ学科

社会の急速な変化に対応できる広い視野、判断力を有し、企画力、実践力、推進力のある総合的、学際的教養を身につけた人材の育成を目指す。

《人間科学部》

情報化社会における人間行動の科学的な解明を目指し、各学科の専門分野の知識・技能とともに関連する分野を幅広く学び、現代社会における実践的能力を備えた人材を目指す。

キャリア英語学科

グローバル化、情報化する現代社会で実践的英語力を「仕事」に活かし社会に貢献できる人材を育成する。

情報メディア学科

情報・メディアの特質を理解し、情報・メディアの様々な活用法を研究することを通して、新しい社会のしくみを創造していく人材を養成する。

心理学科

心理学の知識と技能を理論的、体験的に修得するとともに、健康科学領域に関する知識も修得し、地域と社会に貢献できる専門家となる人材を養成する。

食物栄養学科

「食」、「栄養」に関する高度な専門的知識を有し、総合的なマネジメント力を身につけた「食」に関する専門職業人を養成する。

（学生定員）

第　６条　各学部、学科及び課程の学生定員は、次の通りとする。

【入学定員】

リベラルアーツ学部	
リベラルアーツ学科	120 名
人間科学部	
キャリア英語学科	30 名
情報メディア学科	50 名
心理学科	130 名
食物栄養学科	120 名
管理栄養士課程	80 名
健康実践栄養士課程	40 名

【収容定員】

リベラルアーツ学部	
リベラルアーツ学科	480 名
人間科学部	
キャリア英語学科	120 名
情報メディア学科	200 名
心理学科	520 名
食物栄養学科	480 名
管理栄養士課程	320 名
健康実践栄養士課程	160 名

第２章　学年、学期及び休業日

（学　年）

第　７条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

（学　期）

第　８条　学年を分けて、次の２学期とする。

春学期
　４月１日から９月30日まで
秋学期
　10月１日から翌年３月31日まで

２　必要がある場合、学長は前項の学期の期間を変更することができる。

（授業期間）

第　９条　１年間の授業期間は、定期試験などの期間を含め、35週にわたることを原則とする。

（各授業科目の授業期間）

第10条　各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。但し、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

（休業日）

第11条　休業日は、次の通りとする。

(1)　国民の祝日に関する法律に規定する休日
(2)　日曜日
(3)　創立記念日（５月12日）
(4)　夏季、冬季及び学年末休業に関しては、別に定

める本学の学年暦による。
2　必要がある場合、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。
3　第 1 項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定めることができる。

第 3 章　入学、編入学、退学、休学、転学部、転学科、転学、留学及び除籍

（入学時期）
第 12 条　入学の時期は学年又は学期の始めとする。
（入学資格）
第 13 条　入学する資格のある者は、次の各号の一に該当する者とする。
(1)　高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者
(2)　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
(3)　外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
(4)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
(5)　文部科学大臣の指定した者
(6)　文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
(7)　相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学で認めた者
（入学試験）
第 14 条　入学志願者に対して選抜試験を行い、学長が教授会の意見を聴いて、入学を許可する者を決定する。
（入学出願）
第 15 条　入学志願者は、入学願書に、別に定める書類及び入学検定料をそえて、所定の期日までに、提出しなければならない。
（入学手続）
第 16 条　入学試験に合格した者は、所定の期日までに本学所定の誓約書及びその他の書類を提出し、入学金を納入しなければならない。
（編入学）
第 17 条　編入学する資格のある者は、次の各号の一に該当する者とする。
(1)　短期大学を卒業した者
(2)　大学に 2 年以上在学し、所定の単位を修得した者
(3)　高等専門学校を卒業した者
(4)　専修学校専門課程を修了した者。但し、修業年限が 2 年以上であり総修業時間 1,700 時間以上を修了した者
(5)　前各号と同等以上の学力があると本学で認めた者
2　本学則第 14 条から第 16 条までの規定は編入学に準用する。
3　編入学について必要な事項は、別に定める。
（退学及び再入学）
第 18 条　病気その他やむを得ない理由によって退学しようとする者は、保証人が連署した退学願を提出し、学長が教授会の意見を聴いて、これを許可することがある。
2　前項によって退学した者が、再入学を願い出るときは、願い出の理由によって、学長が教授会の意見を聴いて、これを許可することがある。
（休学及び復学）
第 19 条　病気その他やむを得ない理由によって就学できない者は、休学を願い出ることができる。その場合保証人が連署した休学願を提出し、学長が教授会の意見を聴いて、これを許可することがある。
2　休学の期間は、原則として 2 年を越えることができない。
3　休学の期間は、在学年数に算入しない。
4　休学者が復学しようとするときは、保証人が連署した復学願を提出し、学長が教授会の意見を聴いて、これを許可することがある。
（転学部及び転学科）
第 20 条　学内において転学部又は転学科を志願する者は、当該学部長に願い出て、学長が教授会の意見を聴いて、これを許可することがある。
（転　学）
第 21 条　本学から他の大学に転学を志願する者がある場合は、学長が教授会の意見を聴いて、これを許可することがある。
（留　学）
第 22 条　外国の大学で学修することを志願する者がある場合は、学長が教授会の意見を聴いて、これを許可することがある。
2　前項により留学した期間は、修業年限に含めることができる。
3　前 2 項のほか、外国の大学で修得した単位の認定等に関し必要な事項は、別に定める。
（除　籍）
第 23 条　次の各号の一に該当する者については、学長が教授会の意見を聴いて、除籍する。
(1)　在学年数が本学則第 37 条第 2 項に規定された年数を越える場合
(2)　休学の期間が本学則第 19 条第 2 項に規定された期間を越える場合
(3)　長期にわたって無届で欠席した場合
(4)　本学則第 43 条第 2 項の場合

第 4 章　科目等履修生・聴講生・外国人学生及び特別課程履修生

（科目等履修生）
第 24 条　授業科目の一部について履修を志願する者があるときは、本学の教育に支障のないかぎり、学長が教授会の意見を聴いて、科目等履修生として、許可する。
2　科目等履修生が受講した科目について試験を受け、合格した場合は、学長が教授会の意見を聴いて、当該科目の単位を授与する。
3　科目等履修生に関して必要な事項は、別に定める。
（聴講生）
第 25 条　本学則第 13 条の各号の一に該当する者が、授業科目の一部について聴講を願い出るときは、本学の教育に支障のないかぎり、学長が教授会の意見を聴いて、聴講を許可することがある。
2　聴講した科目の単位取得の認定は行わない。
（特別聴講学生）
第 26 条　他の大学との協議に基づき、当該大学に在学中の者で、授業科目の一部について聴講を願い出るときは、本学の教育に支障のないかぎり、学長が教授会の意見を聴いて、特別聴講学生として聴講を許可することがある。
（外国人学生）
第 27 条　外国人で本学則第 14 条によらないで入学を志願する者がある場合は、学長が教授会の意見を聴いて、外国人学生として入学を許可することがある。
（特別課程履修生）
第 28 条　学校教育法第 105 条に定める特別課程を履修しようとする者がある場合は、学長が教授会の意見を聴いて、特別課程履修生として履修を許可することがある。

2　特別課程履修生が所定の課程を修了したときは、学校教育法に定める履修証明を与えることができる。

第 5 章　教育課程及び履修方法

（授業科目及び単位数）

第 29 条　リベラルアーツ学部及び人間科学部の授業科目及びその単位数は、別表（1）の通りとする。

2　前項に定める科目のほか、臨時に授業科目を開設することがある。この科目に関する事項は開設ごとに定める。

3　教育職員養成課程に関する科目、博物館学芸員課程に関する科目、図書館司書課程に関する科目、社会教育主事課程に関する科目、認定心理士／認定心理士（心理調査）・応用心理士課程に関する科目、食品衛生管理者及び食品衛生監視員課程に関する科目、フードスペシャリスト養成課程に関する科目、学校図書館司書教諭課程に関する科目、日本語教員養成コースに関する科目、レクリエーション・インストラクター養成に関する科目、管理栄養士課程に関する科目、栄養士課程に関する科目、栄養に係る教育に関する科目、共通科目Ⅰ・Ⅱ／スポーツリーダー養成課程に関する科目、養護教諭に関する科目、健康運動実践指導者養成課程に関する科目並びに公認心理師に関する科目は、それぞれ別表（2）、別表（3）、別表（4）、別表（5）、別表（6）、別表（7）、別表（8）、別表（9）、別表（10）、別表（11）、別表（12）、別表（13）、別表（14）、別表（15）、別表（16）、別表（17）並びに別表（18）の通りとする。

（単位算定基準）

第 30 条　前条に定める授業科目の単位数の算定は、次の各号が定める基準による。

（1）　講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

（2）　実験・実習及び体育実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

（3）　卒業論文及び卒業研究については、これらの学習の成果を評価して単位を授与する。

（履修方法）

第 31 条　履修方法は、履修規程に定める。

（教室等以外の場所での履修）

第 32 条　第 29 条に定める講義、演習、実験、実習及び実技による授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、教室等以外の場所で履修させることができる。

2　前項に規定する授業方法により修得する単位数は、60 単位を超えないものとする。

（他の大学又は短期大学における授業科目等の履修等）

第 33 条　教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学等との協議に基づき、学生に当該大学又は短期大学等の授業科目等を履修させることができる。

2　前項の規定により履修した授業科目等について修得した単位については、学長が教授会の意見を聴いて、30 単位を超えない範囲で本学において修得した単位として認めることができる。

（大学以外の教育に資する施設等における学修）

第 34 条　教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、学長が教授会の意見を聴いて、単位を与えることができる。

2　前項の規定により与えることができる単位数は、前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 30 単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位等の認定）

第 35 条　教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学等において履修した授業科目について修得した単位（「科目等履修生」として修得した単位を含む）を、入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2　前項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、学長が教授会の意見を聴いて、第 33 条及び前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 30 単位を超えない範囲で本学において修得した単位として認めることができる。

（課程修了の認定）

第 36 条　課程修了の認定は、試験及び平素の成績による。

2　成績の評価は、100 点法に基づき、60 点以上を合格とする。合格した科目に対しては、所定の単位を与える。

（修業年限及び在学年数）

第 37 条　修業年限は 4 年とする。

2　在学年数は 8 年を越えてはならない。但し、本学則第 17 条に定める編入学を許可された者についての在学年数は、必要とする修業年限の 2 倍を越えてはならない。

第 6 章　卒業及び学位並びに資格等の取得

（卒業時期）

第 38 条　卒業の時期は原則として学年又は学期の終わりとする。

（卒業の認定）

第 39 条　本学則第 37 条に定める期間在学し、別表に掲げる授業科目の中から所定の履修方法にしたがって、次の単位数を修得した者に対し、学長が教授会の意見を聴いて、卒業と認定し、卒業証書・学位記を授与する。

リベラルアーツ学部

リベラルアーツ学科	124 単位以上

人間科学部

キャリア英語学科	124 単位以上
情報メディア学科	124 単位以上
心理学科	124 単位以上
食物栄養学科	128 単位以上

2　本学は、別に定めるところにより、本学の学科に 3 年以上在学した学生が、卒業の要件として本学の定める単位を優秀な成績で修得したと認める場合には、第 37 条第 1 項の規定にかかわらず、その卒業を認めることができる。

3　本学は、別に定めるところにより、卒業に必要な要件を満たす者が、合理的な理由により卒業を延期し引き続き在学を希望する場合は、卒業を延期することができる。

（学位の授与）

第 40 条　学長が教授会の意見を聴いて、次の区分にしたがって学士の学位の授与を決定する。

リベラルアーツ学部

リベラルアーツ学科	学士	（リベラルアーツ）

人間科学部

キャリア英語学科	学士	（キャリア英語）
情報メディア学科	学士	（情報メディア）
心理学科	学士	（心理学）
食物栄養学科	学士	（食物栄養）

（資格等の取得）

第 41 条　本学において取得することができる資格等及び免許状の種類は、次の通りである。

リベラルアーツ学部

リベラルアーツ学科
教育職員免許状（中学校教諭一種［国語］、中学校教諭一種［英語］、高等学校教諭一種［国語］、高等学校教諭一種［英語］）、博物館学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、日本語教員養成コース修了及びレクリエーション・インストラクター

人間科学部
キャリア英語学科
教育職員免許状（中学校教諭一種［英語］、高等学校教諭一種［英語］）、博物館学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事及び日本語教員養成コース修了

情報メディア学科
教育職員免許状（高等学校教諭一種［情報］）、博物館学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、認定心理士・応用心理士、日本語教員養成コース修了、レクリエーション・インストラクター及び共通科目Ⅰ・Ⅱ／スポーツリーダー養成

心理学科
教育職員免許状（高等学校教諭一種〔保健〕、中学校教諭一種〔保健〕）、教育職員免許状（養護教諭一種）、博物館学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、認定心理士／認定心理士（心理調査）・応用心理士、日本語教員養成コース修了、レクリエーション・インストラクター、共通科目Ⅰ・Ⅱ／スポーツリーダー養成、健康運動実践指導者及び公認心理師受験資格（大学指定科目）

食物栄養学科　管理栄養士課程
社会教育主事、食品衛生管理者及び食品衛生監視員、フードスペシャリスト、レクリエーション・インストラクター、管理栄養士受験資格、栄養士、教育職員免許状（栄養教諭一種）、共通科目Ⅰ・Ⅱ／スポーツリーダー養成及び健康運動実践指導者

食物栄養学科　健康実践栄養士課程
社会教育主事、フードスペシャリスト、レクリエーション・インストラクター、栄養士、共通科目Ⅰ・Ⅱ／スポーツリーダー養成及び健康運動実践指導者

2　教育職員免許状授与の所要資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、教育職員免許法及び同法施行規則の定めるところにより、別表（2）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

3　博物館学芸員の資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（3）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

4　図書館司書の資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（4）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

5　社会教育主事の資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（5）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

6　認定心理士／認定心理士（心理調査）・応用心理士の資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（6）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

7　食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（7）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

8　フードスペシャリストの資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（8）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

9　学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（9）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

10　日本語教員養成コース修了証明書を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（10）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

11　レクリエーション・インストラクター資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（11）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

12　管理栄養士受験資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（12）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。また、管理栄養士課程の学級数は、原則 2 とする。

13　栄養士資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（13）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。また、健康実践栄養士課程の学級数は、原則 1 とする。

14　栄養教諭一種免許状授与の所要資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（14）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

15　共通科目Ⅰ・Ⅱ／スポーツリーダー養成資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（15）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

16　養護教諭一種免許状授与の所要資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（16）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

17　健康運動実践指導者資格を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（17）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

18　公認心理師受験資格（大学指定科目）を得ようとする者は、本学則第 39 条で定める単位のほか、別表（18）に規定する専門科目を履修しなければならない。履修方法は別に定める。

第 7 章　学費

（学　費）

第 42 条　本学において徴収する学費は、別表（19）の通りとする。

2　本学則第 17 条による編入学の学費は、前項と同様とする。

3　授業料は、毎学年 2 期分納とする。分納の時期は、5 月末日、10 月末日までとする。

4　すでに納入した学費及びその他の納入金は返還しない。

（授業料の納入及び免除等）

第 43 条　授業料を納入しない者は、本学則第 36 条に定める試験を受けることができない。

2　授業料の納入を怠った者は除籍する。
3　前項の規定によって除籍された者が再入学を願い出るときは、学長が教授会の意見を聴いて、許可することがある。
4　休学期間中は、在籍料を納付するものとし、この期間の授業料、教育充実費及び実験実習費は全額を免除する。
5　本学則第 37 条に定める修業年限以上在学し、且つ第 39 条の規定により卒業の認定をされなかった者のうち、卒業の認定を受けるための不足単位数が 8 単位以下の者で、且つ翌年度の履修登録単位数が 16 単位以下の者は、当該学期の授業料の半額を免除し、教育充実費及び実験実習費は全額を免除する。
6　本学則第 37 条に定める修業年限を春学期末に充足し、且つ第 39 条の規定により卒業の認定をされなかった者のうち、卒業の認定を受けるための不足単位数が 8 単位以下の者で、且つ翌学期の履修登録単位数が 16 単位以下の者は、当該学期の授業料の半額を免除し、教育充実費及び実験実習費は全額を免除する。
7　本学則第 37 条に定める修業年限以上在学し、前項及び前々項の規定の対象とならない者は、教育充実費及び実験実習費の全額を免除する。

第 8 章　賞罰

（表　彰）
第 44 条　学業が特に優秀な者又は学生の模範となる行為をした者は、学長が教授会の意見を聴いて、これを表彰する。
（懲　戒）
第 45 条　学則に違反し、又は本学の教育方針に反する行為があった者は、学長が教授会の意見を聴いて、これを懲戒する。
2　懲戒は、訓告又は停学（有期及び無期）若しくは退学とする。
3　懲戒退学は、次の各号の場合に限る。
(1)　性行不良で改善の見込みがないと認められる者
(2)　学業を怠り成業の見込みがないと認められる者
(3)　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
4　懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

第 9 章　教職員組織

（学長、副学長、学部長等）
第 46 条　本学に学長をおく。学長は校務を掌り、所属教職員を統督する。
2　本学に副学長をおく。副学長は、学長を助け、命を受けて校務を掌る。
3　本学に学長補佐をおくことができる。学長補佐に関し必要な事項は、別に定める。
4　本学の各学部に学部長をおき、基盤教育機構に機構長をおく。学部長及び基盤教育機構長に関し必要な事項は、別に定める。
（教職員）
第 47 条　本学に次の教職員をおく。
教授
准教授
講師
助教
助手
事務職員
その他
（役職員）
第 48 条　本学に、別に定めるところにより役職員をおく。
2　役職員の任免は学長の具申により、理事長が行う。

第 10 章　運営管理

（運営管理）
第 49 条　本学運営管理のため、別に定めるところにより管理職員をおく。
2　管理職員の任免は理事長が行う。

第 11 章　大学評議会

（大学評議会）
第 50 条　本学に大学評議会をおく。
2　大学評議会は学長、副学長、学部長、基盤教育機構長、教務部長、学生部長、学科長、事務局長をもって組織する。但し、学長が必要とする場合には、評議員以外の教職員及び学外の有識者に出席を求めることができる。
3　大学評議会の規程は別に定める。
（大学評議会での意見聴取事項）
第 51 条　大学評議会は、全学に関わる次の事項について、学長の求めに応じ意見を述べるものとする。
(1)　学則その他諸規程の制定改廃に関する事項
(2)　教育研究及び組織運営に関する事項
(3)　教育課程の編成方針に関する事項
(4)　教員の教育研究業績の基準に関する事項
(5)　学生の厚生補導に関する事項
(6)　内部質保証に関する事項
(7)　予算に関する事項
(8)　その他、学長が必要とする事項
（全学委員会の設置）
第 52 条　大学評議会のもとに、全学委員会をおく。
2　全学委員会に関する規程は別に定める。

第 12 章　教授会

（教授会）
第 53 条　本学に教授会をおく。
2　教授会は、学長、副学長、教授、准教授、専任講師及び事務局長をもって組織する。但し、学長が必要とする場合には、その他の教職員を加えることができる。
3　学長は、教授会を招集し、その議長となる。
4　教授会の規程は別に定める。
（教授会での意見聴取事項）
第 54 条　教授会は、学長が決定を行う次の事項について意見を述べるものとする。
(1)　学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
(2)　学位授与に関する事項
(3)　教育課程の編成に関する事項
(4)　学生の身分に関する事項
(5)　教員の教育研究業績に関する事項
(6)　その他、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
2　教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について、学長等の求めに応じ、意見を述べることできる。
3　学長が決定する事項は別に定める。

第 13 章　事務局

（事務局）
第 55 条　本学に事務局をおく。
2　事務局に関する規程は、別に定める。

第 14 章　図書館

（図書館）
第 56 条　本学に図書館をおく。

2　図書館に関する規程は、別に定める。

第 15 章　社会連携機構

（社会連携機構）

第 57 条　本学に社会連携機構をおく。

2　社会連携機構に比較文化研究所をおく。

3　社会連携機構及び比較文化研究所に関する規程は、別に定める。

第 16 章　教育研究附属施設等

（教職実践研究センター）

第 58 条　本学に教職実践研究センターをおく。

2　教職実践研究センターに関する規程は、別に定める。

（国際交流センター）

第 59 条　本学に国際交流センターをおく。

2　国際交流センターに関する規程は、別に定める。

（心理教育相談センター）

第 60 条　本学大学院に心理教育相談センターをおく。

2　心理教育相談センターに関する規程は、別に定める。

第 17 章　学則の変更

（学則の変更）

第 61 条　この学則の変更は、大学評議会の意見を聴いて、理事会の議決を得て行う。

附　則

（施行期日）

1　本学則は、昭和 41 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2　この学則は、昭和 42 年 4 月 1 日から施行する。

＜中略＞

51　この学則は、令和 2 年 7 月 1 日から施行する。

52　この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

令和 3 年度から令和 5 年度における収容定員は本学則第 6 条の規定にかかわらず、次の通りとする。

	3 年度	4 年度	5 年度
リベラルアーツ学部			
リベラルアーツ学科	490 名	480 名	480 名
人間科学部			
キャリア英語学科	80 名	30 名	0 名
情報メディア学科	120 名	50 名	0 名
心理学科	540 名	520 名	520 名
食物栄養学科	480 名	480 名	480 名
管理栄養士課程	320 名	320 名	320 名
健康実践栄養士課程	160 名	160 名	160 名

別　表（1）～ 別　表（18）　省　略

別　表（19）　学　費

入学検定料	30,000 円
入学金	250,000 円
授業料	880,000 円
教育充実費	300,000 円
（リベラルアーツ学部）	
教育充実費	300,000 円
（人間科学部キャリア英語学科・情報メディア学科・心理学科）	
教育充実費	340,000 円
（人間科学部食物栄養学科）	
実験実習費	30,000 円
（人間科学部心理学科）	
実験実習費	30,000 円
（人間科学部食物栄養学科）	

休学期間中

在籍料	120,000 円

科目等履修生

選　考　料	5,000 円
登　録　料	10,000 円
受　講　料	10,000 円（1 単位）

ただし、本学卒業生については、選考料・登録料は全額、受講料は半額免除する。

聴講生

登　録　料	5,000 円
聴　講　料	10,000 円（半期週 1 コマ）

ただし、登録料については、本学卒業生は免除する。

卒業延期制度による納付金

在　籍　料	
（春学期）	60,000 円
（秋学期）	60,000 円

帝塚山学院大学履修規程

第１章　総　則

（趣　旨）

第１条　この規程は、帝塚山学院大学学則第 31 条の規定に基づき、授業科目の履修について必要な事項を定めるものとする。

第２章　授業科目

（授業科目）

第２条　授業科目の区分は、別表第１の通りとする。

第３章　卒業に必要な単位数

（卒業に必要な単位数）

第３条　各学部、学科、課程の卒業に必要な単位数は、別表第１の通りとする。

第４章　履修方法

（履修方法）

第４条　各学年次において履修することのできる授業科目は、当該学年次及び下位の学年次に配当されている科目とする。

２　授業科目においてクラス分けがある場合は、その指示に従わなければならない。また、履修登録の前に予め手続きが必要な科目については、所定の手続きを行っていない場合、当該科目の履修を認めない。

３　クラスが指定される科目において、履修するクラスを表すため、対象となる学科、課程を示す大文字アルファベットと、所属クラスを示す小文字アルファベット等を組み合わせた記号を用いることがある。
クラス表示のある科目については、必ず指定されたクラスを履修しなければならない。

リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科	L
人間科学部	キャリア英語学科	S
	情報メディア学科	C
	心理学科	H
	食物栄養学科 管理栄養士課程	N
	食物栄養学科 健康実践栄養士課程	NP

４　履修者数が５名以下の授業科目については、原則として開講しない。但し、修学上必要と認められる科目及び資格科目についてはこの限りではない。

（履修条件）

第５条　履修条件が設定されている科目については、その条件を満たさない場合、当該科目の履修を認めない。

２　３回生配当の必修演習科目の履修条件は、以下の通りとする。

（1）　2020 年度以降入学生

〔リベラルアーツ学部〕

３回生配当の演習科目「専門演習Ⅰ・Ⅱ」の履修は、卒業要件単位のうち、以下に掲げる単位数以上を修得していること、及び原則として「リベラルアーツ入門」、「日本語表現法」を修得していることを条件とする。

リベラルアーツ学科	48 単位

〔人間科学部〕

３回生配当の演習科目「専門演習Ⅰ・Ⅱ」（心理学科）、「専門演習」（食物栄養学科）の履修は、卒業要件単位のうち、以下に掲げる単位数以上を修得していることを条件とする。

キャリア英語学科	設定せず
情報メディア学科	90 単位
心理学科	設定せず
食物栄養学科	90 単位
心理学科	48 単位
食物栄養学科	70 単位

（2）　2019、2018 年度入学生

〔リベラルアーツ学部〕

３回生配当の演習科目「専門応用演習Ⅰ・Ⅱ」の履修は、以下に掲げる両科目を修得していることを条件とする。

・　リベラルアーツ入門Ⅰ
・　日本語表現法

〔人間科学部〕

３回生配当の演習科目「専門演習Ⅰ・Ⅱ」（キャリア英語学科、情報メディア学科、心理学科）、「専門演習」（食物栄養学科）の履修は、卒業要件単位のうち、以下に掲げる単位数以上を修得していることを条件とする。

キャリア英語学科	50 単位
情報メディア学科	60 単位
心理学科	48 単位
食物栄養学科	70 単位

３　４回生配当の必修演習科目の履修条件は、以下の通りとする。

（1）　2020 年度以降入学生

〔リベラルアーツ学部〕

４回生配当の演習科目「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」原則として「専門演習Ⅰ・Ⅱ」を修得済みであり、且つ、卒業要件単位のうち、以下に掲げる単位数以上を修得していることを条件とする。

リベラルアーツ学科	設定せず

〔人間科学部〕

４回生配当の演習科目「卒業演習Ⅰ・Ⅱ」（心理学科）、「卒業演習」（食物栄養学科）の履修は、原則として「専門演習Ⅰ・Ⅱ」（心理学科）、「専門演習」（食物栄養学科）を修得済みであり、且つ、卒業要件単位のうち、以下に掲げる単位数以上を修得していることを条件とする。

心理学科	設定せず
食物栄養学科	90 単位

（2）　2019、2018 年度入学生

〔リベラルアーツ学部〕

４回生配当の演習科目「卒業演習Ⅰ・Ⅱ」の履修は、リベラルアーツ学科専門科目・専攻学習科目の３専攻より、各自が選択した１専攻から 26 単位以上を修得見込みであり、且つ、以下に掲げる科目を修得済みであることを条件とする。

・　専門基礎演習
・　（原則として）専門応用演習Ⅰ・Ⅱ

〔人間科学部〕

４回生配当の演習科目「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」（キャリア英語学科、情報メディア学科）、「卒業演習Ⅰ・Ⅱ」（心理学科）、「卒業演習」（食物栄養学科）の履修は、原則として「専門演習Ⅰ・Ⅱ」（キャリア英語学科、情報メディア学科、心理学科）、「専門演習」（食物栄養学科）を修得済みであり、且つ、卒業要件単位のうち、以下

に掲げる単位数以上を修得していることを条件とする。

第５章　履修科目の登録

（履修科目の登録）

第６条　学生は毎学年所定の期間内に、その学年に履修する科目の登録をしなければならない。

2　登録した科目の変更、取消は、原則として認めない。但し、指定された期間内のみ、登録した科目の履修辞退を認める。また、所定の期間に限り、秋学期科目の修正登録を認める。

3　指定された期間内に履修登録を完了していない者は、その学年又は学期の授業及び試験を受けることができない。

（年間に履修できる単位数）

第７条　年間に履修できる単位数は、以下の通りとする。

(1)　リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科

年間に履修できる単位数は、以下の科目を除き、原則として全回生とも 48 単位以内とする。

・自由科目
・カレッジコミュニティ
・現地講義
・フィールドスタディーズ
・インターンシップ科目
・フィールドワーク科目
・海外研修科目
・単位互換制度による他大学開設科目

(2)　人間科学部キャリア英語学科、情報メディア学科、心理学科

年間に履修できる単位数は、以下の科目を除き、原則として全回生とも 48 単位以内とする。

・自由科目
・カレッジコミュニティ
・インターンシップ科目
・フィールドワーク科目
・海外研修科目
・単位互換制度による他大学開設科目

(3)　人間科学部食物栄養学科

年間に履修できる単位数は、以下の科目を除き、原則として全回生とも 50 単位以内とする。

・自由科目
・カレッジコミュニティ
・インターンシップ科目
・フィールドワーク科目
・海外研修科目
・単位互換制度による他大学開設科目

2　前年度末又は前学期末までの累計 GPA が 3.50 以上の場合は、年間に履修できる単位数を 50 単位以内とする。

（他学科開講科目）

第８条　所属学科以外の学科専門科目を他学科開講科目として履修することができる。

2　他学科開講科目として履修を認める科目については、別に定める。

3　他学科開講科目の修得単位の卒業要件単位への算入方法は、所属学科の定めによる。

（単位互換制度）

第９条　単位互換の対象科目は、南大阪地域大学コンソーシアムの単位互換制度に参加する大学の提供科目とする。

2　単位互換制度への出願資格は原則として３回生以上とし、本学の学部学生で且つ本学で許可を得た者に限る。出願等については当該年度用に発行される案内、要項等を熟読のうえ、指定期日までに所定の手続きを行うこと。

3　単位互換制度による修得単位の卒業単位への算入方法は、所属学科の定めによる。

4　単位互換制度に関する質問等があれば、科目提供大学に直接問い合わせず、本学事務局に申し出ること。

第６章　授業

（授業時間帯）

第 10 条　授業時間帯は次のように定める。

1 時限	9：20 ～ 11：00
2 時限（前半）	11：10 ～ 12：50
2 時限（後半）	11：50 ～ 13：30
3 時限	13：40 ～ 15：20
4 時限	15：30 ～ 17：10
5 時限	17：20 ～ 19：00
6 時限	19：10 ～ 20：50

（メディアを利用して行う授業）

第 11 条　メディアを利用して行うオンデマンド形態の授業は、インターネットその他の適切な方法により、双方向の通信手段を用いて行う。

2　前項の形態の授業を実施する授業科目については、シラバスに明示する。

（授業調整期間）

第 12 条　学年暦において、授業期間外に授業調整期間を定め、授業回数や進行状況に応じ、補講、試験等を実施する。

2　授業回数の確保のため、休講に対しては原則として授業調整期間に補講を実施する。

3　授業の進行状況等により、授業調整期間に試験を実施することがある。

（警報発令時における授業、試験）

第 13 条　大阪府の「泉州地域」に区分される市町※に「特別警報」（種類を問わない）又は「暴風警報」が発令された場合、下表の通り取り扱う。

午前 7 時現在 発令されている場合	午前休講
午前 7 時以降に 発令された場合	その時点以降の 午前休講
午前 11 時現在 発令されている場合	午後休講
午前 11 時以降に 発令された場合	その時点以降および 午後休講

※　泉州地域：
堺市、和泉市、高石市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町

2　行わなかった授業の補講、試験は、あらためて指示する。

3　上記以外の居住者の居住区域に「特別警報」（種類を問わない）又は「暴風警報」が発令された場合、欠席した授業又は試験について申し出により公欠として取り扱う。（授業、試験は実施される。）

4　授業、試験開始後に「特別警報」（種類を問わない）又は「暴風警報」が発令された場合、原則としてその時限の授業、試験は直ちに中止するが、状況により当該時限終了まで実施する場合がある。

（交通機関が運行休止又は運行停止（運転見合わせ）となった場合の授業、試験）

第 14 条　南海電鉄高野線、泉北高速鉄道のいずれか一つの交通機関において事前に運行休止が予告されている場合、下表の通り取り扱う。また、以下の(1)(2)(3)のいず

れかが運行休止した場合も同様の措置として取り扱う。
(1) JR 大阪環状線及び大阪メトロ
(2) JR 阪和線及び南海電鉄本線
(3) 南海電鉄金剛駅及び泉北高速鉄道泉ヶ丘駅よりキャンパス間の南海バス

午前 7 時現在運行休止が継続している場合	午前中休講
午前 11 時現在運行休止が継続している場合	全日休講

2 行わなかった授業の補講、試験は、あらためて指示する。
3 通学経路において、上記以外の交通機関の運行休止が事前に予告されている場合、欠席した授業又は試験について申し出により公欠として取り扱う。(授業、試験は実施される。)
4 災害や事故等突発的な事由により、通学経路上の交通機関が運行停止(運転見合わせ)をしている場合、原則として授業、試験は実施される。但し、欠席した授業又は試験について申し出により公欠として取り扱う。

第 7 章 授業の出欠席

(授業の出席)
第 15 条 学生は単位を修得しようとする授業科目に出席しなければならない。
2 授業時間には出席をとる。

(欠席限度)
第 16 条 授業時間数の 3 分の 1 以上を欠席した者は、原則としてその科目の単位を修得することができない。

(長期欠席)
第 17 条 連続して 2 週間以上にわたって欠席する場合は、所定の「長期欠席届」を事務局に提出しなければならない。この場合、欠席理由を証明する書類等を添える必要がある。

(学校において予防すべき感染症による欠席)
第 18 条 学校において予防すべき感染症により欠席した場合は、その旨の診断書又は学校指定の証明書を添えて、出校後 2 週間以内に所定の「欠席届」を事務局に届け出るとともに、所定の手続きをとらなければならない。
2 前項による届出があったときは、当該欠席を公欠として取り扱うことができる。

(忌引きによる欠席)
第 19 条 忌引きにより欠席した場合は、出校後速やかに、忌引きであることを証明する書類を添えて、所定の「欠席届」を事務局に届け出るとともに、出校後 2 週間以内に所定の手続きをとらなければならない。
2 前項による届出があったときは、当該欠席を公欠として取り扱うことができる。
3 忌引きとして認められる欠席日数は、以下の通りとする。なお、日数には土日祝祭日を含む。

父母	7 日
同居の祖父母	5 日
兄弟姉妹	5 日
別居の祖父母	3 日
同居の三親等以下の親族	3 日
三親等の親族	2 日
その他の親族	1 日

(正課の学外実習による欠席)
第 20 条 正課の学外実習により授業を欠席する場合は、実習期間が決定次第、所定の「欠席届」を事務局に届け出るとともに、所定の手続きをとらなければならない。
2 前項による届出があったときは、当該欠席を公欠として取り扱うことができる。
3 公欠として認められる欠席日数は、当該実習の日数とする。

(就職活動による欠席)
第 21 条 就職活動による欠席であることを報告する場合は、事前に本学所定窓口にて手続きの上、出校後 2 週間以内に該当科目の担当教員に所定用紙を提出しなければならない。但し、資格科目及び実験、実習を伴う科目については受け付けない。
2 就職活動による欠席は公欠としない。

第 8 章 評価

(成績評価)
第 22 条 学習の評価は 100 点法により行い、60 点以上を合格とする。学業成績証明書には、上位より秀(100 ～ 90 点)、優(89 ～ 80 点)、良(79 ～ 70 点)、可(69 ～ 60 点)をもって記載し、単位認定科目は認定と記載する。なお、不可(59 点以下)、失格科目については不合格とし、学業成績証明書には科目の記載をしない。同様に、履修辞退を行った科目についても学業成績証明書には記載しない。

(GPA 制度)
第 23 条 前条の成績評価による学業結果を総合的に判断する指標として、総合平均点(Grade Point Average に相当するもの、以下「GPA」という)を用いる。
2 GPA は、評点のうち、100 ～ 90 点につき 4.0、89 ～ 80 点につき 3.0、79 ～ 70 点につき 2.0、69 ～ 60 点につき 1.0、不可及び失格につき 0 をそれぞれ評価点(Grade Point、以下「GP」という)として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、卒業要件に含まれる登録科目(履修辞退科目、認定科目を除く)の総単位数で除して算出する。

(失格制度)
第 24 条 授業時間数の 3 分の 1 以上を欠席した場合は、原則として該当科目の単位修得を認めず、試験受験やレポート提出に関わらず、担当教員において失格と評価する。

第 9 章 試験

(試験の種類)
第 25 条 試験には次の種類がある。但し、科目によってはレポート、作品、実技等をもって各試験にかえることもある。
(1) 学期末試験
規定の授業回数終了後、原則として授業調整期間に実施される試験をいう。学期末試験の時間割は授業時間割と異なることもあるので、必ず試験時間割で確認すること。
(2) 授業内試験
学期末試験以外に平常の授業内に行う試験をいう。この場合担当教員が実施日、その他を決定し学生に指示する。
(3) 追試験
病気、事故その他やむを得ない理由で学期末試　　験を欠席した者に対して行う試験をいう。なお、レポートによる評価を行う科目については、病気、事故その他やむを得ない理由で期日までに提出できなかったレポートを受け付けることをいう。

(学期末試験の受験資格)

第 26 条　次の者には学期末試験を受験する資格を与えない。
(1)　指定された期間内に履修科目の登録をしていない者。また、履修登録していない科目も受験できない。
(2)　学費未納の者、但し学費の延納を認められた者は除く。
(3)　教授会において、受験することが不適当と認められた者。

(追試験)
第 27 条　追試験を受けようとする者は、病気、事故その他やむを得ない理由を明記した「試験欠席届・追試験願」を指定の日までに事務局に提出し、手数料（1 科目につき 1,000 円。但し、公欠扱いとなる欠席の場合は無料）を納入しなければならない。この場合、欠席理由を証明する書類等を添付する必要がある。
2　追試験手続きは、本人若しくは保護者に限る。
3　追試験の成績は 2 割減点される。但し、公欠扱いとなる欠席の場合は 2 割の減点をしない。
4　追試験を欠席した場合は、理由のいかんにかかわらず、再度受験することはできない。また、手数料は返還しない。

(試験についての注意)
第 28 条　試験についての注意事項は、次の通りとする。
(1)　試験開始時間に 20 分以上遅刻した者はその試験の受験資格を失う。
(2)　試験開始後 20 分間は試験場を退出することができない。
(3)　試験において不正行為をした者は「試験における不正行為の処分に関する規程」に従って処分される。不正行為の態様によっては別途処置を受けるとともに、学則第 42 条によって懲戒することがある。なお、指定されたもの以外のものを持ち込んだ場合は、試験問題との関連があるなしにかかわらず、不正行為とみなす。

(レポート)
第 29 条　学期末試験に代わるレポートについては、レポート題目、提出期限、提出先、分量、形式等を掲示する。
2　レポート提出時の注意事項は、次の通りとする。
(1)　レポートは定められた期間内に指定された　提出先に提出しなければならない。但し、病気、事故その他やむを得ない理由で遅れた場合は、追試験扱いとして受け付ける。
(2)　レポートの冒頭部分又は表紙に、科目名、担当教員名、題目、学籍番号、氏名を記入すること。
(3)　原則としてレポートはペン書きすること。
(4)　レポート用紙は特に指示のない限り、大学指定 400 字詰め原稿用紙（縦､横共通のレポート用箋）を使用すること。
(5)　レポートの提出は必ず本人の責任において行うこと。
(6)　レポートボックスへの提出に際しては、投函間違い等がないように十分留意すること。いったん投函したレポートは、その理由のいかんにかかわらず、取り出すことはできない。

(卒業研究)
第 30 条　演習科目「卒業研究」において卒業論文等を提出しようとする者は、「研究計画書」を所定の期日までに担当教員に提出し、その指導を受けなければならない。
2　卒業論文等は、所定の期間内各学科所定の場所に提出しなければならない。
3　卒業論文等の審査は、各学科で行う。

第 10 章　成績通知

(成績通知書)
第 31 条　春学期終了時の成績通知書は、9 月上旬に学生、保護者の連名宛に送付する。但し、集中講義科目、単位互換科目の成績は記載されていないことがある（後日配付する）。秋学期終了時の成績通知書は、1 ～ 3 年次生は 3 月中旬に学生、保護者の連名宛に送付、卒業年次生については卒業式当日に配付する。

(成績評価の Web 参照)
第 32 条　成績評価の Web 参照は、次の要領により行うものとする。
(1)　成績評価は、学生本人が Web 上でも参照できるものとする。但し、利用に際しては、学生個別の ID とパスワード認証を必要とする。
(2)　各学期の成績評価は、成績通知書の送付時期に合わせて開示する。但し、卒業年次生の秋学期終了時の成績評価については、卒業判定教授会終了後、直ちに開示することとする。（卒業の可否については、学生、保護者の連名宛に郵送にて通知する。）

(成績に関する問い合わせ)
第 33 条　成績に関する問い合わせは次の期限まで事務局にて受け付ける。その場合、「成績に関する問い合わせ」用紙に記入し、事務局へ提出しなければならない。
(1)　春学期科目
当該年度の 9 月 20 日まで
(2)　通年、秋学期科目
当該年度の 3 月 20 日まで
(3)　その他（集中講義等）
成績通知後 1 週間以内

第 11 章　アドバイザー教員

(アドバイザー教員による学生指導)
第 34 条　学業をはじめ学生生活全般を支援するため、学生一人ごとにアドバイザー教員を置く。
2　学生は、在学中全期間を通じて、継続的にアドバイザー教員に指導、助言をあおぐことができる。
3　アドバイザー教員による学生指導に関する規定は、別に定める。

(GPA と学修指導)
第 35 条　1 学期の GPA が 1.5 未満の学生には､アドバイザー教員による学修指導面談を行う。
2　GPA1.0 未満が 2 学期連続した場合は、原則として学生本人及び保証人と学科長が面接し、就学意思の確認を行う。

第 12 章　学籍異動

(退学)
第 36 条　病気その他やむを得ない理由によって退学しようとする者は、保証人が連署した「退学願」を事務局に提出して、許可を得なければならない。
2　「退学願」を提出する前に、アドバイザー教員又はゼミ担当教員等に相談すること。

(休学)
第 37 条　病気その他やむを得ない理由によって就学できない者は、休学を願い出ることができる。
2　休学しようとする者は、保証人が連署した「休学願」（事務局備え付け）を事務局に提出して、許可を得なければならない。
その場合、休学理由を証明する書類（病気、ケガの場合は診断書等）を添付する必要がある。
3　休学しようとする者は、原則として次の願い出期限までに「休学願」を事務局に提出しなければならない。

(1)　春学期又は通年（春学期及び秋学期）
当該年度の 4 月 30 日まで
(2)　秋学期
当該年度の 10 月 31 日まで
2　休学期間は原則として年度、学期を単位とし、年度を越えることはできない。休学の継続を希望する者は、改めて願い出るものとする。
3　休学の期間は、原則として 2 年をこえることができない。
4　休学の期間は、在学年数に算入しない。
5　休学期間中は、在籍料を納付するものとし、この期間の授業料、教育充実費及び実験実習費は全額を免除する。

（転学部、転学科、転課程）

第 38 条　学内において、転学部又は転学科を希望する者は、所属の学科長を経て学部長に願い出ることができる。
2　転学部、転学科は、原則として 3 回生進級時までとする。
3　転学部、転学科共に、受入学部、学科での審査及び選考が行われるため、希望者全てが転学部又は転学科を許可されるわけではない。また、修得単位が全て転入学部、学科で認められるとは限らない。
4　人間科学部食物栄養学科への他学部、他学科からの転学部、転学科は認めない。
5　転学部、転学科の時期は学年又は学期のはじめとする。
6　転学部、転学科を希望する者は原則として次の時期に「転学部・転学科・転課程願」を事務局に提出しなければならない。
(1)　春学期からの場合
申込期間 12 月 1 日から 12 月年内授業最終日まで
(2)　秋学期からの場合
申込期間 6 月 1 日から 6 月末日まで
7　転学部、転学科した者は、転学部、転学科後の属する学科及び年次の在学者に係る教育課程を履修する。
8　一度許可された学生の再度の転学部、転学科は認められない。食物栄養学科への他学科からの転学科は認めない。

第 39 条　食物栄養学科において、転課程を志望するものは、学科長を経て学部長に願い出ることができる。
2　転課程は、食物栄養学科での審査及び選考が行われるため、希望者全てが転課程を許可されるわけで　はない。また、修得単位が全て転入課程で認められるとは限らない。
3　食物栄養学科における転課程の詳細については、学科内で通知する。
4　転課程の時期は学年又は学期始めとする。
5　転課程を希望する者は原則として次の時期に「転学部・転学科・転課程願」を提出しなければならない。
(1)　食物栄養学科健康実践栄養士課程から管理栄養士課程への転課程は、原則として 2 回生進級時とする。
申込期間 1 月 15 日から 1 月末日まで
転課程の時期 2 回生 4 月
(2)　食物栄養学科管理栄養士課程から健康実践栄養士課程への転課程は、特に学年を定めないが、転課程の時期は学年又は学期の始めとし、申込期間は、転学部、転学科の申込期間と同じとする。

（規程の改廃）

第 40 条　この規程の改廃は、大学評議会の意見を聴いて、学長が行う。

附　則

（施行期日）

1　この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2　この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
3　この規程は、平成 30 年 9 月 1 日から施行する。
4　この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
5　この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
6　この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

「別表第 1（第 2 条、第 3 条関係）」

各学科・入学年度の「卒業に必要な総単位数」の頁を参照

帝塚山学院大学試験における不正行為の処分に関する規程

（処分の種類）
第１条　試験における不正行為は、その様態によって次の通り処分する。
2　はじめて不正行為をした者に対しては、当該受験科目並びに前後の科目計３科目の単位を認定せず、保証人（保護者）同席の上学長が訓戒し、誓約書を提出させる。なお、不正行為をした科目が、試験期間の最初あるいは最後の科目の場合は、それぞれ次あるいは前の２科目の単位を認定しない。
3　再び不正行為をした者、身代わり受験をさせた者、その他悪質な手段によって不正行為をした者に対しては、さらに厳重な処分をするものとし、学則第 43 条により、懲戒を加えることがある。

（不正行為の発見）
第２条　試験監督者は不正行為を発見した場合は、直ちに答案及び不正行為に使用した物品を提出させ当該学生を退室させ、速やかに学生生活課へ行くように命じる。
2　試験監督者は、試験終了と同時に教務部長に届け出て、事情報告をする。

（調査委員会）
第３条　不正行為が報告された場合、直ちに調査委員会を開催する。
2　調査委員会の構成は、次の通りとする。
教務部長
学生部長
学生生活課長
教学課長
当該試験監督者
3　調査委員会は、事案について事情を調査すると共に、当該学生の出席を求めて、これを聴取する。
4　調査委員会は、聴取の結果、不正行為であることが確認できた場合、これを処分委員会に報告する。
5　調査委員会は、速やかに不正行為について、その日時、科目名、クラス名を学内に公示する。

（処分委員会）
第４条　試験期間終了と同時に処分委員会を開催する。
2　処分委員会の構成は、次の通りとする。
当該学部の学部長
各学科主任
資格課程主任
学生部委員
教務部長
学生部長
学生生活課長
教学課長
3　処分委員会は、調査委員会の報告に基づき、不正行為に対する処分案を作成し、学長に提出する。

（処分の言い渡し）
第５条　学長は処分委員会の意見を附し、教授会の意見を聴いて処分を決定し、その処分を行う。
2　学長は、当該学生及び保証人を呼び出し、以下の者同席の上、処分の申し渡しを行う。
当該学科主任
当該クラス担任又は演習担当者
学生部長
学生生活課長
教学課長

（処分の公示）
第６条　不正行為の処分については、直ちに所属学科名、処分の事由、処分の種類を学内に公示する。公示期間は１週間とする。

（処分の記録）
第７条　処分については「処分記録簿」に記録して学生生活課で保管する。但し、学外の照会には一切応じないこととする。

（事務局）
第８条　試験における不正行為に関する手続の事務局は、教学企画センターに置く。

（規程の改廃）
第９条　この規程の改廃は、大学評議会の意見を聴いて、学長が行う。

附　則
（施行期日）
1　この規程は、「帝塚山学院大学履修規程」より独立し、平成 27 年４月１日から施行する。
（経過措置）
2　この規程は、平成 30 年 11 月１日から改定施行する。
3　この規程は、令和３年４月１日から施行する。

帝塚山学院大学科目等履修生規程

第１条　帝塚山学院大学学則（以下、学則という）第 24 条に基づき、科目等履修生（以下、履修生という）について必要な事項を定める。

第２条　科目等履修を志願できる者は、下記の各号の一つに該当する者とする。

(1)　高等学校を卒業した者

(2)　本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

但し、資格取得（日本語教員養成コースを含む）に関する専門科目の履修生については、本学を卒業した者に限る。

第３条　志願しようとする者は、次の書類に選考料を添えて、春学期開講および通年科目については３月 15 日、秋学期開講科目については８月末日までに提出しなければならない。

(1)　科目等履修願

(2)　履歴書（最近３ヶ月以内の写真１枚貼付、捺印のもの）

(3)　最終学校卒業証明書

(4)　最終学校成績証明書

(5)　健康診断書（最近３ヶ月以内のもの）

２　第２条但し書き以下の科目の履修を志願する者は、それぞれの課程またはコースを代表する専任教員の了解を得た後でなければ、前項の書類を提出できない。

３　第一項の規程によって提出した書類は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

第４条　履修できる科目は、本学学生の教育に支障のない範囲において認められる。

２　履修科目は１年 20 単位以内とする。但し、第２条但し書き以下の科目の履修については、１年 30 単位以内とする。

３　教育実習、博物館実習および日本語教育実習の履修については、本学における各々の実習に関する規程による。

第５条　履修生の選考は、第３条に規定する書類の審査によるほか、必要に応じて面接その他の方法によって審査し、教授会の意見を聴いて、学長が許可する。

第６条　履修を許可された者は、所定の期日までに、誓約書などの書類とともに、本学学則別表に定める登録料および受講料を納めなければならない。

第７条　履修の期間は１年または半年とし、引き続き履修を希望するときであっても、新たに願い出るものとする。

第８条　受講した授業科目について試験を受け、これに合格した場合は、所定の単位を認定し、単位修得証明書を交付することができる。

第９条　履修生には、この規程のほか必要に応じて学内の諸規程を準用する。

第 10 条　納付された選考料、登録料および受講料は返還しない。

（事務局）

第８条　科目等履修生に関する手続の事務局は、教学企画センターに置く。

（規程の改廃）

第９条　この規程の改廃は、大学評議会の意見を聴いて、学長が行う。

附　則

（施行期日）

１　この規程は平成 21 年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　この規程は、平成 23 年 10 月１日から施行する。

３　この規程は、平成 27 年 10 月１日から施行する。

４　この規程は、平成 28 年４月１日から施行する。

５　この規程は、令和３年４月１日から施行する。

帝塚山学院大学特別聴講学生規程

第１条　帝塚山学院大学学則（以下「学則」という。）第 26 条の規定に基づき、特別聴講学生について必要な事項を定める。

第２条　学則第 25 条の規定による他の大学（短期大学及びこれに相当する高等教育機関を含む。）との協議は、次に揚げる事項について、教授会の意見を聴いて学長が行う。

(1)　授業科目の範囲
(2)　学生数
(3)　単位の認定方法
(4)　履修期間
(5)　その他必要な事項

第３条　特別聴講を願い出ることのできる者は、本学と単位互換協定を締結している大学（短期大学及びこれに相当する高等教育機関を含む。）に在学する学生とし、在籍大学で特別聴講学生となることを許可された者とする。

第４条　特別聴講を願い出る者は、単位互換協定に定めるところにより、単位互換履修出願票を所定の期日までに学長に提出しなければならない。

第５条　特別聴講学生が履修することのできる科目は、単位互換協定に基づき、予め本学が指定した科目とする。

第６条　特別聴講の許可は、教授会の意見を聴いて、学長が許可する。

第７条　特別聴講を許可された者は、別に定めるところにより手続を行わなければならない。

２　所定の期日までに前項の手続を行わない者は、特別聴講学生を辞退したものとみなし､その許可を取り消す。

第８条　前条第１項の手続をした者に、特別聴講学生証を交付する。

第９条　特別聴講学生の科目履修の期間は１年以内とする。

第 10 条　特別聴講学生の成績評価は、単位互換協定に定めるところにより、履修した科目の担当者が行い、特別聴講学生の在籍大学に通知する。

２　履修した科目の単位認定は、在籍大学が行う。

３　在籍大学が成績証明書及び単位修得証明書を交付する。

第 11 条　特別聴講学生の聴講料等の費用については、単位互換協定に定めるところによる。

２　納付された聴講料は返還しない。

第 12 条　この規程に定めるもののほか、特別聴講学生について必要な事項は本学学生に関する諸規程を準用する。

第 13 条　この規程の改廃は、大学評議会の意見を聴いて、学長が行う。

附　則

(施行期日)

１　この規程は、平成 21 年４月１日から施行する。

(経過措置)

２　この規程は、平成 28 年４月１日から施行する。

３　この規程は、平成 30 年 11 月１日から改定施行する。

４　この規程は、令和３年４月１日から施行する。

帝塚山学院大学聴講生規程

第１条　帝塚山学院大学学則（以下、学則という。）第 25 条に基づき、聴講生について必要な事項を定める。

第２条　聴講を志願できる者は、下記の各号の一つに該当する者とする。

(1)　高等学校を卒業した者
(2)　本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第３条　志願しようとする者は、次の書類を所定の期日までに提出しなければならない。

(1)　聴講願
(2)　最終学校卒業証明書

２　第１項の規定によって提出した書類は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

第４条　聴講できる科目は、本学学生の教育に支障のない範囲において認められる。但し、各学期５科目以内とし、資格取得（日本語教員養成コースを含む）に関する科目は認めない。

２　聴講を志願する者は、選考の上、教授会の意見を聴いて、学長が許可する。

第５条　聴講を許可された者は、所定の期日までに、本学学則別表に定める登録料及び聴講料を納めなければならない。

第６条　聴講の期間は１年又は半年とし、引き続き聴講を希望するときであっても、新たに願い出るものとする。

第７条　聴講した授業科目の単位取得認定は行わない。

第８条　納付された登録料、聴講料は返還しない。

第９条　この規程の改廃は、大学評議会の意見を聴いて、学長が行う。

附　則

(施行期日)

１　この規程は、平成 21 年４月１日から施行する。

(経過措置)

２　この規程は、平成 28 年４月１日から施行する。

３　この規程は、平成 30 年 11 月１日から施行する。

４　この規程は、令和３年４月１日から施行する。

帝塚山学院大学における学生個人情報保護のガイドライン

帝塚山学院大学は帝塚山学院大学が保有する学生の個人情報を取り扱うため、下記の通りガイドラインを定めています。また、在籍する学生（または過去に在籍した者、将来在籍しようとする者）の個人情報の管理については、事務局が責任を持って行っています。

（制定の目的）

第１条　帝塚山学院大学（以下「本学」という）は、基本的人権の尊重とプライバシー保護の観点から本学が保有する学生の個人情報を適正に取り扱うため、ここに個人情報保護のガイドラインを定める。

二　本学は学生の個人情報保護の重要性を認識し、学生の人権や利益が侵害されることのないよう、研修などの必要な措置を講じ、教職員、学生の情報倫理意識を高めるよう努力するものとする。

（用語の定義）

第２条　個人情報とは、特定の個人の識別が可能な単一または複合の情報で、文書、図画、写真、磁気媒体等の各種の媒体により記録されたものをいい、本学が教育研究および学生指導に必要な業務を遂行するうえで、収集、作成したものをいう。

二　学生とは、名称のいかんに関わらず、本学に在籍またはこれに準ずる資格を現に有している者、および過去に有していたものをいう。本学に学籍またはこれに準ずる資格を取得するために、現在出願している者、および過去に出願した者も含む。

（個人情報の収集）

第３条　個人情報の収集は、本学の教育研究および学生指導に必要な業務を遂行するうえで、必要最小限の範囲内で収集するものとする。

二　個人情報の収集にあたっては、個人の思想、信条、信仰、心身の状況、資産、社会的状況などに関する情報は収集してはならない。ただし、明らかに学生個人の利益となる場合はこの限りではない。

三　個人情報の収集は、適法かつ公正な手段で収集されなければならない。

四　個人情報は学生本人から収集することを原則とする。ただし次の各号の一に該当する場合は、本人以外の者、機関等から収集することができる。

⑴　本人の同意があるとき。

⑵　法令または本学の定める規程によって収集するとき。

⑶　個人の生命、身体、財産の保全上、緊急を要するとき。

五　本学の教育研究活動および学生指導活動の結果、生成する個人情報についても、生成する目的を明らかにし、適正な方法で生成することとする。

（個人情報の管理）

第４条　個人情報を保有する部長、所長、センター長、局長、次長、部長、室長、課長（以下「情報管理責任者」という）は、個人情報の保護と正確性を維持するため、必要な措置を講じなければならない。

二　情報管理責任者は、個人情報の漏洩、改ざん、滅失を防止するために、適切な保護体制を整備しなければならない。

三　情報管理責任者は、各部署の個人情報の収集、利用、提供、保管に関する適正な手続きを定めることができる。

（個人情報の利用）

第５条　個人情報の利用は、本学の業務遂行上必要な場合で、収集目的の範囲内でなされなければならない。

二　情報管理部署以外の部署が個人情報を利用するときは、その利用目的を明らかにし、その範囲内で利用しなければならない。

三　収集目的の範囲をこえているときでも、次の各号の一に該当する場合、本学は個人情報を利用することができる。

⑴　本人の同意があるとき。

⑵　個人の生命、身体、財産の保全上、緊急を要するとき。

（個人情報の提供）

第６条　提供とは、本学が保有する個人情報を本学以外の機関、団体、または本人以外の個人に渡すことをいい、各種媒体、複写、口頭による伝達を含むものとする。

二　個人情報の提供は、本学の教育研究または学生指導の維持、発展に密接な関係があると認められる場合で、提供する個人情報の内容、目的、提供先を明示し本人の同意を得て行うものとする。

三　情報管理責任者は、次の各号の一に該当する場合に限り、本人の同意を得ることなく個人情報を提供することができる。

⑴　法令の定めのあるとき。

⑵　個人の生命、身体、財産の保全上、緊急を要するとき。

⑶　明らかに本人の利益となるとき。

⑷　帝塚山学院大学同窓会から卒業した者の提供の要求があったとき。

四　ただし、第三項第４号の帝塚山学院同窓会への情報提供については、書面により本人から申し出があった場合、帝塚山学院大学同窓会への提供を拒否することができる。

（個人情報の開示）

第７条　開示とは、本人の個人情報の内容が事実にもとづき正しく記録されているかを本人が確認するために、その個人情報を本人に提示することをいう。

二　本学は、その保有している個人情報について、個人情報の種類、収集、生成の目的、保有期間、情報管理部署を明らかにしなければならない。

三　学生本人は、本人の個人情報の内容に関して情報管理責任者にその開示を要求することができる。

四　学生本人は、本人の個人情報に関して明らかに事実と異なる場合、情報管理責任者に訂正を請求することができる。

（個人情報の廃棄）

第８条　保有期間を過ぎた個人情報は、法令その他規程に定めのある場合を除き、安全かつ確実な方法で速やかに廃棄しなければならない。

（個人情報のコンピュータ処理）

第９条　個人情報のコンピュータ処理を行うときは、入力、参照、更新、削除等の権限を明らかにするとともに、漏洩、障害、事故等に対する適切な安全対策を講じなければならない。

二　個人情報のコンピュータ処理を外部に委託する場合、機密保護、安全確保のため契約書等を取り交わすなど適切な措置を講じなければならない。

（ガイドラインの運用）

第10条　このガイドラインの運用にあたって、解釈、取り扱い、適用などに疑義が生じた場合は、当該部署の情報管理責任者が調査、検討をし、必要のあるときは学長および他の情報管理責任者に適切な改善策を勧告することができる。

（附　則）

一　このガイドラインは、平成17年４月１日から施行する。

帝塚山学院歌

寿岳文章　作詞
山田耕筰　作曲

一

のびやまぬ　みやこ難波津
昨日の丘　けふの八ちまた
ゆくりかに　さまこそかはれ
ここの地を　よしと定めて
学び舎の　基石置きし
そのかみの　人は活きたり
栄えあれや　帝塚の山の
名に負へる　われらの学院

二

さち多き　夢のかけはし
かつらぎの　みねのあなたを
茜雲　たなびくあした
すくよかに　生ひそだつべく
えらばれて　この学び舎に
むれつどふ　若きいのちよ
栄えあれや　帝塚の山の
名に負へる　われらの学院

三

西のかぜ　葦間をわたり
あけはなつ　心のまどに
かぐはしく　通ふいくとせ
つぎの代を　になふはわれと
つぶらなる　眼をかがやかせ
もの学ぶ　けなげの子らよ
栄えあれや　帝塚の山の
名に負へる　われらの学院

帝 塚 山 学 院 祝 歌

小野十三郎　作詞
川澄　健一　作曲

（一）

茜雲(あかねぐも)清らかに
水面(みずも)にうつり
流れゆく歳月(としつき)
野に鳥は強く羽ばたき
いくたびかことほぎ歌いし
友の門出(かどで)
あゝ　帝塚山 白堊(はくあ)の学園
とわにかわらぬ
心のふるさと

（二）

松風はさわやかに
丘辺をわたり
はるかなりわが道
噴泉(ふきあげ)は高くあがりて
あしたまたことほぎ歌わん
友の門出
あゝ　帝塚山　平和の学園
とわにかわらぬ
心のふるさと

帝塚山学院大学

〒590-0113
大阪府堺市南区晴美台4-2-2
TEL(072)296-1331(代)
FAX(072)292-2135

学籍番号

氏　　名